

わかる、できる、役に立つ!!

★
買ったばかりのPC



購入時の状態に戻すには、
再セットアップが必要。ISO/IMG
が必要。

「おかげさまで、
ISO/IMG」

ビギナーの強い味方、
パソコン用語集を収録!

PC98-NX SERIES
VALUESTAR NX

マニュアルを

読む順序

各マニュアルの主な内容は表紙に書いてあります。次の順序で読み進めてください。

1

まずこれ!



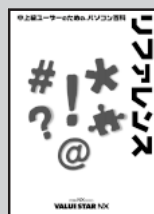
2

次にこれ!



3

目的に合ったマニュアルを選んで読む



パソコンの画面で見る
マニュアル「パソコン
探検箱」にもアプリ
ケーションの説明、マ
ニュアルの紹介などの
便利な情報が
あります。



添付の「安全にお使いいただくために」は
常に手元に置き、各マニュアルと合わせて
必ずお読みください。

やりたいこと別マニュアルガイド

パソコンの接続とセットアップをしたい	STEP 1 接続と準備
マウスの使い方を知りたい	STEP 2 入門
キーボードで文字を打ってみたい	STEP 2 入門
ワープロを使いたい	STEP 2 入門
どんなアプリケーションが入っているか知りたい	STEP 2 入門、パソコン探検箱
インターネットを利用したい	インターネット入門
インターネットに便利なソフトを使いたい	リファレンス、インターネット入門
FAX を送受信したい	パソコン探検箱
年賀状を作りたい	パソコン探検箱
プリンタをつなぎたい	拡張の手引き
オプション機器を取り付けたい	拡張の手引き
Windows 98 について知りたい	STEP 3 活用
このパソコンの機能について詳しく知りたい	リファレンス
パソコンが思うように動かない	困ったときのQ&A
パソコン用語の意味を知りたい	困ったときのQ&A
マニュアル総索引を使いたい	困ったときのQ&A
再セットアップしたい	困ったときのQ&A

はじめに

この本は、パソコンを使っていて、「おかしいな?！」とか「故障かもしれない」などと感じたときに、問題を解決するための手助けをします。

まず、目次から、あなたのパソコンで起きている問題点を探してください。やろうとしていた作業の種類別に分類して、問題点を見つけやすいようにしています。問題の原因や解決方法をよく読んで対処してください。

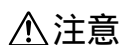
また、あなたのパソコンを長く使っていただくためのお手入れ方法や、パソコンに内蔵されているソフトウェア（全部合わせて「パソコンのシステム」と呼びます）を回復するための方法も、この本で説明しています。困ったときには、この本を活用してください。

1998 年 11 月 初版

1998 年 12 月 2 版

このマニュアルの表記について

このマニュアルでは、パソコンを安全にお使いいただくための注意事項を次のように記載しています

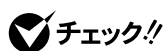


注意事項を守っていただけない場合、人が傷害を負う可能性が想定されること、または物的損害のみ発生が想定されることを示します。

注意事項を守っていただけない場合、発生が想定される障害または事故の内容を表しています。左のマークは感電の可能性が想定されることを示しています。このほかに、発火注意、けが注意、高温注意についても、それぞれ記載しています。

電源ケーブルのプラグを抜くように指示するものです。

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。

パソコンで起きている問題点に対して対処のしかたがいくつかあるときは、この記号の確認事項をチェックして、あてはまるものをさがしてください。

パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。

マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

参考になる事柄です。

このマニュアルの表記では、次のようなルールを使っています



【 】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。

プリンタ、
コネクタなど

「プリンター」や「コネクター」などの末尾に付く「ー」を省略して表記しています。これは、パソコンの画面に表示される用語や、パソコン関連書籍などでよく使われている表記に準拠しているためです。

CD-ROMドライブ

DVD-ROMモデルでは、DVD-ROMドライブのことを、CD-ROMモデルでは、CD-ROMドライブのことを指します。

このマニュアルでは、各モデル（機種）を次のような呼び方で区別しています

表をご覧になり、購入された製品の型名とマニュアルで表記されるモデル名を確認してください。

このパソコン	表の各モデル(機種)を指します。
CRTディスプレイ セットモデル	CRTディスプレイがセットになっているモデルのことです。
液晶ディスプレイ セットモデル	液晶ディスプレイがセットになっているモデルのことです。
ディスプレイなしモデル	ディスプレイが別売となっているモデルのことです。
ボックスレスタイプ	液晶ディスプレイにパソコン本体を組み込んだモデルのことです。
CD-ROMモデル	CD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。
DVD-ROMモデル	DVD-ROMドライブを搭載しているモデルのことです。
一太郎モデル	一太郎9パックがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Wordモデル	Word、Excel、Outlookがあらかじめインストールされているモデルのことです。

型名	型番	表記の区分			
		本体の形状	CD-ROM /DVD-ROM	ディスプレイ	添付アプリケーション
VC40D/5GC1	PC-VC40D5GC1	コンパクトタイプ	CD-ROMモデル	液晶ディスプレイセットモデル (15インチ液晶)	一太郎モデル
VC40D/5GD1	PC-VC40D5GD1				Wordモデル
VC35D/5YC1	PC-VC35D5YC1			液晶ディスプレイセットモデル (14インチ液晶)	一太郎モデル
VC35D/5YD1	PC-VC35D5YD1				Wordモデル
VC35D/5YC2	PC-VC35D5YC2				一太郎モデル
VC35D/5YD2	PC-VC35D5YD2				Wordモデル
VC33H/5XC1	PC-VC33H5XC1				一太郎モデル
VC33H/5XD1	PC-VC33H5XD1				Wordモデル
VC33H/5XC2	PC-VC33H5XC2				一太郎モデル
VC33H/5XD2	PC-VC33H5XD2				Wordモデル
VC30H/5XC1	PC-VC30H5XC1				一太郎モデル
VC30H/5XD1	PC-VC30H5XD1				Wordモデル
VC30H/5XC2	PC-VC30H5XC2				一太郎モデル
VC30H/5XD2	PC-VC30H5XD2				Wordモデル
VE40D/57C	PC-VE40D57C			CRTディスプレイセットモデル (17インチCRT)	一太郎モデル
VE40D/57D	PC-VE40D57D				Wordモデル
VE35D/57C	PC-VE35D57C				一太郎モデル
VE35D/57D	PC-VE35D57D				Wordモデル
VE30H/57C	PC-VE30H57C				一太郎モデル
VE30H/57D	PC-VE30H57D				Wordモデル
VE30H/55C	PC-VE30H55C			CRTディスプレイセットモデル (15インチCRT)	一太郎モデル
VE30H/55D	PC-VE30H55D				Wordモデル

型名	型番	表記の区分			
		本体の形状	CD-ROM /DVD-ROM	ディスプレイ	添付アプリケーション
VM45D/5GC	PC-VM45D5GC	ミニタワータイプ	DVD-ROMモデル	液晶ディスプレイセットモデル (15インチ液晶)	一太郎モデル
VM45D/5GD	PC-VM45D5GD				Wordモデル
VM45D/5ZC	PC-VM45D5ZC			ディスプレイなしモデル	一太郎モデル
VM45D/5ZD	PC-VM45D5ZD				Wordモデル
VM40D/57C	PC-VM40D57C			CRTディスプレイセットモデル (17インチCRT)	一太郎モデル
VM40D/57D	PC-VM40D57D				Wordモデル
VF26D/5GC	PC-VF26D5GC	ボックスレスタイプ	CD-ROMモデル	ボックスレスタイプ (15インチ液晶)	一太郎モデル
VF26D/5GD	PC-VF26D5GD				Wordモデル

本文中の画面

本文中の画面は、モデルによって異なることがあります。また実際の画面とは多少異なることがあります。

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

(本文中の表記)	(正式名称)
Windows、 Windows 98	Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 operating system
Windows 3.1	Microsoft® Windows® operating system Version 3.1
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0
一太郎	一太郎9
一太郎9パック	一太郎9パック(一太郎9、三四郎8/R.2U、花子9、Fullband 1.2U with ATOK12)
Excel、Word、 Outlook	Microsoft® Excel 97 & Word 98 & Outlook™ 98 for Windows®
MS-IME 98	Microsoft® IME 98
インターネットエクスプローラ、 Internet Explorer	Microsoft® Internet Explorer 4.0

ご注意

- (1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。
- (4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じて、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6)海外 NEC では、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 98 および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Windows NT、Active Movie、NetMeeting、Outlook、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。

Celeron は、Intel Corporation の商標です。

「一太郎」「花子」「FullBand」「ATOK」「JustNet」「Shuriken」は、株式会社ジャストシステムの登録商標または商標です。

「一太郎9パック」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「一太郎9パック」にかかる著作権、その他の権利はすべて株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

商標「三四郎」は、株式会社エス・エス・ビーの登録商標であり、株式会社ジャストシステムは商標使用許諾を受けています。

VirusScanは、米国Network Associates社および関連会社の商標または登録商標です。

SEGA、SEGAPC、バーチャファイター 2、VIRTUA FIGHTER2 は、(株)セガ・エンタープライゼスの商標です。

RIVA 128 は、STMicroelectronics, Inc. の登録商標です。

3D RAGE、RAGE IIC は、ATI Technologies Inc. の商標です。

パソコン探検箱、BIGLOBE インターネット無料体験は、日本電気株式会社の商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 1998

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

■ 輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

PART

1



はじめに	i
このマニュアルの表記について	ii
トラブル解決 Q&A	1
トラブルを解決するには	2
パソコン探検箱を活用しよう	4
ヘルプツールのご紹介	6
コントロールパネルの開き方	8
デバイスマネージャを表示する	9
ハードディスクのトラブル予防	11
まずは、ハードディスクの空き容量を確認	11
ハードディスクのトラブルを予防するシステムツール	12
スキャンディスク	13
デフラグ	15
ディスククリーンアップ	16
システムファイルチェッカー	18
メンテナンスウィザード	19
バックアップ機能	20
パソコンがこわれそう・・・	22
パソコンの様子がおかしい。煙や異臭、異常な音がしたり、手でさわれないほど熱い。 パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じた	22
キーボードに飲み物をこぼしてしまった	22
パソコンを使っているとカリカリと変な音がする	22
使っていないのにフロッピーディスクドライブの表示ランプが点滅して、音をたてる	23
箱を開けて、機器を接続しようとしたら・・・	24
足りないものがあつた	24
添付品の接続のしかたがわからない	24
はじめて電源を入れたら・・・	25
セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった	25
ハードウェアの検出中にパソコンが動かなくなった(フリーズした)	25
セットアップ時に登録した名前や会社名を変更したい	26
キーボードを接続したがうまく動作しない	26
電源を入れたが・・・	27
ディスプレイに何も表示されない	27
Windows 98が起動しない	29
「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示され、 「Enter a choice:」に「3 (3.Safe mode)」が表示された	30
「Windowsが正しく終了されなかったため、ディスク ドライブにエラーがある 可能性があります。」と表示され、自動的にスキャンディスクがはじまった	30
「Invalid system disk」と表示される	30
「Please Insert Another Disk.....」と表示される	31
「Operating System not found」と表示される	31
「Non-system disk or disk error」と表示される	32
カーソルが表示されたきり、なにも表示されない	32
電源を入れてすぐにフロッピーディスクをセットしたが、 しばらくするとハードディスクからWindows 98が起動した	32
電源を入るとピーツと音がする	33
エラーメッセージが表示された	33
パスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される	33
パスワードを忘れてしまった	33
Windows 98のパスワードが表示されないようにしたい	34

スキャンディスクの画面が表示された	34
「Windows 98へようこそ」が起動時に表示されるようにしたい	34
電源を入れるたびに、同じプリンタのドライバをインストールするように メッセージが表示される	34
電源を切ろうとしたが・・・	35
電源が切れない。強制的に電源を切りたい	35
文書を保存しないでアプリケーションを終了した(または、電源を切った)ら、 データが消えた	36
文書作成中に電源を切ってしまった	37
電話回線を使用中のまま、パソコンの電源を切ってしまった	37
コントロールパネルを開いたら・・・	38
コントロールパネルの「システム」,「マルチメディア」,「ネットワーク」を 起動しようとするとメッセージが表示される	38
「プリンタ」ウィンドウで「プリンタ」アイコン(プリンタドライバ)を 削除しようとすると、メッセージが表示される	39
アイコンがおかしい・・・	40
ファイルのアイコンをダブルクリックしたがファイルが開かない	40
ショートカットのアイコンをダブルクリックしたがファイルが開かない	40
アイコンの表示がおかしい	41
スタートメニューに小さいアイコンを表示するように設定したが、再起動すると元に戻っ てしまう	41
画面上のアイコンを移動したいが、元の位置に戻ってしまう	41
コントロールパネルのアイコンがおかしい	42
ランチ-NXにアプリケーションの起動ボタンがない。アプリケーションの起動ボタンを追 加したい	42
アイコンをきれいに並べたい。名前や日付の順に並べ替えたい	43
画面がおかしい・・・	44
ディスプレイの画面の色が部分的におかしい	44
電源を入れてしばらくすると、画面がまっくらになる	45
アニメーション表示ができない	47
タイトルバーにグラデーション表示ができない。表示がおかしい	47
画面が流れるように表示される	48
Windowsの終了時の選択画面の背景などが乱れる(コンパクトタイプ、ミニタワータイ プにセットの液晶ディスプレイの場合)	48
画面の一部が切れていて見えない	48
「スタート」ボタンがない。タスクバーがない	48
タスクバーの幅を変えたが、再起動すると元に戻ってしまう	49
タスクバーが2段になってしまう	50
タスクバーにランチ-NXがない。ランチ-NXを起動したい	50
タスクバーを「自動的に隠す」にしたが、再起動すると元に戻ってしまう	50
画面にランチ-NXが表示されない	50
画面の表示位置やサイズがおかしい	51
MS-DOSプロンプト画面がフルスクリーンになった。元に戻したい	54
ウィンドウが画面から切れて操作できない	54
使っていたウィンドウが見えなくなった	54
「システムのプロパティ」にデバイスマネージャやハードウェアプロファイルの 画面がない	55
マウスポインタ(矢印)の動きが遅い、速い	55
画面の色がおかしい	56
画像がぼやけたように表示される (VC40D/5、VE40D/5、VC35D/5、VE35D/5、VM45D/5、VM40D/5の場合)	56

「チャンネルバーを起動時に表示」のチェックをはずしたのに、 起動時にチャンネルバーが表示される	57
最小化したヘルプが元に戻ってしまう	57
画面の設定を変えようとしたら・・・	58
ディスプレイの省電力機能が設定できない	58
「新しい設定でコンピュータを再起動する」を選択して「OK」ボタンをクリックしたが、 再起動できない	59
「ディスプレイの種類が指定されていません...」というメッセージが表示される	59
表示できるはずの高解像度を選べない	60
チャンネルバーがなくなった	62
チャンネルバーなどを消して、アクティブデスクトップを使わないようにしたい	62
画面の解像度や表示色を変更したい	63
フォルダに壁紙(背景)をつけたい	63
デスクトップの壁紙(背景)を変更したい	64
画像ファイルを縮小表示したい	64
デスクトップ テーマの設定項目を自由に組み合せたい。変更した設定を保存したい	65
画面の一部を拡大表示したい	66
ファイル、フォルダがおかしい・・・	67
ファイルが開かない	67
ファイルが見つからない	68
ファイルが読みこめない	68
必要なファイルを消してしまった	68
CD-ROMからコピーしたファイルを上書きできない	69
複数のフォルダやファイルの容量の合計を知りたい	69
長いファイル名をつけられない。表示できない	70
ファイル名を変更できない。ファイル名をつけられない	71
ファイルの拡張子が表示されない	71
Windowsフォルダをクリックしても内容が表示できない	72
文書を保存せずにアプリケーションを終了した(または、電源を切った)ら、 データが消えた	72
文書作成中に電源を切ってしまった	72
フォルダを開くと元のフォルダのウィンドウがなくなる	72
JPEGファイルが見つからない、利用できない	73
音がおかしい・・・	74
異常な音がする	74
音が出ない、音が大きすぎる	74
スピーカから「キーン」という音がする(ハウリングを起こす)	77
ヘッドホンから音が聞こえない(モニタータイプの場合)	77
最適な音質で音をききたい	77
別売のマイクロホンを接続したが録音できない	77
音楽CDやビデオCDの再生音が小さい	78
DVD VIDEOディスクの再生音が小さい(DVD-ROMモデルの場合)	78
マウスを動かしても・・・	79
マウスを動かしても、何も反応しない	79
マウスの動きが悪い	79
マウスポインタ(矢印)の動きが遅い、速い	80
ダブルクリックしにくい	81
マウスを左きき用にしたい	81
右クリックを使いこなしたい	82
デバイスマネージャの「PS/2 互換マウス ポート」に黄色い「！」がついている	83

システム情報の「コンポーネント」-「問題のあるデバイス」に 「PS/2 互換マウス ポート」が表示されている	83
文字を入力しようとしたら・・・	84
キーボードのキーを押しても、何も反応しない	84
キーボードで押したキーと違う文字が表示される	85
テンキーを押しても数字を入力できない	86
メモ帳を使っていたら「メモリ不足のため、この作業を実行できません。アプリケーション をいくつか終了してから、やり直してください。」と表示された	86
ひらがなや漢字の入力(日本語入力)ができない	86
コントロールパネルの「キーボード」で日本語、英語以外の言語を標準に設定できない	86
再変換機能が使えない	86
「～」(チルダ、ニョロ)を入力したい	87
「_」(アンダースコア、アンダーバー)を入力したい	87
「\」(バックスラッシュ)を入力したい	87
記号などで入力できない文字がある	87
変換できない漢字、記号がある	89
ローマ字入力から、かな入りに切り替えたい	89
キーを押し続けたときの文字の入力の速度を変えたい	90
郵便番号7桁辞書を使いたい	90
ファイルを保存しようとしたら・・・	94
保存できない	94
ファイル名の後ろに、入力していない文字(「.jtd」「.doc」など)がつく	95
長いファイル名をつけられない	96
インターネットしようとしたら・・・	97
接続できない	97
「発音音が聞こえません。」と表示された	100
「接続ケーブルまたは回線がモデムに正しく接続されていないか、 モデムの電源が入っていません」と表示された	100
「回線はビジーです。」と表示された	101
「ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません。」と表示される	101
「回線が混雑しているか、電話回線使用のお客様は、トーン/パルス、外線発信番号("0") の設定、ISDN回線使用のお客様は、同期/非同期設定に誤りがあります」と表示される	101
外線発信番号が必要な場所でうまく接続できない(内線を使いたい)	102
モデムの音を調整したい	103
モデムで電話ができるか確認したい	103
ダイヤラでダイヤルできない	104
デスクトップに「Internet Explorer」と「Outlook Express」のアイコンを 表示させたい	104
デスクトップの「オンラインサービス」にある、BIGLOBE、AOL、ニフティサーブへの 入会用のアイコンと、「ランチ-NX」や「スタート」メニューに登録されているBIGLOBE、 AOL、ニフティサーブへの入会用のアイコンの名称が違うが、どれを使ったらよいのか 知りたい	104
「お気に入り」や「チャンネルバー」をクリックしたが、インターネット接続ウィザードが 表示された	105
インターネット無料体験が接続できない	105
「要求されたこのURLはオフラインでは利用できません。」と表示される	105
Internet Explorerや関連製品に関するサポート技術情報について知りたい	106
Windows Updateができない	106
ISDNターミナルアダプタを使っていて、「ダイヤル先のコンピュータが応答しません、 接続のアイコンをダブルクリックしてやり直してください」と表示される	106
ISDNターミナルアダプタを使っていたら、「ダイヤル先のコンピュータは、ダイヤルアップネット ワーク接続を確立できません。パスワードを確認してからやり直してください。」と表示された	107

ISDNターミナルアダプタで、接続はできるが、ホームページを開けない	107
電子メールしようとしたら・・・	108
接続できない	108
文字がおかしくなったり、データの送受信中にエラーが発生する	111
送った電子メールが文字化けしているといわれた	111
電子メールが送れない	113
受信した電子メールが文字化けする	114
ファイルを添付した電子メールを送信したが、文字化けしているといわれた	114
ファイルを添付した電子メールがうまく送れない	114
ファイルを添付した電子メールを受信したが、うまく開けない	115
Outlook Expressで電子メールの送受信をしたら、インターネットの接続が 解除されてしまう	115
Outlook Expressを起動したときにダイヤルアップ接続されないようにしたい	116
パソコン通信しようとしたら・・・	117
パソコン通信できない	117
接続できない	119
「モデムが応答しません」と表示される	120
文字がおかしくなったり、データの送受信中にエラーが発生する	120
自動発着機能が作動しない	120
FAXを使おうとしたら・・・	121
FAXを自動受信できない	121
電話をFAXとして受信してしまう	122
内蔵FAXモデムを4線式の回線につなぎたい	122
FAXモデムのダイヤル音を小さくしたい	122
FAX受信中に回線が切断されてしまう	122
内蔵FAXモデムに外付け電話機を接続したが、発信音がしない	123
FAX送受信すると、正しいサイズでやりとりできない	123
ISDNターミナルアダプタを使ってFAXの送受信機能が使えない	123
ISDNターミナルアダプタを使ってFAXの送信はできても受信ができない	123
ISDNターミナルアダプタを接続したらFAX-NXが使えなくなった	124
印刷しようとしたら・・・	126
プリンタから印刷できない。プリンタから意味不明の文字(文字化けした文字)が印字される	126
PC-9800シリーズ用のプリンタケーブルを使いたい	127
「FAX送信」、「新しいメッセージの作成」など、 プリンタからの印刷とは関係のないウィンドウが開いた	127
フロッピーディスクを使っていたら・・・	128
「マイコンピュータ」の3.5インチFDをダブルクリックしたが、 フロッピーディスクの内容が表示されない	128
フロッピーディスクの読み込みはできるが、書き込みができない	129
フロッピーディスクに飲み物をこぼしてしまった	129
このパソコンに添付のフロッピーディスクを修復したい	130
フロッピーディスクをフォーマットしたい	130
フロッピーディスクを誤ってフォーマットしてしまった	130
ディスクコピーができない	131
MS-DOSプロンプトのDISKCOPYコマンドを使ってディスクコピーできない	131
1.2Mバイトでフォーマット済みのフロッピーディスクをドライブスペースで 圧縮できない	131
ハードディスクを使っていたら・・・	132
ハードディスクの空き容量が足りない	132
ハードディスクの空きがどのくらい残っているか知りたい	133

ファイルをゴミ箱に捨てても、ハードディスクの空き容量が増えない	134
領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない	134
ハードディスクを増設したい	134
ハードディスクを増設したが、2Gバイト程度しか領域確保できない	134
2つの領域にわかれている内蔵ハードディスクを1つの領域にしたい	135
スキャンディスクを実行するとリトライ(再試行)をくりかえし、 エラーメッセージが表示され終了してしまう	135
スキャンディスクで完全チェックを行うと、メッセージが表示されスキャンディスクが 中断される	136
CD-ROM、DVD-ROM(DVD VIDEOディスク)を使っていたら・・・	137
CD-ROMドライブ、DVD-ROMドライブのディスクトレイを出し入れできない	137
「Q:¥にアクセスできません。」と表示される	137
「ドライブQ:のCD-ROM読みとりエラー」と表示される	138
CD-ROMをセットしても自動起動しない	138
DVDプレーヤを使おうとすると、エラーが出て再生できない	138
音楽CDをセットしても「プレーヤ-NX」が自動起動しない	139
CD-ROMをセットしたときに自動起動しないようにしたい	139
CD-ROMのデータを読み出せない。音楽CDの再生中に音飛びする	139
再生中の動画がとぎれる。なめらかに再生されない	140
動画の再生中に画面が消えてしまう	140
CD-ROMドライブ、DVD-ROMドライブのドライブ番号を変えたい	140
MS-DOSモードでCD-ROMドライブ、DVD-ROMドライブを使いたい	141
添付されていたCD-ROMが使えなくなった。こわれた	141
赤外線通信しようとしたら・・・	142
赤外線通信できない	142
Intellisyncで赤外線デバイスを有効にしようとしたら、「試みた接続は不正なオペレー ションです。Intellisyncは正しくインストールされていません。続けるには「OK」をク リックして下さい。」と表示された	142
周辺機器を取り付けようとしたら・・・	143
新しく周辺機器を取り付けたらWindows 98が起動しなくなった	143
このパソコンで使える周辺機器の種類を知りたい	144
プリンターケーブルのプラグがパソコン本体の平行コネクタに合わない	144
シリアルコネクタ(チャンネル1)に周辺機器のケーブルが合わない	144
電源を入れるたびに、同じプリンタのドライバをインストールするようにメッセージが 表示される	145
ハードディスクを増設したが2Gバイト程度しか領域確保できない	145
98配列キーボードを使いたい	145
キーボードのUSBコネクタに接続した機器が動作しない	145
キーボードのUSBコネクタを抜き差ししたら、何も反応しない	146
このパソコンで使っているIRQ、I/O ポート アドレスなどの状態を知りたい	146
デバイスマネージャの画面が表示できない	147
デバイスマネージャに赤い「×」や黄色い「！」がついている	147
システム情報の「コンポーネント」-「問題のあるデバイス」に 「PS/2 互換マウス ポート」が表示されている	147
デバイスドライバの更新をしたい	148
Windows Update で最新のデバイスドライバをダウンロードして ドライバを更新したい	148
Windows Updateをしたが、以前の状態に戻したい	149
「Windows 98 CD-ROMラベルの付いたディスクを挿入して[OK]をクリックして ください。」というメッセージが表示された	149
「ドライバが見つかりません」と表示されてドライバのインストールができない	150

シリアルコネクタ(チャンネル2)を使いたい(ミニタワータイプの場合).....	151
PCカードが認識されない、正しく動作しない(ボックスレスタイプの場合).....	151
モデムカードやデジタルセルラカード、ISDNアダプタカードなどを使おうとすると、 正常に認識されない(ボックスレスタイプの場合).....	151
アプリケーションを使っていたら・・・	152
アプリケーションが起動しなくなった.....	152
アプリケーションが突然止まった(フリーズした).....	152
文書を保存しないでアプリケーションを終了した(または、電源を切った)ら、 データが消えた.....	153
文書作成中に電源を切ってしまった.....	153
文字を入力できない.....	153
郵便番号7桁辞書を使いたい.....	153
このパソコンで動作するアプリケーションについて知りたい.....	153
Windows 95版のソフトウェアをWindows 98で使いたい.....	154
CyberTrio-NXのモードを変更しようとしたら、「ユーザ別の設定がされています・・・」 と表示された.....	154
アプリケーションを削除したい.....	155
アクセサリを削除したい.....	155
パソコンの電源を入れたときにアプリケーションが自動的に起動するようにしたい.....	155
インストールした別売のアプリケーションや、よく使うアプリケーションを すばやく起動したい.....	157
フルカラーにするようにというメッセージが表示された.....	158
アプリケーションをインストールできない.....	159
ホームページスクラップブックやランチ-NXが使えない.....	160
QuickTime for Windows対応のアプリケーションが正常に動作しない.....	160
「宇宙戦艦ヤマトMaster Edition DVD-ROM」が正常に動作しない (DVD-ROMモデルの場合).....	160
「バーチャファイター2」で遊びたい.....	160
別売のアプリケーションについて知りたい.....	161
このパソコンで使えるOSの種類を知りたい.....	161
再セットアップするときに、インストールするアプリケーションを選びたい.....	161
Windows 3.1対応ソフトが起動しない、使っていたらフリーズした(プログラムが停止した)....	161
Direct Sound機能を使用するアプリケーションがうまく動かない.....	163
メディアプレーヤーを終了しても音楽CDが再生されたままの状態になる.....	164
省電力機能(スタンバイ)を使おうとしたら・・・	165
スタンバイ状態にする前の状態の画面が表示されない.....	165
自動的にスタンバイ状態になってしまう.....	166
スタンバイ状態にならない。「コントロールパネル」の「電源の管理」 で設定してもスタンバイ状態にならない.....	166
スタンバイ状態にしようとしたら「デバイスドライバかプログラムが原因で待機モード に入れません。すべてのプログラムを終了してからもう一度やり直してください。」と 表示された。またはスタンバイ状態にできない.....	167
休止状態にできない.....	167
タイマー機能を使おうとしたら・・・	168
Timer-NXでスタンバイ状態から復帰しない.....	168
Timer-NXで電源が入らない.....	168
Timer-NXで電源を切ったり、スタンバイ状態にできない.....	169
Timer-NXのリング機能で指定したアプリケーションを起動できない.....	169
日付の設定を変えようとしたら・・・	171
日付と時刻を合わせたい.....	171



再セットアップしたが・・・	172
画面にランチ-NXが表示されない	172
その他・・・	173
コンピュータウイルスが検出された	173
Windows 98の機能について知りたい	174
BIOSセットアップメニューの設定値を、購入時の状態に戻せない	174
パソコンの環境を購入時の状態に戻したい	174
電源管理モードを変更したい	175
Windows Updateができない	175
「最近使ったファイル」のファイル名を消したい	175
表示されている画面を印刷したい	176
西暦2000年問題について知りたい	176
キーボードのショートカットキーを知りたい	176
マニュアルをなくしてしまった	177
このパソコンを海外で使いたい	178
このパソコンを廃棄したい	178
テレビやラジオに雑音が入る	178
Windows 98製品版をインストールしたい	178
Windows NT 4.0を使いたい	178
Windows 98 起動ディスクからパソコンを起動したい	179
Safeモードで起動したい	179
他のパソコンとケーブルでつないでデータのやりとりをしたい	180
「パソコン探検箱」を起動するとエラーメッセージが表示される	180
用語がわからない	181
やりたいことが、どのマニュアルに載っているかわからない	181
パソコンのお手入れ	183
パソコンのお手入れ	184
準備するもの	184
電源を切って、電源ケーブルをはずす	185
清掃する	185
マウスのクリーニング	186
添付品の修復、再入手、交換、補修用性能部品	187
フロッピーディスクとCD-ROM	187
ディスプレイ(ディスプレイセットモデルのみ)	187
補修用性能部品の最低保有期間	187
譲渡、廃棄、改造について	188
このパソコンを譲渡するには	188
この製品を廃棄するには	189
このパソコンの改造	189

PART

3



再セットアップするには 191

再セットアップが必要なのは 192

再セットアップが必要なのはこんなときです 192

再セットアップに関する注意 192

標準再セットアップとカスタム再セットアップ 193

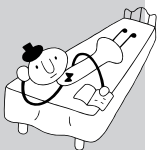
購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ) 194

全領域を1パーティションにして再セットアップする(カスタム再セットアップ).... 207

Cドライブのみ再セットアップする(カスタム再セットアップ) 210

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする(カスタム再セットアップ).... 213

索引 229



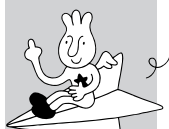
ビギナーのためのパソコン用語集 233



やりたいこと別総索引 253



トラブルチェックシート 269



P A R T

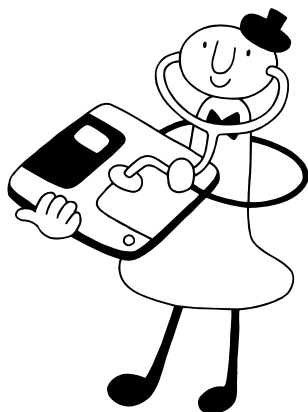
1

トラブル解決 Q&A

パソコンを使っていて、なにかトラブルが起きたときは、ここを読んでください。

「トラブルを解決するには」を読んで、どうしてそうなったかを考え、あてはまる項目を探してください。

なにか疑問があるときも、ここを読んでください。



トラブルを解決するには

トラブルを解決するためには、いくつかのポイントがあります。ひとつひとつ確認しながら進めてください。

1

● 落ちついて対処する

あわてて、電源を切ったり、マウスで何度もクリックしたりしないでください。パソコンがフリーズしたように見えても、アプリケーションなどの処理に時間がかかっているだけのこともあります。しばらく待ってください。

● メッセージが表示されているときは書きとめる

番号や英語など、意味がわからないものも解決の手がかりになることがあるので、紙に書きとめてください。



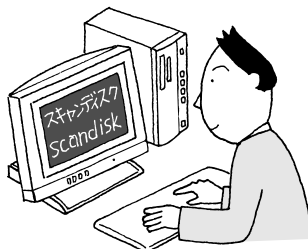
2

● 原因が何か考える

原因になったのが、パソコン本体なのか、周辺機器なのか、アプリケーションなのか、操作の間違いなのか、どのような操作をしてから問題が起きたのか、もっと他の原因なのか考えてください。原因を特定できないことも多いのですが、意外に単純な原因の場合もあります。また原因がわかると対処しやすくなります。

● ハードディスクに関連するトラブルであれば「スキャンディスク」や「システムファイルチェッカー」などを使ってみる

Windows 98やアプリケーションが起動しない、正常に使えない、ファイルが開けないといったトラブルはハードディスクに原因があることがあります。このようなときは「ハードディスクのトラブル予防」(p.11)の「スキャンディスク」や「システムファイルチェッカー」などを行ってください。



✓チェック!!

パソコンから煙や異臭、異常な音が出たり、パソコンやケーブル類に目に見える異常が起きたときは、すぐに電源を切って、電源ケーブル、ACアダプタをコンセントから抜いてください。その後、ご購入元、または『NEC PC あんしんサポートガイド』に記載のサービス窓口にご連絡ください。

3

● 他のマニュアルやパソコン探検箱(p.4) Windows ヘルプ(p.6) Readme ファイルを見る



あなたのトラブルに関連する記述がないか探してください。アプリケーションでトラブルが起きたときは、そのアプリケーションのマニュアルやヘルプ、Readme ファイルをご覧ください。

● 巻頭の「PART1 トラブル解決 Q&A」の目次から、あてはまるトラブルを探す

あなたのトラブルにあてはまる項目があったら、そのページを読んでください。



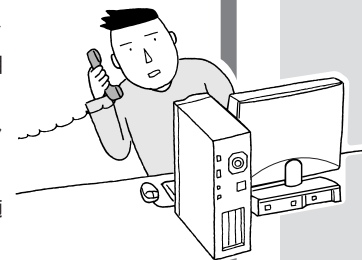
4

● 巻末の「トラブルチェックシート」に記入する

NEC に問い合わせるときは、どんなトラブルかを、「トラブルチェックシート」(p.269)に記入しておいてください。

● 問い合わせる

NEC の問い合わせ先は『NEC PC あんしんサポートガイド』をご覧ください。パソコンとは別に購入した周辺機器やメモリ、アプリケーションに関するトラブルは、その製品の問い合わせ先にご相談ください。パソコンに添付されていたものでも、アプリケーションの問題は、そのアプリケーションの問い合わせ先のほうが適切な回答を得られることがあります。



解決!

用語

フリーズ

どんな操作を行っても、パソコンやアプリケーションが反応しなくなる。アプリケーションが不正な動きをしたり、周辺機器に異常が発生したときなどに起きます。ウィンドウを動かしたり、文字を入力することはできないが、マウスだけは動かせるということもあります。フリーズしたことを、ハングアップした、ストールした、落ちた、固まったなどともいいます。

✓チェック!!

周辺機器に原因があるときは、ひとつずつ取りはずして、トラブルが起きた操作をやり直すと、どれに関連したトラブルなのかがわかります。

用語

Readme ファイル

アプリケーションには、よくReadmeファイルがついていることがあります。そこには、マニュアルやヘルプに掲載していない重要な情報が載っていることがあります。ワードパッドなどのワープロで開いて、読んでください。「Readme」、「Readme.txt」などのほかに、「はじめにお読みください」といったファイル名になっていることもあります。

参照

アプリケーションの問い合わせ先
『ソフトウェア使用条件適用一覧』

パソコン探検箱を活用しよう

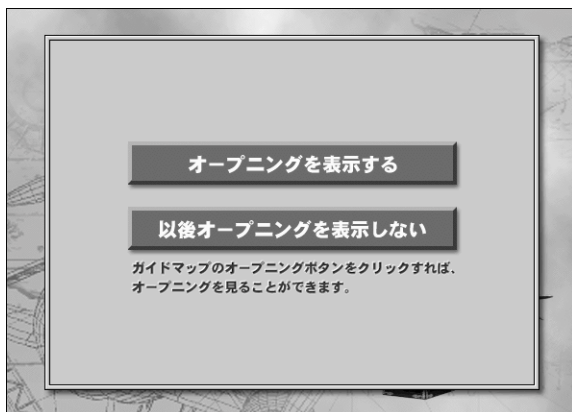
このパソコンには、VALUESTAR NX を使いこなすための、さまざまな情報をまとめた「パソコン探検箱」が用意されています。トラブルが起きたときや困ったときは「PART1 トラブル解決Q&A」とともに「パソコン探検箱」もご覧ください。

「パソコン探検箱」の中身

- ・VALUESTAR を楽しもう
年賀状、FAX の利用、ゲームなど目的別に操作を説明します。
- ・使いこなそう VALUESTAR
FAX-NX、プレーヤ-NXなどのアプリケーションの紹介や使い方を説明します。
- ・マニュアルの利用法
このパソコンに添付されたマニュアルの主な内容を紹介します。
- ・困ったときの Q&A
「おかしいな」と感じたときの基本的な対処の手順を説明します。
- ・お客様サポート窓口一覧
NECのサポート窓口やアプリケーション別のサポート窓口の一覧です。
- ・便利な早見表
タスクトレイにあるアイコンやショートカットキーの説明です。

トラブル解決のときの「パソコン探検箱」の使い方

- 1 「スタート」ボタンをクリックします。
- 2 「プログラム」から「パソコン探検箱」をクリックします。
はじめて、「パソコン探検箱」を起動するとオープニングが表示された後、手順4の「ガイドマップ」ウィンドウが表示されます。2回目からは次のオープニングの表示を選択するウィンドウが表示されます。



- 3 どちらかのオープニングボタンをクリックします。
次に「ガイドマップ」ウィンドウが表示されます。

メモ

「使いこなそうVALUESTAR」の画面



メモ

「パソコン探検箱」はデスクトップの「ガイドマップ」アイコンをダブルクリックしても起動することができます。また、ランチ-NXの「パソコン探検箱」アイコンからも起動することができます。

メモ

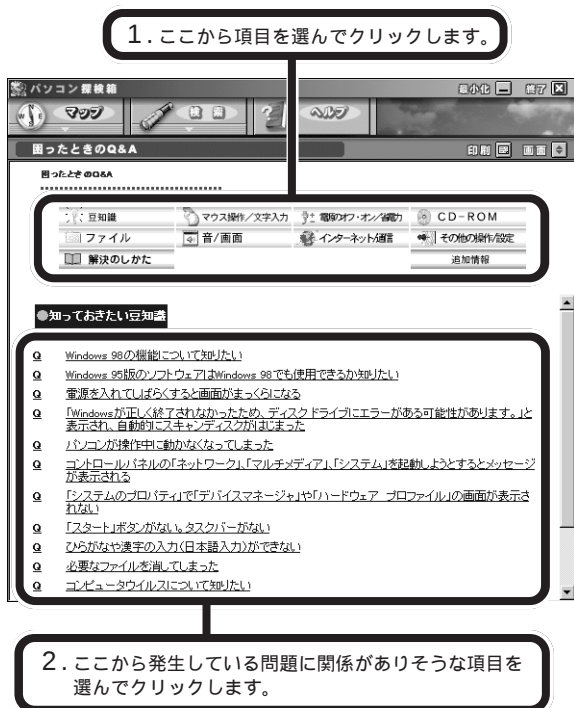
「以後オープニングを表示しない」をクリックすると、次の起動からはすぐに「ガイドマップ」ウィンドウが表示されます。

4 「困ったときのQ&A」をクリックします。



「困ったときのQ&A」ウィンドウが表示されます。

5 分類された項目をクリックし、関係がありそうな項目をクリックして解決策を探してください。

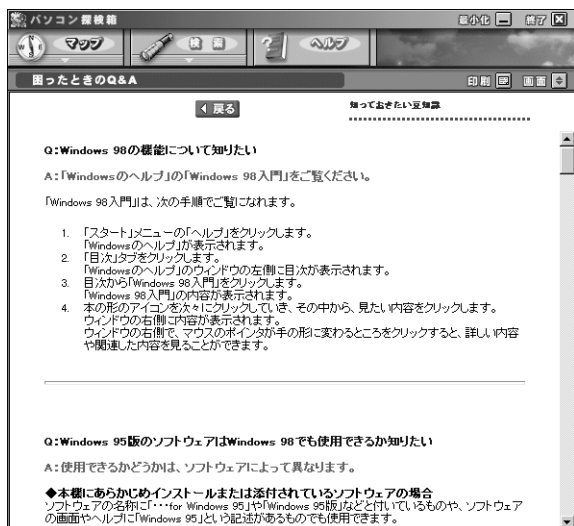


メモ

「解決のしかた」をクリックすると、トラブルが起こったときの対処のしかた、手順について確認することができます。



Q&A 形式のウィンドウが表示されます。

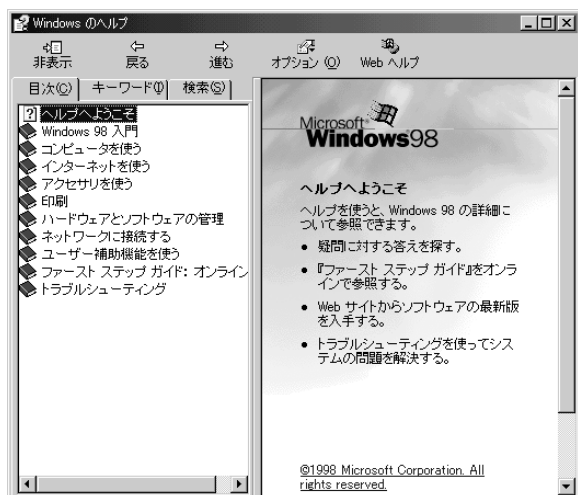


ヘルプツールのご紹介

このパソコンには「パソコン探検箱」の他に次のようなヘルプツールが用意されています。

Windows ヘルプ

「Windows ヘルプ」を見るには、「スタート」ボタンをクリックし、「ヘルプ」をクリックします。



さらに、「目次」タブから「トラブルシューティング」、「Windows 98 のトラブルシューティング」をクリックするとトピックが表示されます。

参照

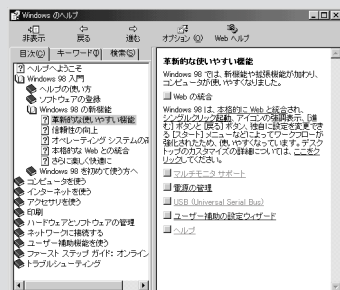
Windows ヘルプの使い方
『STEP3 活用』PART5 の「ヘルプについて」

メモ

Windows ヘルプで調べたい項目を探すには、次の方法があります。

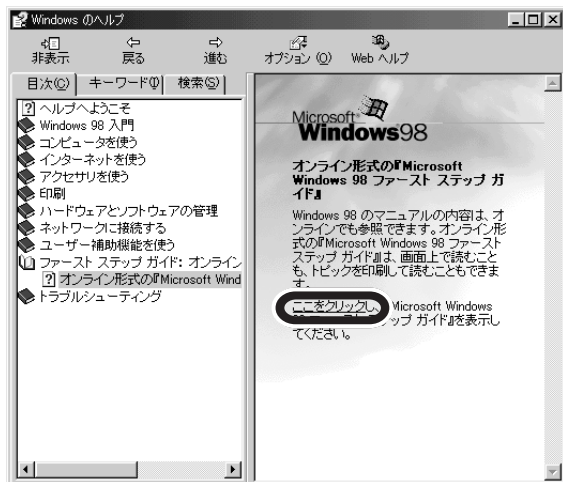
目次で探す

- 1 Windows ヘルプのウィンドウが表示されたら「目次」タブをクリックします。
- 2 調べたいトピックが右側ウィンドウに表示されるまで項目をクリックしてください。



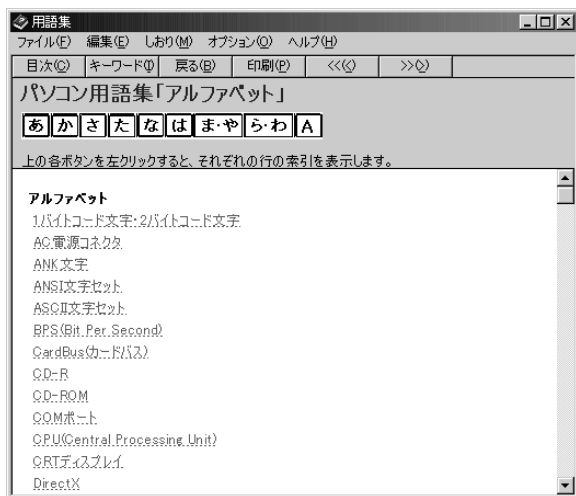
Windows 98 ファーストステップガイド:オンライン版

「Windows 98 ファースト ステップ ガイド オンライン版」を見るには、Windows ヘルプの「目次」タブから「ファースト ステップ ガイド オンライン版」、「オンライン形式の『Microsoft Windows 98 ファースト ステップ ガイド』」をクリックして、右側のウィンドウの中の、「ここをクリック」の順にクリックします。



パソコン用語集

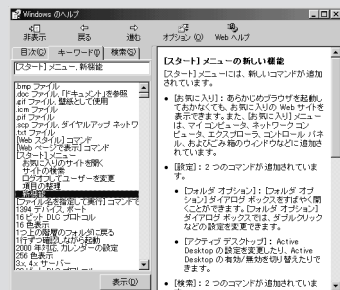
パソコン用語集を見るには「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」から「パソコン用語集」をクリックします。



パソコン用語集はランチ-NXの「ヘルプ&スタディ」からも起動することができます。

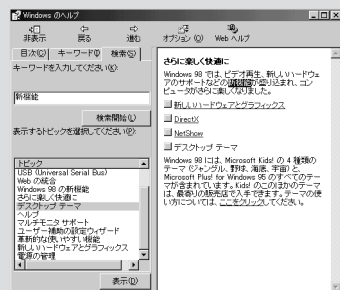
キーワードで探す

- 1 Windows ヘルプのウィンドウが表示されたら「キーワード」タブをクリックします。
- 2 調べたいキーワードをダイアログボックスに入力します。
右側ウィンドウにトピックが表示されます。
- 3 表示したいトピックをクリックし「表示」ボタンをクリックします。
詳細なトピックのウィンドウが表示されます。
- 4 表示したいトピックをクリックし「表示」ボタンをクリックします。



関連するキーワードで検索する

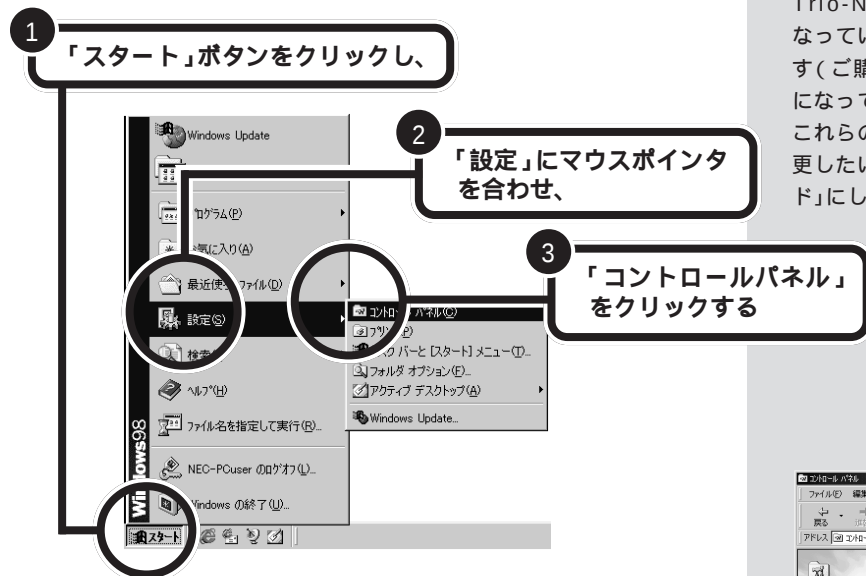
- 1 Windows ヘルプのウィンドウが表示されたら、「検索」タブをクリックします。
- 2 調べたいキーワードをダイアログボックスに入力し「検索開始」ボタンをクリックします。
詳細なトピックのウィンドウが表示されます。
- 3 表示したいトピックをクリックし「表示」ボタンをクリックします。



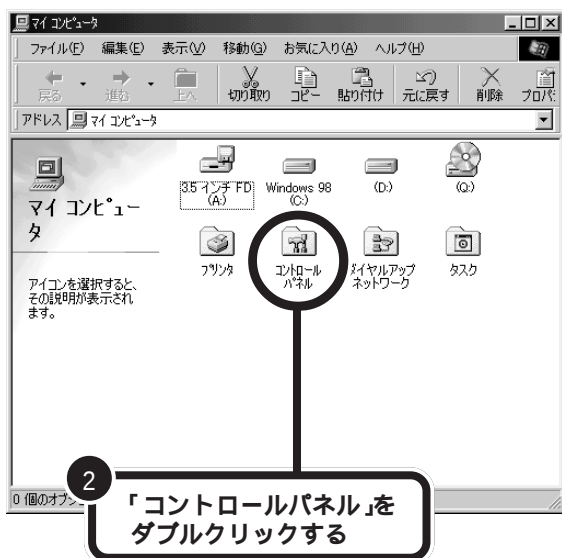
コントロールパネルの開き方

トラブルの解決のために、コントロールパネルを使うことが多いので、ここで、コントロールパネルの開き方を説明します。

コントロールパネルは、次のようにして開きます。



次の方法で開くこともできます。



チェック!

コントロールパネルのアイコンの中には、このパソコンの状態が Cyber Trio-NX で「ベーシックモード」になっていると開けないものがあります(ご購入時は「ベーシックモード」になっています)。

これらのアイコンを開いて設定を変更したいときは、「アドバンスモード」にしてください(p.10)。

コントロールパネル



(画面は実際の画面と異なることがあります)

参照

コントロールパネル→『STEP3 活用』PART5の「コントロールパネルを活用する」

デバイスマネージャを表示する

パソコンの環境を確認したり、周辺機器の設定を変更したいときに見るのがデバイスマネージャの画面です。パソコンの調子がおかしいときに見ると、状況がわかることがあるので、ここでデバイスマネージャの画面の表示のしかたを説明します。

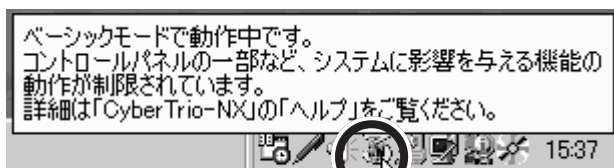
現在のモードを確認する

デバイスマネージャの画面は、このパソコンの状態を CyberTrio-NX で「アドバンスモード」に変更すると表示できます。

「ベーシックモード」でお使いになっているときは、次の「アドバンスモードに切り替える」にしたがって「アドバンスモード」にしてください。ご購入時の状態では、「ベーシックモード」になっています。

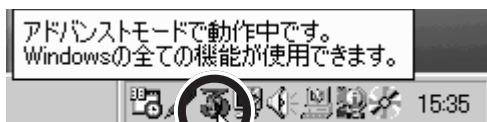
インジケータ領域(タスクトレイ)に表示されているアイコンで現在のモードを見分けることができます。

●ベーシックモードになっているとき



アイコンの色が黄色になっています。
マウスポインタを合わせると「ベーシックモードで動作中…」と表示されます。

●アドバンスモードになっているとき



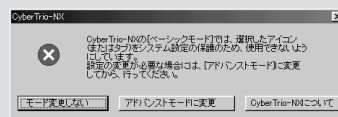
アイコンの色が赤色になっています。
マウスポインタを合わせると「アドバンスモードで動作中…」と表示されます。

参照

CyberTrio-NX → 『リファレンス』
PART1の「Windows98の利用環境の変更 CyberTrio-NX」

チェック!

「ベーシックモード」の状態で「コントロールパネル」の「システム」を起動しようすると、次の画面が表示されます。



「システム」を起動する場合は「アドバンスモードに変更」ボタンをクリックしてください。

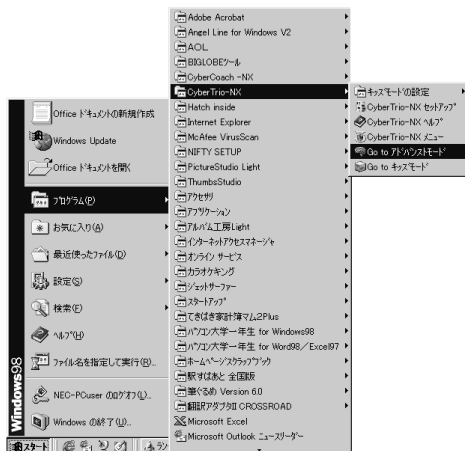
しばらくするとアドバンスモードに切り替わります。

「システム」を起動しない場合は「モード変更しない」ボタンをクリックしてください。

アドバンスモードに切り替える

ベーシックモードから、アドバンスモードにするときは、次のように操作します。

- 1 「スタート」ボタンをクリックします。
- 2 「プログラム」から「CyberTrio-NX」の順にマウスポインタを合わせます。



- 3 「Go to アドバンスモード」をクリックします。
しばらくするとアドバンスモードに切り替わります。

デバイスマネージャの画面を表示する

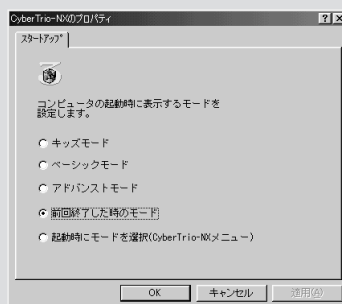
- 1 「コントロールパネル」を開きます。(p.8)
- 2 「システム」をダブルクリックします。
- 3 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
デバイスマネージャの画面が表示されます。



チェック!!

CyberTrio-NX では、次に起動するときにどのモードにするかを選ぶことができます。

「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」, 「CyberTrio-NX」の順にマウスポインタを合わせ、「CyberTrio-NX セットアップ」をクリックします。
次の画面が表示されます。



選みたいモードの  をクリックして  (オン) にして「OK」ボタンをクリックします。

チェック!!

デバイスマネージャでの設定が完了したあとは、「ベーシックモード」に戻して、お使いいただくことをおすすめします。

ハードディスクの トラブル予防

「困った!」ことにならないためには、日ごろからシステムツールでハードディスクをメンテナンスしましょう。

Windows 98 が突然動かなくなった、アプリケーションがおかしくなった、など重大なトラブルに陥らないためには、日ごろのハードディスクのメンテナンスが重要です。ここではハードディスクを安全・確実に使いつづけるためのシステムツールについて説明します。

トラブル予防の設定手順

このパソコンにあるシステムツールやワクチンソフトウェアの標準的な設定手順です。

- 1 ハードディスクの空きを確認する(p.11)
- 2 「ハードディスクのトラブル予防」でシステムツールの概要を確認する(p.12 ~ 21)
- 3 「メンテナンスウィザード」でシステムツールの設定をする(p.19)
- 4 ワクチンソフトウェア「VirusScan」の設定をする
「VirusScan」については『リファレンス』PART1の「ウイルスの検査と駆除<VirusScan>」をご覧ください。
- 5 必要に応じて「バックアップ機能」で大切なデータを保存できるように設定する(p.20)

まずは、ハードディスクの空き容量を確認

システムツールを使う前にハードディスクの空き容量を確認します。Windows 98 を問題なく使うためには十分な空き容量が必要です。空き容量が不足してくると、ファイルの読み書きやアプリケーションの起動に時間がかかるばかりでなく、最後にはハードディスク自体が動作しなくなってしまいます。

Windows 98がインストールされているハードディスク(Cドライブ)の空き容量は最低100Mバイト以上、確保しておいてください。また、ハードディスクの空き容量が不足したら、ハードディスクドライブを増設したり、不要なファイルを削除してください。

ハードディスクの空き容量を確認するには

- 1 デスクトップ左上の「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「Windows 98(C:)」アイコンにマウスポインタを合わせ右クリックします。

メモ

トラブルの予防にはシステムツールのほかに VirusScan などのウイルスソフトウェアによる定期的なハードディスクの検査も大切です。VirusScan については『リファレンス』PART1の「ウイルスの検査と駆除<VirusScan>」をご覧ください。

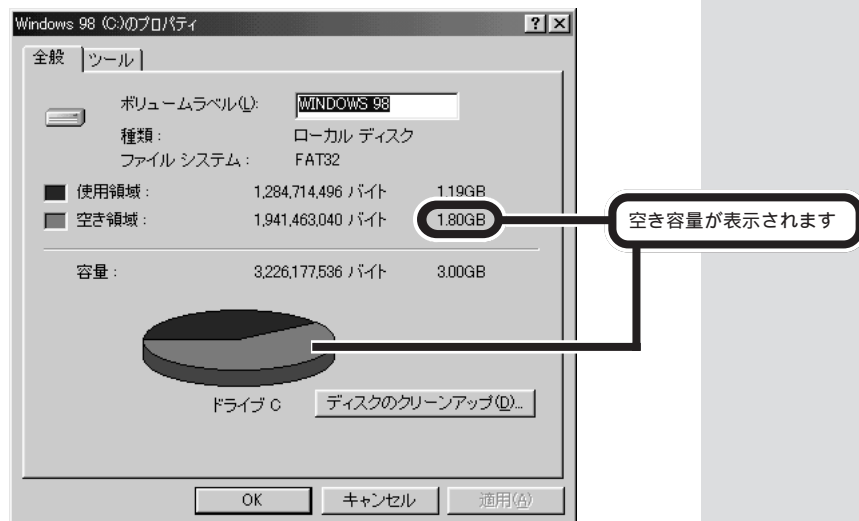
参照

ウイルス駆除をするワクチンソフトウェア「VirusScan」について→『リファレンス』PART1の「ウイルスの検査と駆除<VirusScan>」

参照

ハードディスクの増設→『拡張の手引き』の「PART7 ハードディスクを増設する」(コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合)、PART6 ハードディスクを増設する」(ボックススレスタイプの場合)
不要なファイルを削除→「ハードディスクの空き容量が足りない」(p.132)

- 3 表示されたメニューから「プロパティ」をクリックします。
「Windows 98 (C:)のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



ハードディスクのトラブルを予防するシステムツール

このパソコンには、次のようなハードディスクのトラブルを予防するシステムツールが用意されています。

- ・スキャンディスク
Windows 98 が正常に終了できなかったときなどにハードディスク上の損傷や管理情報の検査、修復を行います。
- ・デフラグ
ハードディスクのデータを整理させてファイル処理を高速化します。
- ・ディスククリーンアップ
ハードディスクの不要なファイルを自動的にまとめて削除します。
- ・システムファイルチェッカー
システムファイルの損傷の検査、修復をします。
- ・メンテナンスウィザード
システムツールやアプリケーションを指定した曜日、時刻に定期的に行うできるように設定します。
- ・バックアップ機能
ハードディスクの大切なデータを圧縮して予備データの作成をします。

参照

システムツールのより詳しい操作について→『Windows 98 ファーストステップガイド』、Windows 98 のヘルプ、または『リファレンス』PART4 の「ハードディスク」をご覧ください。

チェック!

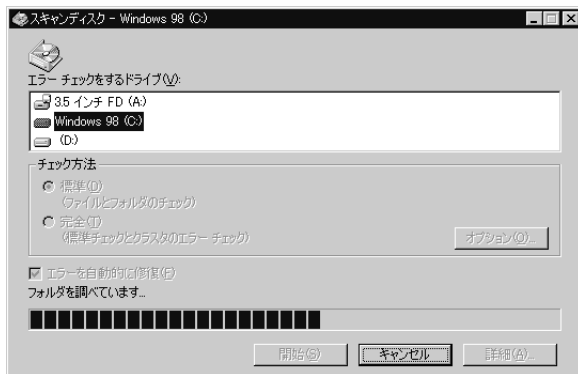
システムツールを使って、重大な問題が発見されたというメッセージが表示されたときは、再セットアップを行ってください。

スキャンディスク

ハードディスクに関連するトラブルが起きたときは、「スキャンディスク」がハードディスクに問題点がないかをチェックして、問題があった部分を修復することができます。ハードディスクの修復できるエラーが原因であれば、トラブルは解決します。また、「メンテナンスウィザード」(p.19)を利用すると、スキャンディスクが定期的に行われるように設定できます。

Windows 98 が起動するとき

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の順にクリックし、「スキャンディスク」をクリックします。
「スキャンディスク」ウィンドウが表示されます。
- 2 「エラーチェックをするドライブ」から、チェックしたいドライブをクリックします。
- 3 「チェック方法」の「標準」の  をクリックして  (オン) にします。
- 4 「エラーを自動的に修復」の  をクリックして  (オン) にします。
- 5 「開始」をクリックします。
ハードディスクのチェックが始まります。



ハードディスクのチェックが終わると、「結果レポート」が表示されます。

- 6 「閉じる」ボタンをクリックします。
スキャンディスクの操作はこれで終わりです。

Windows 98 が起動しないとき

- 1 パソコン本体の電源を入れます。
- 2 NEC ロゴが表示されたら、「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されるまで【Ctrl】キーを押し続けます。
「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されます。

参考

スキャンディスクについて → 『リファレンス』PART4 の「ハードディスク」

チェック!

ハードディスクにトラブルが起きたときは、「スキャンディスク」が自動的に起動します。

チェック!

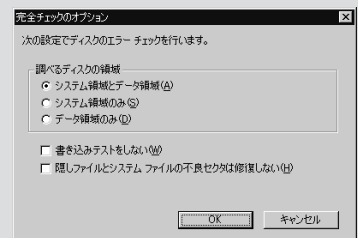
トラブルを予防するために、毎日 1 回、または、週に 1 回など、定期的に「スキャンディスク」でハードディスクをチェックすることをおすすめします。

チェック!

スキャンディスクなどのシステムツールを使うときは、まえもって起動中のアプリケーションを終了させてください。

メモ

「チェック方法」の「完全」  をクリックして  (オン) にし「オプション」ボタンをクリックすると、さらに詳細な設定を行うことができます。



3 【↓】キー、【↑】キーを使って「6.Safe mode command prompt only」を選んで【Enter】キーを押します。

「キーボードのタイプを判定します。」と表示されます。

4 【半角 / 全角】キーを押します。

5 キーボードで次の順にキーを押します。

【S】【C】【A】【N】【D】【I】【S】【K】【Enter】

ハードディスクのチェックが始まります。

エラーが発見されたときは、メッセージが表示されますので、修復を実行してください。「ファイルに変換する」などを選びます。

「クラスタスキャンを実行しますか？」というメッセージが表示されます。

6 【←】キー、【→】キーを使って「いいえ」を選び、【Enter】キーを押します。

7 【X】キーを押します。

スキャンディスクの操作はこれで終わりです。電源スイッチを押して、電源を切り、もう一度、電源スイッチを押して、電源を入れます。

チェック!!

スキャンディスクを行っても Windows 98 が起動しないときや、重大な問題が発見されたというメッセージが表示されたときは、再セットアップを行ってください。

参照

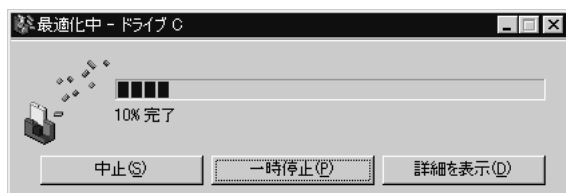
再セットアップ→「PART3 再セットアップするには」(p.191)

デフラグ

パソコンを使っていくとデータの断片化が進み、ファイルの読み書きやアプリケーションの立ち上げに時間がかかるようになります。「デフラグ」はハードディスクのデータをそれぞれまとめて保存し直し、配置を最適化します。「デフラグ」を実行すれば、断片的になっていたデータが連続したデータになりますのでデータの読み出しが高速化され、ハードディスクを効率的に使うことができます。

デフラグを実行するには

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」,「アクセサリ」,「システムツール」の順にクリックし、「デフラグ」をクリックします。
「ドライブの選択」ウィンドウが表示されます。
- 2 ボタンをクリックして、最適化したいドライブを表示されたメニューから選択します。
通常は「ドライブC」を選択します。
- 3 「OK」ボタンをクリックします。
デフラグが実行されます。



- 4 「最適化の完了」を知らせるウィンドウが表示されますので「はい」ボタンをクリックします。
デフラグの操作はこれで終わりです。

参照

デフラグについて→『リファレンス』PART4の「ハードディスク」

✓チェック!!

デフラグを実行してデータの最適化が終了するまでの時間は、ハードディスクの状態によって、30分以上かかることがあります。

✓チェック!!

デフラグなどのシステムツールを使うときは、まえもって起動中のアプリケーションを終了させてください。

✕モ

「設定」ボタンをクリックすると、さらに詳細な設定ができます。

✓チェック!!

「最適化中」ウィンドウが表示されている間は、フロッピーディスクやCD-ROMなどの入れ替えは行わないでください。

✓チェック!!

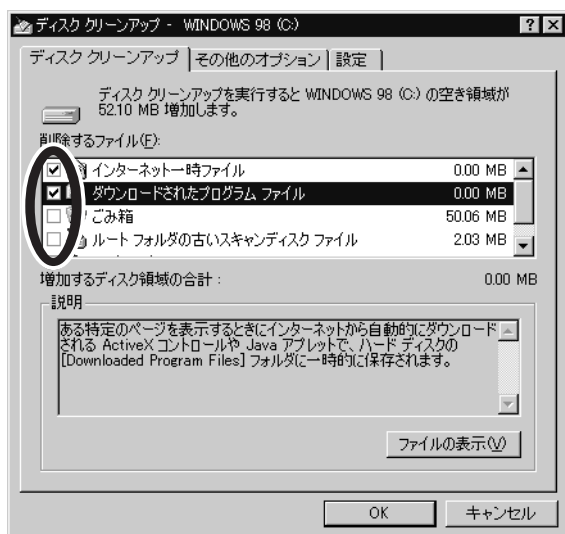
選択したドライブにエラーがあるときは、デフラグは実行できません。スキャンディスクを実行してエラーを解決してください。

ディスククリーンアップ

パソコンを使っていると知らないうちに不要なファイルがハードディスクにたまっていきます。例えば、ごみ箱に捨てたファイルやインターネットの一時保存ファイル、一時作業ファイルなどです。「ディスククリーンアップ」はこれらの不要なファイルを簡単に削除でき、ハードディスクの空き容量を増やすことができます。

ディスククリーンアップを実行するには

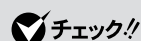
- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」→「アクセサリ」→「システムツール」の順にクリックし、「ディスククリーンアップ」をクリックします。
「ドライブの選択」ウィンドウが表示されます。
- 2  ボタンをクリックして、ドライブを選択して、「OK」ボタンをクリックします。
「ディスククリーンアップ」ウィンドウが表示されます。
- 3 「ディスククリーンアップ」タブをクリックします。
- 4 「削除するファイル」の ☐ をクリックし ☒ (オン) にして、削除したいファイルを選びます。



- 5 「OK」ボタンをクリックします。
「ファイルを削除しますか？」というメッセージが表示されます。

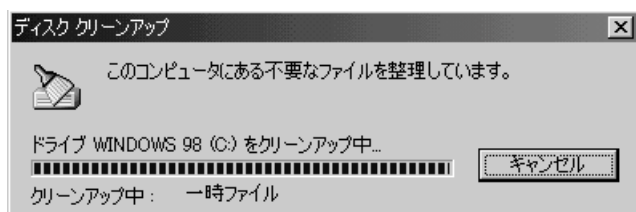


ディスククリーンアップについて
『リファレンス』PART4 の「ハードディスク」



ディスククリーンアップなどのシステムツールを使うときは、まえもって起動中のアプリケーションを終了させてください。

- 6 「はい」ボタンをクリックします。
ディスククリーンアップが実行されます。



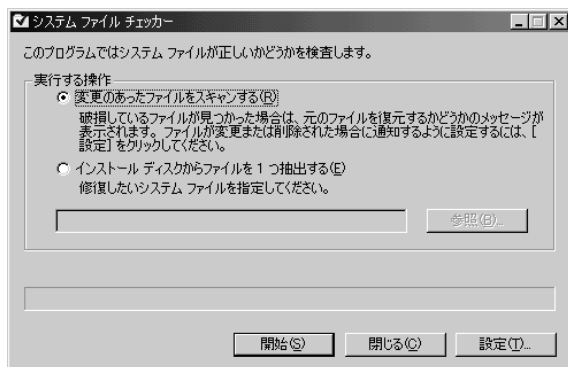
ディスククリーンアップの操作はこれで終わりです。

システムファイルチェッカー

Windows 98 の動作が不安定になったら、システム関係の重要なファイルにトラブルが起きていることが考えられます。「システムファイルチェッカー」を使うと、システムファイルの問題を調べ、異常のあるファイルに関しては修復することができます。

システムファイルチェッカーを実行するには

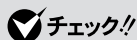
- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」,「アクセサリ」,「システムツール」の順にクリックし、「システム情報」をクリックします。
「Microsoft システム情報」ウィンドウが表示されます。
- 2 メニューバーの「ツール」から「システムファイルチェッカー」をクリックします。
「システムファイルチェッカー」ウィンドウが表示されます。



以降は画面にしたがって設定します。



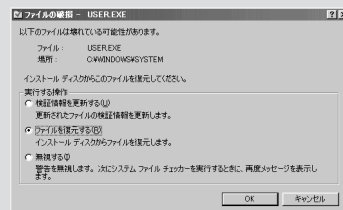
システムファイルとは「.dll」,「.com」,「.vxd」,「.exe」,「.drv」,「.ocx」,「.inf」などの拡張子がついたファイルのことです。



システムファイルチェッカーなどのシステムツールを使うときは、まえもって起動中のアプリケーションを終了させてください。



ご購入直後の状態であっても、システムファイルチェッカーを実行すると「USER.EXEのファイルが壊れている可能性があります。」の旨のメッセージが表示されることがあります。



実際にはファイルは壊れていません。この場合は、次の操作をしてください。

1. 「ファイルを復元する」を選んで「OK」ボタンをクリックします。
「ファイルの復元」ウィンドウが表示されます。
2. 「復元元」に「C:\WINDOWS\OPTIONS\CABS」と入力します。
3. 「ファイルの保存先」が「C:\WINDOWS\SYSTEM」になっていることを確認して、「OK」ボタンをクリックします。
「バックアップ ファイル」ウィンドウが表示されます。
4. バックアップファイルを作る場合は、ファイルの保存先を指定して「OK」ボタンをクリックします。
バックアップファイルを作らない場合は、「スキップ」ボタンをクリックします。
「システム ファイルのスキャンが終了しました。」と表示されます。
5. 「OK」ボタンをクリックします。
再起動を促すメッセージが表示されます。
6. 「はい」ボタンをクリックします。
Windows 98 が再起動します。

メンテナンスウィザード

ハードディスクをトラブルから予防するためには、日ごろから定期的にシステムツールでメンテナンスすることが大切です。「メンテナンスウィザード」を使えば、スキャンディスク、デフラグ、ディスククリーンアップなどのシステムツールを定期的に行うように、簡単な操作で、設定できます。

設定されたシステムツールは、「タスク」に登録されます。ここでタスクに登録された日時や曜日は「タスクウィザード」で変更できます。

スケジュールを設定する

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」、「システムツール」の順にクリックし、「メンテナンスウィザード」をクリックします。

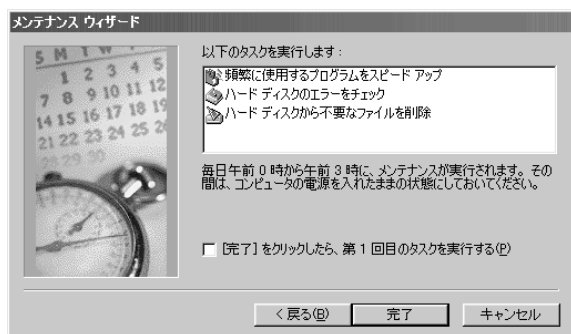
「メンテナンスウィザード」ウィンドウが表示されます。

- 2 「実行する操作」の「標準」の  をクリックして、 (オン)にして、「次へ」ボタンをクリックします。

「メンテナンス スケジュールの選択」ウィンドウが表示されます。

- 3 「タスクを実行する時間帯を選択してください」から実行する時間帯の  をクリックして、 (オン)にして、「次へ」ボタンをクリックします。

次のウィンドウが表示されます。



- 4 「完了」ボタンをクリックします。

これでメンテナンスウィザードによるタスクの設定は終了です。

今すぐトラブルを解決する

トラブルが起こったときに、メンテナンスウィザードで設定したシステムツールを使って、今すぐトラブルを解決したいときには、次の操作にしたがってください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」、「システムツール」の順にマウスポインタを合わせて、「メンテナンスウィザード」をクリックします。

「実行する操作」を選択するウィンドウが表示されます。

参照

メンテナンスウィザードについて→『リファレンス』PART4 の「ハードディスク」

参照

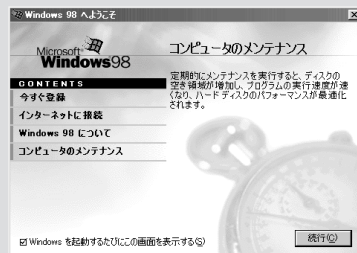
タスクウィザードについて→ Windows ヘルプで「タスクウィザード」をキーワードに検索してください。

メモ

- ・「実行する操作」の「カスタム」の  をクリックして、 (オン)にして、「次へ」ボタンをクリックすると詳細な設定を行うことができます。
- ・すでにスケジュールが設定されている場合は、「実行する操作」を選択するウィンドウが表示されます。この場合、「メンテナンスのスケジュール設定を変更する」の  をクリックして  (オン)にしてから、「OK」ボタンをクリックします。

メモ

メンテナンスウィザードは「Windows 98 へようこそ」の「コンピュータのメンテナンス」をクリックして起動することもできます。



- 2 「今すぐメンテナンスを実行する」の  をクリックして  (オン) にしてから、「OK」ボタンをクリックします。
設定したシステムツールが実行されます。

バックアップ機能

トラブルが起こったときにシステムツールを使って解決できても、自分が作成した文書ファイルや表計算ファイルなどの大切なデータが破損して使えなくなることがあります。大切なデータはこまめにハードディスクやフロッピーディスクに保存しておくことが重要です。

「バックアップ ウィザード」を使うと、バックアップ作業を効率的に行うことができます。例えば、フロッピーディスクに入らないファイルをフロッピーディスク数枚に分けてバックアップしたり、ハードディスクのすべてのファイルを圧縮してハードディスクや外付けのMOにバックアップすることが簡単にできます。また、バックアップしたファイルは自動的にもとの場所に復元することもできます。

バックアップファイルを作成する

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」, 「アクセサリ」, 「システムツール」の順にクリックし、「バックアップ」をクリックします。

「Microsoft Backup」ウィンドウが表示されます。

- 2 「新規バックアップ ジョブの作成」の  をクリックし  (オン) にして、「OK」ボタンをクリックします。

「バックアップ ウィザード」ウィンドウが表示されます。



以降は画面にしたがって設定します。

チェック!!

バックアップ機能などのシステムツールを使うときは、まえもって起動中のアプリケーションを終了させてください。

バックアップファイルを復元する

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」, 「アクセサリ」, 「システムツール」の順にクリックし、「バックアップ」をクリックします。
「Microsoft Backup」ウィンドウが表示されます。
- 2 「バックアップの復元」の  をクリックし  (オン) にして、「OK」ボタンをクリックします。
「復元ウィザード」ウィンドウが表示されます。



以降は画面にしたがって設定します。

パソコンが こわれそう…

パソコンの内部から、カリカリと物をひっかくような音がしたり、ガガガとひっかかるような音がしたときなど、異常と思われることが起きたら、ここをご覧ください。

パソコンの様子がおかしい。煙や異臭、異常な音がしたり、手でさわれないほど熱い。パソコンやケーブル類に目に見える異常が生じた

すぐに電源を切って、電源ケーブル、ACアダプタのプラグをコンセントから抜き、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

キーボードに飲み物をこぼしてしまった

「PART2 パソコンのお手入れ」(p.183)にしたがって、やわらかい布などで拭き取ってください。

キーとキーの間に入ってしまったときは、水分が乾くのを待ってからお使いください。

乾いたあとで、キーを押しても文字が入力されないなどの不具合があるときは、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

パソコンを使っているとカリカリと変な音がする

パソコンの電源を入れた状態でなにも作業をしていないときに、ハードディスクが勝手に動作することがあります。これはパソコンが自動的にデータの保存などの作業をしているためであり問題はありません。

ただ、空き容量が少ないときや、データの断片化が激しいときは、ハードディスクの動作に負担がかかり、ハードディスクのアクセス音がしばらく続くことがあります。このようなときは「デフラグ」(p.15)や「ディスククリーンアップ」(p.16)を実行してください。

それでも、あまりにも異常な音がするときや、このような状態が頻繁に続くときは、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

メモ

このパソコンを安全に使うための注意事項を『安全にお使いいただくために』に記載しています。必ず読んで注意事項を守ってください。

参照

NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』

メモ

ジュースなどをこぼしたときは、きれいに拭き取っても内部に糖分などが残り、キーボードが故障することがあります。また、パソコンのそばで、飲食、喫煙をすると、飲食物やタバコの灰がパソコン内部に入り、故障の原因となります。

参照

NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』

使っていないのにフロッピーディスクドライブの表示ランプが点滅して、音をたてる

フロッピーディスクドライブは、未使用の状態でもモータが作動するように設計されていますので、故障ではありません。

ただ、あまりにも異常な音がするときやこのような状態が頻繁に続くときは、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

参照

NECのお問い合わせ先→『NEC PC
あんしんサポートガイド』

箱を開けて、機器を 接続しようとしたら…

買ってきたパソコンの箱を開けたら、『STEP1 接続と準備』をご覧になり、パソコンを使えるように接続してください。

足りないものがあった

☹️➡️😊 まず、『はじめにお読みください』をご覧になり、すべての添付品がそろっているか確認してください。

☹️➡️😊 いくつかの添付品がひとつにまとめて包装されていることがあります。ビニール袋などで包装されている添付品をすべて開けてみてください。

それでも添付品が足りないときは、ご購入元にご相談ください。

添付品の接続のしかたがわからない

『STEP1 接続と準備』の「PART2 パソコンを接続する」をご覧ください、接続を行ってください。

 参照

『STEP1 接続と準備』の「PART2
パソコンを接続する」

はじめて電源を入れたら…

買ってきて、はじめてパソコンを使うときは、まず、設定などの作業が必要です。

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

電源スイッチを押して電源を入れてください。場合によってはスキャンディスクが自動的に始まります。

スキャンディスクで異常が発見されなかったときやスキャンディスクが実行されなかったときは、名前を入力する画面が表示されます。そのままセットアップを続けてください。スキャンディスクで異常が発見されたときは、画面の指示にしたがってください。

問題が解決したら、名前を入力する画面が表示されます。

そのままセットアップを続けてください。

スキャンディスクの結果、システムに重大な問題が発見されたことを伝えるメッセージが表示されたときは、再セットアップを行ってください。

ハードウェアの検出中にパソコンが動かなくなった(フリーズした)

Windows 98のセットアップでは、正常に処理が行われていても、数分～十数分間、画面が止まったようになることがあります。画面が止まったように見えてもすぐに電源を切らないでください。

十数分待っても画面の表示が変わらないときや、十数分間ハードディスクアクセスランプが点滅しないときは、電源スイッチを約4秒以上押し続けて強制的に電源を切り、5秒以上待ってから、もう一度電源スイッチを押して電源を入れます。再起動後、「セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった」と同じ手順で操作してください。

参照

『STEP1 接続と準備』の「PART3 電源を入れてパソコンを使えるようにする」

チェック!!

再セットアップを行うと、プロダクトキーやユーザー名などセットアップ時に入力した内容は消えてしまいます。再度入力してください。

参照

再セットアップ→「PART3 再セットアップするには」(p.191)

参照

電源の切りかた→「電源が切れない。強制的に電源を切りたい」(p.35)

セットアップ時に登録した名前や会社名を変更したい

セットアップするときに「ユーザー情報」で登録した名前や会社名は、セットアップが完了すると変更できません。

どうしても変更したいときは、再セットアップを行ってください。再セットアップの「ユーザー情報」のウィンドウで新しい名前や会社名を入力できます。



再セットアップ→「PART3 再セットアップするには」(p.191)

キーボードを接続したがうまく動作しない



USBケーブルを接続していますか？(液晶ディスプレイセットモデルの場合)

キーボードを液晶ディスプレイに接続するときは、本体と液晶ディスプレイをUSBケーブルで接続していないと、キーボードが動作しません。



キーボードを別売のUSBハブなどのUSBコネクタに接続していませんか？

キーボードを別売のUSBハブなどに接続したい場合は、セットアップ完了後に行ってください。

セットアップや再セットアップのときには、キーボードはパソコン本体か液晶ディスプレイ(液晶ディスプレイセットモデルの場合)のUSBコネクタに接続してください。



USBケーブルの接続→『STEP1 接続と準備』PART2の「キーボードを接続する」

電源を入れたが・・・

電源を入れるときは、ディスプレイなどの周辺機器の電源を入れてから、パソコンの電源を入れます。



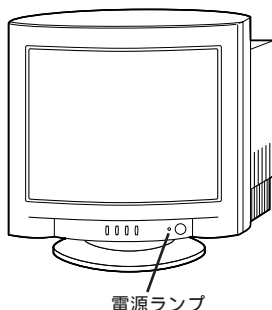
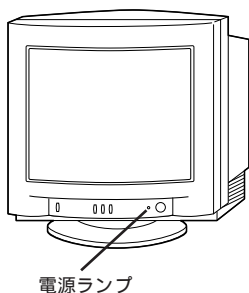
電源の入れ方→『STEP2 入門』の「PART1、PART2 電源の入れ方と切り方を覚えよう」

ディスプレイに何も表示されない

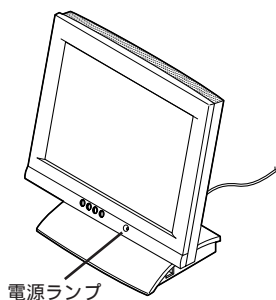
コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合

ディスプレイの電源ランプが点灯していないとき

15インチCRTディスプレイの場合 17インチCRTディスプレイの場合



液晶ディスプレイの場合



☹️➡️😊 ディスプレイの電源は入っていますか？

ディスプレイの電源ランプが点灯していないときは、『STEP2 入門』PART1、PART2の「電源を入れる」にしたがって、電源を入れてください。

☹️➡️😊 ディスプレイの電源ケーブルは正しく接続されていますか？

『STEP1 接続と準備』PART2の「ディスプレイを接続する」にしたがって、ディスプレイの電源ケーブルを接続し直してください。

メモ

ディスプレイの電源ランプの色

セットのディスプレイの電源ランプは、緑色に点灯するときと、オレンジ色に点灯する場合があります。

緑色に点灯しているとき

ディスプレイとパソコンの電源が入っていて、ディスプレイとパソコン本体が接続されています。

オレンジ色に点灯しているとき

ディスプレイの電源が入っているが、パソコン本体と接続されていないか、パソコン本体の電源が入っていない(またはスタンバイ状態になっている)ときです。

もう一度、ディスプレイの電源を入れても、ディスプレイの電源ランプが点灯しないときは、ディスプレイの故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

ディスプレイの電源ランプがオレンジ色に点灯しているとき (別売のディスプレイでは、オレンジ色でない場合もあります)

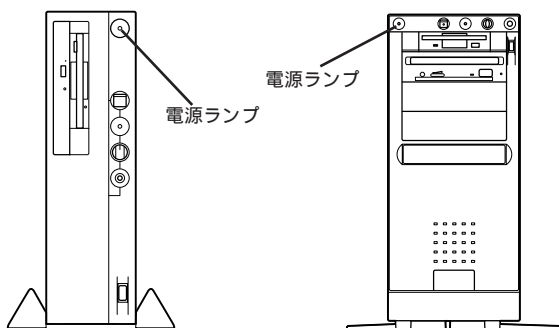
☹️➡️😊 ディスプレイ用ケーブルが本体に正しく接続されていますか？

『STEP1 接続と準備』PART2の「ディスプレイを接続する」にしたがってディスプレイ用ケーブルを本体に接続してください。

☹️➡️😊 パソコン本体の電源ランプは点灯していますか？

コンパクトタイプ

ミニタワータイプ



パソコン本体の電源ランプが点灯していないときは、
『STEP1 接続と準備』PART2の「電源ケーブルを接続する」
にしたがって、電源ケーブルを接続し直してください。
電源ケーブルを接続し直して、電源を入れても本体の電源ランプが点灯しないときは、本体の故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

ディスプレイの電源ランプが緑色に点灯しているとき (別売のディスプレイでは緑色ではない場合もあります)

☹️➡️😊 ディスプレイの輝度(明るさ)、コントラストが、小さくなっていませんか？

ディスプレイのマニュアルをご覧になって、画面の輝度とコントラストを調整してください。

これらのチェックを行ってもディスプレイに何も表示されないときは、パソコン本体やディスプレイの故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

📖 参照

NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』

📖 参照

『STEP1 接続と準備』PART2の「ディスプレイを接続する」

✔️ チェック!!

ディスプレイの電源が入っていても、
本体の電源が入っていないとディスプレイには何も表示されません。

📖 参照

『STEP1 接続と準備』PART2の「電源ケーブルを接続する」
NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』

📖 参照

NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』

ボックスレスタイプの場合**パソコン本体の電源ランプが点灯していないとき**

電源コードとACアダプタは正しく接続されていますか？
本体の電源ランプが点灯していないときは『STEP1 接続と準備』の「PART2 パソコンを接続する」にしたがって、電源コードとACアダプタを正しく接続し直してください。もう一度、電源を入れてもディスプレイに何も表示されないときは、故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

パソコン本体の電源ランプが緑色に点灯しているとき

電源ランプが点灯しているのに、ディスプレイに何も表示されないときは、本体の故障が考えられます。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

Windows 98が起動しない

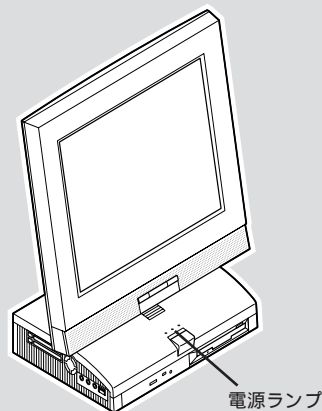
システムの設定が正しくない可能性があります。次の手順でシステムの設定をご購入時の状態に戻してから、再起動してください。

コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合

- 1** 別売の拡張ボードを取り付けているときは、取りはずして、購入時の状態に戻します。
- 2** パソコン本体の電源を入れます。
「NEC」のロゴが表示されます。
- 3** 【F2】キーを押します。
キーの説明が表示されます。
- 4** 【F9】キーを押します。
「セットアップ確認」の画面が表示されます。
- 5** <はい>が選択されていることを確認して【Enter】キーを押します。
システムの設定が初期値に戻ります。
- 6** 【F10】キーを押します。
「セットアップ確認」の画面が表示されます。
- 7** <はい>が選択されていることを確認して【Enter】キーを押します。
システムの設定が保存されて、自動的に再起動します。

ボックスレスタイプの場合

別売の拡張ボードを取り付けているときは、取りはずして、購入時の状態に戻します。その後、BIOSセットアップメニューでBIOSの設定値を初期化し、設定を保存してからBIOSセットアップメニューを終了してください。BIOSセットアップメニューの操作については『リファレンス』PART5の「BIOSセットアップメニュー」をご覧ください。

**✓チェック!!**

【F2】キーを押してもキーの説明が表示されないときは、いったん電源を切り、再度電源を入れて、何回か【F2】キーを押してください。

✓チェック!!

「BIOS セットアップメニュー」で設定したパスワードは、初期値に戻りません。

📖参照

『リファレンス』PART5の「BIOS セットアップメニュー」

「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示され、「Enter a choice:」に「3 (3.Safe mode)」が表示された

次の手順でWindows 98をSafeモードで起動します。

- 1 「Safe mode」が反転しているのを確認して、【Enter】キーを押します。

しばらくすると「キーボードのタイプを判定します」と表示されます。

- 2 【半角/全角】キーを押します。

- 3 しばらくして表示された画面で「OK」をクリックします。
Windows 98がSafeモードで起動します。

Safeモードで起動すると画面のデザイン、配色や解像度などが通常とは異なりますが、必要最低限の機能は使えるようになります。

「Windowsの終了」から「再起動する」をクリックして「OK」ボタンをクリックし、再起動して、問題がなければ、元の状態に戻ります。

Safeモードで起動し、その後再起動しても問題が解決しなかったときは、システムに障害が発生している可能性があります。その場合は再セットアップを行ってください。

「Windowsが正しく終了されなかったため、ディスクドライブにエラーがある可能性があります。」と表示され、自動的にスキャンディスクがはじまった

ハードディスクに異常がなければ、Windows 98が起動します。

正常に起動しなかったときは、画面の指示にしたがってください。画面の指示もなく、正常に起動しないときは、再セットアップしてください。

「Invalid system disk」と表示される

フロッピーディスクがドライブにセットされているとき

フロッピーディスクを取り出してから、何かキー（【Enter】キーなど）を押してください。ハードディスクからWindows 98が起動します。



再セットアップ→「PART3 再セットアップするには」(p.191)



正しく電源を切らなかったときや、電源スイッチを4秒以上押し続けて、強制的に電源を切ったとき、スタンバイ状態のときにコンセントが抜けたり停電すると、このメッセージが表示されます。



再セットアップ→「PART3 再セットアップするには」(p.191)



Windows 98、またはWindows 95でフォーマットしただけでシステムが入っていないフロッピーディスクがセットされていたり、フォーマットされただけのハードディスクが接続されていると、このようなメッセージが表示されます。

フロッピーディスクから起動したいときは、このパソコンに対応したシステムの入ったフロッピーディスクと入れかえてから、電源を入れ直してください。

フロッピーディスクがドライブにセットされていないとき

ハードディスクがフォーマットされたか、システムが壊れていて起動できない状態です。

「再セットアップするには」をご覧ください。再セットアップしてください。



再セットアップ→「PART3 再セットアップするには」(p.191)

「Please Insert Another Disk.....」と表示される



フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクが入っていませんか？

フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブから取り出して、パソコンを再起動してください。ハードディスクからWindows 98が起動します。

「Operating System not found」と表示される

フロッピーディスクがドライブにセットされているとき

このパソコンでは使えないフロッピーディスクがセットされています。

フロッピーディスクをドライブから取り出して、再起動してください。

フロッピーディスクがドライブにセットされていないとき

Windows 98起動ディスクでこのパソコンを起動して、「FDISK /X【Enter】」と入力して、FDISKコマンドを実行します。

大容量ディスクをサポートするかどうかを選択する画面で、【N】キーを押して【Enter】キーを押します。

「FDISKオプション」画面が表示されたら、「4【Enter】」と入力して、「4.領域情報を表示」を選び、次の点を確認してください。

- 「ハードディスクはありません」と表示された

ハードディスクが正しく接続されていないか、本体が故障している可能性があります。ハードディスクがまちがって接続されていたり、ケーブルが外れかかっていたりしていないか確認してください。詳しくは、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。



Windows 98 起動ディスクは、「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」の「起動ディスク」タブで作ります。



Windows 98 起動ディスク→「Windows 98 起動ディスクからパソコンを起動したい」(p.179)

- Cドライブの「状態」のところに「A」がついていない
Cドライブがアクティブでない状態です。FDISKオプションの画面で「2.アクティブな領域を設定」を選び、Cドライブをアクティブな状態にしてください。
- 「領域」の欄の下に何も表示されていないとき、または「システム」の欄の下に「FAT16」、「FAT32」以外のものが表示されているとき
ハードディスクがWindows 98で使える形式でフォーマットされていません。「再セットアップするには」をご覧ください。再セットアップしてください。



再セットアップ→「再セットアップするには」(p.191)

「Non-system disk or disk error」と表示される

- ➡ フロッピーディスクがドライブにセットされていませんか？
フロッピーディスクをドライブから取り出して、何かキーを押してください。
ハードディスクからWindows 98が起動します。
フロッピーディスクドライブから起動したい場合は、このパソコンに対応したシステムの入ったフロッピーディスクをセットして、何かキーを押してください。



MS-DOSでフォーマットしたフロッピーディスクをセットしていると、このようなエラーメッセージが表示されます。

カーソルが表示されたとき、なにも表示されない

- ➡ フロッピーディスクがドライブにセットされていませんか？
フロッピーディスクをドライブから取り出して、再起動してください。
ハードディスクからWindows 98が起動します。
フロッピーディスクドライブから起動したい場合は、このパソコンに対応したシステムの入ったフロッピーディスクをセットして、電源を入れ直してください。

電源を入れてすぐにフロッピーディスクをセットしたが、しばらくするとハードディスクからWindows 98が起動した

- フロッピーディスクをセットするのが遅かった
フロッピーディスクをセットしたまま、Windows 98を再起動してください。
再起動後、フロッピーディスクから起動します。
- このパソコンに対応していないフロッピーディスクがセットされている

フォーマットされていないフロッピーディスクか、このパソコンには対応していないシステムの入っているフロッピーディスクです。そのフロッピーディスクからは起動することはできません。このパソコンに対応したシステムの入っているフロッピーディスクをセットして再起動してください。

電源を入れるとピーッと音がする

フロッピーディスクがセットされているとき

そのフロッピーディスクにシステムが入っていないか、このパソコンでは使えないフロッピーディスクがセットされているためです。フロッピーディスクを取り出して、電源を入れ直すか、このパソコンで使えるシステムの入ったフロッピーディスクをセットして再起動してください。

フロッピーディスクがセットされていないとき

エラーメッセージが表示されるときは、そのメッセージを書き留めて、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

エラーメッセージが表示された

メッセージが表示されたときは、メッセージの内容を書き留めて、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

パスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される

☹️➡️😊 キーボードの **A** (キャップスロックキーランプ) が点灯していませんか？

点灯しているときは、【Shift】キーを押しながら、【Caps Lock】キーを押して、キャップスロックを解除してから、パスワードを入力し直してください。

パスワードを忘れてしまった

Windows 98 のパスワードを忘れてしまったとき

Windows 98 のパスワードを入力するウィンドウで、【Esc】キーを押すと、Windows 98 が起動して、使えるようになります。ただし、ネットワークには接続できません。再設定したいときは、再セットアップしてください。



このパソコンで使えるフロッピーディスク→『リファレンス』PART4 の「フロッピーディスク」



NEC のお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』



NEC のお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』



ユーザーパスワード、スーパーバイザーパスワードの入力→『リファレンス』PART5 の「BIOS セットアップメニュー」



Windows 98 のパスワードは、ネットワークの設定などをするときに、設定します。



再セットアップ→「PART3 再セットアップするには」(p.191)

ユーザーパスワード、スーパーバイザーパスワードを忘れてしまった

コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合
パスワードの設定を解除して設定し直してください。

ボックスレスタイプの場合
ご自分でパスワードの設定を解除することはできません。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。



参照
ユーザーパスワード、スーパーバイザーパスワードの解除、設定 → 『リファレンス』PART5 の「BIOS セットアップメニュー」(コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合)



参照
NEC のお問い合わせ先
→ 『NEC あんしんサポートガイド』

Windows 98のパスワードが表示されないようにしたい

「コントロールパネル」(p. 8)の「パスワード」を開き、「Windowsパスワード」をクリックして、古いパスワードを入力し、新しいパスワードを入力しないで「OK」をクリックしてください。

スキャンディスクの画面が表示された

ハードディスクにトラブルが起こったとき、「スキャンディスク」が自動的に起動します。スキャンディスクが終了したら画面の指示にしたがってください。

「Windows 98へようこそ」が起動時に表示されるようにしたい

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」、「システムツール」の順にマウスポインタを合わせて、「Windows 98へようこそ」をクリックします。
「Windows 98へようこそ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「Windowsを起動するたびにこの画面を表示する」の ☐ をクリックして ☒ (オン) にしてください。
- 3 ☒ ボタンをクリックし、「Windows 98へようこそ」を終了します。
次の起動時から「Windows 98へようこそ」が表示されます。

電源を入れるたびに、同じプリンタのドライバをインストールするようにメッセージが表示される

「周辺機器を取り付けようとしたら」の「電源を入れるたびに同じプリンタのドライバをインストールするようにメッセージが表示される」(p.145)をご覧ください。

電源を切ろう としたが・・・

パソコンの電源を切るときは、必ず「正しい電源の切りかた」にしてください。正しい手順を守らないと、データを壊してしまうことがあります。



電源の切りかた → 『STEP2 入門』の「PART1、PART2 電源の入れ方と切り方を覚えよう」

電源が切れない。強制的に電源を切りたい

パソコンの電源を切るときは、次の「正しい電源の切りかた」にしてください。

正しい電源の切りかた

1 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。

「Windowsの終了」ウィンドウが表示されます。

2 「電源を切れる状態にする」が  になっているときは、クリックして、 (オン) にします。

3 「OK」をクリックします。

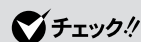
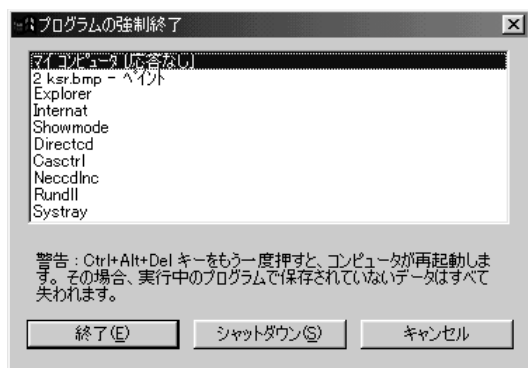
しばらくすると、自動的に電源が切れます。

この方法で電源が切れないときは、アプリケーションに異常が起きていると考えられます。次の操作を行ってください。

異常が起きているアプリケーションを終了させる方法

1 【Ctrl】キーを押しながら【Alt】キーと【Delete】キーを同時に押します。

「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されます。



「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されるまで時間がかかる場合があります。表示されない場合は、しばらくお待ちください。

- 2** 右側に「応答なし」と表示されているプログラム(アプリケーション)をクリックし、「終了」をクリックします。

(このアプリケーションで編集していた文書、画像は保存できません)

この方法で異常を起こしていたアプリケーションが終了できた場合は、「正しい電源の切りかた」にしたがって電源を切ってください。

アプリケーションが終了できなかったり、終了できても「正しい電源の切りかた」で電源が切れないときは次の操作を行ってください。

- 1** 【Ctrl】キーを押しながら【Alt】キーと【Delete】キーを同時に押します。

「プログラムの強制終了」ウィンドウが表示されます。

- 2** 「シャットダウン」ボタンをクリックします。

しばらくすると自動的にWindowsが終了し、電源が切れます。

この方法でも電源が切れない場合は、次の「強制的に電源を切る方法」にしたがって電源を切ってください。

強制的に電源を切る方法

- 1** パソコンの電源スイッチを約4秒以上押しつづけます。

パソコンの電源が切れます。

- 2** 5秒以上待ってから電源スイッチを押します。

パソコンの電源が入り、場合によっては、スキャンディスクが自動的に始まり、ハードディスクがチェックされます。スキャンディスクで異常が発見されなかったときや、スキャンディスクが実行されなかったときは、そのままWindowsが起動します。

- 3** 「スタート」ボタンをクリックして、「Windowsの終了」をクリックします。

「Windowsの終了」ウィンドウが表示されます。

- 4** 「電源を切れる状態にする」をクリックして、「OK」ボタンをクリックします。

パソコンの電源が切れます。

文書を保存しないでアプリケーションを終了した(または、電源を切った)ら、データが消えた

アプリケーションを終了したり、電源を切ると、フロッピーディスクやハードディスクに保存していないデータは消えてしまいます。

万一のアクシデントに備えて、データはこまめに保存してください。

チェック!!

ボックスレスタイプの場合で電源スイッチを4秒以上押し続けても、パソコンの電源が切れないときは、いったんACアダプタを本体から取り外し、一定時間(約5秒以上)経ったあと、再度ACアダプタを本体に接続してください。

チェック!!

スキャンディスクの結果、なにかメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがってください。うまく起動できなかった場合は、再セットアップが必要になります。「PART3 再セットアップするには」(p.191)をご覧ください。

次の「文書作成中に電源を切ってしまった」も参考にしてください。

文書作成中に電源を切ってしまった

アプリケーションによっては、自動的に一定の間隔で編集中の文書をバックアップする機能があります。自動的に行われたバックアップのあとで編集した分は消えてしまいますが、バックアップされたところまでは復旧できます。なお、文書作成中に電源スイッチを押すと、作成中の文書を保存するかどうか聞いてきますので、その時点までの内容を保存することはできます。

Word モデルの場合

Word98には、自動バックアップ機能があります。ご購入時には、10分ごとにバックアップファイルを保存するように設定されています。バックアップファイルが残っていれば、次にWordを起動したときにバックアップファイルが開きます。

「標準テンプレート(Normal.dot)への変更がバックアップされています。この変更を反映しますか?」というメッセージが表示されたときは、「はい」をクリックすると、バックアップファイルが開きます。

バックアップファイルは、「C:\¥Windows¥Temp」に、「自動バックアップ~ファイル名」というファイル名で保存されています。

一太郎モデルの場合

一太郎9には、自動バックアップ機能があります。ご購入時には、操作をやめてから5秒以上経過すると1回保存され、その後3分経過することによって自動的に最新の状態がバックアップするように設定されています。

バックアップファイルが残っていれば、次に起動したときに「自動バックアップされたファイルがあります。読み込みますか?」というメッセージが表示されます。「はい」をクリックすると、バックアップファイルが開きます。

電話回線を使用中のまま、パソコンの電源を切ってしまった

電話回線を使用中のまま、パソコンの電源を切ると、電話回線は強制的に切断されます。

この場合、ダウンロード中のデータは正常に保存されない場合がありますのでご注意ください。

✓チェック!!

電源スイッチを押しても電源が切れない場合は、「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」から電源を切ってください。

コントロールパネルを開いたら…

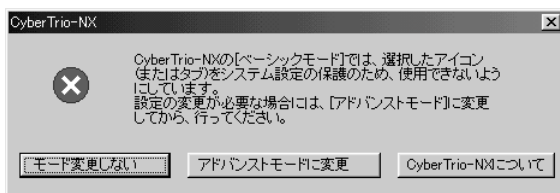
コントロールパネルを開いて、画面やアイコンが表示されなかったりした場合はここをご覧ください。

コントロールパネルの「システム」、「マルチメディア」、「ネットワーク」を起動しようとするときメッセージが表示される

☹️➡️😊 CyberTrio-NXがアドバンスモード以外のモードになっていませんか？

このパソコンには、システム環境を誤って変更しないように、一部の動作を制約する機能(CyberTrio-NX)があります。

CyberTrio-NXでベーシックモードに設定されているとき(ご購入時の状態)は、コントロールパネルの「システム」、「マルチメディア」、「ネットワーク」のアイコンをダブルクリックすると、次のようなメッセージが表示されます。



これらのアイコンを開いて設定を変えたいときは、「アドバンスモードに変更」ボタンをクリックして、アドバンスモードに変更してからアイコンをダブルクリックしてください。設定を終了した後は、「ベーシックモード」に戻してお使いいただくことをおすすめします。

📖 参照

CyberTrio-NX → 『リファレンス』
PART1 の「Windows 98 の利用環境の変更 < CyberTrio-NX >」

「プリンタ」ウィンドウで「プリンタ」アイコン(プリンタドライバ)を削除しようとすると、メッセージが表示される

☹️ ➡️ 😊 アドバンスモード以外のモードになっていませんか？

このパソコンには、システム環境を誤って変更しないように、一部の動作を制約する機能(CyberTrio-NX)があります。

CyberTrio-NXでベーシックモードに設定されているとき(ご購入時の状態)は、「プリンタ」ウィンドウで「プリンタ」アイコン(プリンタドライバ)を削除しようとすると次のようなメッセージが表示されます。



この画面で「OK」ボタンをクリックしてください。
プリンタドライバを削除したい場合は、「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「CyberTrio-NX」の順にマウスポインタを合わせ、「Go to アドバンスモード」をクリックしてアドバンスモードに変更してから削除してください。

設定を終了した後は、CyberTrio-NXを「ベーシックモード」に戻してお使いいただくことをおすすめします。



参照
CyberTrio-NX → 「アドバンスモードに切り替える」(p.10)

アイコンがおかしい・・・

アイコンをダブルクリックしてもうまくいかないときや
ショートカットのアイコンやランチ-NXの起動ボタンが
おかしいときは、こちらをご覧ください。

ファイルのアイコンをダブルクリックしたがファイルが開かない

「ファイル、フォルダがおかしい...」の「ファイルが開かない」
(p.67)をご覧ください。

ショートカットのアイコンをダブルクリックしたがファイルが開かない

☹️➡️😊 参照先のファイルを移動または削除しませんでしたか？

ショートカットのアイコンを作った後に参照先のファイルを
移動したり、削除したりすると参照先がわからなくなることが
あります。そのときは「ショートカットの検索」ウィンドウ
が表示された後、次のような画面が表示されます。



このような場合は移動したファイルや削除したファイルを、
次の操作にしたがって検索して、ショートカットのアイコン
を作り直してください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「検索」、「ファイルやフォルダ」をクリックします。
「検索」ダイアログが表示されます。
- 2 「名前」、「含まれる文字列」、「探す場所」などを入力して「検索開始」ボタンをクリックします。
- 3 参照先のファイルが見つかったら、他のフォルダなどに移動してショートカットのアイコンを作り直してください。
参照先のファイルが見つからないときは、「ごみ箱」フォルダの中を探してみてください。それでも見つからないときは、アプリケーションをインストールし直してください。

📖 参照

ファイルの検索をする → 『STEP3 活用』PART3 の「ファイルを探す」
ショートカットのつくりかた →
『STEP3 活用』PART3 の「ショートカットを作ろう」

📖 参照

『リファレンス』の「PART3 アプリケーションの追加と削除」

アイコンの表示がおかしい

☹️➡️😊 「画面プロパティ」の「デザイン」シートの項目を変えませんでしたか？

「コントロールパネル」(p.8)の「画面」を開いて、「設定」タブで「色」を「High Color(16ビット)」または「True Color(32ビット)」を選んだ状態で「デザイン」タブの項目を変更すると、ウィンドウの中のアイコンが正しく表示されなくなることがあります。

「コントロールパネル」(p.8)の画面を開いて、「デザイン」タブをクリックし、「指定する部分」で、ウィンドウを違う色にすると、アイコンは正しく表示されるようになります。

☹️➡️😊 アイコンのフォントサイズが大きくはありませんか？

アイコンのフォントサイズを大きく設定しすぎると、アイコン自体が隠れてしまうことがあります。

この場合は、「コントロールパネル」(p.8)の「画面」を開いて、「デザイン」タブで「指定する部分」から「アイコン」を選択してから、「サイズ」を調節します。

スタートメニューに小さいアイコンを表示するように設定したが、再起動すると元に戻ってしまう

☹️➡️😊 ベーシックモードになっていませんか？

CyberTrio-NXでベーシックモードに設定されていると、「スタート」「設定」「タスクバーと「スタート」メニュー」の「タスクバーのプロパティ」の「タスクバーオプション」タブで「[スタート]メニューに小さいアイコンを表示」にしても、Windows 98を再起動したりすると元に戻ります。購入時には、ベーシックモードに設定されています。

「アドバンスモードに切り替える」(p.10)にしたがってアドバンスモードにしてから設定し直してください。

画面上のアイコンを移動したいが、元の位置に戻ってしまう

☹️➡️😊 「アイコンの自動整列」の設定がオンになっていませんか？

「アイコンの自動整列」の設定がオンになっているとアイコンが自動的に整列します。次の操作で自動整列をオフにすると、アイコンをどこにでも移動できるようになります。

- 1 画面のアイコンやタスクバーなどがいないところで右クリックし、表示されたメニューの「アイコンの整列」にマウスポインタを合わせます。
- 2 「アイコンの自動整列」をクリックします。
「アイコンの自動整列」の左についているチェックが外れます。

コントロールパネルのアイコンがおかしい

「コントロールパネル」(p.8)のウィンドウを最小化(ウィンドウを消して、タスクバーのボタンだけにすること)した状態で、「エクスプローラ」を起動して「コントロールパネル」を選び「表示」メニューの「最新の情報に更新」を選んでから、「コントロールパネル」を元のサイズに戻すと、アイコンのデザインが通常と違うものになることがあります。

「コントロールパネル」を閉じて、Windows 98を再起動すると元に戻ります。

ランチ-NXにアプリケーションの起動ボタンがない。アプリケーションの起動ボタンを追加したい

アプリケーションをインストールするときに、ランチ-NXが起動していれば、自動的にランチ-NXにそのアプリケーションの起動ボタンが作られます。

新しいアプリケーションをインストールしたあとや、再セットアップが終わったあとでも、次の操作でアプリケーションの起動ボタンを追加できます。

- 1 「ランチ-NX」ウィンドウの右上の  (設定) ボタンをクリックします。
「ランチ-NXの設定」ウィンドウが表示されます。
- 2 「編集」タブの「グループ、アプリケーション起動ボタンの編集を許可する」の ☐ と「編集方法」の「マウスのドラッグ&ドロップ操作による編集」の ☐ をクリックして ☒ (オン) にします。
- 3 「OK」ボタンをクリックします。
「ランチ-NXの設定」ウィンドウが閉じます。
- 4 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」にマウスポインタを合わせ、「エクスプローラ」をクリックします。
「エクスプローラ」ウィンドウが表示されます。
- 5 エクスプローラに表示されているアプリケーションのアイコンを、「ランチ-NX」ウィンドウの登録したいグループのボタ



ランチ-NXの設定→  「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-「パソコンを設定する」

ンにドラッグ&ドロップします。
アプリケーションの起動ボタンがランチ-NXに登録されま
す。

アイコンをきれいに並べたい。名前や日付の順に 並べ替えたい

アイコンをきれいに並べたいときや、名前や日付の順に並べ
替えたいときは、次のように操作してください。

デスクトップのアイコンを並べたいときはデスクトップで、
ドライブやフォルダのウィンドウの中のアイコンを並べたい
ときはそのウィンドウの中のアイコンやタスクバーなどがな
いところで右クリックし、表示されたメニューの「アイコン
の整列」にマウスを合わせ、並べたい順番をクリックしま
す。

いつも、アイコンがきれいに並ぶようにしたいときは、「ア
イコンの整列」にマウスを合わせ、「アイコンの自動整列」を
クリックしてチェックをつけてください。

画面がおかしい・・・

パソコンの画面はいろいろな状態に設定できます。

ディスプレイの画面の色が部分的におかしい

液晶ディスプレイの場合

液晶ディスプレイは、画面を見る角度によって部分的に色合いが変わって見えたり、暗く見えることがあります。

- ☹️➡️😊 テレビや、ステレオのスピーカなど、ディスプレイの近くに強力な磁気を発生する電気製品がありませんか？

強力な磁気を発生する電気製品があるときは、その電気製品の電源を切るか、ディスプレイから遠ざけてください。液晶ディスプレイは、磁気の影響は少ないのですが、できるだけ磁気の発生するものの近くには置かないようにしてください。

CRT ディスプレイの場合

CRTディスプレイの色がおかしいときは、次の項目を確認してください。

- ☹️➡️😊 CRTディスプレイの電源を入れたままディスプレイを移動したり、回転させていませんか？

CRTディスプレイのマニュアルをご覧ください。画面を消磁してください。

- ☹️➡️😊 テレビや、ステレオのスピーカなど、CRTディスプレイの近くに強力な磁気を発生する電気製品がありませんか？

強力な磁気を発生する電気製品があるときは、その電気製品の電源を切るか、CRTディスプレイから遠ざけてください。

- ☹️➡️😊 CRTディスプレイの消磁は行ってみましたか？

ディスプレイのマニュアルをご覧ください。画面を消磁してください。



画面の設定 → 『STEP3 活用』の「PART5 設定を変えてみよう」、『リファレンス』PART4の「ディスプレイ」



強力な磁気を発生する電気製品などによって、画面自体が磁気を帯びてしまうことがあります。その電気製品の電源を切ったり、CRTディスプレイから遠ざけても、画面の色がおかしいときは、消磁（デガウス）を行ってください。



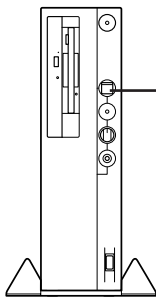
消磁（デガウス）のしかた → ディスプレイに添付されているマニュアル

電源を入れてしばらくすると、画面がまっくらになる

コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合

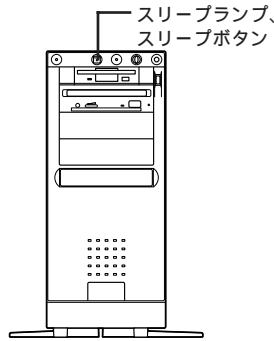
パソコン本体のスリープランプが点灯しているとき

コンパクトタイプ



スリープランプ、
スリープボタン

ミニタワータイプ



スリープランプ、
スリープボタン

☹️➡️😊 マウスを動かすか、スリープボタンまたは、キーボードのいずれかのキーを押してください。画面が表示されますか？
画面が表示されるときは、パソコン本体の省電力機能が働いてスタンバイ状態になった場合です。
このパソコンは、購入時には、約20分間なにも操作しないと本体の省電力機能が働いてスタンバイ状態になるように設定されています。

電源ランプだけが点灯しているとき

ディスプレイの省電力機能が働いたものと考えられます。
マウスを動かすか、キーボードのキーをどれか(【Shift】キーなど)押してください。

スリープランプも電源ランプも消えているとき

Timer-NXによって電源が切れたものと考えられます。
電源スイッチを押してください。

📖 参照

今後、自動的に画面がまっくらにならないようにしたいとき→『リファレンス』PART4の「省電力機能(スタンバイ)」

Timer-NX → 📦 「パソコン探検箱」-「使いこなそう VALUESTAR」-「パソコンを設定する」

📖 参照

ディスプレイの省電力機能→『リファレンス』PART4の「ディスプレイ」

✅ チェック!!

電源が入っているとき(スタンバイ状態のときも含まれます)に、約4秒以上電源スイッチを押し続けると強制的に電源が切れてしまうので注意してください。スタンバイ状態のときに強制的に電源を切ると元の状態に復帰できなくなります。

📖 参照

省電力機能について→『リファレンス』PART4の「ディスプレイ」-「省電力機能(スタンバイ)」

✅ チェック!!

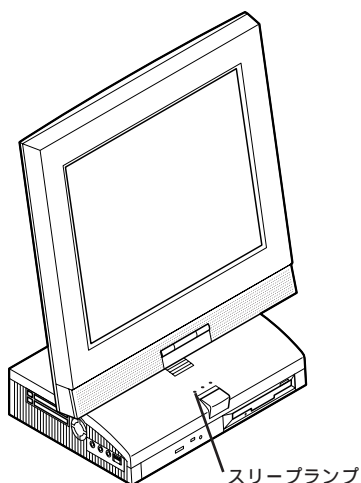
停電のときも、スリープランプと電源ランプは消えています。

📖 参照

Timer-NX → 📦 「パソコン探検箱」-「使いこなそう VALUESTAR」-「パソコンを設定する」

ボックスレスタイプの場合

パソコン本体のスリープランプが点灯しているとき



☹️ ➡️ 😊 マウスを動かすか、電源スイッチまたは、キーボードのいずれかのキーを押してください。画面が表示されますか？
画面が表示されるときは、パソコン本体の省電力機能が働いてスタンバイ状態になった場合です。
このパソコンは、購入時には、約20分間なにも操作しないと本体の省電力機能が働いてスタンバイ状態になるように設定されています。

スリープランプも電源ランプも消えているとき

Timer-NXによって電源が切れたものと考えられます。
電源スイッチを押してください。

📖 参照

ディスプレイの省電力機能 → 『リファレンス』PART4の「ディスプレイ」

✔️ チェック!!

電源が入っているとき(スタンバイ状態のときも含まれます)に、約4秒以上電源スイッチを押し続けると強制的に電源が切れてしまうので注意してください。スタンバイ状態のときに強制的に電源を切ると元の状態に復帰できなくなります。

✔️ チェック!!

停電のときも、スリープランプと電源ランプは消えています。

📖 参照

Timer-NX → 📦 「パソコン探検箱」-「使いこなそう VALUESTAR」-「パソコンを設定する」

アニメーション表示ができない

スタートメニューやドロップダウンメニューがアニメーション表示できないときは、次のように設定してください。

- 1 「コントロールパネル」(p.8)の「画面」アイコンをダブルクリックします。



- 2 「効果」タブをクリックして、「ウィンドウ、メニュー、および一覧をアニメーション化する」の ☐ をクリックして、☒ (オン) にします。
- 3 「OK」ボタンをクリックします。
これでアニメーション表示できるようになります。

タイトルバーにグラデーション表示ができない。 表示がおかしい

- ☹️ ➡️ 😊 画面の表示色が256色ではありませんか？
「画面の解像度や表示色を変更したい」(p.63)を参照して、画面の解像度や表示色を「High Color(16ビット)」以上にしてください。

- ☹️ ➡️ 😊 グラデーションの設定で同じ色が選択されていませんか？
次のように操作して、異なる色を選んでください。

- 1 「コントロールパネル」(p.8)の「画面」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「デザイン」タブをクリックして、「指定する部分」で「アクティブタイトルバー」または「非アクティブタイトルバー」を選びます。
- 3 「色」と「色2」で、異なる色を選びます。

メモ

ここで設定されたグラデーションは、すべてのウィンドウに適用されます。

4 「OK」ボタンをクリックします。

これでタイトルバーにグラデーション表示が設定されます。

画面が流れるように表示される

別売のディスプレイを使用している場合、一部のDDC対応のディスプレイでは、CRTモニタ情報ファイル(Monitor.inf)がないと、同期がとれず、画面が流れるように表示されることがあります。

この場合は、ディスプレイの製造元から最新のCRTモニタ情報ファイル(Monitor.inf)を入手し、セットアップしてください。

セットアップのしかたについては、ディスプレイの製造元にお問い合わせください。

Windowsの終了時の選択画面の背景などが乱れる

(コンパクトタイプ、ミニタワータイプにセットの液晶ディスプレイの場合)

液晶ディスプレイのマニュアルをご覧ください、調整してください。

画面の一部が切れていて見えない

ディスプレイのマニュアルをご覧ください、画面の表示範囲を調節してください。

「スタート」ボタンがない。タスクバーがない

「スタート」ボタンが表示されていないなくても、 (Windows)キーを押すと、スタートメニューが表示されます。

タスクバーを表示して、「スタート」ボタン自体を表示したいときは、次の項目を確認してください。



常に画面いっぱいに表示されるゲームソフトなどを起動していませんか？

この場合はタスクバーは表示されません。ゲームソフトなどのアプリケーションを終了してください。

✓チェック!!

 (Windows)キーは、キーボードの左手前の方と、右手前の方にあります。

☹️➡️😊  (Windows) キーを押してください。

- タスクバーが表示されたとき
タスクバーの設定で「常に手前に表示」がチェックされていない状態で、タスクバーがウィンドウに隠れていたものと思われます。
ウィンドウを動かしたり、開いたりすると、また隠れてしまいます。隠れないようにしたいときは、タスクバーの中の、ボタンやアイコンがないところで右クリックし「プロパティ」をクリックして、「タスクバーのプロパティ」が表示されたら、「常に手前に表示」の ☐ をクリックして ☒ に、「自動的に隠す」の ☒ をクリックして ☐ にして、「OK」をクリックします。

☹️➡️😊 マウスポインタを画面のいちばん下に移動してください。

- タスクバーが表示されたとき
タスクバーが「自動的に隠す」設定になっています。
いつもタスクバーを表示しておきたいときは、タスクバーの中の、ボタンやアイコンがないところで右クリックし、「プロパティ」をクリックして、「タスクバーのプロパティ」が表示されたら「自動的に隠す」の ☒ をクリックして ☐ にし、「OK」をクリックします。
- マウスポインタが  に変わったとき
タスクバーの幅が狭くなっています。  に変わったところから、上のほうにドラッグすると、タスクバーが出てきます。
- どちらにもならないとき
タスクバーが画面の右端、左端、上端のどこかに隠れていると思われます。マウスポインタを右端、左端、上端に動かして、マウスポインタが  や  に変わったところから、上または左右にドラッグするとタスクバーがでてきます。

タスクバーの幅を変えたが、再起動すると元に戻ってしまう

☹️➡️😊 アドバンスモード以外のモードになっていませんか？

CyberTrio-NXでアドバンスモード以外に設定されているときは、タスクバーの幅を変えても、Windows 98を再起動すると元に戻ります。購入時には、ベーシックモードに設定されています。タスクバーの幅が戻らないようにしたいときは、「アドバンスモードに切り替える」(p.10)にしたがってアドバンスモードにしてください。

参照

CyberTrio-NX → 「アドバンスモードに切り替える」(p.10)

タスクバーが2段になってしまう

画面をゲームソフトの画面などに切り替えると、タスクバーが1段から2段になることがあります。タスクバーの上部にマウスポインタを合わせて、↑に変わったところで、下のほうにドラッグすると、タスクバーが1段に戻ります。

タスクバーにランチ-NXがない。ランチ-NXを起動したい

「スタート」ボタンをクリックし、マウスポインタを「プログラム」に合わせ、次に「アプリケーション」に合わせ、「ランチ-NX」をクリックすると、「ランチ-NX」が起動します。

タスクバーを「自動的に隠す」にしたが、再起動すると元に戻ってしまう

☹️➡️😊 アドバンスモード以外のモードになっていませんか？

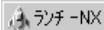
CyberTrio-NXでアドバンスモード以外に設定されていると、「スタート」設定「タスクバーと「スタート」メニュー」の「タスクバーのプロパティ」の「タスクバーオプション」タブで「自動的に隠す」にしても、Windows 98を再起動すると元に戻ります。購入時には、ベーシックモードに設定されています。「アドバンスモードに切り替える」(p.10)にしたがってアドバンスモードにしてから、設定し直してください。

画面にランチ-NXが表示されない

☹️➡️😊 はじめて電源を入れたときや再セットアップしたときに「ValueStar NXを使う準備をします」をクリックしてランチ-NXを使えるように設定をしましたか？

「スタート」メニューの「ValueStar NXを使う準備をします」をクリックすればランチ-NXが起動して使えるようになります。

☹️➡️😊 最小化されていませんか？

ランチ-NXが最小化されている場合はタスクバーの  をクリックしてください。ランチ-NXの画面が表示されます。タスクバーがないときは、「スタート」ボタンがない。タスクバーがない (p.48) をご覧ください。

参照

ランチ-NXを使えるようにする→
『STEP1 接続と準備』PART3の
「ValueStarの設定を行う」

☹️➡️😊 ランチ-NXをWindows の起動と同時に表示されるように設定してください。

1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アプリケーション」の順にクリックして「ランチ-NX」をクリックしてください。

「ランチ-NX」ウィンドウが表示されます。

2 「ランチ-NX」ウィンドウの右上の  ボタンをクリックします。

「ランチ-NXの設定」ウィンドウが表示されます。

3 「その他」タブをクリックして、オプションの「Windows の起動時に毎回「ランチ-NX」を起動する」の ☐ をクリックして ☒ (オン)にします。



4 「OK」ボタンをクリックします。

画面の表示位置やサイズがおかしい

ディスプレイセットモデルのディスプレイを使っているとき

ディスプレイのマニュアルにしたがって、表示位置やサイズを見やすく調節してください。

他のディスプレイを使っているとき

ディスプレイで表示位置やサイズを調節できることがあります。くわしくはディスプレイのマニュアルをご覧ください。

☹️➡️😊 「画面のタイミング」の設定は正しいですか？

- VC40D/5、VE40D/5、VC35D/5、VE35D/5、VM45D/5、VM40D/5の場合

次の手順で設定を確認してください。

参照

ディスプレイの調整→コンパクトタイプ、ミニタワータイプのときは、ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

- 1 「コントロールパネル」(p.8)の「画面」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「設定」タブをクリックして、「詳細」ボタンをクリックします。
- 3 「RIVA 128の設定」タブをクリックして、「その他の設定」をクリックします。
- 4 「その他のオプション」タブをクリックします。



- 5 「DMT(Discrete Monitor Timing)」の  をクリックして  (オン)にし、「OK」ボタンをクリックします。
「画面のタイミング」の「GTF(General Timing Formula)」が選択されていると、画面表示がおかしくなることがあります。
- 6 「OK」ボタンをクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウに戻ります。
- 7 「OK」ボタンをクリックします。

- VC33H/5、VC30H/5、VE30H/5 の場合

- 1 「コントロールパネル」(p.8)の「画面」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「設定」タブをクリックして「詳細」ボタンをクリックします。

3 「ATI調整」タブをクリックします。



4 「初期設定」ボタンをクリックします。
画面の設定が購入時の状態に戻ります。

5 「OK」ボタンをクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウに戻ります。

6 「OK」ボタンをクリックします。

• VF26D/5の場合

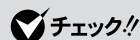
1 「コントロールパネル」(p.8)の「画面」アイコンをダブルクリックします。

2 「設定」タブをクリックして「詳細」ボタンをクリックします。

3 「調整」タブをクリックします。



4 「初期設定」ボタンをクリックします。
画面の設定が購入時の状態に戻ります。



「ヘルプ」ボタンをクリックすると設定についての詳しい解説が表示されます。

- 5 「OK」ボタンをクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウに戻ります。
- 6 「OK」ボタンをクリックします。

MS-DOSプロンプト画面がフルスクリーンになった。元に戻したい

【Alt】キーを押しながら【Enter】キーを押してください。

ウィンドウが画面から切れて操作できない

ウィンドウのタイトルバーが見えているとき

ウィンドウのタイトルバーのボタン以外のところをドラッグして、操作できる位置までウィンドウを移動してください。タイトルバーのボタン以外のところが画面に表示されていないときは、ウィンドウの端をドラッグしてウィンドウを大きくしてください。

ウィンドウのタイトルバーが見えていないとき

キーボードを使って、操作できる位置までウィンドウを移動してください。

- 1 【Alt】キーを押したまま【Tab】キーを数回押してウィンドウを選びます。
- 2 【Alt】キーを押して【↓】キーを押し、【←】キーを押します。
(ウィンドウが見えているときは、メニューが表示されます)
- 3 【↓】キーを押します。
「移動」が選ばれます。
- 4 【Enter】キーを押します。
マウスポインタが  に変わります。
- 5 【↑】 【↓】 【←】 【→】キーを押して操作できる位置までウィンドウを移動します。
- 6 【Enter】キーを押します。

使っていたウィンドウが見えなくなった

タスクバーに、使っていたウィンドウと同じ名前のボタンがあるとき
タスクバーの、使っていたウィンドウと同じ名前のボタンをクリックしてください。
他のウィンドウの下に隠れて見えなくなっているときは、いちばん手前に表示されます。

チェック!!

「ヘルプ」ボタンをクリックすると設定についての詳しい解説が表示されます。

参照

ウィンドウの移動のしかた →
『STEP2 入門』PART4 の「複数のウィンドウを扱う」

また、次の操作でもウィンドウをいちばん手前に切り替えることができます。

- 1 【Alt】キーを押しながら【Tab】キーを1回押します。
アプリケーションを選択するウィンドウが表示されます。
- 2 【Alt】キーを押したまま【Tab】キーを押して、アプリケーションのアイコンを選択します。
- 3 【Alt】キーを離します。
いちばん手前にしたいアプリケーションのウィンドウが表示されます。

タスクバーに、使っていたウィンドウと同じ名前のボタンがないとき
そのウィンドウは閉じています。もう一度開いてください。
アプリケーションのウィンドウのときは、もう一度起動してください。

「システムのプロパティ」にデバイスマネージャやハードウェアプロファイルの画面がない

☹️ ➡️ 😊 ベーシックモードになっていませんか？

CyberTrio-NXでベーシックモードに設定されているとき（ご購入時の状態）は、「システムのプロパティ」でデバイスマネージャやハードウェアプロファイルのタブは表示されません。表示したり設定を変更したい場合は、「アドバンストモードに切り替える（p.10）」にしたがってアドバンストモードにしてください。

📖 参照

CyberTrio-NX → 『リファレンス』
PART1の「Windows 98の利用環境の変更 CyberTrio-NX」

マウスポインタ(矢印)の動きが遅い、速い

「コントロールパネル（p.8）」の「マウス」を開いて、「動作」タブをクリックし、「ポインタの速度」を調節してください。



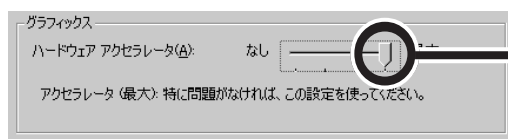
☹️➡️😊 ハードウェア アクセラレータの設定を低くしてください。

ハードウェア アクセラレータでは、グラフィック表示の高速化について設定します。

この設定を低くすると、グラフィックスの表示に関する問題を解決できる場合があります。

次の操作にしたがって設定します。

- 1 「コントロールパネル」(p.8)の「画面」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「設定」タブをクリックし、「詳細」ボタンをクリックします。
- 3 「パフォーマンス」タブをクリックし、「ハードウェア アクセラレータ」の設定のつまみを左にドラッグして、調整します。



このつまみにマウスポインタを合わせて左にドラッグします

- 4 「OK」ボタンをクリックします。
- 5 「閉じる」ボタンをクリックします。

画面の色がおかしい

Windows 98の画面の表示色を256色にしていると、アプリケーションによっては画面の色が正しく表示されない場合があります。次の操作をすると、正しく表示されることがあります。

- 1 画面の何も無いところで右クリックし、表示されたメニューの「アクティブデスクトップ」にマウスポインタを合わせます。
- 2 「Webページで表示」をクリックして、「Webページで表示」の左に付いているチェックを外してください。

画像がぼやけたように表示される

(VC40D/5、VE40D/5、VC35D/5、VE35D/5、VM45D/5、VM40D/5の場合)

☹️➡️😊 次の設定を行うと、表示が改善されることがありますが、画像を拡大したり、縮小したりすると、逆に表示が粗くなることもあるので、場合に応じて設定してください。

- 1 「コントロールパネル」(p.8)の「システム」を開きます。
- 2 「パフォーマンス」タブをクリックし、「グラフィックス」ボタンをクリックします。

「グラフィックスの詳細設定」のウィンドウが表示されます。

- 3 「ハードウェアアクセラレータ」のつまみをドラッグし、「アクセラレータ(最大)」から「アクセラレータ(大)」に変更します。

- 4 「OK」ボタンをクリックし、「システムのプロパティ」画面で「閉じる」ボタンをクリックします。
「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか?」というメッセージが表示されます。

- 5 「はい」をクリックします。

Windows 98が再起動します。

 →  液晶ディスプレイをお使いの場合は、液晶ディスプレイのマニュアルをご覧ください、画面を調整してください。

「チャンネルバーを起動時に表示」のチェックをはずしたのに、起動時にチャンネルバーが表示される

「スタート」メニューの「設定」の「アクティブデスクトップ」の「Webページで表示」の左のチェックをはずしていると、「コントロールパネル」(p.8)の「インターネット」の「詳細設定」タブで「チャンネルバーを起動時に表示」(Active Desktopがオフの場合)を ☐ (オフ)にしても、Windows 98の起動時にチャンネルバーが表示されることがあります。

次の操作をすると表示されなくなります。

- 1 チャンネルバーの上部の「channel guide」にマウスポインタを合わせます。
チャンネルバーの枠が表示されます。
- 2 枠の右上の  をクリックします。
「次回コンピュータを再起動したときに、チャンネルバーを自動的に表示しますか?」と表示されます。
- 3 「いいえ」ボタンをクリックします。

 **メモ**

チャンネルバーを表示するには「STEP3 活用」付録の「アクティブデスクトップの設定を変える」

最小化したヘルプが元に戻ってしまう

ヘルプのウィンドウを最小化(ウィンドウを消して、タスクバーのボタンだけにすること)した状態で、「コントロールパネル」(p.8)の「画面」で設定を変えると、最小化していたヘルプのウィンドウが元に戻ることがあります。

再度、最小化するときは、ヘルプのウィンドウの右上の  (最小化)ボタンをクリックしてください。

画面の設定を 変えようとしたら…

ディスプレイの設定は、「コントロールパネル」の「画面」で行います。

解像度と表示色(色数)は、タスクバーの  で変えることもできます。 をクリックして、表示されたメニューから選んでください。

ディスプレイの省電力機能が設定できない

ディスプレイの省電力機能は、「コントロールパネル」(P.8)の「画面」をダブルクリックして設定します。

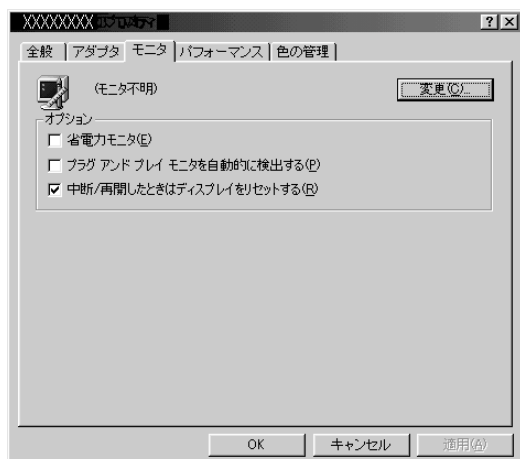
☹️ ➡️ 😊 別売のディスプレイを使っているときは、ディスプレイが省電力機能に対応しているか確認してください。

省電力機能に対応していないディスプレイを接続しているときは、ディスプレイの省電力機能の設定はできません。

別売のディスプレイを使うときは、ディスプレイに添付されているマニュアルをご覧ください。

☹️ ➡️ 😊 ディスプレイは正しく設定されていますか？

「コントロールパネル」(p.8)の「画面」を開き、「設定」タブで「詳細」ボタンをクリックし、さらに「モニタ」タブをクリックします。



 参照

画面設定 → 『STEP 3 活用』の「PART5 設定を変えてみよう」、『リファレンス』PART4の「ディスプレイ」

 チェック!

このパソコンにセットのディスプレイは、省電力機能に対応しています。

 参照

ディスプレイに添付されているマニュアル

 チェック!

左の画面はお使いの機種によって異なります。

別売のディスプレイを使っているときは、「モニタ」タブに「モニタ不明」と表示されていることがあります。このときは、省電力機能が使えません。『リファレンス』PART4の「ディスプレイ」にしたがって、ディスプレイの種類を指定してください。



実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度、設定をやり直してください。

電話回線を使用中のときは、回線を切ってください。

「新しい設定でコンピュータを再起動する」を選択して「OK」ボタンをクリックしたが、再起動できない

タスクバーの右側の  (画面変更) をクリックして、解像度や表示色の設定を変えると、「互換性の警告」ウィンドウが表示されることがあります。このウィンドウで「新しい設定でコンピュータを再起動する」を選んで「OK」をクリックすると、正常に再起動できない場合があります。このようなときは、「強制的に電源を切る方法」(p.36)にしたがって強制的に電源を切った後、電源を入れてください。

タスクバーの  (画面変更) で解像度と表示色の設定を変えたとき、「互換性の警告」ウィンドウが表示されたら、次のように操作してください。

- 1 「再起動せずに設定を適用する」を選んで「OK」をクリックします。
- 2 「スタート」ボタンをクリックして、「Windowsの終了」をクリックします。
- 3 「再起動する」の  をクリックして  にして「OK」ボタンをクリックします。
Windows 98が再起動します。

「ディスプレイの種類が指定されていません…」というメッセージが表示される

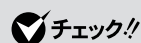
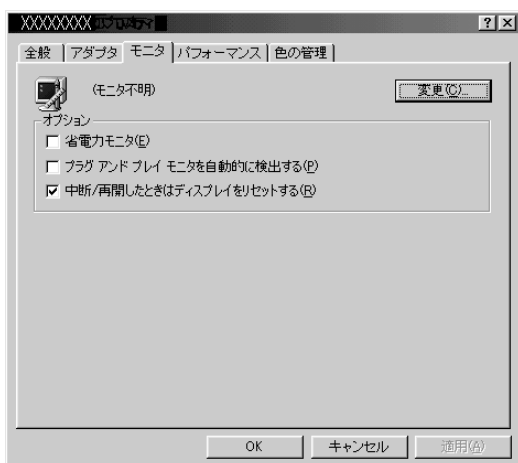


ディスプレイは正しく設定されていますか？

「コントロールパネル」(p.8)の「画面」を開き、「設定」タブで「詳細」ボタンをクリックし、さらに「モニタ」タブをクリックします。「モニタ」タブに、「モニタ不明」と表示されているときは、ディスプレイの種類が指定されていません。使っているディスプレイの種類を指定してください。



ディスプレイの種類を指定するには
→「表示できるはずの高解像度を選ばない」(p.60)



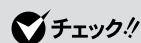
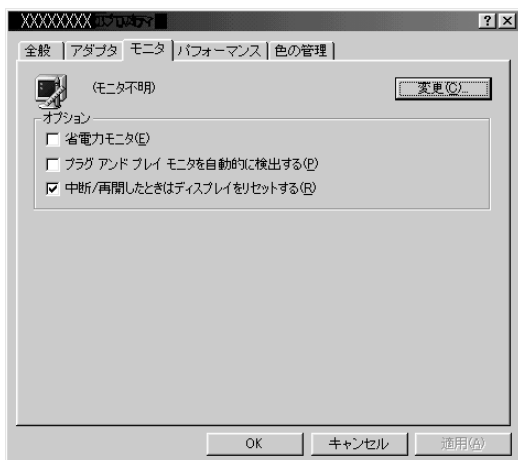
左の画面はお使いの機種によって異なります。

表示できるはずの高解像度を選べない

別売のディスプレイでは、プラグアンドプレイに対応しているディスプレイであっても、ディスプレイの種類によって、高解像度(1280×1024ピクセル)など、サポートしている表示モードの一部を選べないことがあります。

次の操作を行うと解像度を選べるようになります。

- 1 ディスプレイを接続し、Windows 98を起動します。
起動時にディスプレイが検出されたことを表すメッセージが表示されます。
- 2 「コントロールパネル(p.8)の「画面」を開き、「設定」タブをクリックします。
- 3 「詳細」ボタンをクリックし、「モニタ」タブをクリックします。



左の画面はお使いの機種によって異なります。

- 4 「オプション」の「プラグ アンド プレイ モニタを自動的に検出する」のチェックボックスをクリックして ☐ (オフ) にします。
- 5 「OK」をクリックし、次のウィンドウの「OK」をクリックします。
- 6 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。
「Windowsの終了」が表示されます。
- 7 「再起動する」の ☐ をクリックし ☒ (オン) にして、「OK」をクリックします。
Windowsが再起動します。
- 8 「コントロールパネル (p.8) の「画面」を開きます。
- 9 「設定」タブをクリックします。
- 10 「詳細」ボタンをクリックし、「モニタ」タブをクリックして、「変更」ボタンをクリックします。
- 11 「次へ」ボタンをクリックします。
- 12 検索方法で「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」の ☐ をクリックして ☒ (オン) にして、「次へ」ボタンをクリックします。
- 13 「すべてのハードウェアを表示」の ☐ をクリックして ☒ (オン) にします。
- 14 「製造元」でディスプレイの製造元を選び、「モデル」でディスプレイの種類を選びます。
ディスプレイ一覧に、接続したディスプレイの種類が表示されないときは、「製造元」で「(標準モニタの種類)」を選び、「モデル」で接続したディスプレイがサポートしている解像度を選びます。
- 15 「次へ」ボタンをクリックします。
ドライバファイルのインストールの準備のウィンドウが表示されます。
- 16 「次へ」ボタンをクリックして、「完了」ボタンをクリックします。
- 17 「閉じる」ボタンをクリックします。
- 18 「OK」ボタンをクリックします。
- 19 Windowsを再起動するようメッセージが表示されるときは、他のアプリケーションが終了していることを確認して「はい」ボタンをクリックしてください。
再起動後、高解像度を選べるようになります。

 参照

ディスプレイの製造元とモデル→
ディスプレイに添付されているマ
ニュアル

 参照

解像度の変更のしかた→『リファレ
ンス』PART4の「ディスプレイ」

チャンネルバーがなくなった

画面の解像度を変えて再起動すると、右側にあったチャンネルバーが画面の外に出てしまって、見えなくなってしまうことがあります。

こういうときは、解像度を元に戻して、次の方法でチャンネルバーを左に移動してから、もう一度解像度を変えてください。

チャンネルバーを左に移動するには

- 1 マウスポインタをチャンネルバーの上部の「channel guide」に合わせます。

チャンネルバーに枠が表示されます。

- 2 枠の上部の  と  の間の部分を左の方へドラッグします。

次の方法で、チャンネルバーを標準の位置に移動することもできますが、この方法で移動すると、チャンネルバー以外のActive Desktop項目(デスクトップに表示したWebページなど)はすべて削除されてしまいます。必要なActive Desktop項目があるときは、購読情報を控えておいて、最後に追加し直してください。

チャンネルバーを標準の位置に戻すには

- 1 デスクトップの何もないところで右クリックして、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックします。
「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「Web」タブをクリックします。
Active Desktop項目の一覧が表示されます。
必要なActive Desktop項目があるときはクリックし、「プロパティ」ボタンをクリックし、表示された購読情報を控えてください。
- 3 「すべてリセット」ボタンをクリックし、「はい」ボタンをクリックします。
- 4 「OK」ボタンをクリックします。

チャンネルバーなどを消して、アクティブデスクトップを使わないようにしたい

アクティブデスクトップを使わないときは、画面の何もないところで、右クリックし、表示されたメニューの「アクティブデスクトップ」にマウスポインタを合わせ、「Webページ

メモ

ActiveDesktop 項目の購読情報はActiveDesktop 項目をクリックして、「プロパティ」ボタンをクリックすると表示されます。

で表示」をクリックしてください。「Webページで表示」の左についているチェックが外れて、画面はアクティブデスクトップでなくなります。

画面の解像度や表示色を変更したい

タスクバーに表示されているをクリックして、表示されたメニューから、目的の解像度と表示色をクリックしてください。

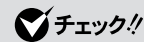
再起動を促すメッセージが表示されたら、画面の指示に従って、再起動してください。

640x480 256 色
✓ 800x600 256 色
1024x768 256 色
640x480 High Color (16 ビット)
800x600 High Color (16 ビット)
1024x768 High Color (16 ビット)
640x480 True Color (24 ビット)
800x600 True Color (24 ビット)
640x480 True Color (32 ビット)
800x600 True Color (32 ビット)
ディスプレイ プロパティの調整(A)



表示色と解像度の変更は「コントロールパネル」(p.8)の「画面」からもできます。

詳しくは『STEP3 活用』PART5の「画面の設定を変える」をご覧ください。



左の画面はお使いの機種によって異なります。

フォルダに壁紙(背景)をつけたい

次の操作にしたがって設定してください。

- 1 背景(壁紙)をつけたいフォルダをダブルクリックします。
- 2 フォルダ内のなにもないところで右クリックします。
メニューが表示されます。
- 3 「フォルダのカスタマイズ...」をクリックします。
「フォルダのカスタマイズ」ウィンドウが表示されます。
- 4 「背景画を選択する」をクリックして (オン)にし「次へ」ボタンをクリックします。
- 5 「このフォルダの背景に使用する画像」から気に入った画像をクリックして、「次へ」ボタンをクリックします。
「参照」ボタンをクリックすると画像ファイルを参照できます。また、「アイコン キャプション」から文字や背景を選択できます。
- 6 「完了」ボタンをクリックします。

デスクトップの壁紙(背景)を変更したい

次の操作にしたがって変更してください。

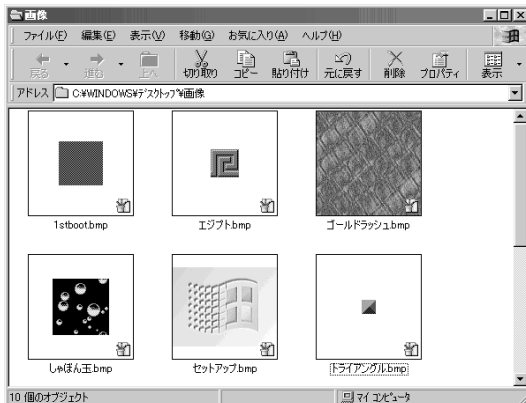
- 1 デスクトップ上のアイコンやタスクバーなどがいないところで右クリックします。
メニューが表示されます。
- 2 「プロパティ」をクリックします。
「画面のプロパティ」が表示されます。
- 3 「背景」タブが表示されていることを確認し、「壁紙」から背景のファイルを選びます。
- 4 背景の画像を確認してから、「OK」ボタンをクリックします。

画像ファイルを縮小表示したい

次の操作にしたがって設定してください。

- 1 マイコンピュータまたはエクスプローラを起動し、縮小表示したい画像ファイルの入ったフォルダを開きます。
- 2 ウィンドウのなにもないところで右クリックします。
メニューが表示されます。
- 3 「プロパティ」をクリックします。
- 4 「全般」タブの「縮小表示を使用」の ☐ をクリックして ☒ (オン)してから、「OK」ボタンをクリックします。
- 5 フォルダのウィンドウをいったん閉じてから、再び同じフォルダのウィンドウを開きます。
- 6 メニューバーの「表示」をクリックし、表示されたメニューの「縮小版」をクリックします。
画像ファイルの縮小版が表示されます。

(縮小表示の例)



✓チェック!!

縮小表示が設定されると、フォルダの Web ページ形式の表示は解除されます。

デスクトップテーマの設定項目を自由に組み合わせたい。変更した設定を保存したい

デスクトップ テーマを変更し、別の名前で保存すると、新しいテーマを作成して登録することができます。次の操作にしたがって設定してください。

- 1 「コントロールパネル」(p.8)の「デスクトップ テーマ」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「テーマ」の▼をクリックし、デスクトップ テーマを選択します。
プレビューが表示されます。

(プレビューの例)



- 3 「設定」の項目の中から、設定しない項目の☒をクリックして☐ (オフ)にします。
☐ (オフ)にした項目は現在の設定が適用されます。
- 4 「OK」ボタンをクリックします。
デスクトップ テーマのデザインが変わります。
- 5 「コントロールパネル」(p.8)の「デスクトップ テーマ」アイコンをダブルクリックします。
- 6 「名前をつけて保存」ボタンをクリックします。
「テーマの保存」ウィンドウが表示されます。
- 7 「ファイル名」ダイアログボックスにファイル名を入力し、「保存」ボタンをクリックします。
- 8 「OK」ボタンをクリックします。
デスクトップ テーマに追加されます。

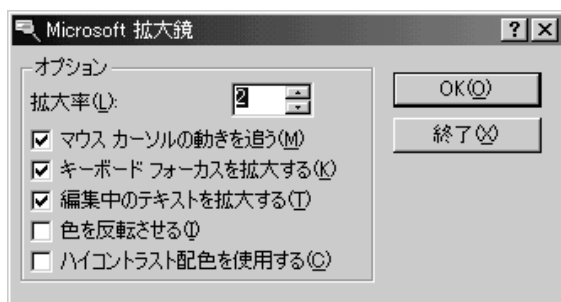
メモ

プレビューの文字が文字化けする場合は「フォント名とスタイル」と「フォントとウィンドウのサイズ」の☒をクリックして☐ (オフ)にしてください。

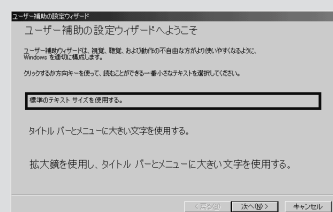
画面の一部を拡大表示したい

次の操作にしたがって設定してください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」、「ユーザー補助」、「拡大鏡」をクリックします。
画面の上半部が拡大され、「Microsoft 拡大鏡」ウィンドウが表示されます。
- 2 「Microsoft 拡大鏡」の「オプション」で、画面の拡大率などの調整を行ってください。



Windows 98 には、体の不自由な方がパソコンを使いこなすための「ユーザー補助機能」があります。「ユーザー補助機能の設定ウィザード」を使うと簡単にパソコンを使いやすく設定できます。「スタート」ボタンをクリックして、「プログラム」、「アクセサリ」、「ユーザー補助」、「ユーザー補助ウィザード」の順にクリックすると「ユーザー補助の設定ウィザード」のウィンドウが表示されます。



以降は画面の指示にしたがって操作すれば、パソコンを使いやすく設定できます。

ファイル、フォルダがおかしい・・・

ファイルが見つからないときや、間違って消してしまったときは、ここをご覧ください。

ファイルが開かない

☹️➡️😊 ファイルに対応したアプリケーションはありますか？
ファイルに対応したアプリケーションがご自分のパソコンにないときは、ファイルを開くことはできません。ファイルに対応したアプリケーションをインストールしてください。

☹️➡️😊 ファイルとアプリケーションのバージョンは対応していますか？
ファイルに対応したアプリケーションがあっても、ファイルとアプリケーションのバージョンが対応していないとファイルが開けないか、開けても意味不明な状態になることがあります。アプリケーションに添付のマニュアルなどでファイルとアプリケーションの対応について確認してください。

☹️➡️😊 ファイルのアプリケーションを削除しませんでしたか？
アプリケーションを削除したあとに、そのアプリケーションのファイルを開こうとすると「関連付けるアプリケーションの設定エラー」ウィンドウが表示されます。削除したアプリケーションをインストールし直してください。

☹️➡️😊 ファイルの関連付けをしていますか？
ファイルに対応したアプリケーションが他にあるときは、次の操作にしたがって、ファイルの関連付けを行ってください。

- 1 ファイルのアイコンを右クリックします。
メニューが表示されます。
- 2 「アプリケーションから開く」をクリックします。
「ファイルから開くアプリケーションの選択」ウィンドウが表示されます。
- 3 「このファイルが開くアプリケーション」からファイルに対応したアプリケーションをクリックします。
- 4 「OK」ボタンをクリックします。

✓チェック!

ファイルを右クリックし「プロパティ」をクリックするとファイルの概要を確認することができます。

(プロパティの例)



 ➡  クイックビューアでファイルを開いてください。

ファイルのアイコンを右クリックし、メニューから「クイックビューア」をクリックすると、ファイルの中身を確認することができます。

ファイルが見つからない

使ったばかりのファイルを探したいとき

「スタート」ボタンをクリックして、「最近使ったファイル」にマウスポインタを合わせると、最近使ったファイルの名前が表示されます。探しているファイルが表示されたときは、そのファイルをクリックします。

ファイルがどのフォルダに入っているかわからないとき

「スタート」ボタンをクリックして、「検索」の「ファイルやフォルダ」で探してください。ファイル名や最後に更新した日付などで探すこともできます。

ファイルがどのフォルダに入っているかわかっているとき

 ➡  ファイルのアイコンが、他のアイコンの下に重なって隠れていませんか？

そのフォルダのウィンドウの「表示」メニューの「等間隔に整列」をクリックし、アイコンを並べ直してください。

ファイルが読みこめない

何らかの理由で、ファイルが壊れた可能性があります。大切なファイルは、ハードディスクに保存するだけでなく、フロッピーディスクやMO（光ディスク）、外付けのハードディスクなどに、こまめに保存しておいてください。

必要なファイルを消してしまった

 ➡  「ごみ箱」を開いて、フォルダやファイルが残っていないか確認してください。

残っていたら、元に戻したいフォルダやファイルをクリックして、「ごみ箱」の「ファイル」メニューをクリックし、「元に戻す」をクリックすると元に戻すことができます。

チェック!!

ファイルによっては「クイックビューア」で開いても正しく表示できないことがあります。

参照

『STEP3 活用』PART3の「ファイルを探す」

メモ

Windows 98では、フォルダやファイルを削除すると、いったん「ごみ箱」に保管されます。間違ってフォルダやファイルを削除しても、「ごみ箱」から元に戻すことができます。ただし、フロッピーディスクに保存されているフォルダやファイルを削除したときは、「ごみ箱」には保管されないの、元に戻すことはできません。

参照

『STEP3 活用』PART3の「いらないファイルはごみ箱へ」

CD-ROMからコピーしたファイルを上書きできない

CD-ROMは読み取り専用の媒体のため、CD-ROMからコピーしたファイルは「読み取り専用」の属性が設定されていることがあります。このためファイルを編集して上書きするためには「読み取り専用」の属性を外さなければなりません。次の操作にしたがって設定してください。

- 1 ファイルのアイコンを右クリックし表示されたメニューから「プロパティ」をクリックします。
- 2 「全般」タブの「読み取り専用」の ☒ をクリックして ☐ (オフ) にします。



- 3 「OK」ボタンをクリックします。

複数のフォルダやファイルの容量の合計を知りたい

複数のフォルダやファイルの容量を確認するには次の操作を行ってください。例えば、フロッピーディスクなどにデータをコピーする場合、データが収まるかどうかを確認することができます。

- 1 【Ctrl】キーを押しながら、確認したいフォルダやファイルをクリックします。
- 2 右クリックします。

- 3 表示されたメニューから「プロパティ」をクリックします。
選択された、フォルダ数やファイル数とサイズが表示されます。



選択されたファイル数、
フォルダ数が表示されます

ファイルの合計サイズが表
示されます

長いファイル名をつけられない。表示できない

- ☹️ ➡️ 😊 MS-DOSやWindows 3.1用のソフトウェアを使っていますか？

Windows 98で、Windows 98および Windows 95用のソフトウェアを使っているときは、ドライブ名、フォルダ名、ファイル名を合わせて、半角で255文字までの長い名前を使えますが、Windows 98でMS-DOSやWindows 3.1用のソフトウェアを使っているときは、フォルダやファイルに長い名前をつけることはできません。半角で8文字以内の名前にしてください。

- ☹️ ➡️ 😊 16Bitモードのドライバを使用する周辺機器を使用していますか？

16Bitモードのドライバを使用する周辺機器を使用している場合は、その周辺機器に保存されるファイルは長いファイル名やフォルダ名を使用することはできません。半角で8文字以内の名前にしてください。

メモ

その周辺機器に16Bitモードのドライバが使用されているかどうかは「コントロールパネル」(p.8)から「システム」を開き、「パフォーマンス」タブで確認することができます。

ファイル名を変更できない。ファイル名をつけれない

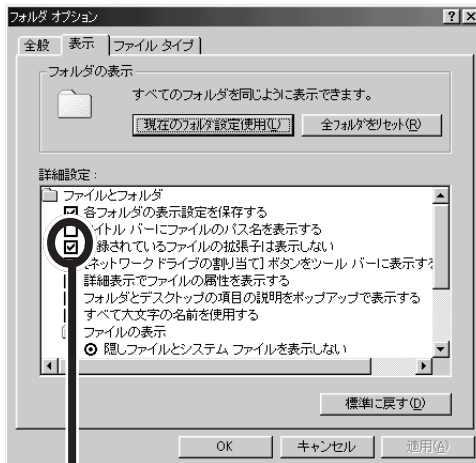
☹️ ➡️ 😊 ファイル名に特殊な記号を使っていますか？

Windows 98ではファイル名に「*」「|」「<」「>」「/」「?」「"」「\$」「¥」「:」「,」は使えません。次のような画面が表示されたら、「OK」をクリックし、英数字やひらがな、カタカナのファイル名に変更してください。



ファイルの拡張子が表示されない

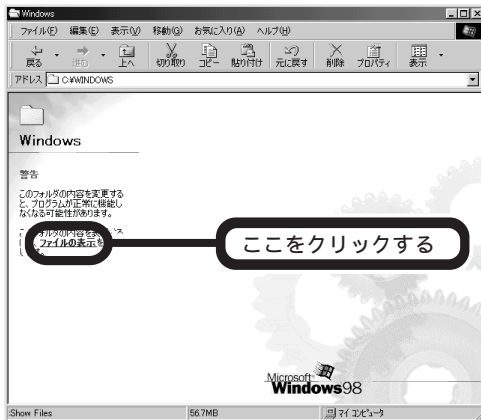
マイコンピュータやエクスプローラの「表示」メニューの「フォルダオプション」の「表示」タブで、「登録されているファイルの拡張子は表示しない」のチェックボックスをクリックして、☒ (オン) から ☐ (オフ) にしてください。



ここをクリックして ☐ (オフ) にします

Windows フォルダをクリックしても内容が表示できない

Windows フォルダにWebページ形式表示を設定すると、フォルダの内容を表示する前に「警告」が表示されます。「ファイルの表示」をクリックするとWindows フォルダの内容を表示することができます。



✓チェック!!

Windows フォルダにはシステムファイルなどの重要なファイルが入っていますので、削除したり更新したりする場合は十分注意してください。

文書を保存せずにアプリケーションを終了した(または、電源を切った)ら、データが消えた

アプリケーションを終了したり、電源を切ると、フロッピーディスクやハードディスクに保存していないファイルは消えてしまいます。万一のアクシデントに備えて、大切なファイルはこまめに保存してください。

文書作成中に電源を切ってしまった

「文書作成中に電源を切ってしまった」(p.37)をご覧ください。

フォルダを開くと元のフォルダのウィンドウがなくなる

ご購入時の状態では、マイコンピュータから、ドライブやフォルダを開いていくと元のウィンドウに新しいフォルダの内容が表示され、元の内容は残らないように設定されています。次の操作を行うと、新しいフォルダを開くと、元のウィンドウとは別に新しいウィンドウが開くようになります。

- 1 デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックします。
- 2 「表示」メニューの「フォルダオプション」をクリックします。
- 3 「全般」タブをクリックし、「カスタム：選択する設定に基づきます」の  をクリックして  にします。
- 4 「設定」をクリックします。
- 5 「フォルダのブラウズ方法」の「フォルダを開くたびに新しいウィンドウを作る」の  をクリックして  (オン)にし、「OK」ボタンをクリックします。
- 6 「閉じる」をクリックします。

JPEGファイルが見つからない、利用できない

JPEGファイルの拡張子には、JPE、JPG、JFIF、JPEGがあります。アプリケーションによっては利用できる拡張子が異なる場合があります。この場合は次の手順を行ってください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックして、「プログラム」をポイントし、「エクスプローラ」をクリックします。
- 2 「表示」メニューから「フォルダ オプション」をクリックします。
「フォルダ オプション」ウィンドウが表示されます。
- 3 「ファイル タイプ」タブをクリックします。
- 4 「登録されているファイル タイプ」から「JPEG イメージ」をクリック(反転表示)し、「編集」ボタンをクリックします。
「フォルダ タイプの編集」ウィンドウが表示されます。
- 5 「内容の種類の標準拡張子」から「.jpeg」を選びます。
- 6 「OK」ボタンをクリックします。
「フォルダ オプション」ウィンドウに戻ります。
- 7 「OK」ボタンをクリックします。

音がおかしい・・・

異常な音がするときや、スピーカの音を調整したいときは、ここをご覧ください。

 参照

サウンド機能 → 『リファレンス』
PART4 の「サウンド機能」

異常な音がする

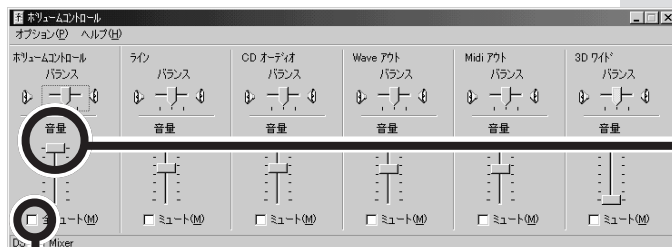
パソコンの内部から、カリカリと物をひっかくような音がしたり、ガガガとひっかかるような音がしたときは、「パソコンがこわれそう...」(p.22)を参照してください。

音が出ない、音が大きすぎる

 ➡  ミュート(消音)になっていないか確認して、音量を調整してください。

画面右下の  (音量インジケータ)をクリックするか、ダブルクリックし、「ボリュームコントロール」の全ミュートが ☒ になっているときはクリックして ☐ にして、スライダー ()を上下にドラッグして、音量を調節してください。調節したら、右上の  ボタンをクリックして、ウィンドウを閉じてください。

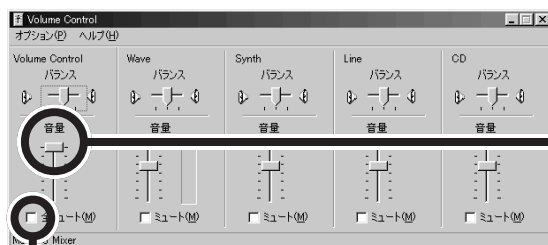
コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合



このつまみ(スライダー)を上下にドラッグして音量を調節する。

ここが ☒ になっていると音が出ない。音を出したいときはクリックして ☐ にする。

ボックスレスタイプの場合



このつまみ(スライダー)を上下にドラッグして音量を調節する。

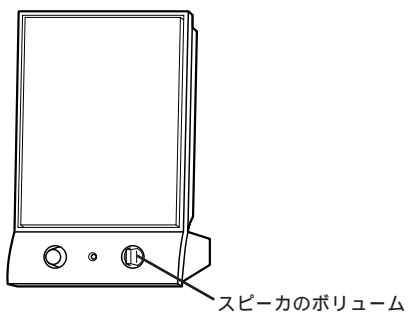
ここが ☒ になっていると音が出ない。音を出したいときはクリックして ☐ にする。

「ボリュームコントロール」で調整しても、音が出なかったり、大きすぎるときは、パソコンの機種によって次の操作をしてください。

コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合

☹️ ➡️ 😊 外付けスピーカの音量を調節してください。

外付けスピーカのボリュームを回して、適当な音量に調節してください。



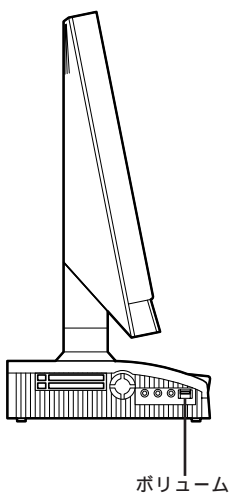
☹️ ➡️ 😊 スピーカは正しく接続されていますか？

『STEP1 接続と準備』PART2の「スピーカを接続する」をご覧ください。パソコン本体にスピーカを正しく接続してください。

ボックスレスタイプの場合

☹️ ➡️ 😊 パソコン本体の音量を調節してください。

パソコン本体左側面のボリュームを回して、音量を調節してください。



スピーカから「キーン」という音がする(ハウリングを起こす)

マイクロホンスピーカに近づけると、スピーカから「キーン」という大きな音が出ることがあります。これをハウリングといいます。故障ではありません。

マイクロホンスピーカから遠ざけるか、スピーカの音量ボリュームで音量を下げてください。

ヘッドホンから音が聞こえない (モニタータイプの場合)



ヘッドホンをDVD-ROMドライブのヘッドホン端子に接続していませんか？

ヘッドホンをパソコン本体のヘッドホン端子に接続してください。ゲームなどの音声は、パソコンで音声に変換されるので、DVD-ROMドライブのヘッドホン端子では音が聞こえません。

最適な音質で音をききたい

マルチメディア機能を利用すると、環境設定をするだけで簡単に最適な音質を楽しむことができます。

次の操作で設定することができます。

- 1 「コントロールパネル」(p.8)の「マルチメディア」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「オーディオ」タブをクリックして、「再生」の「詳細プロパティ」ボタンをクリックします。
- 3 「スピーカー」タブをクリックして、「スピーカーの種類」から、ご使用の環境を選びます。
- 4 「OK」ボタンをクリックします。

別売のマイクロホンを接続したが録音できない



マイクロホンがパソコンに正しく接続されていますか？

『拡張の手引き』の「このパソコンで使える周辺機器」をご覧ください。なり、正しく接続されているかどうかを確認してください。

 ➡  「ボリュームコントロール」の設定を確認してください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」、「エンターテインメント」の順にマウスポインタを合わせ「ボリュームコントロール」をクリックします。
- 2 「オプション」メニューの「プロパティ」をクリックします。
- 3 「録音」の左の  をクリックして  にして、「OK」をクリックします。
- 4 「マイクロフォン」の「選択」の左が ☐ になっているときはクリックして ☒ にします。☒ になっていないとマイクロホンから録音できません。
- 5  をクリックします。
ボリュームコントロールが閉じます。

音楽CDやビデオCDの再生音が小さい

 ➡  「ボリュームコントロール」で音量を調整してください。

- 1 画面右下の  (音量インジケータ) をダブルクリックします。
「ボリュームコントロール」ウィンドウが表示されます。
- 2 音楽CDの場合は、「CDオーディオ」の音量のつまみを上にドラッグして音を調整してください。
ビデオCDの場合は、「Waveアウト」の音量のつまみを上にドラッグして音を調整してください。

 参照

ボリュームコントロールについて
「リファレンス」PART4 の「サウンド機能」

DVD VIDEOディスクの再生音が小さい (DVD-ROMモデルの場合)

 ➡  「ボリュームコントロール」で音量を調整してください。

- 1 画面右下の  (音量インジケータ) をダブルクリックします。
「ボリュームコントロール」ウィンドウが表示されます。
- 2 「Waveアウト」の音量のつまみを上にドラッグして音を調整してください。

 参照

ボリュームコントロールについて
「リファレンス」PART4 の「サウンド機能」

マウスを動かしても…

正常な状態では、マウスを動かすと、画面のマウスポインタが移動します。マウスポインタは、    など、形を変えることがあります。

マウスを動かしても、何も反応しない

 ➡  マウスポインタが砂時計の形になっていませんか？



砂時計のマウスポインタ

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンが処理をしているので、マウスの操作が受け付けられない場合があります。処理が終わるまで待ってください。

 ➡  マウスとキーボード、キーボードとパソコン本体の接続を確認してください。

『STEP1 接続と準備』PART2の「キーボードを接続する」、「マウスを接続する」にしたがって、マウスとキーボード、キーボードと本体を接続し直してください。
マウスとキーボード、キーボードと本体が正しく接続されていないとマウスの操作はできません。

 ➡  しばらく待っても、マウスの操作ができないとき
プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。Windowsの処理を止めているプログラムを強制終了してください。保存していないデータはなくなります。

マウスの動きが悪い

 ➡  マウスの内部が汚れていませんか？

「マウスのクリーニング」(p.186)をご覧になって、マウスの内部を掃除してください。

参照

マウスの設定を変えるには→『リファレンス』PART4の「マウスのプロパティ」ウィンドウでの設定」

チェック!!

Windows 98 セットアップ中には、動作が止まったように見えても、セットアッププログラムは動作していることがあります。画面表示をよく確認して、動作中は電源を切ったりしないでください。

参照

『STEP1 接続と準備』PART2の「キーボードを接続する」、「マウスを接続する」

参照

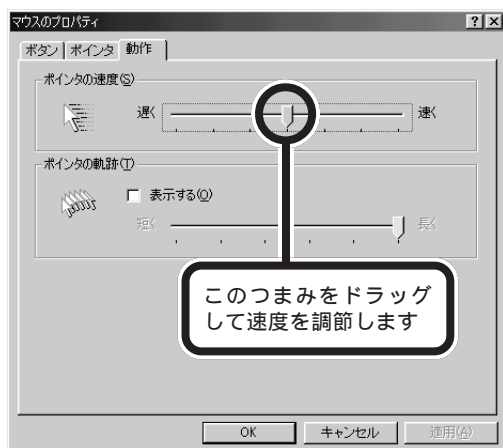
強制終了の方法→「電源が切れない。強制的に電源を切りたい」(p.35)

参照

「マウスのクリーニング」(p.186)

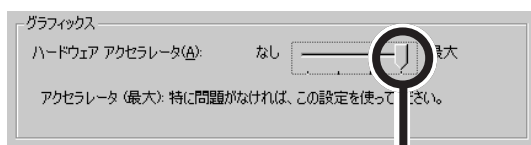
マウスポインタ(矢印)の動きが遅い、速い

「コントロールパネル」(p.8)の「マウス」を開いて、「動作」タブをクリックし、「ポインタの速度」を調節してください。



- ☹️ ➡️ 😊 ハードウェア アクセラレータの設定を低くしてください。
- ハードウェア アクセラレータは、グラフィック表示の高速化について設定します。この設定を低くすると、マウスポインタの動きなどのグラフィックス表示に関する問題を解決できる場合があります。
- 次の操作にしたがって設定します。

- 1 「コントロールパネル」(p.8)の「画面」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「設定」タブをクリックし、「詳細」ボタンをクリックします。
- 3 「パフォーマンス」タブをクリックし、「ハードウェア アクセラレータ」の設定のつまみを左にドラッグして、調整します。



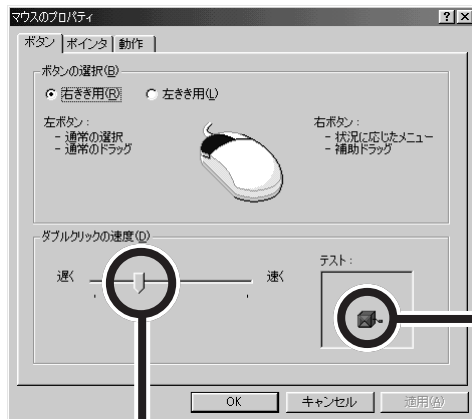
- 4 「OK」ボタンをクリックします。
- 5 「閉じる」ボタンをクリックします。
再起動を促すメッセージが表示されます。
- 6 「はい」ボタンをクリックします。

ダブルクリックしにくい

「コントロールパネル」(p.8)の「マウス」を開くと、ダブルクリックの設定を変えられます。

「ダブルクリックの速度」を調節すると、ダブルクリックしやすくなります。

「マウスのプロパティ」の「ボタン」タブで「ダブルクリックの速度」を調節して、「OK」をクリックします。



ドラッグして左に動かすと、ゆっくりダブルクリックできるようになる

ここをダブルクリックしてびっくり箱が飛び出さないときは、左のつまみを左(遅く)の方に動かす

メモ

クリックした後、【Enter】キーを押しても、ダブルクリックと同じ操作をしたことになります。

メモ

画面の操作を、クリックにするか、ダブルクリックにするかを次の操作で選ぶことができます。

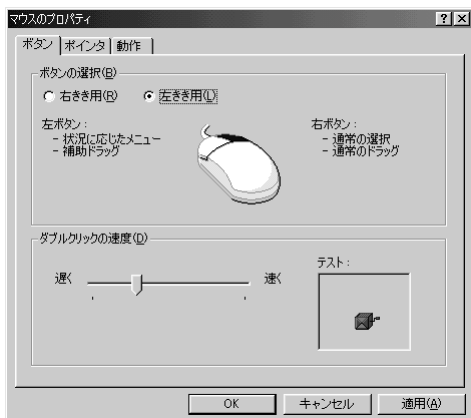
- 1 「スタート」ボタン-「設定」-「フォルダオプション」の順にクリックします。
- 2 「全般」タブの「カスタム: 選択する設定に基づきます」の をクリックして (オン) にして、「設定」ボタンをクリックします。

- 3 「クリック方法」の「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」か「シングルクリックで選択し、ダブルクリックで開く」のいずれかの をクリックして (オン) にして、「OK」ボタンをクリックします。
- 4 「閉じる」ボタンをクリックします。

マウスを左きき用にしたい

「コントロールパネル」(p.8)の「マウス」を開いて「左きき用」を選べば、マウスの左ボタンの動きと右ボタンの動きを入れかえることができます。

「マウスのプロパティ」の「ボタン」タブで「ボタンの選択」から「左きき用」の  をクリックして  (オン) にしてから、「OK」をクリックします。

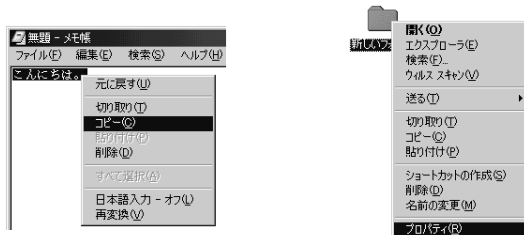


右クリックを使いこなしたい

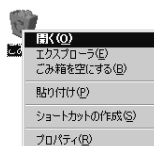
マウスで文字やファイル、フォルダのアイコンなどを右クリックすると「開く」「印刷」「クイックビューア」「切り取り」「コピー」「削除」「プロパティ」など、選択したものに応じた、頻繁に使うメニューが表示されます。これを使うと、すばやい操作が可能になり、作業の効率がよくなります。また、アプリケーションのファイルのアイコンを右クリックするとアプリケーション独自のメニューが表示されることがあります。

右クリックの例

- 文字を選択して右クリックすると
- フォルダを右クリックすると



- ごみ箱アイコンを右クリックすると



参照

マウスの操作 → 『STEP2 入門』の「PART3 マウスに慣れよう」

デバイスマネージャの「PS/2 互換マウス ポート」に黄色い「！」がついている

「コントロールパネル」(p.8)の「システム」の「デバイスマネージャ」のウィンドウでマウスの下の「PS/2 互換マウス ポート」に黄色い「！」がついていますが、異常ではありません。

システム情報の「コンポーネント」-「問題のあるデバイス」に「PS/2 互換マウス ポート」が表示されている

「スタート」-「プログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「システム情報」の「コンポーネント」-「問題のあるデバイス」に「PS/2 互換マウス ポート」が表示されていますが、異常ではありません。

✓チェック!!

PS/2 キーボードコネクタやPS/2 マウスコネクタにキーボードやマウスを接続している場合は「！」は表示されません。

文字を入力しよう としたら...

文字は、キーボードから入力します。
漢字やひらがななど、日本語の文字を入力するときは、
【Alt】を押したまま【半角/全角】を押して、日本語入力シ
ステムをオンにします。
Wordモデルには、MS-IME 98が入っています。
一太郎モデルには、ATOK12とMS-IME 98という2つ
の日本語入力システムが入っています。

キーボードのキーを押しても、何も反応しない

☹️➡️😊 マウスポインタが砂時計の形に変わっていませんか？



砂時計のマウスポインタ

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコン
がプログラムの処理をしているので、キーボードからの操作
は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。

☹️➡️😊 キーボードと本体との接続を確認してください。

『STEP1 接続と準備』PART2の「キーボードを接続する」に
したがって、キーボードと本体を接続し直してください。
キーボードのプラグが本体から抜けていたり、きちんと奥ま
で差し込まれていないとキーボードの操作はできません。

☹️➡️😊 しばらく待っても、キーボードの操作ができないとき
プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)
のだと思われます。Windowsの処理を止めているプログラ
ムを強制終了してください。このとき、保存していなかった
データはなくなります。

☹️➡️😊 キーボードのUSBコネクタを抜き差ししませんでしたか？
USB対応機器は電源を入れたまま、USBコネクタを抜き差
しできますが、パソコン本体が認識するまで数秒から10秒
程度かかります。そのため急激にUSBコネクタを抜き差し
すると、キーボードが何も反応しなくなることがあります。
このようなときは、電源スイッチを約4秒以上押しつづけて
Windows 98を強制終了してください。USBコネクタは、
3秒以上待ってから抜き差ししてください。

📖 参照

コントロールパネルでキーボードの
設定をする方法→『リファレンス』
PART4の「キーボードのプロパ
ティ」ウィンドウでの設定」
日本語の入力→『STEP2 入門』の
「PART5、PART7 キーボードに慣
れよう」

✔️ チェック！

Windows 98 セットアップ中には、
動作が止まったように見えても、
セットアッププログラムは動作して
いることがあります。画面表示をよ
く確認して、動作中は電源を切った
りしないでください。

📖 参照

『STEP1 接続と準備』PART2の
「キーボードを接続する」

📖 参照

強制終了の方法→「電源が切れない。
強制的に電源を切りたい」(p.35)

☹️➡️😊 キーボードを別売のUSBハブに接続していませんか？

キーボードを別売のUSBハブに接続して使う場合は、次の点に注意してください。

- 別売のUSBハブにキーボードを接続するときは、先に、本体のUSBコネクタにキーボードを接続した状態で、使用したいUSBコネクタにUSBハブを接続して認識させてください。そのあとでキーボードをUSBハブに接続してください。
- キーボードは、セルフパワーデバイスのUSBハブに接続してください。
- 3台以上のUSBハブを接続する場合は、USBバス上のトラブルが発生したときのために、キーボードはなるべく本体に近いUSBコネクタに接続することをお勧めします。
- セットアップや再セットアップをするときは、本体のUSBコネクタにキーボードを接続してください。



「拡張の手引き」の「PART2 USB対応機器を使う」

キーボードで押したキーと違う文字が表示される

☹️➡️😊 キーボードの  (キャップスロックキーランプ) が点灯していませんか？

この状態では【Shift】キーを押していないときは大文字、押しているときは小文字が入力されます。

【Shift】キーを押したまま【Caps Lock】キーを押して、ランプを消すと、【Shift】キーを押していないときは小文字、押しているときは大文字が入力される状態になります。

☹️➡️😊 日本語入力モードになっていませんか？

英字を入力したいときは、【Alt】キーを押しながら【半角/全角】キーを押して、日本語入力システムをオフにします。

☹️➡️😊 使っているフォントにその文字はありますか？

フォントによっては、キーボードに表記されている文字と画面に表示されている文字が違う場合があります。

そのフォントに、表示したい文字があるか確認してください。

フォントが持っている文字の一覧は「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」・「アクセサリ」の順にマウスポインタを合わせ、「文字コード表」をクリックすると表示されます。その「文字コード表」でそのフォントが、表示したい文字を持っているかどうか確認してください。持っていないときは、他のその文字を持っているフォントを指定してください。フォントの指定の仕方は、アプリケーションによって異なるので、アプリケーションのマニュアルをご覧ください。

テンキーを押しても数字を入力できない

☹️➡️😊 キーボードの  Num Lockキーランプ)は点灯していますか？

点灯していないときは、キーボードの【Num Lock】キーを押して点灯させてください。Num Lockキーランプが点灯していないときは、テンキーから数字を入力できません。

メモ帳を使っていたら「メモリ不足のため、この作業を実行できません。アプリケーションをいくつか終了してから、やり直してください。」と表示された

☹️➡️😊 ワードパッドやWord 98または一太郎9などに保存し直してください。

メモ帳では入力できる文字データ量に限界があります。エラーの表示はこのデータ容量を超えたことを示しています。このときはいったん文章を保存して、ワードパッドやWord 98または一太郎9などのワープロのアプリケーションからファイルを開いて、入力し直してください。

ひらがなや漢字の入力(日本語入力)ができない

キーボードで【Alt】キーを押しながら【半角/全角】キーを押して、日本語入力システムをオンにしてください。

コントロールパネルの「キーボード」で日本語、英語以外の言語を標準に設定できない

コントロールパネルの「キーボード」-「言語」タブ-「言語」で日本語、英語以外の言語を標準に設定することはできません。

再変換機能が使えない

MS-IME98には、いったん確定した漢字やカナ文字を再変換できる「再変換機能」があります。ただし、この機能が使えるのはWord 98やWindows 98に付属の「メモ帳」など再変換機能に対応したアプリケーションのみです。

また、ATOK12にも「再変換機能」があり、再変換機能に対応したアプリケーションのみ使用できます。

参照

日本語を入力するには→『STEP 2 入門』PART 6、PART 8の「文章を追加する」

メモ

Windows 98 付属の「ワードパッド」はMS-IME98の再変換機能に対応していません。

「～」(チルダ、ニョロ)を入力したい

【Shift】キーを押しながら、 キー(キーボードの右上の方にあります)を押します。

「_」(アンダースコア、アンダーバー)を入力したい

【Shift】キーを押しながら、 キー(キーボード右下の方にあります)を押します。

「\」(バックスラッシュ)を入力したい

Windows 98では、「\」は入力できません。 キー(キーボード右下の方にあります)を押すと「¥」が表示されます。

これは、英語の「\」と日本語の「¥」の文字コードが同じだからで、同じデータが日本語用のシステムでは「¥」と表示され、英語用のシステムでは「\」と表示されます。したがって、プログラムのコマンドなどで「\」と入力するように指示されているときは、「¥」と入力してもいい場合があります。

記号などで入力できない文字がある

 ➡  読みで入力してみてください。

記号にも読みが登録されていることがあります。ためしてみてください。

例	ほし
～	から
→	やじるし
〒	ゆうびん
Tel	でんわ

 ➡  文字コード表を使ってみてください。

日本語入力システムを使っても入力できないような文字は、「文字コード表」を使って入力します。文字コード表は、「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」、「システムツール」の順にマウスポインタを合わせ、「文字コード表」をクリックして開きます。

メモ

「～」は正式には「チルダ」と言いますが、最近は、その形から「ニョロ」と言う人も多いようです。

メモ

使用しているソフトによっては画面上に「_」が出ずスペースと同じに見えるものもあります。

メモ

MS-DOSプロンプトで「\」(バックスラッシュ)を入力したいとき
MS-DOSプロンプトでは、英語モードにすれば、 キーを押すと画面でも「\」と表示されます。スタートメニューをクリックし、「プログラム」の「MS-DOS プロンプト」をクリックし、MS-DOSプロンプトで、「US」と入力して【Enter】キーを押すと英語モードになります。
日本語モードに戻すときは、「JP」と入力して【Enter】キーを押してください。

参照

日本語入力システムのヘルプ

参照

文字コード表の使いかた→文字コード表のヘルプ



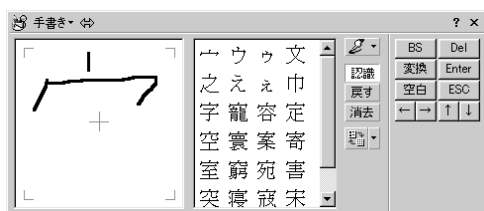
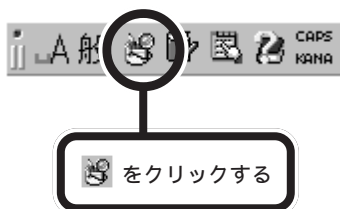
「フォント名」を選んでから、「文字コード表」の文字をダブルクリックして、「コピー」をクリックし、文書を開いているアプリケーションの「編集」メニューの「貼り付け」を選びます。貼り付けた文字には、「文字コード表」の「フォント名」で選んだフォントを指定してください。

☹️ ➡️ 😊 「記号パレット」などを使ってみてください。

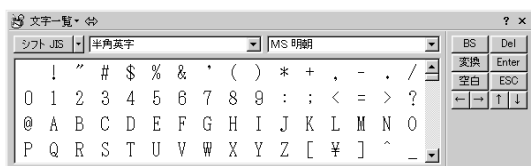
日本語入力システムによって、記号などの入力に便利な機能があります。

- MS-IME 98(Windows 98 に添付されている日本語入力システム)の記号パレット

日本語入力システムがオンになっている状態で  をクリックすると、「IMEパッド」の「手書き」ウィンドウが表示されます。手書き文字入力などで漢字を探すことができます。



また、記号を探すときは、「IMEパッド」の「手書き」(アプレットメニュー)をクリックして、「文字一覧」をクリックします。表示される一覧の中から記号を探してください。



- ATOK12(一太郎に添付されている日本語入力システム)の記号パレット

日本語入力システムがオンになっている状態で、【Ctrl】キーを押したまま、【F11】キーを押して、「記号表」タブをクリックしてください。



変換できない漢字、記号がある

人名、地名など変換できない漢字やオリジナルの記号、マークを入力したいときは「外字エディタ」を使い外字を作成してください。

ローマ字入力から、かな入りに切り替えたい

『STEP2 入門』PART5、PART7の「文字の入れ方を決める」か、日本語入力システムのヘルプをご覧ください。
日本語入りのしかたには、「ローマ字入力」と「かな入力」のふたつがあります。ご購入時には、「ローマ字入力」になっています。切り替え方は、日本語入力システムによって違います。

キーを押し続けたときの文字の入力の速度を変えたい

「コントロールパネル」(p.8)の「キーボード」を開いて、キーを押し続けたときに、同じ文字が入力されはじめるまでの時間、入力される速度を指定できます。



キーを押し続けたときに同じ文字が入力されはじめるまでの時間を設定する

キーを押し続けたときに同じ文字が入力されていく速度を設定する

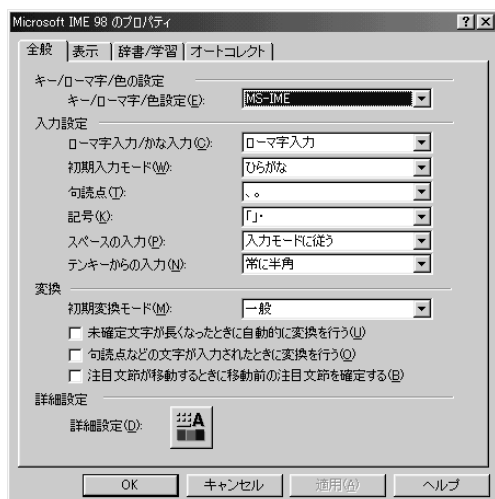
「速度」タブで「表示までの待ち時間」や「表示の間隔」を調整したら、「OK」をクリックします。

郵便番号7桁辞書を使いたい

Word モデルの場合

次の操作を行ってください。

- 1 MS-IME 98のツールバーが表示されていないときは、キーボードの【Alt】キーを押しながら【半角/全角】キーを押してツールバーを表示します。
- 2 MS-IME 98ツールバーの  (プロパティ) ボタンをクリックします。
「Microsoft IME 98のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



- 3 「辞書/学習」タブをクリックします。
- 4 「システム辞書」の「MS-IME 98 郵便番号辞書」の左の ☒ をクリックし、☐ にします。
- 5 もう一度 ☐ をクリックし、☒ にします。
- 6 「OK」をクリックします。
郵便番号7桁辞書が使えるようになります。

一太郎モデルの場合

ご購入時のままでは、郵便番号辞書は使えません。「辞書ファイルをインストールする方法」の手順で辞書のインストールを行った後、「郵便番号7桁辞書ファイルが使えるようにする方法」の設定をしてください。

辞書ファイルをインストールする方法

- 1 このパソコンに添付されている「一太郎9パック」のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
「JUSTSYSTEM AutoPlayプログラム」ウィンドウが表示されたら、画面の右上の「一太郎9のセットアップ」をクリックします。
- 2 「一太郎9のセットアップ」と表示されたら「セットアップ開始」をクリックします。
- 3 「更新の確認」ウィンドウが表示されたら「セットアップ続行」をクリックします。
- 4 「次へ」ボタンをクリックします。
「使用者・法人名を登録します」と表示されたら、使用者名を登録してください。

メモ

ここで、顔文字辞書や人名地名辞書を選択することができます。

- 5** 「次へ」ボタンをクリックします。
「シリアルナンバー・User IDを登録します」と表示されます
ので必要な情報を入力してください。
- 6** 「次へ」ボタンをクリックします。
確認のウィンドウが表示されます。
- 7** 「登録する」ボタンをクリックします。
- 8** 「手動」ボタンをクリックします。
- 9** 「次へ」ボタンをクリックします。
「手動モードでセットアップすると...」と表示されます。
- 10** 「次へ」ボタンをクリックします。
「セットアップするフォルダを設定します」と表示されます。
- 11** 「次へ」ボタンをクリックします。
「コピーするファイルを選択します」と表示されます。
- 12** 「全て解除」ボタンをクリックします。
- 13** 「ATOK12」の ☐ をクリックし、☒ (オン) にします。
「詳細機能を選択」をクリックすると、さらに詳細な項目を選
択できます。
- 14** 「次へ」ボタンをクリックします。
「プログラムを登録するグループを選択します」と表示されま
す。
- 15** 「次へ」ボタンをクリックします。
「ATOK12の漢字入力モードを選択します」と表示されま
す。「ローマ字漢字入力」が「カナ漢字入力」のどちらかをクリ
ックします。
- 16** 「次へ」ボタンをクリックします。
「コピー先のフォルダを確認します」と表示されます。
- 17** 「次へ」ボタンをクリックします。
「ファイルのコピーを開始します」と表示されます。
- 18** 「コピーを開始」ボタンをクリックします。
コピーが始まります。
- 19** 「JustNetへの入会のご案内」が表示されたら「確認」ボタ
ンをクリックします。
コピーが終了すると「一太郎9パックのセットアップ終了」と
表示されます。
- 20** 「再起動」ボタンをクリックします。
- 21** 「OK」ボタンをクリックします。
Windows 98が再起動します。
- 22** 「一太郎9パック」のCD-ROMをCD-ROMドライブから取り
出します。

郵便番号辞書ファイルを使えるようにする方法

- 1 キーボードの【Alt】キーを押しながら【半角/全角】キーを押します。
ATOKツールバーが表示されます。
- 2 ATOKツールバーの中の  (メニュー) をクリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックします。
「ATOK12のプロパティ」ウィンドウが表示されます。



- 3 「辞書・学習」タブの「補助辞書1(1)」の行の右側の「参照」ボタンをクリックします。
「辞書ファイルの参照」ウィンドウが表示されます。
- 4 「ATOK12Y7.DIC」が「ATOK12YC.DIC」をクリック(反転表示)して「開く」ボタンをクリックします。
郵便番号辞書ファイルには、ATOK12Y7.DIC、ATOK12YC.DIC、ATOK12Y5.DIC の3つがあります。
 - 「ATOK12Y7.DIC」
7桁郵便番号と5桁郵便番号から住所に変換できる。
 - 「ATOK12YC.DIC」
7桁郵便番号と5桁郵便番号から大口事業所名に変換できる。
 - 「ATOK12Y5.DIC」
5桁郵便番号から住所に変換できる。
 もう一度「辞書・学習」タブが表示されます。

- 5 「OK」ボタンをクリックします。
郵便番号辞書が使えるようになります。
日本語入力システムがオンの状態で、郵便番号を入力してからスペースキーを押すと、住所に変換できます。

メモ

7桁郵便番号の場合には、3桁入力のあとに「-」(ハイフン)を入力しないと住所に変換できません。

ファイルを保存しよう としたら・・・

ソフトウェアで、文書や画像などのファイルを保存しようとしてうまくいかないときは、ここをご覧ください。

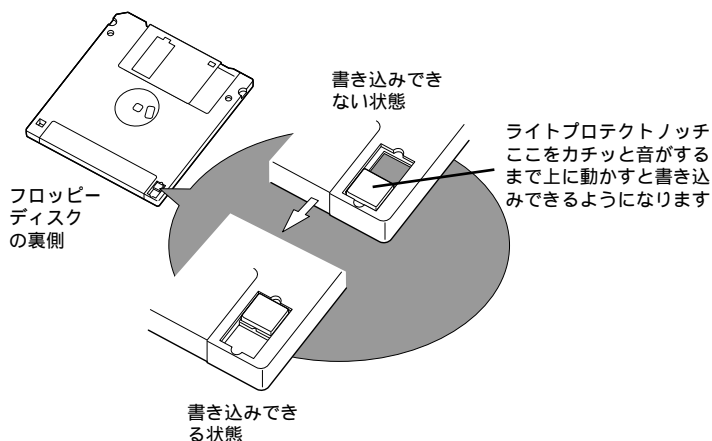
保存できない

ハードディスクに保存しようとしたとき

- ☹️⇒😊 ハードディスクの空き容量を確認してください。
「ハードディスクの空き容量が足りない (p.132) にしたがって空き容量を増やしてください。ハードディスクの空き容量よりもサイズが大きいファイルは保存できません。」

フロッピーディスクに保存しようとしたとき

- ☹️⇒😊 ライトプロテクトされていませんか？
ライトプロテクトされているときは、ライトプロテクトを解除してください。
フロッピーディスクには、記録されている内容を間違えて消したり、変更してしまわないように、書き込みを保護する機能「ライトプロテクト機能」があります。ファイルを保存するときは、ライトプロテクトノッチを書き込みできる状態にずらしてください。



参照

ファイルの保存 → 『STEP 3 活用』PART2 の「フォルダの中にファイルを保存する」

参照

保存する複数ファイルの容量を知る → 「複数のフォルダやファイルの容量の合計を知りたい」(p.69)

チェック!!

システムディスクなど大切なディスクは、本当に書き込みをしていいか、もう一度確認しましょう。

  フロッピーディスクの空き容量を確認してください。

フロッピーディスクの空き容量が足りないときは、いらないファイルを削除するか、別のディスクを使ってください。ディスクの空き容量よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

CD-ROM、DVD-ROM (DVD VIDEO ディスク) に保存しようとしたとき

CD-ROM、DVD-ROMは読み出し専用のディスクなので、ファイルを保存することはできません。

保存しようとしたファイルが読み取り専用だったとき

保存しようとしたファイルのプロパティで「属性」の「読み取り専用」が ☒ になっている場合は、上書き保存をすることができません。

そのときはファイルのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「プロパティ」をクリックします。

「プロパティ」ウィンドウの「読み取り専用」の ☒ をクリックし、☐ (オフ) にしてから、「OK」ボタンをクリックします。

ファイル名の後ろに、入力していない文字(「.jtd」「.doc」など)がつく

これは、ファイルの種類を区別するための文字(拡張子)がファイル名の最後に自動的につけられたためで、異常ではありません。

主な拡張子

拡張子には、次のようなものがあります。

.bmp、.jpg、.tif	画像データ
.doc	Wordの文書データ
.exe、.com	実行可能プログラム
.hlp	ヘルプファイル
.htm、.html	HTMLファイル(インターネットのWebページ記述ファイル)
.jtd	一太郎9の文書データ
.lzh、.zip	圧縮ファイル
.txt	テキストファイル
.wav	WAVE形式の音声データ
.wri	ワードパッドの文書データ

長いファイル名につけられない

☹️➡️😊 MS-DOSやWindows 3.1用のソフトウェアを使っていますか？

Windows 98で、Windows 98、およびWindows 95用のソフトウェアを使っているときは、ドライブ名、フォルダ名、ファイル名を合わせて、半角で255文字までの長い名前を使えますが、Windows 98でMS-DOSやWindows 3.1用のソフトウェアを使っているときは、フォルダやファイルに長い名前をつけることはできません。半角で8文字以内の名前にしてください。

☹️➡️😊 16Bitモードのドライバを使用する周辺機器を使用していますか？

16Bitモードのドライバを使用する周辺機器を使用している場合は、その周辺機器に保存されるファイルは長いファイル名やフォルダ名を使用することはできません。半角で8文字以内の名前にしてください。

メモ

その周辺機器に16Bitモードのドライバが使用されているかどうかは「コントロールパネル (p.8) から「システム」を開き、「パフォーマンス」タブで確認することができます。

インターネットしよう としたら・・・

インターネットについてくわしくは、『インターネット入門』をご覧ください。『インターネット入門』にもQ&Aがあります。電子メールについては、「電子メールしようとしたら...」(p.108)もあわせてご覧ください。

接続できない

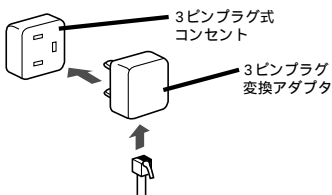
☹️➡️😊 正しく接続されていますか？

『STEP1 接続と準備』PART2の「電話回線に接続する」にしたがって、モジュラーケーブルが正しく接続されているかを確かめてください。

☹️➡️😊 電話回線のコンセントはモジュラー式ですか？



- 電話回線のコンセントが3ピンプラグ式コンセントのとき
市販の3ピンプラグ変換アダプタを使うか、NTTにご相談ください。



- 電話回線のコンセントが直結配線式のとき
モジュラー式コンセントに変更する必要があります。NTTにご相談ください。



📖 参照

インターネット→『インターネット入門』の「PART1 今日からあなたもインターネット」

📖 参照

FAXモデムボード→『リファレンス』の「PART4 ハードウェア」

📖 参照

『STEP1 接続と準備』PART2の「電話回線に接続する」

☹️➡️😊 Internet Explorerの接続設定は正しいですか？
コントロールパネル(p.8)の「インターネット」アイコンをダブルクリックし、「接続」タブをクリックして表示された画面で、「モデムを使用してインターネットに接続」が🔴(オン)になっているかを確認してください。

☹️➡️😊 回線が混雑していませんか？
時間帯によっては回線が混んでいて接続できないことがあります。何度か接続し直してみるか、少し待ってから接続し直してください。また、何度接続し直しても接続できない場合には、アクセスポイントを変更してみてください。

☹️➡️😊 電話を使っていませんか？
電話と同じ回線に接続しているとき、電話を使っている間はインターネットに接続できません。電話を切ってから接続の操作を行ってください。

☹️➡️😊 キャッチホンサービスを受けていませんか？
キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がかかってくると、モデムによる通信が切れる場合があります。この場合は、もう一度接続し直してください。通話中にかかってきた電話を転送・録音する、キャッチホンIIというサービスを利用すると通信が切れることはありません。

☹️➡️😊 電話回線を使うアプリケーションが他に起動していませんか？
電話回線を使うアプリケーションが他にも起動していると、インターネットに接続できないことがあります。そのアプリケーションを終了させてください。そのあと、接続の操作を行ってください。

☹️➡️😊 FAXモデムは動作していますか？
デバイス マネージャの画面を表示して(p.9) FAXモデムが正しく認識されているかを確認してください。
FAXモデムのアイコンが表示されていなかったり、アイコンに赤い「×」や黄色い「！」がついているときは、正しく認識されていません。Windows 98のヘルプを参照して、「×」や「！」がついていない状態にしてください。

メモ

「Internet Explorerの接続設定は正しいですか？」の設定は、Internet Explorerを使用する場合の設定です。インターネット無料体験等では設定を変更しないでください。

参照

アクセスポイントを変更する→『インターネット入門』PART8の「アクセスポイントを変更する」

メモ

キャッチホンIIについてはNTTにご相談ください。

参照

ヘルプを見るには→『STEP3 活用』PART5の「ヘルプについて」

☹️➡️😊 電話回線の設定や、0発信などの外線発信の設定、市外局番の設定は正しいですか？

回線の設定にはトーン(ブッシュ回線)とパルス(ダイヤル回線)があります。この設定が電話回線と合っているかを確認してください。また、0発信式の回線など外線発信が必要な電話回線を使っているときは、外線発信が設定されているかを確認してください。外線発信を設定したときは、市外局番の頭に「0」などの外線発信番号をつけないでください。

「コントロールパネル(p.8)」の「テレフォニー」アイコンをダブルクリックします。「所在地からの通話」にトーンかパルスかが表示され、外線発信番号や市外局番が表示されます。確認して、電話回線に合っていないときは変更してください。



パソコンを設置している場所の市外局番の最初の0を除いた番号を設定する

外線発信がある回線の場合は0などの発信用番号を設定する

ブッシュ回線の場合はトーンを、ダイヤル回線の場合はパルスを選ぶ

☹️➡️😊 ダイヤルアップの設定は正しいですか？

プロバイダに接続するための正しい情報を設定する必要があります。ダイヤルアップの設定が正しいかを確認してください。

☹️➡️😊 モデムはきちんとセットアップされていますか？

別売のモデムを新しく接続したときは、モデムのセットアップを行う必要があります。モデムのマニュアルをご覧ください。セットアップしてください。

☹️➡️😊 同じ名前のモデムが2つ以上登録されていませんか？

デバイス マネージャの画面を表示して(p.9) FAXモデムの名前を確認してください。同じモデムが2つ以上登録されているときは、2つ目以降のモデムの名前のあとに「#2」、「#3」と表示されます。この場合は、重複しているモデムの名前をクリックし、「削除」をクリックしてください。

メモ

アプリケーションによっては、パルスのときに10ppsか20ppsかの設定が必要になることがあります。アプリケーションのマニュアルにしたがって、設定を変更してください。

参照

テレフォニーについて→『リファレンス』PART2の「テレフォニー」

参照

ダイヤルアップの設定→『リファレンス』PART2の「ダイヤルアップネットワーク」

「発信音が聞こえません。」と表示された

 ➡  電話回線は正しく接続されていますか？
モジュラーケーブルが抜けたり、外れかかっていないか確認し、正しく接続してください。

 ➡  内線/外線の区別がある電話回線で使用していませんか？
外線を使用している場合は、次の設定をしてください。

- 1 「コントロールパネル (p.8)」を開き、「モデム」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「全般」タブをクリックして、「プロパティ」ボタンをクリックして、「接続」タブをクリックします。
- 3 「トーンを待ってからダイヤルする」の ☒ をクリックして ☐ (オフ) にします。
- 4 「OK」をクリックし、「閉じる」をクリックします。

「接続ケーブルまたは回線がモデムに正しく接続されていないか、モデムの電源が入っていません」と表示された

 ➡  電話回線は正しく接続されていますか？
モジュラーケーブルが抜けたり、外れかかっていないか確認し、正しく接続してください。

 ➡  トーンまたはパルスの設定は正しいですか？
電話回線には、トーン(プッシュ回線)とパルス(ダイヤル回線)の2通りがあります。お使いの電話回線に合わせて設定してください。

- 1 「コントロールパネル (p.8)」を開き、「テレフォニー」アイコンをダブルクリックします。
- 2 ダイヤル方法で「トーン」か「パルス」のどちらかを選びます。
- 3 「OK」をクリックし、「閉じる」をクリックします。

参照

電話回線の正しい接続のしかた →
『STEP1 接続と準備』PART2の「電話回線に接続する」

参照

電話回線の正しい接続のしかた →
『STEP1 接続と準備』PART2の「電話回線に接続する」

「回線はビジーです。」と表示された

☹️➡️😊 電話回線が混み合っています
しばらく待ってから接続し直してください。

☹️➡️😊 トーンまたはパルスの設定は正しいですか？
電話回線には、トーン(プッシュ回線)とパルス(ダイヤル回線)の2通りがあります。お使いの電話回線に合わせて設定してください。

- 1 「コントロールパネル」(p.8)を開き、「テレフォニー」アイコンをダブルクリックします。
- 2 ダイヤル方法で「トーン」か「パルス」のどちらかを選びます。
- 3 「OK」をクリックし、「閉じる」をクリックします。

「ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません。」と表示される

☹️➡️😊 トーンまたはパルスの設定は正しいですか？
電話回線には、トーン(プッシュ回線)とパルス(ダイヤル回線)の2通りがあります。お使いの電話回線に合わせて設定してください。

- 1 「コントロールパネル」(p.8)を開き、「テレフォニー」アイコンをダブルクリックします。
- 2 ダイヤル方法で「トーン」か「パルス」のどちらかを選びます。
- 3 「OK」をクリックし、「閉じる」をクリックします。

「回線が混雑しているか、電話回線使用のお客様は、トーン/パルス、外線発信番号("0")の設定、ISDN回線使用のお客様は、同期/非同期設定に誤りがあります」と表示される

☹️➡️😊 電話回線の設定は正しいですか？
回線の確認および設定は次の方法で設定します。

- 1 「コントロールパネル」(p.8)を開き、「テレフォニー」アイコンをダブルクリックします。

ダイヤルのプロパティが表示されますので必要な項目を確認して設定してください。



パソコンを設置している場所の市外局番の最初の0を除いた番号を設定する

外線発信がある回線の場合は0などの発信番号を設定する

プッシュ回線の場合はトーンを、ダイヤル回線の場合はパルスを選ぶ

2 「OK」をクリックし、「閉じる」をクリックします。

☹️ ➡️ 😊 ISDN回線の同期/非同期の設定は正しいですか？

同期/非同期の設定を確認してください。

外線発信番号が必要な場所でうまく接続できない (内線を使いたい)

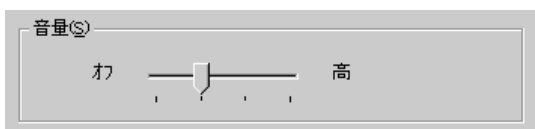
外線番号を利用して一般電話回線に接続している会社やホテルなどでは、通信のソフトウェアがトーンを検出できず、電話回線と接続できない場合があります。その場合には、ご購入時の設定のままでは接続できないので、次の操作を行ってください。

- 1 「コントロールパネル」(p.8)を開き、「モデム」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「全般」タブにある「プロパティ」ボタンをクリックします。
- 3 「接続」タブの「接続オプション」にある「トーンを待ってからダイヤルする」の ☒ をクリックして ☐ (オフ) にし、「OK」ボタンをクリックします。
- 4 「閉じる」ボタンをクリックします。

モデムの音を調整したい

モデムが正しく電話しているかどうか、モデムが電話している音で確認することができます。モデムから音がしないまたは、音が小さいという場合は次の手順で調整してください。

- 1 「コントロールパネル」(p.8)を開き、「モデム」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「全般」タブにある「プロパティ」ボタンをクリックします。
- 3 「全般」タブの「音量」で調整します。



- 4 調整が終わったら「OK」ボタンをクリックします。
- 5 「閉じる」ボタンをクリックします。
この設定で音量を「オフ」には設定していないのに、電話をしてもモデムから音がしない場合は、何らかの原因でモデムが動いていないことが考えられます。
そのときは、次の「モデムで電話ができるか確認したい」や「接続できない」(p.97)をご覧ください。
それでも解決しない場合は、モデムの故障が考えられるので、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

モデムで電話ができるか確認したい

モデムが正しく動作しているかどうかは、「ダイヤラ」を使って電話ができるかどうかで確認することができます。
確認を行う前に、本体に電話機が接続されていることを確認してください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」、「通信」の順にマウスポインタを合わせ、「ダイヤラ」をクリックします。
- 2 電話番号の欄に電話番号を入力します。
- 3 「ダイヤル」ボタンをクリックします。
「通話」ボタンが表示されます。
- 4 電話機の手話器をとり、「通話」ボタンをクリックします。
モデムが正しく動いていたら、電話がつながります。
つながらない場合は、次の「ダイヤラでダイヤルできない」や「接続できない」(p.97)をご覧ください。そ

参照

NECのお問い合わせ先→『NEC PC
あんしんサポートガイド』

参照

電話機の接続→『STEP1 接続の準備』PART 2 の「電話回線に接続する」

チェック!!

ボックスレスタイプには電話機は接続できません。

それでも解決しない場合は、モデムの故障が考えられるので、ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。



NECのお問い合わせ先→『NEC PC
あんしんサポートガイド』

ダイヤラでダイヤルできない

ダイヤラで正常にダイヤルできない場合は、「ダイヤル中」ダイアログボックスの「オプション変更」ボタンをクリックし、「リダイヤルする番号」の先頭に表示されている「T」または「P」の文字を削除してからダイヤルし直してください。

デスクトップに「Internet Explorer」と「Outlook Express」のアイコンを表示させたい

次の操作を行ってください。

- 1 デスクトップの「インターネットに接続」アイコンをダブルクリックします。
「インターネット接続ウィザード」の画面が表示されます。
- 2 「既にインターネット接続の設定がこのコンピュータにあるので、今後はこのウィザードを表示しない」をクリックして、選びます。
- 3 「次へ」をクリックします。
これで、デスクトップに「Internet Explorer」と「Outlook Express」のアイコンが表示されます。

デスクトップの「オンラインサービス」にある、BIGLOBE、AOL、ニフティサーブへの入会用のアイコンと、「ランチ-NX」や「スタート」メニューに登録されているBIGLOBE、AOL、ニフティサーブへの入会用のアイコンの名称が違うが、どれを使ったらよいのか知りたい

「ランチ-NX」や「スタート」メニューに登録されているアイコンを使って入会することをお勧めします。どちらでも入会はできますが、「ランチ-NX」や「スタート」メニューに登録されているアイコンを使って入会すると、プロバイダによっては、本機専用の特典(利用料金の割引など)を受けられるものがあります。

操作については、『インターネット入門』の「PART 3 BIGLOBEに入会する」、および『リファレンス』PART 2の「さまざまな通信サービス」をご覧ください。

「お気に入り」や「チャンネルバー」をクリックしたが、インターネット接続ウィザードが表示された

「お気に入り」や「チャンネルバー」の内容を表示させるには、プロバイダへの入会とインターネットに接続するための設定が必要です。「インターネット入門」PART1の「今日からあなたもインターネット」をご覧ください。プロバイダへの入会と設定を正しく行ってください。

インターネット無料体験が接続できない

「ユーザログオン」ウィンドウが表示された場合

「ユーザログオン」ウィンドウで「キャンセル」ボタンをクリックしてから「体験開始」をクリックしてください。

それでもこの画面が表示されて接続できない場合は、すでに無料体験期間が終了していますので、ご利用になれません。

「インターネット接続ウィザード」ウィンドウが表示された場合

「インターネット接続ウィザード」ウィンドウで「既にインターネット接続の設定がこのコンピュータにあるので、今後はこのウィザードを表示しない」の  をクリックし  (オン) にしてから「次へ」ボタンをクリックした後、さらに「インターネット無料体験」を起動してください。

「要求されたこのURLはオフラインでは利用できません。」と表示される

「オフライン作業」をオン(チェックマークがついた状態)にしているときに、インターネットにアクセスしないと得られない情報を得ようとするときのような画面が表示されます。ダイヤルアップ接続をして最新のインターネット情報を表示したいときは、「接続」をクリックしてください。そうでないときは、「オフライン継続」をクリックしてください。「接続」をクリックすると、「オフライン作業」は解除されます。



その他の理由で接続できない場合→
「接続できない」(p.97)」

Internet Explorerや関連製品に関するサポート技術情報について知りたい

Internet Explorerやその関連製品に関するサポート技術情報は、次の方法で調べることができます。

インターネットに接続し、Internet Explorerやその関連製品の「ヘルプ」メニューをクリックし、「Microsoft Webページ」「よく寄せられる質問」の順にクリックします。しばらくすると、Microsoft社のサポートページが表示されます。このあとは、そのページの説明にしたがって操作してください。

Windows Updateができない



➡😊 正しく接続されていますか？

「接続できない」(p.97)をご覧ください。



➡😊 インターネットプロバイダとの契約はお済みですか？

Windows Updateは、インターネット経由で接続するため、インターネットプロバイダとの契約が必要です。インターネットプロバイダに入会するには、『インターネット入門』の「PART3 BIGLOBEに入会する」を参照してください。



➡😊 Windows 98ユーザー登録はお済みですか？

Windows Updateを利用するには、Windows 98ユーザー登録をしておく必要があります。ユーザー登録をしていないときは、「Windows Update-登録してください」ウィンドウが表示されますので、「はい」ボタンをクリックして、引き続き、画面の指示にしたがってユーザー登録をしてください。

ISDNターミナルアダプタを使っていて、「ダイヤル先のコンピュータが応答しません、接続のアイコンをダブルクリックしてやり直してください」と表示される



➡😊 同期か非同期かの設定をまちがっていませんか？

デスクトップの「マイコンピュータ」の「ダイヤルアップネットワーク」を開き、アクセスポイントのアイコンを右クリックして、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックすると、「接続の方法」欄にドライバが表示されます。

一般に「SYNC」という部分があれば同期、「ASYNCR」という部分があれば非同期です。また、「128」という部分があれば



Internet Explorer から操作したときは、現在接続しているページが Microsoft 社のサポート情報ページに変わります。



電話回線の正しい接続について → 『STEP1 接続と準備』PART2 の「電話回線に接続する」



インターネットプロバイダに入会する → 『インターネット入門』の「PART3 BIGLOBEに入会する」 「PART7 すでにプロバイダに入会している方へ」



インターネットへの接続は「Windows 98へようこそ」の「インターネットに接続」をクリックすると、簡単に設定することができます。



Windows 98 ユーザー登録は「Windows 98へようこそ」の「いますぐ登録」をクリックすると起動することもできます。

ば128k接続です。これらがアクセスポイントと合っているか確認し、誤っているときは設定し直してください。

☹️➡️😊 アクセスポイントをまちがっていませんか？

ダイヤルアップネットワークで接続する直前に、IDとパスワードと電話番号が表示されます。この電話番号が正しいアクセスポイントの電話番号になっていないときは、設定し直してください。

ISDNターミナルアダプタを使っていたら、「ダイヤル先のコンピュータは、ダイヤルアップネットワーク接続を確立できません。パスワードを確認してからやり直してください。」と表示された

☹️➡️😊 IDかパスワードをまちがっていませんか？

このメッセージは、同期接続で、IDやパスワードが正しくないときに表示されます。

デスクトップの「マイコンピュータ」の「ダイヤルアップネットワーク」を開き、アクセスポイントのアイコンを右クリックして、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックして、あなたのIDが正しく入力されているか確認し、まちがっていたら入力し直してください。パスワードは画面に表示されないで、確認できません。入力し直してください。

接続をやり直しても同じメッセージが表示されるときは、あなたのIDが停止されている場合もあるので、プロバイダにお問い合わせください。

ISDNターミナルアダプタで、接続はできるが、ホームページを開けない

☹️➡️😊 「ネットワーク」にTCP/IPが2つ以上登録されていませんか？

アドバンスドモード(p.10)に切り替えて「コントロールパネル」(p.8)の「ネットワーク」を開き、「現在のネットワークコンポーネント」に「TCP/IP....」という項目が複数あるときは、削除してひとつにしてください。削除する項目をクリックして「削除」ボタンをクリックします。

ターミナルアダプタによっては、インストールするたびにTCP/IPを追加してしまうものがあり、こういう現象が起きます。パソコンをネットワークに接続しないで単体で使うときは、「現在のネットワークコンポーネント」の項目は、「Microsoft ファミリ ログオン」、「ダイヤルアップ アダプタ」、「TCP/IP」の3つだけにしてください。

電子メールしようとしたら…

「Outlook Express」などの電子メールソフトを使っているときにトラブルが起きたときや、わからないことがあるときはここをご覧ください。

接続できない

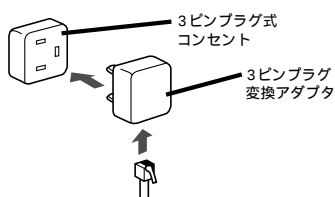
☹️ ➡️ 😊 正しく接続されていますか？

『STEP1 接続と準備』PART2の「電話回線に接続する」にしたがって、モジュラーケーブルが正しく接続されているかを確認してください。

☹️ ➡️ 😊 電話回線のコンセントはモジュラー式ですか？



- 電話回線のコンセントが3ピンプラグ式コンセントのとき市販の3ピンプラグ変換アダプタを使うかNTTにご相談ください。



- 電話回線のコンセントが直結配線方式のときモジュラー式コンセントに変更する必要があります。NTTにご相談ください。



📖 参照

電子メールについて→『インターネット入門』の「PART5 電子メールしてみませんか」 「PART6 電子メールをやりとりする」

📖 参照

FAX モデムについて→『リファレンス』の「PART4 ハードウェア」

📖 参照

『STEP1 接続と準備』PART2の「電話回線に接続する」

 ➡ 電子メールの接続設定は正しいですか？

Outlook Expressなどのインターネットサービスを経由する電子メールソフトを利用している場合、コントロールパネル(p.8)の「インターネット」アイコンをダブルクリックし、「接続」タブをクリックして表示された画面で、「モデムを使用してインターネットに接続」が (オン)になっているかを確認してください。

 ➡ 回線が混雑していませんか？

時間帯によっては回線が混んでいて接続できないことがあります。何度か接続し直してみるか、少し待ってから接続し直してください。また、何度接続し直しても接続できない場合には、アクセスポイントを変更してみてください。

 ➡ 電話を使っていませんか？

電話回線が1つのときは、家族などが電話を使っている間はインターネットに接続できません。電話回線が使用できるようになってから接続の操作を行ってください。

 ➡ キャッチホンサービスを受けていませんか？

キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がかかってくると、モデムによる通信が切れる場合があります。この場合、もう一度接続し直してください。通話中にかかってきた電話を転送・録音する、キャッチホンIIというサービスを利用すると通信が切れることはありません。

 ➡ 電話回線を使うアプリケーションが他に起動していませんか？

電話回線を使うアプリケーションが他にも起動していると、インターネットに接続できないことがあります。そのアプリケーションを終了させてください。そのあと、接続の操作を行ってください。

 ➡ FAXモデムは動作していますか？

「デバイスマネージャを表示する」(p.9)にしたがって、画面を表示し、表示された画面でFAXモデムが正しく認識されているかを確認してください。FAXモデムのアイコンが表示されていないか、アイコンに赤い「×」や黄色い「！」がついているときは、正しく認識されていません。Windows 98のヘルプを参照して、「×」や「！」がついていない状態にしてください。

 メモ

「Internet Explorerの接続設定は正しいですか」の設定は、Internet Explorerを使用する場合の設定です。インターネット無料体験等では設定を変更しないでください。

 参照

アクセスポイントを変更する→『インターネット入門』PART8の「アクセスポイントを変更する」

 メモ

キャッチホンIIについてはNTTにご相談ください。

 参照

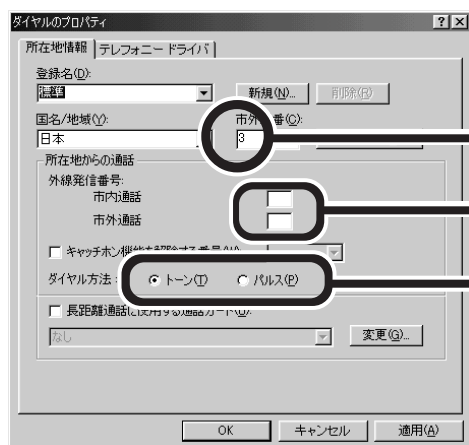
ヘルプを見るには→『STEP3 活用』PART5の「ヘルプについて」

☹️ ➡️ 😊 電話回線の設定や、0発信などの外線発信の設定、市外局番の設定は正しいですか？

回線の設定にはトーン(プッシュ回線)とパルス(ダイヤル回線)があります。この設定が電話回線と合っているかを確認してください。また、0発信式の回線など外線発信の必要な電話回線を使っているときは、外線発信が設定されているかを確認してください。そのとき、市外局番は、最初の0を除いた番号が設定されているか確認してください。

「コントロールパネル(p.8)の「テレフォニー」アイコンをダブルクリックします。

「所在地からの通話」にトーンかパルスかが表示され、「外線発信番号」の欄に外線発信の番号が表示されます。また、「市外局番」の欄には市外局番が表示されます。確認して、電話回線に合っていないときは変更してください。



パソコンを設置している場所の市外局番の最初の0を除いた番号を設定する

外線発信がある回線の場合は0などの発信番号を設定する

プッシュ回線の場合はトーンを、ダイヤル回線の場合はパルスを選ぶ

☹️ ➡️ 😊 ダイヤルアップの設定は正しいですか？

プロバイダに接続するための正しい情報を設定する必要があります。ダイヤルアップの設定が正しいかを確認してください。

☹️ ➡️ 😊 モデムはきちんとセットアップされていますか？

別売のモデムを新しく接続したときは、モデムのセットアップを行う必要があります。モデムのマニュアルをご覧になって、セットアップしてください。

☹️ ➡️ 😊 同じ名前のモデムが2つ以上登録されていませんか？

「デバイス マネージャを表示する」(p.9)にしたがって、画面を表示し、表示された画面でFAXモデムの名前を確認してください。同じモデムが2つ以上登録されているときは、2つ目以降のモデムの名前のあとに「#2」、「#3」と表示されます。この場合は、重複しているモデムの名前をクリック

メモ

アプリケーションによっては、パルスのときに10ppsか20ppsかの設定が必要になることがあります。アプリケーションのマニュアルにしたがって、設定を変更してください。

参照

テレフォニーについて → 『リファレンス』PART2の「テレフォニー」

参照

ダイヤルアップの設定 → 『リファレンス』PART2の「ダイヤルアップネットワーク」

し、同じ名前のもデムがないように「削除」をクリックしてください。

文字がおかしくなったり、データの送受信中にエラーが発生する

☹️➡️😊 通信ソフトは正しく設定されていますか？

最大通信速度、エラー訂正手順などを通信ソフトのマニュアルをご覧になって、設定してください。

☹️➡️😊 パソコンの近くにテレビやラジオなどありませんか？

テレビやラジオなどは、パソコンから遠ざけて使ってください。

送った電子メールが文字化けしているといわれた

☹️ ➡️ 😊 半角のカタカナを使っていませんか？

件名や本文に半角のカタカナを使うと、文字化けを起こすことがあります。カタカナや「」、、・は全角にして送ってください。半角のカタカナは使わないでください。

☹️➡️😊 特殊な記号や漢字を使っていますか？

件名や本文に次のような、シフトJIS漢字コードの中の特殊な記号や漢字を使うと、相手のパソコンによって、文字化けを起すことがあります。

次のような文字は使わないでください。

- ・丸付き数字、ローマ数字

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲
I II III IV V VI VII VIII IX X i ii iii iv v vi vii viii ix x

- ・元号、丸付き漢字、記号

明治 大正 昭和 平成 No. K.K. TEL 上 中 下 左 右 (株) (有) (代)

- ・ 単位表記

ミリ キロ セン メー グラ トン アー ヘク ソック ワツ カロ ドル セン パー ミリ
mm cm km mg kg cc m²

- ・文字化けしてしまうことがある漢字の例

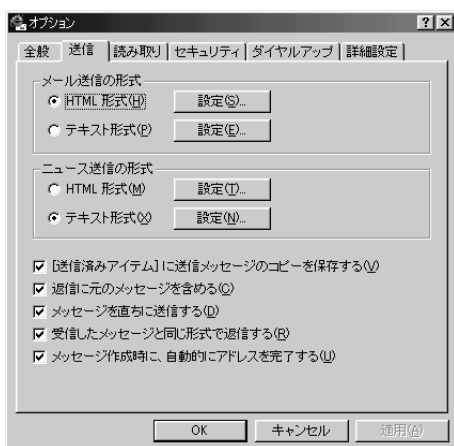
續 鏤 銑 葩 倍 炆 昱 精 鋸 鼻 | 仵 任 佖 佇 但 佻 倭
佻 佻 佻 倭 倭 倭 倭 倭 倭 倭 倭 倭 倭 倭 倭 倭 倭

Outlook Express で送った電子メールが文字化けしたとき

☹️ ➡️ 😊 電子メールの送信形式はテキスト形式に設定されていますか？

ご購入時の状態ではHTML形式に設定されています。相手の電子メールソフトがHTML形式の電子メールに対応していない場合、HTML形式の読みにくいメールになってしまいます。メールの送信形式を単純なテキスト形式にするには次のように設定してください。

- 1 Outlook Expressの「ツール」メニューの「オプション」をクリックします。
- 2 「オプション」ウィンドウの「送信」タブをクリックします。



- 3 「メール送信の形式」の「テキスト形式」をクリックします。
- 4 ニュースの送信形式も変えるときは、「ニュース送信の形式」の「テキスト形式」をクリックします。
- 5 「OK」ボタンをクリックします。

参照

Outlook Expressの設定について→
『インターネット入門』PART5 の
「Outlook Express の設定」

メモ

返信する電子メールを、送り先の電子メールソフトやニュースリーダーで表示できる形式で送るには、「受信したメッセージと同じ形式で返信する」をクリックし、☒ (オン) にします。

電子メールが送れない

☹️➡️😊 電子メールの設定がまちがっていませんか？
使用する電子メールソフトによって設定が異なります。正しく設定されているか確認してください。

☹️➡️😊 電子メールアドレスがまちがっていませんか？
相手に電子メールが届かなかった場合は「Mail Delivery Failed... User unknown」などの覚えのない電子メールになって戻ってきます。もう一度、電子メールアドレスをよく確認して、送信し直してください。

☹️➡️😊 送り先がパソコン通信の利用者ではありませんか？
電子メールを送る相手がパソコン通信の利用者の場合には、相手のユーザID、アドレス、会員番号、スクリーンネームなど、いろいろな呼び方があります。だけでは、電子メールを送ることはできません。ユーザIDのあとに@で始まるドメイン名を追加してください。例えば、ユーザIDが「ABC12345」のBIGLOBEのパソコン通信利用者に電子メールを送るには、「ABC12345@biglobe.ne.jp」と宛先欄に入力します。

☹️➡️😊 同じ電子メールを何人もの相手に送るときのメールアドレスの入力は正しいですか？
Outlook Expressで宛先欄、CC欄、BCC欄で同じメールを複数の相手に送る場合は、メールアドレスを「;」（セミコロン）で区切って入力してください。また、セミコロンのあとにはスペースなどを入れないでください。

☹️➡️😊 電子メールのサイズが、加入しているインターネットプロバイダが許容するサイズより大きくありませんか？
インターネットサービスプロバイダによっては、送信できるファイルのサイズを制限していることがあります。このようなときは、電子メールのサイズを圧縮ツールなどを使って小さくして、添付ファイルとして送るか、何回かに分けて送ってください。メールサイズの上限については、加入しているインターネットプロバイダのサポート窓口で確かめてください。

📖 参照

電子メールでパソコン通信の利用者にメールを送る → 『インターネット入門』PART6の「アドレス帳の使い方」

📌 メモ

ドメイン名はパソコン通信業者によって異なります。

📖 参照

何人もの相手にメールを送る → 『インターネット入門』PART6の「電子メールを使いこなすヒント」

受信した電子メールが文字化けする

☹️➡️😊 電子メールソフトは添付ファイルの変換方式に対応していますか？

使っている電子メールソフトが受信した添付ファイルの変換方式に対応していない場合、文字化けになります。相手の電子メールソフトの変換方式を確認してください。

ファイルを添付した電子メールを送信したが、文字化けしているといわれた

☹️➡️😊 相手の電子メールソフトが対応している変換方式で送っていますか？

相手の電子メールソフトが、送った添付ファイルの変換方式に対応していない場合、文字化けになります。相手の電子メールソフトが対応している変換方式の確認をしてください。Outlook ExpressはMIME形式とUUENCODE形式に対応しています。ご購入時にはMIME形式に設定されています。UUENCODE形式に変更するには次の操作にしてください。

- 1 「ツール」メニューの「オプション」をクリックします。
- 2 「オプション」ウィンドウの「送信」タブをクリックします。
- 3 「メール送信の形式」の「テキスト形式」の「設定」ボタンを押します。
- 4 「メッセージ形式」の「UUENCODE」をクリックします。
- 5 「OK」ボタンをクリックします。

ファイルを添付した電子メールがうまく送れない

☹️➡️😊 添付ファイルのサイズが、加入しているインターネットプロバイダが許容するサイズより大きくありませんか？

インターネットサービスプロバイダによっては、送信できる添付ファイルのサイズを制限していることがあります。このようなときは、電子メールに添付するファイルを圧縮ツールなどを使って圧縮してから送ってください。また、複数のファイルは一度に送らずに、分けて送ってください。メールサイズの上限については、加入しているインターネットプロバイダのサポート窓口で確かめてください。

メモ

Outlook Express はMIME 形式とUUENCODE 形式に対応しています。

メモ

相手先が長いファイル名に対応していないことがありますので、添付するファイル名はなるべく 8 桁の英数字にしてください。

メモ

圧縮ツールは、ファイルのサイズを小さく圧縮したり、圧縮されているファイルを解凍する(元に戻す)ソフトウェアです。インターネットのホームページや雑誌の付録などで配布されているものもあります。「WinZip」「LHA」などがあります。

ファイルを添付した電子メールを受信したが、うまく開けない

☹️➡️😊 電子メールソフトは添付ファイルの変換方式に対応していますか？

使っている電子メールソフトが受信した添付ファイルの変換方式に対応していない場合、文字化けになります。相手の電子メールソフトの変換方式を確認してください。Outlook ExpressはMIME形式とUUENCODE形式に対応しています。

☹️➡️😊 受信した添付ファイルは圧縮されていませんか？

ファイルを添付した電子メールを受信したとき、添付ファイルが開けないことがあります。この場合は受信したファイルの拡張子を確認してください。「.lzh」や「.zip」のときは圧縮されていますので、いったん、ハードディスクに保存して、圧縮ツールなどで解凍してください。

☹️➡️😊 添付ファイルに対応したアプリケーションソフトはありますか？

受信した添付ファイルに対応したアプリケーションソフトがご自分のパソコンにない場合は、ファイルを開くことはできません。相手先にアプリケーションソフトなどの状況を確認してください。

Outlook Expressで電子メールの送受信をしたら、インターネットの接続が解除されてしまう

インターネットをしているときに、Outlook Expressで電子メールの送受信を行うと、Outlook Expressの接続解除と同時にインターネットの接続が解除されてしまうことがあります。このときは次の操作にしたがって、設定を変更してください。

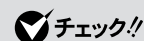
- 1 Outlook Expressの「ツール」メニューの「オプション」をクリックします。
- 2 「ダイヤルアップ」タブをクリックして、「送受信またはダウンロードが終了したら切断する」の☒をクリックして☐（オフ）にします。
- 3 「OK」ボタンをクリックします。



「ファイルが開かない」(p.67)



圧縮ツールは、ファイルのサイズを小さく圧縮したり、圧縮されているファイルを解凍する(元に戻す)ソフトウェアです。インターネットのホームページや雑誌の付録などで配布されているものもあります。「WinZip」「LHA」などがあります。



「送受信またはダウンロードが終了したら切断する」をオフにすると、送受信が終わってもインターネットの接続は解除されませんので十分注意してください。

Outlook Expressを起動したときにダイヤルアップ接続されないようにしたい

新しいメッセージを作成するときは、Outlook Expressを接続状態にしておく必要はありません。メッセージの作成が済んだら、その後に接続して送信をすれば、接続時間は少なくて済みます。そのためには次の操作にしたがって、起動時の設定を変更してください。

- 1 「ツール」メニューの「オプション」をクリックします。
- 2 「オプション」ウィンドウの「ダイヤルアップ」タブをクリックします。
- 3 「Outlook Expressの起動時」の「ダイヤルしない」の  をクリックして  (オン) にします。
- 4 「送受信またはダウンロードが終了したら切断する」の  をクリックして  (オン) にします。
- 5 「OK」ボタンをクリックします。

パソコン通信しよう としたら・・・

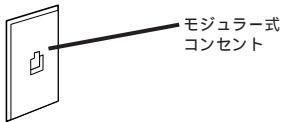
パソコン通信をしようとして、うまくいかないときは、
ここをご覧ください。

パソコン通信できない

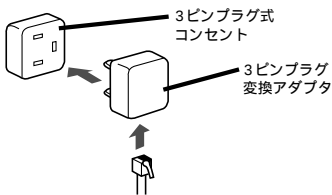
☹️➡️😊 正しく接続されていますか？

『STEP1 接続と準備』PART2の「電話回線に接続する」にしたがって、モジュラーケーブルが正しく接続されているかを確かめてください。

☹️➡️😊 電話回線のコンセントはモジュラー式ですか？



- 電話回線のコンセントが3ピンプラグ式コンセントのとき
市販の3ピンプラグ変換アダプタを使うかNTTにご相談ください。



- 電話回線のコンセントが直結配線方式のとき
モジュラー式コンセントに変更する必要があります。NTTにご相談ください。



☹️➡️😊 電話を使っていませんか？

電話と同じ回線に接続しているとき、電話を使っている間は
パソコン通信できません。電話を切ってから接続の操作を行
ってください。

📖 参照

AOL、NIFTY MANAGER → 『リ
ファレンス』PART2の「さまざまな
通信サービス」

📖 参照

FAX モデムについて → 『リファレン
ス』の「PART4 ハードウェア」

📖 参照

『STEP1 接続と準備』PART2の
「電話回線に接続する」

☹️➡️😊 キャッチホンサービスを受けていませんか？

キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がかかってくると、モデムによる通信が切れる場合があります。この場合は、もう一度接続し直してください。通話中にかかってきた電話を転送・録音する、キャッチホンIIというサービスを利用すると通信が切れることはありません。

☹️➡️😊 電話回線を使用するアプリケーションが他に起動していませんか？

電話回線を使用するアプリケーションが他にも起動していると、パソコン通信に接続できないことがあります。そのアプリケーションを終了させてください。そのあと、通信ソフトを再起動してください。

☹️➡️😊 FAXモデムは動作していますか？

デバイス マネージャの画面を表示して(p.9) FAXモデムが正しく認識されているか確認してください。

FAXモデムのアイコンが表示されていないかったり、アイコンに赤い「×」や黄色い「！」がついているときは、正しく認識されていません。Windows 98のヘルプを参照して、「×」や「！」がついていない状態にしてください。

☹️➡️😊 電話回線の設定や、0発信などの外線発信の設定、市外局番の設定は正しいですか？

回線の設定にはトーン(プッシュ回線)とパルス(ダイヤル回線)があります。この設定が電話回線と合っているかを確かめてください。また、0発信式の回線など外線発信に必要な電話回線を使っているときは、外線発信が設定されているかを確かめてください。外線発信を設定したときは、市外局番の頭に「0」などの外線発信番号はつけないでください。

「コントロールパネル(p.8)の「テレフォニー」アイコンをダブルクリックします。「所在地からの通話」の欄にトーンかパルスかが表示され、外線発信の番号や市外局番が表示されます。確認して、電話回線に合っていないときは変更してください。

メモ

キャッチホンIIについてはNTTにご相談ください。

参照

ヘルプを見るには→『STEP3 活用』PART5の「ヘルプについて」

メモ

アプリケーションによっては、パルスのときに10ppsか20ppsかの設定が必要な場合があります。アプリケーションのマニュアルにしたがって、設定を変更してください。

参照

テレフォニーについて→『リファレンス』PART2の「テレフォニー」



パソコンを設置している場所の市外局番の最初の0を除いた番号を設定する

外線発信がある回線の場合は0などの発信番号を設定する

プッシュ回線の場合はトーンを、ダイヤル回線の場合はパルスを選ぶ

☹️➡️😊 通信ソフトは正しく設定されていますか？

最大通信速度、エラー訂正手順などを通信ソフトのマニュアルをご覧ください。

☹️➡️😊 モデムはきちんとセットアップされていますか？

別売のモデムを新しく接続したときは、モデムのセットアップを行う必要があります。モデムのマニュアルをご覧ください。

接続できない

☹️➡️😊 正しい番号でダイヤルしましたか？

電話番号を確かめて、もう一度ダイヤルしてください。

☹️➡️😊 通信相手が話中ではありませんか？

しばらく待ってからダイヤルし直してください。

☹️➡️😊 通信相手との通信条件は正しいですか？

通信相手の通信条件(最大通信速度、エラー訂正手順など)を確かめて、通信速度を下げるなどの設定をしてください。くわしくは、通信ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

☹️➡️😊 同じ名前のモデムが2つ以上登録されていませんか？

デバイス マネージャの画面を表示して(p.9) FAXモデムの名前を確認してください。同じモデムが2つ以上登録されているときは、モデムの名前のあとに「#2」、「#3」と表示されます。この場合は、重複しているモデムの名前をクリックし、「削除」をクリックしてください。

メモ

このパソコンの内蔵 FAX モデムは、最高 56kbps の速度で通信できますが、使っている電話回線によっては、雑音の影響を受けることがあり、それより遅い速度でしか通信できないことがあります。

「モデムが応答しません」と表示される

外付けモデムを使っているとき

- ☹️ ➡️ 😊 モデムの電源は入っていますか？
外付けモデムの電源ケーブルや電源スイッチを確認してください。
- ☹️ ➡️ 😊 モデムとパソコン本体は正しく接続されていますか？
外付けモデムとパソコン本体のシリアルコネクタがシリアルケーブルで正しく接続されているか確認してください。



参照

外付けモデムのマニュアル

文字がおかしくなったり、データの送受信中にエラーが発生する

- ☹️ ➡️ 😊 通信ソフトは正しく設定されていますか？
最大通信速度、エラー訂正手順などを通信ソフトウェアのマニュアルをご覧になって、設定してください。
- ☹️ ➡️ 😊 パソコンの近くにテレビやラジオなどありませんか？
テレビやラジオなどは、パソコンから遠ざけて使ってください。

自動発着機能が作動しない

- ☹️ ➡️ 😊 モジュラーケーブルは正しく接続されていますか？
『STEP1 接続と準備』PART2の「電話回線に接続する」をご覧になって、モジュラーケーブルが正しく接続されているかを確かめてください。
- ☹️ ➡️ 😊 発信命令の送り方や条件は正しいですか？
モデムのマニュアルのATコマンドの項や、使っている通信ソフトのマニュアルをご覧になって、発信命令の送り方や条件を確かめてください。

FAX を使おう としたら・・・

「FAX-NX」などを使っていてトラブルが起きたとき
や、質問があるときはここをご覧ください。

FAXを自動受信できない

☹️➡️😊 モジュラーケーブル(電話線)が正しく接続されているか確認してください

『STEP1 接続と準備』PART2の「電話回線に接続する」をご覧ください。モジュラーケーブルが正しく接続されているかを確かめてください。

☹️➡️😊 パソコン本体に接続している外付け電話機が着信していませんか？

パソコン本体に接続している外付け電話機を留守設定にしているとFAXの自動受信ができない場合があります。外付け電話機の留守設定を解除してください。

☹️➡️😊 パソコン本体の電源が切れていませんか？

FAX-NXで自動受信機能を設定していても、本体の電源が切れている場合はFAXを受け取ることができません。自動受信するときは、パソコン本体を電源が入っている状態またはスタンバイ状態にしておいてください。

☹️➡️😊 FAX-NXは起動していますか？

FAX-NXで自動受信するためには、あらかじめFAX-NXを起動して、自動受信設定にしておく必要があります。

☹️➡️😊 ファクシミリ信号(「ポー・ポー・ポー...」という音)が送られてこないFAXではありませんか？

次のような場合はFAXを自動受信できません。

- 相手がファクシミリ信号を出さないタイプのFAXの場合
- コンビニエンスストアなどのFAXで、ファクシミリ信号を出さないようにしている場合
- 海外から送られてきたFAXで、ファクシミリ信号が出ていない場合

📖 参照

FAX-NX → 📦 「パソコン探検箱」-
「使いこなそう VALUESTAR」-
「FAX を送る、電話番号を調べる」

📖 参照

FAX-NX → 📦 「パソコン探検箱」-
「VALUESTAR を楽しもう」-「FAX
を受ける」「FAX を送る」

📖 参照

FAX モデムについて → 『リファレンス』の「PART4 ハードディスク」

📖 参照

『STEP1 接続と準備』PART2 の
「電話回線に接続する」

📌 📌

このパソコンの自動受信機能は、かかってきた電話がFAXであれば自動的にFAXとして受信しますが、相手がFAXであっても、ファクシミリ信号が送られてこないFAXとして受信できません。

 ➡  電源ケーブルがコンセントから抜けたり、停電がありませんでしたか？

電源ケーブルをコンセントから抜いたり、停電があると、自動受信機能の設定は無効になります。設定し直してください。

 ➡  応答メッセージが長すぎませんか？

FAX-NXの応答メッセージが長すぎると、FAXを受信できないことがあります。応答メッセージを10秒くらいに録音し直してください。

電話をFAXとして受信してしまう

 ➡  FAXソフトの「応答までのコール数」が少なくありませんか？

「応答までのコール数」が少ないと、通常の通話用の電話もFAXとして受信してしまいます。

「応答までのコール数」を多くするか、応答を「手動」に設定してFAXの受信が始まる前に受話器を取ってください。

内蔵FAXモデムを4線式の回線につなぎたい

4線式の回線には接続できません。2線式の回線に接続してください。

FAXモデムのダイヤル音を小さくしたい

「モデムの音を調整したい」(p.103)をご覧ください、音量を下げてください。

FAX受信中に回線が切断されてしまう

 ➡  FAX受信中にCD-ROMなどを取り出しませんでしたか？

FAX受信中にCD-ROMなどを取り出す(イジェクトする)と、回線が切断されてしまう場合があります。

受信中はCD-ROMなどを取り出さないようにしてください。

内蔵FAXモデムに外付け電話機を接続したが、発信音がしない

☹️ ➡️ 😊 4芯の回線に接続していませんか？

内蔵FAXモデムは、4芯の回線には接続できません。2芯の回線に接続してください。

FAX送受信すると、正しいサイズでやりとりできない

FAX-NXで送信、受信できる用紙サイズは、A4サイズとB5サイズです。B4サイズは受信できますがA4サイズに縮小されます。

ISDNターミナルアダプタを使ってFAXの送受信機能が使えない

アナログポートを搭載したターミナルアダプタの場合は、本体背面のFAXモデムの☐のコネクタと、ターミナルアダプタのアナログポートをモジュラーケーブル(電話線)で接続し、ターミナルアダプタのアナログポートをFAXに設定すれば利用できます。設定について詳しくは、ターミナルアダプタのマニュアルをご覧ください。

また、電話回線の種別がトーン(プッシュ回線)に設定されているか確認してください。電話回線の種別は「コントロールパネル(p.8)の「テレフォニー」アイコンをダブルクリックして、表示される「ダイヤルのプロパティ」で確認したり、変更したりできます。

ISDNターミナルアダプタを使ってFAXの送信はできても受信ができない

☹️ ➡️ 😊 ターミナルアダプタ側の「識別着信」の設定が「する」または「ON」になっていませんか？

識別着信とは、アナログ回線の相手やターミナルアダプタ側に登録されていない電話番号の相手からは着信しないようにするためのものです。「しない」または「OFF」にしてください。

✓ チェック!!

ボックスレスタイプには外付け電話機は接続できません。

📖 参照

FAX-NX →  「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-「FAXを送る、電話番号を調べる」

📖 参照

FAX-NX →  「パソコン探検箱」-「VALUESTARを楽しもう」-「FAXを受ける」「FAXを送る」

📖 参照

テレフォニーについて → 『リファレンス』PART2の「テレフォニー」

  ターミナルアダプタ側の別のアナログポートに電話機等の別の通信機器が接続されていて、そちら側のアナログポートに着信していませんか？

内蔵FAXモデムと接続しているアナログポートに着信できるように、ターミナルアダプタ側の設定を変更してください。

ISDNターミナルアダプタを接続したらFAX-NXが使えなくなった

FAX-NXは、パソコン本体に内蔵しているFAXモデム以外では作動しません。毎回起動時にモデムを検出しているため、ISDNターミナルアダプタが接続されていると、ISDNターミナルアダプタが検出されて作動しなくなります。次のどちらかの操作を行って、ISDNターミナルアダプタを取りはずしてください。

FAX-NXを再追加する方法

- 1 デバイスマネージャの画面を表示します(p.9)。
- 2 モデムに登録されているISDNターミナルアダプタのアイコンを選び、「削除」をクリックします。
- 3 パソコンの電源を切ります。
- 4 ISDNターミナルアダプタとパソコンの接続をはずします。
- 5 パソコンの電源を入れます。
- 6 「アプリケーションの追加と削除」で「FAX-NX」を削除します。
- 7 「アプリケーションの追加と削除」で「FAX-NX」を追加します。

Windows フォルダにある「98tel.ini」を書き換える方法
「98tel.ini」ファイルを間違って書き換えると、正常に起動できなくなることがあるので、必ずバックアップを作成してから書き換えてください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「検索」にマウスポインタを合わせ、「ファイルやフォルダ」をクリックします。
「検索：条件=すべてのファイル」ウィンドウが開きます。
- 2 「名前と場所」タブの「名前」欄に「98tel.ini」と入力します。
- 3 「探す場所」欄で「ローカルハードドライブ(C:,D:)」を選んで、「検索開始」ボタンをクリックします。

参照

FAX-NXの削除、追加 →『リファレンス』の「PART3 アプリケーションの削除と追加」

- 4 検索された「98tel.ini」のバックアップをとります。
たとえば、フロッピーディスクにバックアップをとるときは、フロッピーディスクをセットして、検索された「98tel.ini」をフロッピーディスクにドラッグしてください。
- 5 検索された「98tel.ini」ファイルをダブルクリックします。
- 6 [LINE]に「DEVICE=」という行があるのでこれを次のように書き換えます。すべて半角で入力してください。
 - ・コンパクトタイプするとき
NEC Fax Modem 56K Data+Fax(BUQ)
 - ・ミニタワータイプするとき
NEC Fax Modem 56K Data+Fax+Voice(BEBB)
 - ・ボックスレスタイプするとき
NEC Fax Modem 56K Data+Fax+Voice(ZUQC)
- 7 「98tel.ini」ファイルを上書き保存し、閉じます。
- 8 パソコンの電源を切ります。
- 9 ISDNターミナルアダプタとパソコンの接続をはずします。
- 10 パソコンの電源を入れます。



バックアップのとりかた→『STEP3
活用』PART4の「フロッピーディス
クにファイルをコピーする」

印刷しようとしたら・・・

印刷がうまくいかないときは、その原因として、プリンタやケーブル、プリンタドライバ、パソコンのハードディスクの空き容量、アプリケーションの設定などが考えられます。ひとつずつ確認してください。



参照

プリンタの接続と設定方法 → 『拡張の手引き』の「PART1 プリンタを使う」、プリンタのマニュアル

プリンタから印刷できない。プリンタから意味不明の文字(文字化けした文字)が印字される

☹️➡️😊 プリンタの電源は入っていますか？
プリンタのマニュアルをご覧になって電源を入れてください。

☹️➡️😊 使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」に設定されていますか？
次のようにして設定を変更してください。

1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「プリンタ」をクリックします。
「プリンタ」ウィンドウが開きます。

2 使用したいプリンタのアイコンを右クリックし、「通常使うプリンタに設定」をクリックしてください。

☹️➡️😊 プリンタケーブルがはずれていたり、接触不良を起こしていませんか？
『拡張の手引き』の「PART1 プリンタを使う」とプリンタのマニュアルにしたがって、本体とプリンタを接続し直してください。

☹️➡️😊 プリンタが用紙切れ、トナー、インク切れになっていませんか？
プリンタのマニュアルにしたがって用紙やトナー、インクを補充してください。

☹️➡️😊 プリンタが印刷可能な状態(オンライン)になっていますか？
プリンタの「印刷可」や「オンライン」の表示を確認してください。また、プリンタのマニュアルにしたがって設定を確認してください。

-  ➡  プリンタのテスト印字はできますか？
- プリンタには一般にテスト印字する機能があります。この機能を使ってプリンタの印字テストを行ってください。テスト印字ができないときは、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。
-  ➡  プリンタの製造元が推奨するプリンタケーブルを使っていますか？
- プリンタによっては、プリンタ製造元の指定したケーブルを使わないと印刷がうまくいかないものがあります。プリンタのマニュアルをご覧ください。ケーブルを確認してください。
-  ➡  プリンタ専用のプリンタドライバがインストールされていますか？
- 新しくプリンタを接続したときは、プリンタドライバのセットアップが必要です。
-  ➡  プリンタドライバの設定を確認してください。
- プリンタドライバの設定によっては、正しく印刷されないことがあります。

 参照

プリンタドライバのセットアップ→プリンタのマニュアル、『拡張の手引き』の「PART1 プリンタを使う」、「デバイスドライバの更新をしたい」(p.148)

 参照

プリンタドライバの設定→プリンタのマニュアル、『拡張の手引き』の「PART1 プリンタを使う」

PC-9800シリーズ用のプリンタケーブルを使いたい

このパソコンの平行コネクタは、PC-9800シリーズのプリンタコネクタと形状が違います。PC-9800シリーズ用のプリンタケーブル(ハーフピッチ36ピンのプリンタケーブル)を使うときは別売のプリンタインタフェース変換アダプタ(PK-CA101)を使ってください。

「FAX送信」、「新しいメッセージの作成」など、プリンタからの印刷とは関係のないウィンドウが開いた

-  ➡  使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」に設定されていますか？
- 次のようにして設定を変更してください。
- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「プリンタ」をクリックします。
「プリンタ」ウィンドウが開きます。
 - 2 使用したいプリンタのアイコンを右クリックし、「通常使うプリンタに設定」をクリックしてください。

フロッピーディスクを 使っていたら・・・

フロッピーディスクを使っていて問題が起きたときは、
ここをご覧ください。

「マイコンピュータ」の3.5インチFDをダブルク リックしたが、フロッピーディスクの内容が表示 されない

「デバイスの準備ができていません」と表示されたとき

☹️➡️😊 フロッピーディスクドライブのヘッドが汚れていませんか？

正しくセットしても、同じメッセージが表示されたときは、
「キャンセル」をクリックし、フロッピーディスクを取り出
し、別売のクリーニングディスクを使ってヘッドをクリーニ
ングしてください。

☹️➡️😊 フロッピーディスクの内容が壊れていませんか？

フロッピーディスクドライブのヘッドクリーニング後、フロ
ッピーディスクを入れても同じ現象が起きるときは、他のフ
ロッピーディスクを入れてみてください。他のフロッピーデ
ィスクをセットすると内容が表示されるときは、元のフロ
ッピーディスクの内容が壊れていると考えられます。復旧は困
難です。

他のフロッピーディスクをセットしても内容が表示されな
いときは、フロッピーディスクドライブの故障が考えられま
す。ご購入元、NECサービスセンター、サービスステーシ
ョンにご相談ください。

しばらくたって「ディスクはフォーマットされていません」と表示さ
れたとき

セットしたフロッピーディスクは、このパソコンでは読めな
いフォーマットのフロッピーディスクか、フォーマットされ
ていないことが考えられます。

フロッピーディスクに必要なファイルが入っていないければ、
「はい」をクリックしてフォーマットしてから使ってください。
い。

📖 参照

フロッピーディスクの使いかた →
『STEP3 活用』の「PART4 フロッ
ピーディスクを使う」

📌 メモ

フロッピーディスクドライブのヘッ
ドが汚れると、フロッピーディスク
を読み込むことができなくなります。
ひと月に一回を目安にクリーニング
ディスクを使ってクリーニングして
ください。

クリーニングディスクについては、
ご購入元、NEC サービスセンター、
サービスステーションにご相談くだ
さい。

また、フロッピーディスクが壊れた
場合に備えて、フロッピーディスク
の内容はバックアップをとっておく
ようにしましょう。

📖 参照

NECのお問い合わせ先 → 『NEC PC
あんしんサポートガイド』

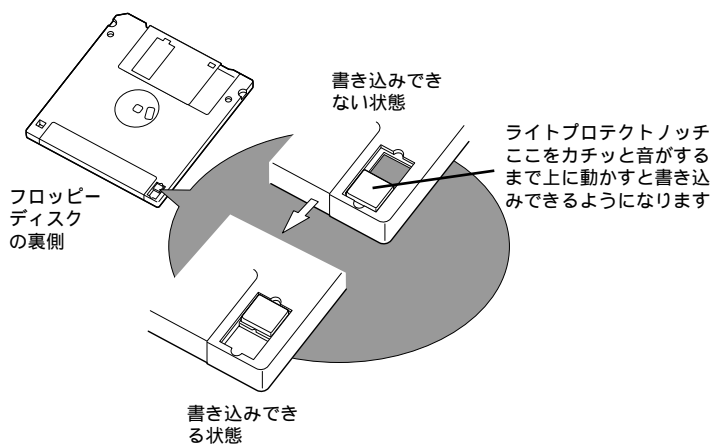
📖 参照

フロッピーディスクのフォーマット
→ 『STEP3 活用』の「PART4 フ
ロッピーディスクを使う」

フロッピーディスクの読み込みはできるが、書き込みができない

☹️➡️😊 ライトプロテクトされていませんか？

ライトプロテクトされていないかどうか確認してください。
ライトプロテクトされているときは、ライトプロテクトを解除してください。



フロッピーディスクには、記録されている内容を間違えて消したり変更してしまわないように、保護する機能(ライトプロテクト機能)があります。ファイルを保存したいときは、ライトプロテクトノッチを書き込み可能な方にずらします。システムディスクなど大切なフロッピーディスクは、本当に書き込みをしてよいか、もう一度確認しましょう。

フロッピーディスクに飲み物をこぼしてしまった

パソコンの故障の原因になるので、汚れたフロッピーディスクは使わないでください。

フロッピーディスクを汚してしまい、保存しておいたデータが使えなくなってしまったときに備えて、バックアップをとっておくようにしましょう。フロッピーディスクのバックアップを取る方法に「ディスクのコピー」があります。

📖 参照

フロッピーディスクのコピー → 『リファレンス』PART4の「フロッピーディスク」

このパソコンに添付のフロッピーディスクを修復したい

このパソコンに添付されているフロッピーディスクの内容を壊してしまったときは、フロッピーディスクの内容を、有料で修復いたします。

フロッピーディスクをフォーマットしたい

次の操作にしたがってください。

- 1 フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。
- 2 デスクトップ左上の「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックして、「3.5インチFD」アイコンを右クリックします。
- 3 メニューが表示されるので「フォーマット」をクリックします。
フォーマット画面が表示されます。
- 4 「フォーマットの種類」で「通常のフォーマット」の  をクリックして  (オン) にして「開始」ボタンをクリックします。
フォーマットが終わると「フォーマット結果」が表示されます。
- 5 「フォーマット結果」ウィンドウの「閉じる」ボタンをクリックします。
- 6 「フォーマット」ウィンドウの「閉じる」ボタンをクリックします。

フロッピーディスクを誤ってフォーマットしてしまった

フロッピーディスクをフォーマットすると、保存していたデータはすべて消去されます。復旧は困難です。市販のユーティリティソフトなどで復旧できることもあります。が、確実ではありません。



お問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』



必要なフロッピーディスクをフォーマットしないよう、十分注意してください。

大切なデータが入っているフロッピーディスクには、ライトプロテクトをかけておいてください。また、こまめにバックアップを取ることをおすすめします。

ディスクコピーができない

☹️➡️😊 フロッピーディスクの容量は1.44Mバイトですか？

Windows 98のマイコンピュータやエクスプローラを使って、1.2Mバイトでフォーマットされたフロッピーディスクをディスクコピーすることはできません。

また、このパソコンでフロッピーディスクを1.2Mバイトでフォーマットすることはできません。

MS-DOSプロンプトのDISKCOPYコマンドを使ってディスクコピーできない

MS-DOS(Ver.6.2以前)のFORMATコマンドでフォーマットしたフロッピーディスクは、MS-DOSプロンプトでDISKCOPYコマンドを使ってディスクコピーできないことがあります。

「マイコンピュータ」のフロッピーディスクドライブのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「ディスクのコピー」をクリックするとディスクコピーができます。

1.2Mバイトでフォーマット済みのフロッピーディスクをドライブスペースで圧縮できない

1.2Mバイトでフォーマットしたフロッピーディスクをドライブスペースで圧縮することはできません。1.44Mバイトでフォーマットしたフロッピーディスクを使用してください。

✓チェック!!

MS-DOSプロンプトのDISK COPYコマンドでも1.2Mバイトでフォーマットすることはできません。

📖参照

フロッピーディスクのコピー→『リファレンス』PART4の「フロッピーディスク」

ハードディスクを 使っていたら・・・

「マイコンピュータ」の中に表示される  がハードディスクです。

ハードディスクの空き容量が足りない

ハードディスクの空き容量を増やすには、次の方法があります。

- ハードディスクを増設する

増設できるハードディスクの種類やハードディスクの増設の方法は、『拡張の手引き』の「PART7 ハードディスクを増設する」(コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合)、「PART6 ハードディスクを増設する」(ボックスレスタイプの場合)をご覧ください。

- 「ディスククリーンアップ」でハードディスクの不必要なファイルを削除する

パソコンを使っていると、「ごみ箱」に捨てたファイルやアプリケーションが作成する一時作業用ファイル、インターネットの一時保存ファイル、使わなくなったアプリケーション、どのプログラムからも呼び出されていない「DLLファイル」などが蓄積され、ハードディスクが容量不足になることがあります。「ディスククリーンアップ」を使うと不必要なファイルを簡単に削除することができ、ハードディスクの容量を増やすことができます。

ディスククリーンアップの使い方については「ディスククリーンアップ」(p.16)や『リファレンス』PART4の「ハードディスク」または、Windows 98の「ヘルプ」で「ディスククリーンアップ」をキーワードにして検索してください。

- 「ごみ箱」を空にする

削除したファイルは、ハードディスクからすぐに削除されずに、デスクトップの「ごみ箱」に入っています。ごみ箱を空にすると、ごみ箱に入っていたファイルの分だけ、ハードディスクが空きます。ごみ箱を空にするときは、「ごみ箱」アイコンを右クリックして、メニューの「ごみ箱を空にする」をクリックします。

参照

ハードディスクについて→『リファレンス』PART4の「ハードディスク」

ハードディスクの増設→『拡張の手引き』の「PART7 ハードディスクを増設する」(コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合)、「PART6 ハードディスクを増設する」(ボックスレスタイプの場合)

メモ

カタログなどに記載されているハードディスクの容量はWindows 98やアプリケーションの占有量と空き容量の合計です。

メモ

「ディスククリーンアップ」は「メンテナンスウィザード」(p.19)でタスクに登録して定期的に行うことができます。

チェック!!

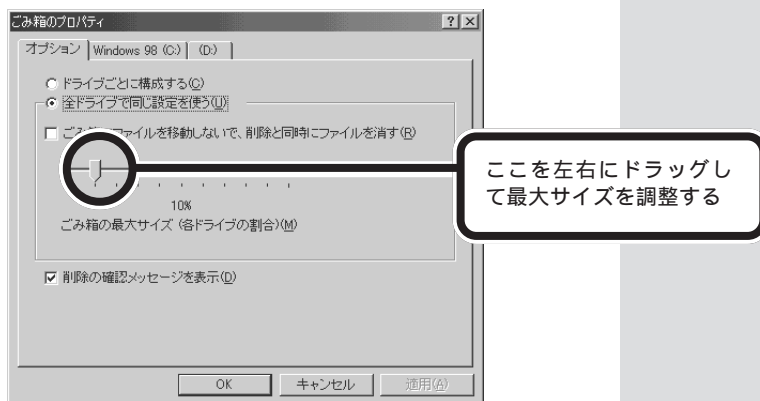
アプリケーションを使っているときは、一時作業用ファイルを削除しないでください。アプリケーションが動かなくなることがあります。

参照

ごみ箱→『STEP3 活用』PART3の「いらないファイルはごみ箱へ」

- 「ごみ箱」の最大サイズを小さくする

ごみ箱に入れたファイルの容量の合計が「ごみ箱の最大サイズ」を超えると、古いファイルから順に削除されます。「ごみ箱の最大サイズ」を小さくしておけば、ごみ箱にファイルがたまらなくなります。「ごみ箱の最大サイズ」は、「ごみ箱」アイコンを右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックして、表示される「ごみ箱のプロパティ」ウィンドウで設定します。



- インストールされているアプリケーションやアクセサリを削除する
すぐに使わないアプリケーションやアクセサリをハードディスクから削除すると、ハードディスクの空き容量を増やすことができます。
- 「ドライブスペース」でハードディスクの内容を圧縮する
ドライブスペースを使ってハードディスクの内容を圧縮すると、空き容量を増やすことができます。

参照

添付されているアプリケーションの削除 → 『リファレンス』PART 3 の「アプリケーションの削除」
アクセサリの削除 → 「アクセサリを削除したい」(p.155)
別売のアプリケーションの削除については、そのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

ハードディスクの空きがどのくらい残っているか知りたい

「ハードディスクのトラブル予防」の「まずは、ハードディスクの空き容量を確認 (p.11) 」をご覧ください。

ファイルをごみ箱に捨てても、ハードディスクの空き容量が増えない

削除したり「ごみ箱」にドラッグしたファイルは、ハードディスクからすぐに削除されずに、「ごみ箱」に保管されます。

「ごみ箱」もハードディスクの中にあるので、ハードディスクの空き容量は増えません。

「ごみ箱」に保管されているファイルをハードディスクから削除したいときは、「ごみ箱」アイコンを右クリックして表示されるメニューから「ごみ箱を空にする」をクリックしてください。

領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない

カタログなどに記載されているハードディスクの容量は、1Gバイト=1,000,000,000バイトで計算しています。これに対し、ハードディスクを領域作成するときには、1Gバイト=1,024×1,024×1,024=1,073,741,824バイトで計算しているので、容量が少なく表示されることがありますが、故障ではありません。

ハードディスクを増設したい

『拡張の手引き』の「PART7 ハードディスクを増設する（コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合）」「PART6 ハードディスクを増設する（ボックスレスタイプの場合）」で、このパソコンに増設できるハードディスクの種類やハードディスクの増設の方法を説明しています。

ハードディスクを増設したが、2Gバイト程度しか領域確保できない



フォーマットの領域の確保でFAT32ファイルシステムを適用しましたか？

ハードディスクをフォーマットする過程の領域の確保で、FAT32ファイルシステムを適用すると1つの領域（パーティション）に2Gバイト以上の領域確保ができます。もう一度、FAT32ファイルシステムを適用し、ハードディスクのフォーマットをし直してください。詳しくは『拡張の手引き』PART7の「ハードディスクをフォーマットする（コンパク



ごみ箱→『STEP3 活用』PART3の「いないファイルはごみ箱へ」



カタログなどに記載されているハードディスクの容量はWindows 98やアプリケーションの占有と空き容量の合計です。



ハードディスクの増設→『拡張の手引き』の「PART7 ハードディスクを増設する」（コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合）「PART6 ハードディスクを増設する」（ボックスレスタイプの場合）



FAT32 ファイルシステムの適用→『拡張の手引き』PART7の「ハードディスクをフォーマットする」（コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合）PART6の「ハードディスクをフォーマットする」（ボックスレスタイプの場合）



「FAT32 ファイルシステムとFAT16 ファイルシステム」（p.214）

トタイプ、ミニタワータイプの場合)、PART6の「ハードディスクをフォーマットする」(ボックスレスタイプの場合)をご覧ください。

☹️➡️😊 FAT16ファイルシステムを適用していませんか？

FAT16ファイルシステムを適用すると、1つの領域(パーティション)に2Gバイト以上の領域確保はできません。FAT16ファイルシステムで2Gバイト以上のハードディスクを有効に使うには、2Gバイト以下のいくつかの領域にハードディスクを分けて、もう一度ハードディスクのフォーマットをし直してください。詳しくは『拡張の手引き』PART7の「ハードディスクをフォーマットする」(コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合)、PART6の「ハードディスクをフォーマットする」(ボックスレスタイプの場合)をご覧ください。

2つの領域にわかれていた内蔵ハードディスクを1つの領域にしたい

☹️➡️😊 FAT32ファイルシステムを適用してカスタム再セットアップをしてください

2Gバイト以上のハードディスクを1つの領域(パーティション)にするには、FAT32ファイルシステムを適用してカスタム再セットアップをする必要があります。「PART3 再セットアップするには」の「全領域を1パーティションにして再セットアップする」(p.207)をご覧ください。

ただし、2台以上のハードディスクを1つの領域(パーティション)にすることはできません。

スキャンディスクを実行するとリトライ(再試行)をくりかえし、エラーメッセージが表示され終了してしまう

プリンタ監視ソフトなどの常駐ソフトが起動していると、常駐ソフトが頻繁にファイルにアクセスするので、こういう現象が起きます。

スキャンディスクを実行する前に、これらの常駐ソフトを終了するか、削除してください。

📖 参照

ハードディスクをいくつかの領域に分ける→『拡張の手引き』PART7の「ハードディスクをフォーマットする」(コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合)、PART6の「ハードディスクをフォーマットする」(ボックスレスタイプの場合)

✔️ チェック!

フォーマットするとご自分で作成した文書ファイルや表計算ファイルなどのデータやインストールした別売のアプリケーションはもとに戻りませんのでご注意ください。

🗑️ モ

大切なデータやシステム全体のバックアップは「バックアップ機能」(p.20)を使うと便利です。

📖 参照

「全領域を1パーティションにして再セットアップする」(p.207)
「FAT32ファイルシステムとFAT16ファイルシステム」(p.214)

✔️ チェック!

再セットアップするとご自分で作成した文書ファイルや表計算ファイルなどのデータやインストールした別売のアプリケーションはもとに戻りませんのでご注意ください。

🗑️ モ

大切なデータやシステム全体のバックアップは「バックアップ機能」(p.20)を使うと便利です。

スキャンディスクで完全チェックを行うと、メッセージが表示されスキャンディスクが中断される

Windows 98がインストールされているドライブに対し、スキャンディスクで完全チェックを行うと、「Windowsまたはほかのアプリケーションがこのドライブに書き込みを行っているため、再試行回数が10回に達しました。実行中ほかのアプリケーションを終了するとチェックが早く行われます。今後もこの警告メッセージを表示しますか？」と表示され、スキャンディスクが中断される場合があります。このメッセージが表示されたときには、実行中のほかのアプリケーションを終了して、「はい」ボタンをクリックしてください。引き続きスキャンディスクが実行されます。

チェック!!

「キャンセル」ボタンをクリックすると、スキャンディスクが終了してしまいます。

CD-ROM、DVD-ROM (DVD VIDEO ディスク) を使っていたら・・・

CD-ROM、DVD-ROM(DVD VIDEOディスク)を使おうとして問題があったときは、ここをご覧ください。
DVD-ROMモデルで、CD-ROMを使っているときも、ここをご覧ください。

CD-ROMドライブ、DVD-ROMドライブのディスクトレイを出し入れできない

☹️➡️😊 パソコンの電源は入っていますか？

パソコンの電源を入れて、ディスクトレイエジェクトボタンを押してください。電源が切れている状態では、出し入れできません。

電源が入っているのに、ディスクトレイが出てこないときは、『リファレンス』PART4の「CD-ROMなどの取り扱い」にしたがって強制的に出してください。

☹️➡️😊 CD-ROMがセットされていない状態で、「CDプレーヤー」や「メディアプレーヤー」の「イジェクト」をクリックしていませんか？

「CDプレーヤー」や「メディアプレーヤー」の「イジェクト」でディスクトレイを出せるのは、CD-ROMがセットされているときだけです。CD-ROMがセットされていないときは、CD-ROMドライブのディスクトレイエジェクトボタンを押してください。

「Q:¥にアクセスできません。」と表示される

☹️➡️😊 CD-ROMをセットしてすぐにCD-ROMにアクセスしようとしていませんか？

CD-ROMドライブのアクセスランプが消えてから、CD-ROMがセットされている状態で「再試行」をクリックしてください。

📖 参照

CD-ROM、DVD-ROM(DVD VIDEO ディスク)のセットのしかた、CD-ROMドライブの使用上の注意→『STEP2 入門』PART10の「CD-ROMの扱い方」

📖 参照

プレーヤー-NX、DVDプレーヤーの使いかた→📦「パソコン探検箱」-「使いこなそう VALUESTAR」-「音楽CDやDVDを楽しむ」

メモ

ディスクトレイは次の方法でも出すことができます。

「マイコンピュータ」をダブルクリックし、CD-ROMドライブのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「取り出し」をクリックする。

📖 参照

『リファレンス』PART4の「CD-ROMなどの取り扱い」

「ドライブQ:のCD-ROM読みとりエラー」と表示される

-  ➡  CD-ROMに入っているプログラムを実行中に、CD-ROMを取り出そうとしていませんか？
- 取り出したCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし直して【Enter】キーを押してください。
- このメッセージに表示されるシリアル番号は無視してください。

CD-ROMをセットしても自動起動しない

-  ➡  自動起動に対応していますか？
- 自動起動に対応していないCD-ROMは自動起動できません。CD-ROMの説明書で確認してください。
- 対応していないときは、Windows 98のデスクトップの「マイコンピュータ」からCD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックして起動してください。
-  ➡  CD-ROMのプロパティで自動起動が設定されていますか？
- 次の手順でCD-ROMドライブのプロパティを確認します。
- 1 デバイスマネージャの画面を表示します(p.9)。
 - 2 「CD-ROM」の左の  をクリックし、表示されたCD-ROMドライブ名をダブルクリックします。
 - 3 「設定」タブをクリックします。
 - 4 「挿入の自動通知」のチェックボックスが  (オフ)になっているときは、クリックして  (オン)にします。
ここが  (オン)になっていないとCD-ROMの自動起動できません。
 - 5 「OK」をクリックし、「閉じる」をクリックします。
再起動を促すメッセージが表示されます。
 - 6 「はい」をクリックします。
パソコンが再起動します。

DVDプレーヤを使おうとすると、エラーが出て再生できない

ディスプレイの設定(解像度または表示色)によってはDVDプレーヤにエラーが発生し、再生できないことがあります。このようなときは、ディスプレイの設定(解像度または表示色)を変更してください。

参照

CD-ROMのセットのしかた →
『STEP2 入門』PART10の「CD-ROMの扱い方」

参照

「画面の解像度や表示色を変更したい」(p.63)

音楽CDをセットしても「プレーヤ-NX」が自動起動しない

- ☹️➡️😊 「スタート」メニューの「プログラム」の「アクセサリ」の「エンターテインメント」の中に「CDプレーヤー」はありますか？
 「スタート」メニューの「プログラム」の「アプリケーション」に「プレーヤ-NX(CDプレーヤー)」はありますか？
 「CDプレーヤー」を追加し直しませんでしたか？

次の場合は、音楽CDをセットしても、「プレーヤ-NX」は自動起動しません。

- ・「CDプレーヤー」を削除したとき
- ・「CDプレーヤー」を追加し直したとき
- ・「プレーヤ-NX」を追加し直した後で「CDプレーヤー」を追加し直していないとき
- ・「プレーヤ-NX」を削除したとき

「コントロールパネル」(p.8)の「アプリケーションの追加と削除」で「CDプレーヤー」、「プレーヤ-NX」の順に追加し直してください。

メモ

購入時の状態では、音楽CDをセットすると「プレーヤ-NX」が自動起動します。

「CDプレーヤー」が自動起動するようにするには、「CDプレーヤー」を追加し直してください。

CD-ROMをセットしたときに自動起動しないようにしたい

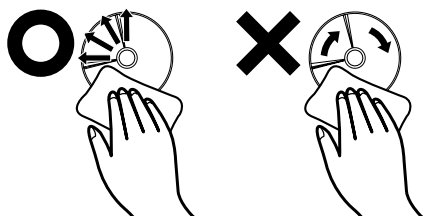
自動起動に対応しているCD-ROMや音楽CDをあつて起動したいときは、【Shift】キーを押しながらCD-ROMドライブにセットしてください。

CD-ROMドライブのBUSYインジケータが消えたら、【Shift】キーを離してください。

CD-ROMのデータを読み出せない。音楽CDの再生中に音飛びする

- ☹️➡️😊 CD-ROM、音楽CDは正しくセットされていますか？
 CD-ROM、音楽CDの表裏を確認して、本体のディスクトレイの中心にセットしてください。

- ☹️➡️😊 CD-ROM、音楽CDが汚れていませんか？
 CD-ROMが汚れているときは、乾いた柔らかい布で内側から外側に向かって拭いてから使ってください。



参照

CD-ROM、音楽CDのセットのしかた、取り扱いについて→『STEP2 入門』PART10の「CD-ROMの扱い方」

- ☹️➡️😊 CD-ROM、音楽CDに傷が付いていませんか？
傷がついているCD-ROM、音楽CDは使えないことがあります。
- ☹️➡️😊 このパソコンになんらかの振動を与えませんでしたか？
振動を与えないようにして、操作をやり直してください。
- ☹️➡️😊 このパソコンで使えるCD-ROMですか？
このパソコンで使えるCD-ROMかどうか確認してください。

再生中の動画がとぎれる。なめらかに再生されない

- ☹️➡️😊 動画データ再生中に、他のアプリケーションを実行していませんか？
他のアプリケーションを終了させてください。
- ☹️➡️😊 再生中に、ウィンドウの大きさや位置を変えませんでしたか？
動画を再生中にウィンドウの大きさや位置を変えると、音飛びや画像の乱れの原因になります。ウィンドウの大きさや位置を変えるときは、いったん動画の再生を停止してからにしてください。

動画の再生中に画面が消えてしまう

ビデオCDなど、MPEG形式の動画を再生中に省電力機能（スタンバイ）やディスプレイの省電力機能が働くと、再生画面が消えてしまいます。動画を再生するときは、省電力機能やディスプレイの省電力機能をオフにしておいてください。

CD-ROMドライブ、DVD-ROMドライブのドライブ番号を変えたい

ドライブ番号を変更する場合は、次のように操作してください。

📖 参照

添付されているCD-ROMに傷がついて使えなくなったときなどは、有料で交換いたします。

CD-ROMの交換のお問い合わせ先
→『NEC PC あんしんサポートガイド』

🔍 モ

アプリケーションなどのCD-ROMは、一般にOSごとに専用のものが用意されています。このパソコンでは、Windows 98に対応したCD-ROMを使ってください。

📖 参照

「Windows 95版のソフトウェアをWindows 98で使いたい」
(p.154)

🔍 モ

CD-ROMの動画データを再生するには、パソコンの処理能力が多くなります。このため、複数のアプリケーションを同時に使うと動画データの処理が追いつかなくなり、画像がとぎれたり、なめらかに再生されなくなったりします。

📖 参照

省電力機能 → 『リファレンス』PART4の「省電力機能（スタンバイ）」
ディスプレイの省電力機能 → ディスプレイのマニュアル、『リファレンス』PART4の「ディスプレイ」

- 1 デバイスマネージャの画面を表示します。(p.9)
- 2 「CD-ROM」の左の  をクリックし、表示されたCD-ROMドライブ名をダブルクリックします。
- 3 「設定」タブをクリックします。
- 4 「予約ドライブ文字」の「開始ドライブ文字」の  をクリックして表示された一覧の中から選びます。



- 5 「OK」をクリックして、「システムのプロパティ」ウィンドウの「閉じる」をクリックします。
再起動を促すメッセージが表示されます。
- 6 「はい」をクリックします。
パソコンが再起動します。

MS-DOSモードでCD-ROMドライブ、DVD-ROMドライブを使いたい

ご購入時の状態のままでは、MS-DOSモードでCD-ROMドライブ、DVD-ROMドライブを使うことはできません。『リファレンス』の付録の「Windows 98でMS-DOSモードを利用する」にしたがって、設定を変えてください。

なお、MS-DOSモードのとき、DVD-ROMドライブで読むことができるのは、次のメディアです。

- ・ CD-ROM
- ・ Easy CD CreatorライトなどのISO9660形式で書き込まれたCD-R

添付されていたCD-ROMが使えなくなった。こわれた

このパソコンに添付されているCD-ROMに傷がついて使えなくなったときなどは、有料で交換いたします。

メモ

CD-ROMドライブ、DVD-ROMドライブ搭載モデルでは、ドライブ番号は、Qドライブに設定されていますが、別売のCD-ROMドライブなどを増設したときやCD-ROMドライブの設定を変更したときなどは、とくに指定しなければ現在のハードディスクドライブのうち最後のハードディスクドライブの次のドライブ番号(最後のハードディスクドライブがDドライブの場合はEドライブ)が割り当てられます。

参照

『リファレンス』付録の「Windows 98でMS-DOSモードを利用する」

参照

CD-ROMの交換のお問い合わせ先
→『NEC PC あんしんサポートガイド』

赤外線通信しようとしたら・・・

(ボックスレスタイプのみ)

赤外線通信ができないときは、ここをご覧ください。



赤外線通信について→『リファレンス』PART4の「赤外線通信機能」

赤外線通信できない

- ☹️➡️😊 設定は正しいですか？
赤外線通信をするには、設定が必要です。詳しくは『リファレンス』PART4の「赤外線通信機能」をご覧ください。
- ☹️➡️😊 本機の通信ポートと通信相手の通信ポートの配置は正しいですか？
お互いの通信ポートが正面に向き合うようにして、20～80cmの距離のところに置いてください。
- ☹️➡️😊 デバイスマネージャの赤外線通信デバイスに赤い「×」マークや黄色い「！」マークがついていませんか？
「デバイスマネージャ」(p.9)の赤外線通信デバイスのところに赤い「×」マークや黄色い「！」マークがついているときは、周辺装置が何らかの理由で正常に動作していないことが考えられます。マークが付かないようにして、リソースの競合を解決してください。

Intellisyncで赤外線デバイスを有効にしようとしたら、「試みた接続は不正なオペレーションです。Intellisyncは正しくインストールされていません。続けるには「OK」をクリックして下さい。」と表示された

- ☹️➡️😊 デバイスマネージャの赤外線通信デバイスに赤い「×」マークや黄色い「！」マークがついていませんか？
「デバイスマネージャ」(p.9)の赤外線通信デバイスのところに赤い「×」マークや黄色い「！」マークがついているときは、周辺装置が何らかの理由で正常に動作していないことが考えられます。マークが付かないようにして、リソースの競合を解決してください。
- ☹️➡️😊 デバイスを正しく設定していますか？
BIOSセットアップメニューで赤外線ポートを「使用しない」にしていると、このようなメッセージが表示されます。赤外線通信機能が利用できるよう設定してください。



リソースの競合の解決→『リファレンス』PART4の「赤外線通信機能」、PART5の「割り込みレベルとDMAチャンネル」またはWindowsヘルプ



赤外線ポートの設定→『リファレンス』PART4の「赤外線通信機能」、PART5の「BIOSセットアップメニュー」

周辺機器を取り付けようとしたら・・・

周辺機器を取り付けるときは、『拡張の手引き』や周辺機器のマニュアルをご覧になって接続してください。

新しく周辺機器を取り付けたらWindows 98が起動しなくなった

このようなときは周辺機器のドライバが原因でWindows 98が起動できなくなったと考えられます。

SafeモードでWindows 98を起動して、トラブルになったドライバを無効にして、正しいドライバをインストールするか、ドライバ自体を削除する必要があります。

次の操作にしたがって設定してください。

SafeモードでWindows 98を再起動します。

- 1 パソコンの電源を入れて、Windows 98を起動します。
- 2 「NEC」のロゴ画面が表示されたら【F5】キーを押し続けます。
- 3 「キーボードのタイプを判定します」と表示されたら【半角/全角】キーを押します。
「Windows 98はSafeモードで実行されています。」と表示されます。
- 4 「OK」ボタンをクリックします。

新しく取り付けた周辺機器のドライバを無効にします。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」、「コントロールパネル」の順にクリックします。
「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
- 2 「システム」アイコンをダブルクリックし「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
「デバイスマネージャ」ウィンドウが表示されます。
- 3 追加した周辺機器のアイコンをダブルクリックします。
「周辺機器のプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 4 「全般」タブをクリックして「すべてのハードウェア プロファイルを使用する」の ☒ をクリックして ☐ (オフ) にします。

参照

CyberTrio-NX の「ベーシックモード」の状態で、Safe モードを起動すると、デバイスマネージャによるハードウェアの設定変更ができなくなります。設定変更ができるようにするには『リファレンス』PART1の「ベーシックモードでの注意」をご覧ください。

5 「OK」ボタンをクリックします。

Windows 98を再起動すると、通常のモードで立ち上がります。

この方法でも起動できないときは、パソコンの電源を切ってから新しく取り付けた周辺機器をはずしてください。

周辺機器を使いたいときはドライバを更新します。

周辺機器の最新のドライバを用意してください。

1 前記の1から3の手順を行います。

2 「ドライバ」タブをクリックして「ドライバの更新」ボタンをクリックします。

以降は画面の指示にしたがってください。

このパソコンで使える周辺機器の種類を知りたい

『拡張の手引き』やインターネットホームページ「98Information」をご覧ください。

「98Information」のアドレス

<http://www.pc98.nec.co.jp>

メモ

最新のドライバは周辺機器メーカーのホームページなどでダウンロードしてください。また、Windows Updateを行うと最新のドライバをダウンロードでき、周辺機器のドライバを更新することがあります。Windows Updateするには「スタート」ボタンをクリックし「Windows Update」をクリックしてください。

参照

周辺機器のマニュアル、『拡張の手引き』巻頭の「このパソコンで使える周辺機器」

プリンタケーブルのプラグがパソコン本体の平行コネクタに合わない

☹️➡️😊 PC - 9800シリーズ用のプリンタケーブルを使っていますか？

このパソコンの平行コネクタは、PC - 9800シリーズのプリンタケーブル(ハーフピッチ36ピンのプリンタケーブル)のプラグと形状が違います。別売のプリンタインタフェース変換アダプタ(PK-CA101)を使って接続してください。

シリアルコネクタ(チャンネル1)に周辺機器のケーブルが合わない

☹️➡️😊 PC - 9800シリーズ用のシリアルケーブルを使っていますか？

このパソコンのシリアルコネクタは、PC - 9800シリーズのシリアルケーブル(D-Sub25ピンのシリアルケーブル)のプラグと形状が違います。別売のRS-232C変換アダプタ(PK-CA102)を使って接続してください。

電源を入れるたびに、同じプリンタのドライバをインストールするようにメッセージが表示される

最初にプリンタドライバをインストールしたときに正しくインストールできなかったためだと思います。

次のようにいったんプリンタドライバを削除し、もう一度インストールし直してください。

「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「プリンタ」をクリックし、そのプリンタのアイコンをすべてゴミ箱にドラッグし、「新しいプリンタの追加」でそのプリンタのドライバを追加します。

ハードディスクを増設したが2Gバイト程度しか領域確保できない

「ハードディスクを使っていたら…」の「ハードディスクを増設したが、2Gバイト程度しか領域確保できない」(p.134)をご覧ください。

98配列キーボードを使いたい

このパソコンには、PC-9800シリーズ用のキーボードと同じ配列のキーボードを使うこともできます。

- ・98配列USBキーボード(パスパワーハブ付き)
(PK-KB011)

くわしくは、インターネットホームページ「98Information」をご覧ください。

- ・98Informationのアドレス
<http://www.pc98.nec.co.jp>

キーボードのUSBコネクタに接続した機器が動作しない

キーボードのUSBコネクタに接続できる機器は、ローパワーデバイスまたはセルフパワーデバイスのUSB対応機器だけです。接続できる機器について詳しくは、『拡張の手引き』の「PART2 USB対応機器を使う」をご覧ください。

メモ

CyberTrio-NX でベーシックモードに設定されているとき(ご購入時の状態)は、プリンタドライバは削除できません。「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「CyberTrio-NX」の順にマウスポインタを合わせ、「Go to アドバンスモード」をクリックしてアドバンスモードにしてください。

参照

キーの配列 → 『リファレンス』PART4
の「キーボード」

キーボードのUSBコネクタを抜き差ししたら、何も反応しない

USB対応機器は電源を入れたまま、USBコネクタを抜き差しできますが、パソコン本体が認識するまで数秒から10秒程度かかります。そのため急激にUSBコネクタを抜き差しすると、キーボードが何も反応なくなることがあります。このようなときは、電源スイッチを約4秒以上押しつけてWindows 98を強制終了してください。USBコネクタは、3秒以上待ってから抜き差ししてください。

このパソコンで使っているIRQ、I/O ポート アドレスなどの状態を知りたい

デバイスマネージャを利用する

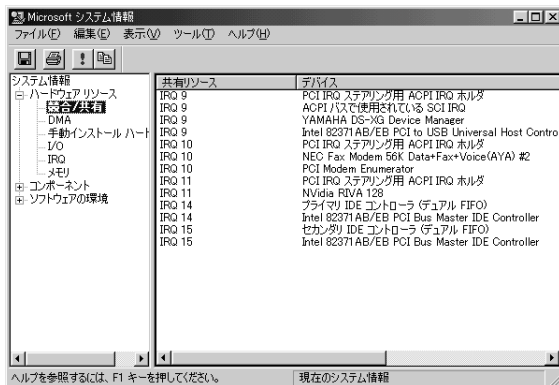
- 1 デバイスマネージャの画面を表示します。(p.9)
- 2 「コンピュータ」をクリックして、「プロパティ」をクリックします。
「コンピュータのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
「リソースの表示」タブの「割り込み要求(IRQ)」のをクリックしてにすると、下に「割り込み要求(IRQ)」の一覧が表示されます。
「I/O ポート アドレス」のをクリックしてにすると、下に「I/O ポート アドレス」の一覧が表示されます。

システム情報を利用する

システム情報を利用すると、ハードウェアやソフトウェアのシステム情報を詳しく調べることができます。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」、「システムツール」の順にマウスポインタを合わせて、「システム情報」をクリックします。
- 2 画面の左のをクリックし、調べたい詳細項目をクリックします。
右のウィンドウに情報が表示されます。

(システム情報の表示例)



デバイスマネージャの画面が表示できない

☹️ ➡️ 😊 ベーシックモードになっていませんか？

CyberTrio-NXでベーシックモードに設定されている(ご購入時の状態)と、「システムのプロパティ」の「デバイスマネージャ」の画面は表示されません。表示したいときや、設定を変更したいときは、「アドバンスドモードに切り替える」(p.10)にしたがって、アドバンスドモードにしてください。

参照

CyberTrio-NX → 『リファレンス』PART1の「Windows 98の利用環境の変更 CyberTrio-NX」

デバイスマネージャに赤い「×」や黄色い「！」がついている

デバイスマネージャの赤外線通信デバイスに赤い「×」(コンバクトタイプ、ミニタワータイプの場合)やマウスの「PS/2 互換マウス ポート」に黄色い「！」がついているのは異常ではありません。「赤外線通信デバイス」や「PS/2 互換マウス ポート」以外の周辺機器に赤い「×」や黄色い「！」がついているときは、その周辺機器が正常に動作していないことを表しています。『リファレンス』PART4の「デバイスマネージャ」または、PART5の「割り込みレベルとDMAチャンネル」、周辺機器のマニュアル、Windowsのヘルプをご覧ください。赤い「×」や黄色い「！」がつかないように設定し直してください。

チェック!

PS/2 キーボードコネクタやPS/2 マウスコネクタにキーボードやマウスを接続している場合は「！」は表示されません。

参照

『リファレンス』PART4の「デバイスマネージャ」、PART5の「割り込みレベルとDMAチャンネル」、周辺機器のマニュアル、Windowsのヘルプ

システム情報の「コンポーネント」-「問題のあるデバイス」に「PS/2 互換マウス ポート」が表示されている

「スタート」-「プログラム」-「アクセサリ」-「システムツール」-「システム情報」の「コンポーネント」-「問題のあるデバイス」に「PS/2 互換マウス ポート」が表示されていますが、異常ではありません。

デバイスドライバの更新をしたい

次の「Windows Update で最新のデバイスドライバをダウンロードしてドライバを更新したい」や『リファレンス』PART4の「デバイスドライバの変更」を参照してください。

Windows Update で最新のデバイスドライバをダウンロードしてドライバを更新したい

「デバイスドライバの更新ウィザード」を利用すると、周辺機器のドライバを更新することができます。さらに、「デバイスドライバの更新ウィザード」でWindows Updateを利用するとMicrosoftのWebサイトに接続し、最新のデバイスドライバをダウンロードして、最適なドライバに更新することができます。

次の操作にしたがってドライバの更新をしてください。

- 1 デバイスマネージャの画面を表示します。(P.9)
- 2 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
- 3 ハードウェアの左 **+** をクリックします。該当するデバイス名をクリックし、「プロパティ」ボタンをクリックします。
- 4 「ドライバ」タブをクリックします。
- 5 「ドライバの更新」ボタンをクリックします。
「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。
- 6 「次へ」ボタンをクリックします。
- 7 「現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)」が選ばれていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックします。



✓ チェック!!

「Windows Update」を利用するには、パソコンをインターネットに接続できる状態にしておく必要があります。「Windows Update」ができないときは「Windows Update ができない」(p.175)をご覧ください。

- 8 「Microsoft Windows Update」の ☐ をクリックして ☒ (オン)にして、「次へ」ボタンをクリックします。

Windows Updateが起動して最新のデバイスドライバをダウンロードします。

- 9 「更新されたドライバ(推奨)」の ☐ をクリックして ☒ (オン)にして、「次へ」ボタンをクリックします。

以降は画面の指示にしたがって、ドライバを更新してください。

Windows Updateをしたが、以前の状態に戻したい

Windows Updateをしたあとに以前の状態に戻したいときは次の操作にしたがってください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」 「アクセサリ」 「システム ツール」の順にクリックし「システム情報」をクリックします。

「Microsoft システム情報」ウィンドウが表示されます。

- 2 メニューバーの「ツール」をクリックして「更新ファイルのアンインストール」をクリックします。

メモ

インターネットで Windows Update に接続して「更新ファイルのアンインストール」を行うこともできます。

「Windows 98 CD-ROM ラベルの付いたディスクを挿入して [OK] をクリックしてください。」というメッセージが表示された

プリンタなどの周辺機器に添付されているフロッピーディスクからドライバをインストールする場合、次のようなメッセージが表示されることがあります。



この場合、次のようにして対処してください。

- 1 「OK」をクリックします。
「ファイルのコピー元」を入力する画面が表示されます。
- 2 「C:\¥WINDOWS¥OPTIONS¥CABS」と入力して「OK」をクリックします。

以降は画面の指示に従ってドライバをインストールしてください。

「ドライバが見つかりません」と表示されてドライバのインストールができない

新しく周辺機器を接続して、周辺機器に添付されている Windows 98用のドライバディスクなどからドライバをインストールする場合、「新しいハードウェア」ダイアログボックスが表示され、「デバイスドライバウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックし「場所の指定」ダイアログボックスで周辺機器に添付されているマニュアルなどによっているフォルダを指定すると、「ドライバが見つかりません」と表示され、「場所の指定」ダイアログボックスに戻ってしまい、ドライバのインストールが実行できません。

この場合、次のようにして対処してください。

- 1 「場所の指定」ダイアログボックスで、「完了」ボタンをクリックし、処理を終了させます。
- 2 デバイスマネージャの画面を表示します。(p.9)
- 3 「その他のデバイス」の左の **+** をクリックします。該当するデバイス名をクリックし、「プロパティ」ボタンをクリックします。
- 4 「ドライバ」タブをクリックします。
- 5 「ドライバの更新」ボタンをクリックします。
「デバイスドライバの更新ウィザード」ウィンドウが表示されます。
- 6 「次へ」ボタンをクリックします。
- 7 「現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する(推奨)」が選ばれていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックします。



- 8 「検索場所の指定」の ☐ をクリックして ☒ (オン) にして、周辺機器のマニュアルなどによっているフォルダを指定します。

9 「次へ」ボタンをクリックします。

以降は画面の指示にしたがって、ドライバをインストールしてください。

**シリアルコネクタ(チャンネル2)を使いたい
(ミニタワータイプの場合)**

ご購入時の状態では、シリアルコネクタ(チャンネル2)は使えません。

『リファレンス』PART4の「シリアルコネクタ」をご覧ください。使って使えるように設定してください。

**PCカードが認識されない、正しく動作しない
(ボックスレスタイプの場合)**

 ➡  PCカードが正しくセットされているか確認してください。

PCカードのセットのしかたについては『拡張の手引き』PART5の「PCカードの入れ方と設定」をご覧ください。正しくセットしてください。

 ➡  本機で使えるPCカードかどうか確認してください。

PCカードの対応については『拡張の手引き』PART5の「PCカードについて」またはPCカードに添付のマニュアルをご覧ください。

 ➡  リソースの競合について確認してください。

PCカードが何らかの理由で正常に動作していないことが考えられます。Windowsヘルプの「PCカード(PCMCIA)に関する問題」や『リファレンス』PART5の「割り込みレベルとDMAチャンネル」をご覧ください。リソースの競合を解決してください。

モデムカードやデジタルセルラカード、ISDNアダプタカードなどを使おうとすると、正常に認識されない(ボックスレスタイプの場合)

 ➡  本機内蔵のFAXモデムのCOM番号を変更してください。

変更のしかたについては『リファレンス』PART4「FAXモデム機能」をご覧ください。

 参照

PCカードのトラブルについてーWindowsヘルプの「トラブルシューティング」の「PCカード(PCMCIA)に関する問題」

アプリケーションを 使っていたら...

アプリケーションを使っていてトラブルが起きたときは
ここをご覧ください。

アプリケーションが起動しなくなった

☹️➡️😊 他のアプリケーションを起動していませんか？

すでに他のアプリケーションが起動しているときは、それらを終了してから、起動してください。それでも起動しないときは、パソコンを再起動してください。

☹️➡️😊 アプリケーションを起動するのに必要なだけメモリは空いていますか？

アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量は、そのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。
このパソコンには、購入時には64Mバイトのメモリが搭載されています。それ以上のメモリが必要な場合は、メモリを増設してください。

☹️➡️😊 そのアプリケーションは省電力機能(スタンバイ)に対応していますか？

対応していないアプリケーションでスタンバイ状態にすると、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションでは、スタンバイ状態にしないでください。

この機能を使って、電源を切ることができなくなったときは、約4秒以上電源スイッチを押し続けて、強制的に電源を切ってください。

アプリケーションが突然止まった(フリーズした)

Windows 98でアプリケーションを使っていると、突然キーボードやマウスの操作ができなくなってしまうことがありますが、パソコンが故障したわけではありません。

この原因は様々ですが、停止してしまったアプリケーションだけを強制的に終了させることで、Windows 98の操作を続けることができます。

✓チェック!!

トラブルを予防するために「メンテナンスウィザード」(p.19)で登録したシステムツールで、定期的にチェックをすることをおすすめします。

メモ

複数のアプリケーションが起動していると、メモリが不足して、新たにアプリケーションを起動できないことがあります。

参照

メモリを増設するには→『拡張の手引き』の「PART6 メモリを増設する」(コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合)、「PART7 メモリを増設する」(ボックススレスタイプの場合)

参照

省電力機能(スタンバイ)→『リファレンス』PART4の「省電力機能(スタンバイ)」

✓チェック!!

「例外エラー」、「一般保護違反」などの画面が表示された場合、強制終了したり、電源スイッチを押したりする前に、メッセージの内容やエラーコードの内容をトラブルチェックシート(P.269)などに書き取っておいてください。お問い合わせの際、トラブルの原因を調べるのに役立ちます。

「異常が起きているアプリケーションを終了させる方法」(p.35)にしたがって、アプリケーションを終了させてください。

文書を保存しないでアプリケーションを終了した(または、電源を切った)ら、データが消えた

アプリケーションを終了したり、電源を切ると、フロッピーディスクやハードディスクに保存していないデータは消えてしまいます。万一のアクシデントに備えて、データはこまめに保存してください。「文書作成中に電源を切ってしまった」(p.37)も参考にしてください。

文書作成中に電源を切ってしまった

「文書作成中に電源を切ってしまった」(p.37)をご覧ください。

文字を入力できない

「文字を入力しようとしたら...」(p.84)をご覧ください。

郵便番号7桁辞書を使いたい

「郵便番号7桁辞書を使いたい」(p.90)をご覧ください。

このパソコンで動作するアプリケーションについて知りたい

インターネットのホームページ「98Information」の「98AP情報」でアプリケーションの情報を提供しています。次のアドレスにアクセスしてください。

<http://www.pc98.nec.co.jp>

Windows 95版のソフトウェアをWindows 98で使いたい

☹️➡️😊 使用できるかどうかは、ソフトウェアによって異なります。

- 本機にあらかじめインストールまたは添付されているソフトウェアの場合
ソフトウェアの名称に「・・・ for Windows 95」や「Windows 95版」などについているものや、ソフトウェアの画面やヘルプに「Windows 95」という記述があるものでも使用できます。
- 市販されているソフトウェアの場合
Windows 98では使うことができないソフトウェアもあります。ソフトウェアの購入元にご確認ください。

CyberTrio-NXのモードを変更しようとしたら、「ユーザ別の設定がされています…」と表示された

ユーザ別の設定をしていると、CyberTrio-NXのモードの変更はできません。

ユーザ別の設定をして、本機を使いたい場合は、Cyber Trio-NXを削除してください。

削除の方法については、『リファレンス』PART3の「アプリケーションの削除」をご覧ください。

CyberTrio-NXをそのまま、お使いになる場合は、次の手順で「ユーザ別の設定」を解除してください。

- 1** 「コントロールパネル」の「パスワード」アイコンをダブルクリックします。
「パスワードのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 2** 「ユーザ別の設定」タブをクリックします。
- 3** 「このコンピュータでは、すべてのユーザが同じ基本設定とデスクトップ設定を使う」をクリックします。
- 4** 「OK」をクリックします。
再起動を促すメッセージが表示されます。
- 5** 「はい」をクリックします。
「ユーザ別の設定」が解除できました。

アプリケーションを削除したい

『リファレンス』PART3の「アプリケーションの削除」をご覧ください。

別売のアプリケーションの削除については、そのアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

✓チェック!!

一度削除すると再セットアップしないかぎり元にもどせない(追加できない)アプリケーションもあります。削除するときは十分注意してください。

アクセサリを削除したい

Windows ファイルのアクセサリを削除するには、次の操作を行います。

- 1 「コントロールパネル」(p.8)の「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
- 2 「Windows ファイル」タブをクリックして、「ファイルの種類」の「アクセサリ」を選択して、「詳細」ボタンをクリックします。
アクセサリにあるすべてのアプリケーションを削除する場合は、「詳細」ボタンをクリックしないで「アクセサリ」の左の  をクリックして ☐ (オフ) にして、「OK」ボタンをクリックします。
- 3 削除したいアクセサリの  をクリックして ☐ (オフ) にして、「OK」ボタンをクリックします。
- 4 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」で「OK」ボタンをクリックします。

パソコンの電源を入れたときにアプリケーションが自動的に起動するようにしたい

ペイントをスタートアップに登録する方法

アプリケーションを「スタートアップ」に登録すると、パソコンの電源を入れるとアプリケーションが自動的に起動するようになります。ただし、アプリケーションのプログラムのファイル名と、そのプログラムがどのフォルダにはいるかわからないと登録できません。

次のように操作すると、ペイントをスタートアップに登録することができます。ペイント以外のアプリケーションを登録するときも、同じように操作します。

1 「スタート」ボタンをクリックし、「設定」にマウスポインタを合わせ、「タスクバーと[スタート]メニュー」をクリックします。

「タスクバーのプロパティ」が表示されます。

2 「[スタートメニュー]の設定」タブをクリックし、「追加」ボタンをクリックします。

「ショートカットの作成」が表示されます。

3 「参照」ボタンをクリックして、「Mspaint(C:¥Program Files¥Accessories¥Mspaint.exe)」を選び、「開く」ボタンをクリックします。

「コマンドライン」の欄に、「"C:¥Program Files¥Accessories¥Mspaint.exe"」と表示されます。

4 「次へ」をクリックします。

「ショートカットを保存するフォルダを選んでください」と表示されます。

5 下のほうにある「スタートアップ」をクリック(反転表示)して、「次へ」ボタンをクリックします。

6 「完了」ボタンをクリックします。

7 「OK」ボタンをクリックします。

次にWindows 98を起動すると、ペイントが自動的に起動します。

ペイントをタスクに登録する方法

アプリケーションのタスクウィザードを利用してタスクに登録すると、設定した時間に自動的に起動するようになります。パソコンが起動したときに、ペイントが自動的に起動するように設定するには、次のように操作してください。

1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」、「システムツール」の順にマウスポインタを合わせて、「タスク」をクリックします。

「タスク」ウィンドウが表示されます。

2 「タスク名」から「タスクの追加」をダブルクリックします。

「タスクウィザード」ウィンドウが表示されます。

3 「次へ」ボタンをクリックします。

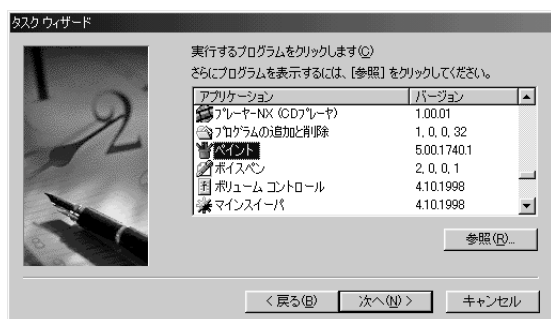
4 「アプリケーション」からペイントをクリックして、「次へ」ボタンをクリックします。

メモ

「Timer-NX」のタイマー機能を使用して、設定した時間にアプリケーションを自動起動させることもできます。

参照

タイマー機能(Timer-NX)→
「パソコン探検箱」-「使いこなそう VALUESTAR」-「パソコンを設定する」



5 「タスクを実行する日」の「コンピュータ開始時」の  をクリックして  (オン) にして、「次へ」ボタンをクリックします。

6 「完了」ボタンをクリックします。

「タスク」ウィンドウのいちばん下にペイントが登録されます。次にWindows 98を起動すると、ペイントが自動的に起動します。

✓チェック!!

「タスクを実行する日」では日単位、週単位、月単位、1回だけ実行、などの詳細な設定ができます。

インストールした別売のアプリケーションや、よく使うアプリケーションをすばやく起動したい

インストールしたアプリケーションは、一般にスタートメニューに登録されますが、スタートメニュー以外のところに登録して起動する方法もあります。

デスクトップにショートカットを作成する方法

スタートメニューに登録されているアプリケーションは、スタートメニューからデスクトップにドラッグするだけで、デスクトップに移動、登録できます。

また、『STEP3 活用』PART3の「ショートカットを作ろう」もご覧ください。

ランチ-NXに登録する方法

「ランチ-NXにアプリケーションの起動ボタンがない。アプリケーションの起動ボタンを追加したい (p.42) や  「パソコン探検箱」「使いこなそうVALUESTAR」「パソコンを設定する」「ランチ-NX」をご覧ください。

スタートメニューの先頭に登録する方法

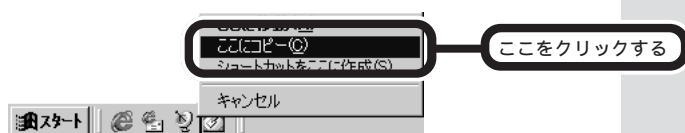
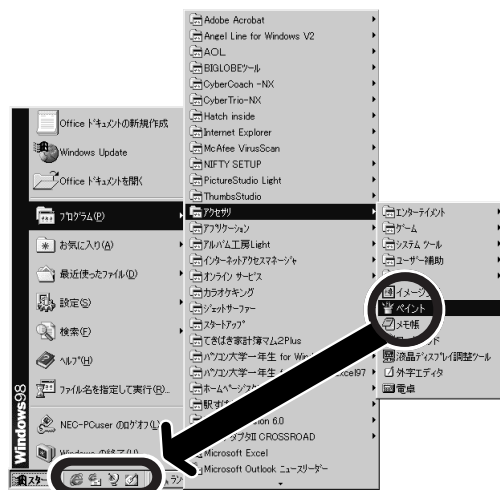
デスクトップ上のショートカットや、スタートメニューに登録されているアプリケーションは、「スタート」ボタンにドラッグするだけで、スタートメニューの先頭に移動、登録できます。

タスクバーに登録する方法

デスクトップ上のショートカットや、スタートメニューに登

録されているアプリケーションは、スタートメニューからタスクバーの「クイック起動」の部分に右クリックボタンでドラッグするだけで、タスクバーにコピー、登録できます。

例：タスクバーに「ペイント」を登録する



クイック起動が全部表示されていないときは、右の縦棒の部分を右にドラッグすると見えるようになります。



タスクバーのアイコンをクリックすると、アプリケーションが起動します。

メモ

スタートメニューに登録されているアプリケーションの順番や位置を変えるには、右ボタンでドラッグするだけで、コピーや移動ができます。

フルカラーにするようにというメッセージが表示された

アプリケーションの中には、画面の表示色をフルカラーにしないと正常に動作しないものがあります。このときは、「画面の解像度や表示色を変更したい」(p.63)または、『STEP3 活用』PART5 の「画面の色数を変える」をご覧ください。画面の表示色を変更してください。

アプリケーションをインストールできない

☹️➡️😊 アプリケーションがこのパソコンに対応しているか確認します。

アプリケーションによっては、このパソコンでは動作しないものや、別売の周辺機器が必要なものがあります。アプリケーションのマニュアルで「動作環境」や「必要なシステム」を確認してください。

☹️➡️😊 実行中のアプリケーションをすべて終了してから、もう一度、インストールしてください。

電話回線を使用中のときは、回線を切ってからインストールしてください。

☹️➡️😊 Windows 98に対応していないアプリケーションをインストールしようとしていませんか？

MS-DOS、Windows 3.1、Windows 95用のアプリケーションの中には、インストールできないものがあります。Windows 98対応と明記されていないアプリケーションについては、製造元にお問い合わせください。

☹️➡️😊 アプリケーションのインストール先がAドライブになっていませんか？

インストール先をハードディスクのドライブ名(購入時の状態では、Cドライブなど)に変えて、インストールしてください。

☹️➡️😊 「Webページで表示」がオンになっていませんか？

オンになっているとアプリケーションによってはインストールできないことがあります。

ご購入時の状態では「Webページで表示」はオンになっていますので、次の手順でオフにしてください。

1 画面の何も無いところで右クリックし、表示されたメニューの「アクティブデスクトップ」にマウスポインタを合わせます。

2 「Webページで表示」をクリックして、「Webページで表示」の左に付いているチェックを外してください。

☹️➡️😊 ハードディスクの空き容量は十分にありますか？

ハードディスクにアプリケーションをインストールするのに十分な空き容量がないと、インストールに失敗したり、「ハードディスクの空き容量が足りません」と表示されます。「ハードディスクの空き容量が足りない」(p.132)をご覧ください。ハードディスクの空き容量を増やしてから、もう一度アプリケーションをインストールしてください。



「まずは、ハードディスクの空き容量を確認」(p.11)

ホームページスクラップブックやランチ-NXが使えない

☹️➡️😊 はじめて電源を入れたときや再セットアップしたときに「ValueStar NXを使う準備をします」をクリックしましたか？

「スタート」メニューの「ValueStar NXを使う準備をします」をクリックすれば、ホームページスクラップブックやランチ-NXが使えるようになります。

QuickTime for Windows対応のアプリケーションが正常に動作しない

アプリケーションによってはQuickTime for Windowsのバージョンの違いによって正常に動作しないものがあります。このようなときはアプリケーションに添付されているQuickTime for Windowsをインストールしてください。

「宇宙戦艦ヤマトMaster Edition DVD-ROM」が正常に動作しない (DVD-ROMモデルの場合)

QuickTime for Windows対応のアプリケーションをインストールすると、バージョンの異なるQuickTime for Windowsがインストールされ、「宇宙戦艦ヤマトMaster Edition DVD-ROM」(DVD-ROMモデルのみに添付)が正常に動作しなくなることがあります。そのときは「宇宙戦艦ヤマトMaster Edition DVD-ROM」をセットし、「QTVRインストール」ボタンからQuickTime for Windowsをインストールし直してください。

「バーチャファイター2」で遊びたい

「バーチャファイター2」はご購入時の状態では、このパソコンにインストールされていません。
『リファレンス』PART3の「バーチャファイター2のセットアップ」をご覧ください。



「宇宙戦艦ヤマト Master Edition DVD-ROM」のインストール→『リファレンス』PART3の「セットアップされていないアプリケーションの追加」



「バーチャファイター2」などパソコンにセットアップされていないアプリケーションのインストール→『リファレンス』PART3の「セットアップされていないアプリケーションの追加」

別売のアプリケーションについて知りたい

各アプリケーションの製造元にご確認ください。

このパソコンで使えるOSの種類を知りたい

次のOSが使えます。

- ・ Windows 98(市販のWindows 98(日本語版)は利用できません。)
- ・ Windows NT Workstation 4.0

再セットアップするときに、インストールするアプリケーションを選びたい

アプリケーションを選んで再セットアップすることはできません。再セットアップすると、購入したときにインストールされていたすべてのアプリケーションがインストールされます。インストールしたくないアプリケーションがあるときは、再セットアップしたあとで、削除してください。

Windows 3.1対応ソフトが起動しない、使っていたらフリーズした(プログラムが停止した)

フリーズしたときは、「電源が切れない。強制的に電源を切りたい」(p.35)にしたがって、パソコンを使える状態にしてください。

Windows 3.1対応アプリケーションが正常に動作しないときは次のように対処してください。

☹️➡️😊 使っているWindows 3.1対応ソフトの動作環境を確認してください。

Windows 3.1用のアプリケーションの中には、Windows 98では動作しないものがあります。くわしくは、アプリケーションの製造元にお問い合わせください。

☹️➡️😊 MS-IME 98を使っていますか？

日本語入力システムとしてMS-IME 98を使っていてWindows 3.1用のアプリケーションを実行すると、まれに(主としてセットアップ時に)プログラムが停止することがあります。次の操作を行ってください。文字はすべて半角で入力してください。この操作は1つのアプリケーションに対して一度だけ行えば、以後設定する必要はありません。

✓チェック!!

本機では、Windows 95をお使いになることはできません。

📖参照

Windows NT → 『リファレンス』付録の「Windows NT 4.0の利用」

📖参照

『リファレンス』の「PART3 アプリケーションの追加と削除」、「アプリケーションを削除したい」(p.155)

- 1 このパソコンをアドバンスモードの状態にします (p.10)。
- 2 Windowsのフォルダ(購入時の状態では、Cドライブ)にある「WIN.INI」ファイルのコピー(バックアップ)をとります。
このあとの操作を行うとWIN.INIが変更されるので、まずバックアップをとってください。
- 3 「マイコンピュータ」を開いて、フリーズしたアプリケーションのアイコンを表示します。
- 4 フリーズしたアプリケーション(セットアップ中にフリーズしたときは、セットアッププログラム)のアイコンを右クリックします。
- 5 メニューの「クイックビュー」をクリックします。
ウィンドウが開き、選択したアプリケーションの情報(テクニカル ファイル情報)が表示されます。
- 6 「モジュール名:」の右側に表示されている文字をメモします。
ここでは仮に「ABC」とします。
- 7 「スタート」ボタンをクリックし「ファイル名を指定して実行...」をクリックします。
- 8 「名前」欄に「WIN.INI」と入力して、「OK」をクリックします。
「メモ帳」が起動して、WIN.INIが表示されます。
- 9 「検索」メニューの「検索」を選びます。
「検索」ダイアログが開きます。
- 10 「検索する文字列:」欄に「[Compatibility]」と入力して、「次を検索」をクリックします。
「[Compatibility]」が検索されます。
- 11 「検索」ダイアログの「キャンセル」をクリックします。
- 12 【End】キーを押します。
「[Compatibility]」の後ろにカーソルが移動します。
- 13 【Enter】キーを押します。
新しい行ができます。
- 14 手順6でメモした文字(この例では「ABC」)を入力し、続けて「=0x00400000」と入力します(0は数字のゼロ、xはアルファベットの小文字のエックスです)。
手順13でできた行に次のように入力した文字が表示されず。
ABC=0x00400000
- 15 「メモ帳」の「ファイル」メニューの「上書き保存」を選びます。

メモ

クイックビューがセットアップされていないときは、左の操作の前に次の操作を行ってください。クイックビューは、購入時にはセットアップされています。

1. 「コントロールパネル」(p.8)を開きます。
2. 「アプリケーションの追加と削除」をダブルクリックします。
3. 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」の「Windowsファイル」タブをクリックします。
4. 「ファイルの種類」の中から「アクセサリ」をクリックし、「詳細」ボタンをクリックします。
5. 「ファイルの種類」の中から「クイックビュー」の左についているチェックボックスをクリックしてチェックし、「OK」をクリックします。
6. 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」の画面で「OK」ボタンをクリックします。
クイックビューのセットアップが行われます。

- 16** 「メモ帳」の「ファイル」メニューの「メモ帳の終了」を選びます。
メモ帳が終了します。
これで、Windows 3.1対応アプリケーションを使えるようになります。

Direct Sound機能を使用するアプリケーションがうまく動かない

Direct Sound機能を使用するアプリケーションが正常に動作しないときは、ダイレクトサウンドのハードウェアバッファを無効に設定すると、正常に動作する場合があります。次の手順にしたがって、ダイレクトサウンドのハードウェアバッファを無効に変更してみてください。

コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合

- 1** ダイレクトサウンドを使用するアプリケーションを終了します。
- 2** CyberTrio-NXをアドバンスモードの状態にします。
(p.10)
- 3** 「コントロールパネル」(p.8)を開き「ヤマハDS-XG 設定」アイコンをダブルクリックします。
「ヤマハDS-XG 設定」ウィンドウが表示されます。
- 4** 「ダイレクトサウンド」タブをクリックし「ハードウェア2次バッファ」の「すべて無効」の ☐ をクリックして ☒ (オン) にしてから「OK」ボタンをクリックします。

ボックスレスタイプの場合

- 1** ダイレクトサウンドを使用するアプリケーションを終了します。
- 2** CyberTrio-NXをアドバンスモードの状態にします。
(p.10)
- 3** 「コントロールパネル」(p.8)を開き「システム」アイコンをダブルクリックします。
「システム」ウィンドウが表示されます。
- 4** 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。
- 5** 「サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ」の左の「+」をクリックして「Maestro Wave / Wave Table Synthesis Device」をダブルクリックします。
- 6** 「Audio Settings」タブをクリックします。

- 7** 「Advanced Settings」の「DirectSound Hardware Acceleration Enable」の ☒ をクリックして ☐ (オフ) にしてから「OK」ボタンをクリックします。

メディアプレーヤーを終了しても音楽CDが再生されたままの状態になる

メディアプレーヤーで音楽CDを再生しているときに「メディアプレーヤー」を終了しても、音楽CDは再生されたままの状態になります。

このような場合には、次の手順で音楽CDを停止させてください。

- 1** 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」、「アクセサリ」、「エンターテインメント」の順にマウスポインタを合わせ、「メディアプレーヤー」をクリックします。
- 2** 「デバイス」メニューの「CDオーディオ」を選びます。
- 3** 「停止」ボタンをクリックします。
音楽CDが停止します。

省電力機能(スタンバイ)を使おうとしたら・・・

さまざまな省電力機能を使って、消費電力が抑えられている状態がスタンバイ状態です。スタンバイ状態のときには、作業内容は保持(記憶)されています。元の状態に戻すには、キーボードまたはマウスを操作します。

スタンバイ状態にする前の状態の画面が表示されない

☹️➡️😊 アプリケーションや周辺機器は省電力機能(スタンバイ)に対応していますか？

対応していないアプリケーションや周辺機器でスタンバイ状態にしようとすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ状態にしないでください。

☹️➡️😊 電源ケーブルやACアダプタは正しく接続されていますか？
電源ケーブルやACアダプタをコンセントに接続します。電源ケーブルが正しく接続されていなかった場合、作業内容は保持されません。

☹️➡️😊 スタンバイ状態のときに停電したり、電源ケーブルやACアダプタが抜けたりしませんでしたか？
スタンバイ状態のときに停電したり、電源ケーブルやACアダプタが抜けたりすると、保持(記憶)した内容は消えてしまいます。

☹️➡️😊 スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを約4秒以上押し続けませんでしたか？
スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに電源スイッチを約4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保持(記憶)した内容は消えてしまいます。

📖 参照

省電力機能について→『リファレンス』PART4の「省電力機能(スタンバイ)」

✔️ チェック!!

画面が暗くなったまま、もとに戻らないときは、電源スイッチを約4秒以上押し続けて強制的に電源を切ってください。

📌 メモ

スタンバイ状態から元に戻すには
コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合
・スリープボタンを押す。
・キーボードやマウスを操作する。
ボックスレスタイプの場合
・キーボードやマウスを操作する。
・電源スイッチを押す。

自動的にスタンバイ状態になってしまう

ご購入時には、約20分間パソコンを使わないとスタンバイ状態になるように設定されています。スタンバイ状態にならないようにするには、「コントロールパネル」の「電源の管理」で設定を変更します。

スタンバイ状態にならない。「コントロールパネル」の「電源の管理」で設定してもスタンバイ状態にならない

 ➡  実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度、設定をやり直してください。

電話回線を使用中のときは、回線を切ってからスタンバイ状態にしてください。

 ➡  スタンバイ状態から復帰中に、スリープボタンまたは電源スイッチを押しませんでしたか？

スタンバイ状態から復帰中にスリープボタンまたは電源スイッチを押すと、復帰後にスリープボタンを押してもスタンバイ状態にできなくなる場合があります。このような場合には、次の手順を行ってください。

1 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。

2 「スタンバイ」の  をクリックし、 (オン) にして、「OK」ボタンをクリックします。
システムがスタンバイ状態になります。

3 スリープボタン(コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合)、電源スイッチ(ボックスレスタイプの場合)を押して復帰させます。この時、システムが完全に復帰するまで、スリープボタンまたは電源スイッチを押さないでください。

参照

自動的にスタンバイ状態にしないようにするには→『リファレンス』PART4の「省電力機能(スタンバイ)」

モ

スタンバイ状態にするには

コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合

- ・スリープボタンを押す。
- ・「Windowsの終了」ウィンドウで「スタンバイ」を選択して「OK」ボタンをクリックする。

ボックスレスタイプの場合

- ・「Windowsの終了」ウィンドウで「スタンバイ」を選択して「OK」ボタンをクリックする。

スタンバイ状態にしようとしたら「デバイスドライバかプログラムが原因で待機モードに入れません。すべてのプログラムを終了してからもう一度やり直してください。」と表示された。またはスタンバイ状態にできない

☹️➡️😊 実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度、設定をやり直してください。

電話回線を使用中のときは、回線を切ってからスタンバイ状態にしてください。

休止状態にできない

このパソコンでは休止状態にすることはできません。

メモ

休止状態とは、実行中の作業内容を自動的にハードディスクに保存し、電源を切った状態のことです。普通に電源を切るのとは異なり、休止状態から復帰させると、作業内容を復元することができます。

タイマー機能を使おう としたら・・・

指定した時間に自動的にスタンバイ状態から電源が入った状態にしたいときなどは、Timer-NXを使います。

Timer-NXでスタンバイ状態から復帰しない

☹️➡️😊 アプリケーションや周辺機器は省電力機能(スタンバイ)に対応していますか？

対応していないアプリケーションや周辺機器でスタンバイ状態にしようとすると、正常に動作しなくなることがあります。このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ状態にしないでください。

☹️➡️😊 電源ケーブルやACアダプタは正しく接続されていますか？

電源ケーブルやACアダプタをコンセントに接続します。
電源ケーブルやACアダプタが正しく接続されていなかった場合、作業内容は保持されていません。

☹️➡️😊 スタンバイ状態のときに停電したり、電源ケーブルやACアダプタが抜けたりしませんでしたか？

スタンバイ状態のときに停電したり、電源ケーブルやACアダプタが抜けたりすると、保持(記憶)した内容は消えてしまいます。

☹️➡️😊 スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに、電源スイッチを約4秒以上押し続けませんでしたか？

スタンバイ状態のときやディスプレイの省電力機能によって画面が暗くなっているときに電源スイッチを約4秒以上押し続けると、強制的に電源が切れ、保持(記憶)した内容が消えてしまいます。

Timer-NXで電源が入らない

Timer-NXを設定しても、自動的に電源が入らない。

☹️➡️😊 電源管理モードがACPIモードになっていませんか？

このパソコンの電源管理モードはACPIモードに設定されています。Timer-NXを使って電源が切れている状態から時間を指定して電源を入れる場合、APMモードに変更する必要

📖 参照

タイマー機能(Timer-NX) → 
「パソコン探検箱」-「使いこなそう
VALUESTAR」-「パソコンを設定する」

📖 参照

省電力機能(スタンバイ) → 『リファ
レンス』PART4の「省電力機能(ス
タンバイ)」

があります。変更方法については『リファレンス』PART5の「電源管理モードについて」をご覧ください。

☹️➡️😊 電源ケーブルやACアダプタは正しく接続されていますか？

電源ケーブルやACアダプタをコンセントに接続します。

☹️➡️😊 電源ケーブルやACアダプタがコンセントからはずれていませんか？ 停電しませんでしたか？

電源ケーブルやACアダプタがコンセントからはずれたり、停電したりすると、設定が無効になります。Timer-NXの設定をやり直してください。

☹️➡️😊 パスワードが設定されていませんか？

Windowsなどのパスワードを設定すると、起動時に、パスワードの入力が必要になるので、Timer-NXで自動的に電源を入れることはできなくなります。

Timer-NXで自動的に電源を入れたいときはWindowsなどのパスワードは設定しないでください。一度設定したパスワードは再セットアップを行わないと無効にできません。

BIOSセットアップメニューでパスワードを設定していても、同じです。解除してください。

Timer-NXで電源を切ったり、スタンバイ状態にできない

☹️➡️😊 終了時に操作の必要なアプリケーションが起動していませんか？

データの保存など、終了時になにか操作をしないと終了できないアプリケーションが起動していると、Timer-NXで自動的に電源を切ることはできません。

☹️➡️😊 Timer-NXの設定時刻にパソコンの電源が入っていませんか？

Timer-NXで「オン」を設定した時刻に、すでにパソコンの電源が入っているときは、その後「オフ」を設定した時刻がきて、電源は切れません。

Timer-NXのリング機能で指定したアプリケーションを起動できない

☹️➡️😊 発信側からの呼び出し回数が少ないですか？

発信側からの呼び出し回数は5、6回程度に設定してください。

📖 参照

再セットアップ→「PART3 再セットアップするには」(p.191)
BIOS セットアップメニュー→『リファレンス』PART5の「BIOS セットアップメニュー」

📖 参照

タイマー機能(Timer-NX)→
「パソコン探検箱」-「使いこなそう VALUESTAR」-「パソコンを設定する」

📖 参照

タイマー機能(Timer-NX)→
「パソコン探検箱」-「使いこなそう VALUESTAR」-「パソコンを設定する」

☹️➡️😊 複数のモデムを使用していませんか？

Timer-NXのタイマー機能は1回線のみ対応しています。このパソコンに複数のモデムが接続されている場合、最初に設定したモデムにタイマー機能が有効になりますので、その回線を使用してください。

日付の設定を変えようとしたら・・・

日付や時刻が合っていないと、保存したファイルの時刻がずれたり、インターネットで送信したメールの日付がおかしくなったりします。

日付と時刻を合わせたい

- 1 「コントロールパネル」(p.8)を開きます。
- 2 「日付と時刻」アイコンをダブルクリックします。
(ダブルクリックがうまくいかない場合は、「日付と時刻」をクリックして【Enter】キーを押します)
「日付と時刻のプロパティ」のウィンドウが表示されます。
次のように設定を変更することができます



西暦の設定：西暦が表示されている右側の  をクリックして、選びたい西暦にします。

月の設定：月が表示されている右側の  をクリックして、選びたい月をクリックします。

日の設定：反転している数字が現在設定されている日付です。選びたい日をクリックします。

時刻の設定：時間、分、秒が表示されている部分をクリックします。

右側の  をクリックして時刻を変更します。

- 3 変更が終了したら、「OK」をクリックします。
再設定しても、日付と時刻がおかしくなるときは、内蔵の電池が消耗していることが考えられます。NECサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

✓チェック!!

「OK」をクリックせずに画面を閉じた場合は変更されません。

📖参照

NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』

再セットアップしたが…

再セットアップしたあとに、「おかしいな」とおもったら
こちらをご覧ください。

画面にランチ-NXが表示されない

- ☹️➡️😊 再セットアップの後に「ValueStar NXを使う準備をします」をクリックしてランチ-NXを使えるように設定をしましたか？
- 「スタート」メニューの「ValueStar NXを使う準備をします」をクリックすればランチ-NXが起動して使えるようになります。

参照

ランチ-NX を使えるようにする →
『STEP1 接続と準備』PART3 の
「ValueStar の設定を行う」

その他・・・

これまでのところであなたの質問が見つからなかったときは、ここをご覧ください。

ここでも見つからないときは、他のマニュアルやヘルプ、Readmeファイルをご覧ください。

コンピュータウイルスが検出された

VirusScanなどによってコンピュータウイルスに感染したファイルが検出されたら、すぐにウイルスを駆除し、被害を届け出てください。

ウイルスを駆除する

ウイルスを駆除するには、ウイルスが感染したファイルを削除するのがいちばん確実です。アプリケーションのファイルであれば、削除してインストールし直してください。バックアップがあるファイルは、削除したあと、コピーし直してください。バックアップも感染している可能性があるので、ウイルス検査してください。

削除できないファイルの場合は、「VirusScan for Windows 95/98」などのウイルス除去機能があるソフトウェアでそのファイルのウイルスを除去してください。

さらに、二次感染を防ぐため、使っていたハードディスク、フロッピーディスク、MOディスクなどはすべてウイルス検査してください。

被害を届け出る

日本では、コンピュータウイルスを発見したら、企業、個人に関わらず、次の届け出先に届けることが義務づけられています(平成7年7月7日付通商産業省告示第429号)。届け出をしなくても罰則の規定はありませんが、被害対策のための貴重な情報になるので積極的に報告してください。

届け出先

情報処理振興事業協会(通称IPA)ウイルス技術調査室

本部：東京都港区芝公園3丁目1番38号

秀和芝公園3丁目ビル

電話 03-3437-2301

FAX 03-3437-5386

ホームページアドレス <http://www.ipa.go.jp/>



『リファレンス』PART1の「ウイルスの検査と駆除 < VirusScan >」

Windows 98の機能について知りたい

☹️➡️😊 「Windowsのヘルプ」の「Windows 98入門」をご覧ください。

「Windows 98入門」は、次の手順でご覧になれます。

- 1 「スタート」メニューの「ヘルプ」をクリックします。
「Windowsのヘルプ」が表示されます。
- 2 「目次」タブをクリックします。
「Windows のヘルプ」のウィンドウの左側に目次が表示されます。
- 3 目次から「Windows 98入門」をクリックします。
「Windows 98入門」の内容が表示されます。
- 4 本の形のアイコンを次々にクリックしていき、その中から、見たい内容をクリックします。
ウィンドウの右側に内容が表示されます。
ウィンドウの右側で、マウスのポインタが手の形に変わるところをクリックすると、詳しい内容や関連した内容を見ることができます。

BIOSセットアップメニューの設定値を、購入時の状態に戻せない

☹️➡️😊 本体とキーボードの間に2台以上のUSBハブを経由して、キーボードを接続していませんか？

本体とキーボードの間に2台以上のUSBハブを接続していると、キーボードが動作しないため、BIOSセットアップメニューの設定値を購入時の状態に戻すことができません。本体とキーボードの間には、1台のUSBハブのみを経由してキーボードを接続してください。

パソコンの環境を購入時の状態に戻したい

パソコンの環境を購入時の状態に戻すには、「PART3 再セットアップするには」(p.191)をご覧ください。再セットアップをしてください。再セットアップをすると、ご自分で作成した文書ファイルや表計算ファイルなどのデータやインストールした別売のアプリケーションはもとに戻りませんのでご注意ください。

メモ

大切なデータやシステム全体のバックアップは「バックアップ機能」(p.20)を使うと便利です。

電源管理モードを変更したい

このパソコンの電源管理モードはACPIモードに設定されています。通常はACPIモードでお使いください。APMモードへの変更は、Windows 98セットアップ直後、または再セットアップ直後に行ってください。変更方法については、『リファレンス』PART5の「電源管理モードについて」をご覧ください。

Windows Updateができない

☹️➡️😊 正しく接続されていますか？

「接続できない」(p.97)をご覧ください。

☹️➡️😊 インターネットプロバイダとの契約はお済みですか？

Windows Updateは、インターネット経由で接続するためインターネットプロバイダとの契約が必要です。インターネットプロバイダに入会するには、『インターネット入門』の「PART3 BIGLOBEに入会する」、「PART7 すでにプロバイダに入会している方へ」を参照してください。

☹️➡️😊 Windows 98ユーザー登録はお済みですか？

Windows Updateを利用するには、Windows 98のユーザー登録をしておく必要があります。ユーザー登録をしていないときは、「Windows Update-登録してください」ウィンドウが表示されますので、「はい」ボタンをクリックして、引き続き、画面の指示にしたがってユーザー登録をしてください。

「最近使ったファイル」のファイル名を消したい

次の操作にしたがってください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックして「設定」にマウスポインタを合わせ「タスクバーと[スタート]メニュー」をクリックします。
「タスクバーのプロパティ」が表示されます。
- 2 「[スタート]メニューの設定」タブをクリックし、「[最近使ったファイル]の一覧」の「クリア」ボタンをクリックします。

📖 参照

電話回線の正しい接続について→『STEP1 接続と準備』PART2の「電話回線に接続する」

📖 参照

インターネットプロバイダに入会する→『インターネット入門』の「PART3 BIGLOBEに入会する」、「PART7 すでにプロバイダに入会している方へ」

🔍 モ

インターネットへの接続は「Windows 98へようこそ」の「インターネットに接続」をクリックすると、簡単に設定することができます。

🔍 モ

Windows 98 ユーザー登録は「Windows 98へようこそ」の「いますぐ登録」をクリックすると起動することもできます。

表示されている画面を印刷したい

次の方法で画面を印刷できます。

- 1 印刷したい画面で【Print Screen】キーを押します。
- 2 「スタート」ボタンをクリックして、「プログラム」・「アクセサリ」の順にマウスポインタを合わせ、「ペイント」をクリックします。
- 3 「編集」メニューの「貼り付け」を選びます。
「ビットマップを大きくしますか？」と画面に表示されたときは、「はい」をクリックしてください。
- 4 「ファイル」メニューの「印刷」を選びます。

西暦2000年問題について知りたい

このパソコンは、2000年問題に対応していますが、アプリケーションによっては問題が発生することが考えられます。アプリケーションが2000年問題に対応しているかどうかは、アプリケーションの製造元にお問い合わせください。NECでは、インターネットのホームページ「98information」の「98AP情報」で、2000年問題についての情報を提供しています。次のアドレスにアクセスしてください。

<http://www.pc98.nec.co.jp>

キーボードのショートカットキーを知りたい

 ➡  「パソコン探検箱」の「便利な早見表」をご覧ください。

次の操作にしたがってください。

- 1 「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」から「パソコン探検箱」をクリックします。
「ガイドマップ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「便利な早見表」アイコンをクリックします。
スクロールバーを操作して「ショートカットキー一覧」をご覧ください。

 ➡  『ファーストステップガイド:オンライン版』の「付録E キーボードショートカット」をご覧ください。

次の操作にしたがってください。

メモ

ウィンドウだけを印刷したい場合は、印刷したいウィンドウをクリックし、【Alt】キーを押したまま【Print Screen】キーを押します。

メモ

このパソコンに添付されているアプリケーションは2000年問題に対応しています。

用語

西暦 2000 年問題

慣習的に西暦年号は2桁で表現され、コンピュータの世界でも2桁の年号が多く使われてきました。西暦2000年を迎えた時に、アプリケーションによっては、年号が00年になってしまい、日付をキーにする期間計算などの結果が不正になり、業務システム等に多大な影響を与えることが考えられます。これがコンピュータの西暦2000年問題です。

メモ

「パソコン探検箱」はデスクトップの  アイコンをダブルクリックしても起動することができます。また、ランチ-NXの「パソコン探検箱」アイコンからも起動することができます。

チェック!

アプリケーションによっては、同じショートカットキーを探してもキーの働きが異なる場合があります。

1 「スタート」ボタンをクリックし、「ヘルプ」をクリックします。

「Windows のヘルプ」ウィンドウが表示されます。

2 「目次」タブをクリックして、「ファーストステップガイド：オンライン版」、「オンライン形式の『Microsoft Windows 98ファーストステップ ガイド』」をクリックします。

3 右側のウィンドウの中の「ここをクリック」をクリックします。

4 左側の「目次」の「付録E キーボード ショートカット」をクリックし、表示された項目から選択して、クリックします。

 ➡  添付マニュアル『Windows 98 ファースト ステップ ガイド』の「付録E キーボード ショートカット」をご覧ください。

マニュアルをなくしてしまった

パソコン添付のマニュアルをなくしてしまった

 ➡  このパソコンに添付されているマニュアルのうち、次のマニュアルは購入することができます。

『安全にお使いいただくために』、『はじめにお読みください』、『STEP1 接続と準備』、『STEP2 入門』、『STEP3 活用』、『拡張の手引き』、『インターネット入門』、『リファレンス』、『困ったときのQ&A』。なお、お買い求めの際は「NEC PC マニュアルセンター」にお問い合わせください。

NEC PC マニュアルセンターではNECパソコン関連商品の添付マニュアルの販売、マニュアル関連情報のご紹介をおこなっています。

- ・販売方法：電話、FAXによる通信販売
- ・お申し込み先：NEC PC マニュアルセンター
電話 03-5476-1900 FAX 03-5476-1967
- ・営業時間：月～金曜日 AM10:00～12:00
PM1:00～4:00

（土日祝日年末年始を除く。FAXは24時間受付）

- ・取り扱い品目などの詳細はホームページ上でご案内しています。

ホームページアドレス：

<http://www.pcmanual.nedox.co.jp/nedox/>

チェック!!

- ・いただいたFAXに対するご回答は翌営業日以降となります。
- ・在庫状況によってはご期待に添えない場合もあります。あらかじめご了承ください。

『Microsoft Windows 98 ファースト ステップガイド』をなくしてしまった

『Microsoft Windows 98 ファースト ステップガイド』は再入手できませんので、紛失しないように十分注意してください。特に、表紙に印刷されているプロダクト キーがわからないと再セットアップができなくなります。プロダクト キーは、控えておくことをおすすめします。

アプリケーションのマニュアルをなくしてしまった

このパソコンにインストールまたはCD-ROMで添付されているアプリケーションのマニュアルについては「添付ソフトウェアサポート窓口一覧」で各アプリケーションの販売元にご確認ください。

このパソコンを海外で使いたい

海外では使えません。

このパソコンを廃棄したい

このパソコンを廃棄するときは、地方自治体の条例にしたがって処理してください。くわしくは各地方自治体にお問い合わせください。

テレビやラジオに雑音が入る

テレビ、ラジオや他の電子機器は、パソコンから遠ざけてください。また、パソコンは、それらの機器とは別のコンセントにつないでください。

Windows 98 製品版をインストールしたい

このパソコンに市販のWindows 98 製品版(Microsoft Windows® 98日本語版)を新規にインストールすることはできません。Windows 98を再インストールするにはパソコン添付の「バックアップ CD-ROM」で再セットアップします。



参照

Windows 98を再インストールする
→ 「PART3 再セットアップするには」(p.191)

Windows NT 4.0を使いたい

このパソコンでWindows NT 4.0を使うときは、『リファレンス』付録の「Windows NT 4.0の利用」をご覧ください。Windows NT 4.0をセットアップし、アップグレードしてください。

Windows 98 起動ディスクからパソコンを起動したい

Windows 98 起動ディスクは、Windows がハードディスクから正しく起動できないときに、フロッピーディスクなどから起動するために使います。

次の手順にしたがって、Windows 98 起動ディスクを作成し、パソコンを起動してください。

Windows 98 起動ディスクの作りかた

「コントロールパネル」(p.8)の「アプリケーションの追加と削除」を開き「起動ディスク」タブで作成します。

Windows 98 起動ディスクからのパソコンの起動

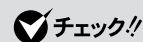
- 1 パソコンの電源を入れます。
- 2 すぐにフロッピーディスクドライブにWindows 98 起動ディスク1をセットします。
「Microsoft Windows 98 Startup Menu」が表示されます。
- 3 「Start computer with CD-ROM support.」が選択されていることを確認して、【Enter】キーを押します。
- 4 しばらくすると「キーボードのタイプを判定します.」と表示されるので、【半角/全角】キーを押します。
- 5 「Windows 98 起動ディスク2を挿入してください.」と表示されたら、フロッピーディスクドライブから「Windows 98 起動ディスク1」を取り出し、「Windows 98 起動ディスク2」をセットします。
- 6 キー(【Enter】キーなど)を押します。
しばらくすると「A: ¥>_」と表示されます。

これで、Windows 98 起動ディスクからのパソコンの起動が完了しました。

再びハードディスクから起動したい場合はフロッピーディスクドライブからWindows 98 起動ディスクを取り出して、パソコンを再起動してください。

Safeモードで起動したい

Safeモードは、トラブルが発生したときに、最小限のシステム環境で起動できるWindowsの起動モードのひとつです。Safeモードでいったんパソコンを起動し、スキャンディスクなどのシステムツールでトラブルを解決してパソコンを再起動すると、正常なWindows 98に戻れることがあります。



チェック!!

Safeモードでは、最小限の機能しか使えません。CD-ROMドライブやプリンタなどは使えません。

次の操作にしたがってください。

- 1 パソコンの電源を入れて、Windows 98を起動します。
- 2 「NEC」のロゴ画面が表示されたら【F5】キーを押し続けます。
- 3 「キーボードのタイプを判定します」と表示されたら【半角/全角】キーを押します。
「Windows 98はSafeモードで実行されています。」と表示されます。



- 4 「OK」ボタンをクリックします。

他のパソコンとケーブルでつないでデータのやりとりをしたい

他のパソコンをケーブル(シリアルかパラレルのクロスケーブル)で接続して、ケーブル接続の設定を行うと、フォルダを共有してデータのやりとりをすることができます。ハードディスクドライブやCD-ROMドライブを共有することもできます。

「パソコン探検箱」を起動するとエラーメッセージが表示される

☹️ ➡️ 😊 画面の設定を確認して、画面の色数をHighColor(16ビット)以上にしてください。

パソコン探検箱は、画面の色数をHighColor(16ビット)以上でご覧いただくことを前提にしています。次のような画面が表示された場合は、「画面の解像度や表示色を変更したい」(p.63)をご覧ください、画面の設定を変更してください。

📖 参照

CyberTrio-NX の「ベーシックモード」の状態、Safe モードを起動すると、デバイスマネージャによるハードウェアの設定変更ができなくなります。設定変更ができるようにするには『リファレンス』PART1の「ベーシックモードでの注意」をご覧ください。

📖 参照

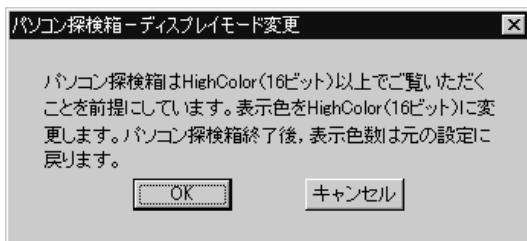
ケーブル接続の設定 → 「Windows のヘルプ」

📌 メモ

お互いのパソコンにインターフェイスボードやインターフェイスカードを取り付けて、LAN ケーブルで接続すると、より速いデータのやりとりをすることができます。

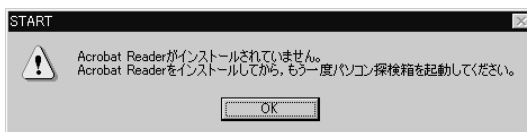
📖 参照

「画面の解像度や表示色を変更したい」(p.63)



☹️ ➡️ 😊 Acrobat Readerはインストールされていますか？

パソコン探検箱を見るには、Acrobat Reader というアプリケーションが必要です。次のようなAcrobat Readerのインストールを促す画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックして、Acrobat Readerをインストールしてください。



用語がわからない

パソコンを使うために通常必要と思われる用語については、「ビギナーのためのパソコン用語集」(p.233)をご覧ください。用語については、これ以外のマニュアルでも解説しています。

また、このパソコンには「パソコン用語集」というアプリケーションが入っています。「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」にマウスポインタを合わせ、「パソコン用語集」をクリックする(または、「ランチ - NX」の「スタディ&ヘルプ」をクリックし「パソコン用語集」をクリックする)と表示されます。画面の説明にしたがって調べたい用語を探してください。

インターネットを使っている方は、検索エンジンを使って、「辞書」や「用語」などのキーワードからパソコンに関する用語集を探す方法もあります。

📖 参照

Acrobat Readerのインストール方法 → 『リファレンス』PART3の「削除したアプリケーションの再追加」

📖 参照

検索エンジンを使う → 『インターネット入門』PART2の「興味のあるホームページを探す」

やりたいことが、どのマニュアルに載っているかわからない

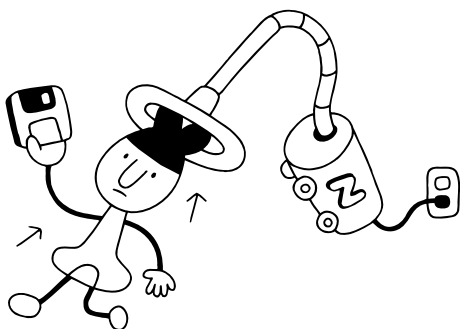
本体に添付しているマニュアルの中で、やりたいことを探したいときは、このマニュアルの巻末の「やりたいこと別総索引」(p.253)で探してください。

P A R T

2

パソコンのお手入れ

パソコンが汚れたらお手入れしてください。
とくに、マウスポインタの動きが悪いときは、マウスのクリーニングは効果的です。
お手入れをするときは、水やぬるま湯がマウスやキーボード、パソコン本体の内部に入らないように気をつけてください。



パソコンのお手入れ

⚠ 注意



お手入れの前には、パソコンの電源を切り、電源ケーブル、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。

感電の原因になります。



準備するもの

軽い汚れのとき

1

乾いたきれいな布



汚れがひどいとき

2

水かぬるま湯を含ませて、よくしぼった布



フロッピーディスクドライブをクリーニングするとき

3

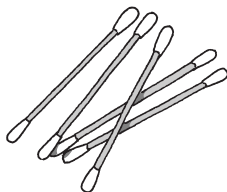
クリーニングディスク



マウスをクリーニングするとき

4

綿棒



フロッピーディスクドライブをクリーニングするときは、クリーニングディスク(別売)を使います。クリーニングディスクについては、ご購入元やNECサービスセンター、サービスステーションに問い合わせてください。

メモ

OA 機器用クリーニングキットも汚れをふきとるのに便利です。

OA 機器用クリーニングキットについては、ご購入元やNECサービスセンター、サービスステーションに問い合わせてください。

✓ チェック!!

シンナーやベンジンなどの揮発性の有機溶剤や揮発性の有機溶剤を含む化学ぞうきんは、使わないでください。キーボードを傷めたり、故障の原因になります。

参照

NECのお問い合わせ先→『NEC PC あんしんサポートガイド』

電源を切って、電源ケーブルをはずす

お手入れの前には、かならず、パソコンの周辺機器やパソコンの電源を切ってください。電源ケーブルはコンセントから抜いてください。
電源を切らずに、お手入れをはじめると、感電することがあります。

清掃する

パソコン

やわらかい布でふいてください。

汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

パソコンの内部

長期間使うと、ほこりがたまるので、定期的に清掃してください。パソコン内部の清掃については、ご購入元、NEC サービスセンター、サービスステーションに相談してください。

ディスプレイ

やわらかい布でふいてください。
汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

✓チェック!!

水やぬるま湯は、絶対にパソコン本体やキーボードに直接かけないください。故障の原因になります。

📖 参照

NEC のお問い合わせ先 → 『NEC PC あんしんサポートガイド』

フロッピーディスクドライブ

クリーニングディスク(別売)を使ってクリーニングします。ひと月に一回を目安にクリーニングしてください。

キーボード

やわらかい布でふいてください。

汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

キーのすきまからゴミなどが入ったときは、掃除機などで吸い出します。ゴミが取れないときは、ご購入元、NEC サービスセンター、サービスステーションに相談してください。

電源ケーブル、AC アダプタ

電源ケーブル、AC アダプタのプラグを長期間コンセントに接続したままにすると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にやわらかい布でふいて、清掃してください。

マウス

やわらかい布でふいてください。

汚れがひどいときは、水かぬるま湯を布に含ませ、よくしぼってから、ふき取ってください。

マウスの内部

マウスポインタの動きが悪いときは、ボールとローラーもクリーニングしてください。

📖 参照

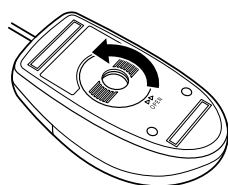
→ 「マウスのクリーニング」(次ページ)

マウスのクリーニング

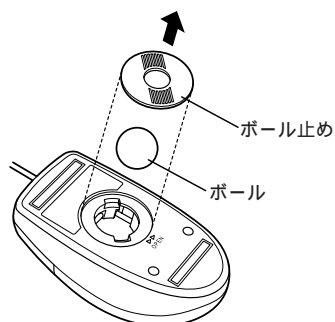
マウス内部のローラーやボールが汚れると、マウスポインタの動きが悪くなります。とくに、ローラーやボールに油分が付くと、故障の原因になります。

ローラーはとくに汚れがたまりやすいので、定期的にクリーニングしてください。ローラーだけクリーニングするときは、4～6の手順は省略してかまいません。

- 1 パソコンの電源を切り、マウスのケーブルをキーボードからはずします。
- 2 マウスの裏側のボール止めを、下図の矢印の方向に回転させます。



- 3 ボール止めを取りはずし、ボールを取り出します。



- 4 ボールを中性洗剤で洗い、汚れを落とします。
- 5 水で中性洗剤を洗い落とします。
- 6 布で水分をふき取り、風通しの良いところで十分に乾燥させます。
- 7 マウス内部のローラーの汚れを、水分を含ませた綿棒でこすり落とします。汚れが落ちないときは、やわらかい歯ブラシなどで汚れを取ります（このとき、歯ブラシに、水やほみがき粉などをつけないでください）。



- 8 ボールをマウスに戻します。
- 9 ボール止めを取り付け、手順2と逆の方向に回して固定します。
- 10 マウスのケーブルをキーボードに取り付けます。

✓チェック!!

取り外したボールやボール止めは、お子さまが誤って飲みこんだりしないよう、ご注意ください。

添付品の修復、再入手、 交換、補修用性能部品

フロッピーディスクとCD-ROM

フロッピーディスクとCD-ROMは、有料で修復または再入手することができます。

フロッピーディスクとCD-ROMは消耗品です。

消耗品とは、使用頻度あるいは経過年数により消耗し、一般的には再生が不可能なもので、お客様ご自身で購入し、交換していただくものです。保証期間内であっても有料です。



参照

フロッピーディスクの修復、CD-ROMの再入手→『NEC PC あんしんサポートガイド』

ディスプレイ(ディスプレイセットモデルのみ)

ディスプレイは、消耗部品(有償交換部品)です。使用頻度あるいは経過年数により消耗、摩擦、劣化し、修理再生が不可能な部品です。NEC サービスセンター、サービスステーションなどで交換し、お客様に部品代を請求するものです。保証期間内であっても有料の場合があります。

補修用性能部品の最低保有期間

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後7年です。

譲渡、廃棄、改造について

このパソコンを譲渡するには

この製品を第三者に譲渡する場合は、所定の条例にしたがってください。
また、譲渡を受けられた場合には、所定の手続きにしたがって、登録内容の変更を行ってください。

●譲渡するお客様へ

本製品を第三者に譲渡(売却)される場合は以下の条件を満たす必要があります。

1. 本体に添付されているすべてのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと
2. 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
3. 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除したあと、譲渡すること(本体に添付されている「ソフトウェア使用条件適用一覧」をご覧ください)

●譲渡を受けるお客様へ

NECからお客様へ、お知らせを送付することがありますので、必ず登録内容の変更に必要な以下の事項を記入し、官製ハガキまたは封書でお送りください。

記載内容

1. 本体保証書番号(製造番号)および当社が添付しているフロッピーディスクラベル上の「Serial No.」(いずれのソフトも同一)
「Serial No.」がない場合は不要です。
2. 以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入されたお店の名称、住所、電話番号
3. あなたの氏名、住所、電話番号

宛先

〒108-8001 東京都港区芝五丁目 7-1(NEC 本社ビル)
NEC 98 OFFICIAL PASS 登録センター係行

✓チェック!!

パソコン内のデータには個人的に作成した情報が多く含まれています。
第三者に情報が漏れないように譲渡の際には、これらの情報を削除することをお勧めします。

この製品を廃棄するには

この製品を廃棄するときは、地方自治体の条例にしたがって処理してください。くわしくは、地方自治体にお問い合わせください。

このパソコンの改造

添付されているマニュアルに記載されている以外の方法で、このパソコンを改造・修理しないでください。

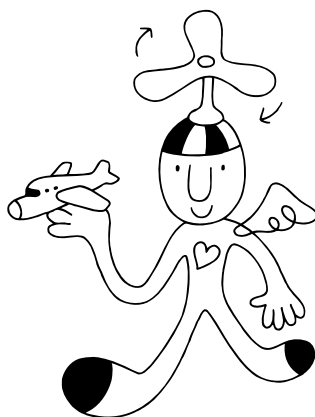
記載されている以外の方法で改造・修理された製品は、当社の保証や保守サービスの対象外となることがあります。

3

再セットアップするには

システムを起動できなくなったときなどは、システムを再セットアップしてください。

再セットアップを行うと、ハードディスクドライブのファイルやフォルダはすべて消えてしまいます。再セットアップの前に大切なファイルをMOやフロッピーディスクなどにコピー（バックアップ）しておいてください。



再セットアップが 必要なのは

再セットアップを行うと、壊れてしまったパソコンのシステムを復旧することができます。

ただし、ハードディスクに保存したファイルが消えてしまいます。時間もかかる作業なので再セットアップが必要かどうかをよく確認してからはじめてください。



再セットアップ

このパソコンのシステムが壊れてしまったときに、CD-ROMに入っているデータを使って、購入時と同じ状態に戻す作業のことです。Windowsの再インストールも再セットアップに含まれます。

再セットアップが必要なのはこんなときです

次のようなとき、パソコンの再セットアップが必要です。

トラブルによるシステムの復旧のため

- ・電源を入れても電源ランプは点灯するが Windows 98 が起動しない
- ・パソコンを使っているときに頻繁にエラーメッセージが表示される
- ・ハードディスクの中のプログラムが正常に動作しない
- ・ハードディスクの中のシステムファイルを誤って消してしまった

ハードディスクの設定を変更のため

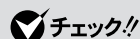
- ・Cドライブの容量を変えたい
- ・FAT16 を利用したい
- ・ハードディスクを1つのパーティションにしたい

Windows 98の設定を変更のため

- ・Windows 98 を購入時の状態に戻したい
- ・登録した名前や会社名を変えたい
- ・Windows NT を利用したい

再セットアップに関する注意

- ・再セットアップは、必ずこのあとの手順にしたがって行ってください。データのバックアップ、インターネットなどの設定の記録、別売の周辺機器の取りはずしなどの手順も省略しないで必ず行ってください。
- ・再セットアップは途中でやめないでください。途中でやめてしまったときは、最初からやり直してください。



購入時の状態ではこのパソコンは FAT32 に設定されています。他の OS を利用したいときや、FAT16 でのみ動作するソフトウェアを利用したいときは、カスタム再セットアップを実行して FAT16 に設定してください。



「Cドライブのみ再セットアップする (カスタム再セットアップ)」(p.210)



「FAT32 ファイルシステムと FAT16 ファイルシステム」(p.214)

標準再セットアップとカスタム再セットアップ

再セットアップには、「標準再セットアップ」と「カスタム再セットアップ」の2つがあります。ここでは4つのパターンに分けて、再セットアップの手順を説明します。

●標準再セットアップ

購入したときと同じ状態にする

ハードディスクを購入したときと同じ状態に戻します。

初心者の方やハードディスクについての知識のない方は、必ず、この方法で再セットアップしてください。

 参照

「購入したときと同じ状態にする」
(次ページ)

●カスタム再セットアップ

全領域を1パーティションにして再セットアップする

Dドライブを作成しないですべての領域をCドライブにして再セットアップします。Cドライブのハードディスク容量を最大にすることができます。

 参照

「全領域を1パーティションにして再セットアップする」(p.207)

Cドライブのみを再セットアップする

Cドライブの容量を変更しないで、Cドライブのみを再セットアップするときに、この方法で再セットアップします。Cドライブ以外のハードディスクのデータを残しておくことができます。

 参照

「Cドライブのみ再セットアップする」(p.210)

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする

FDISKコマンドを使って、ハードディスクの領域を変更して再セットアップすることができます。Cドライブのハードディスク容量を変更したいときはこの方法で再セットアップします。

初心者の方やハードディスクについての知識がない方は、この方法では再セットアップしないでください。

 参照

「ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする」(p.213)

購入したときと 同じ状態にする (標準再セットアップ)

「標準再セットアップ」を行うと、パソコンを購入時と同じ状態に戻すことができます。

Cドライブのハードディスク容量を変えたいときは、「カスタム再セットアップ」をご覧ください。

●標準再セットアップの手順

標準再セットアップは次の手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。再セットアップを始めたら、途中でやめないで、必ず手順通り最後まで行ってください。

1. バックアップをとる
2. インターネットなどの設定を控える
3. 別売の周辺機器を取りはずす
4. 必要なものを準備する
5. システムを再セットアップする(約 50 分～1 時間 20 分)
(一太郎モデルのときは、一太郎 9 バックも、ここで同時に再セットアップされます)
6. Windows 98 の設定をする(約 10 分)
7. Word モデルのときは、Excel、Word、Draw、Outlook を再セットアップする(約 15 分)
8. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す
9. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
10. 別売のアプリケーションをインストールし直す

1. バックアップをとる

「バックアップ CD-ROM」で再セットアップできるのは、このパソコンに購入時から入っていたソフトウェアだけです。購入後に保存したファイルや、インストールしたアプリケーションは復元されません。また、内蔵のハードディスクに保存されていたデータは全て消えてしまいます。

Windows 98 を起動できるときは、かならず、大切なデータのバックアップをとってから、再セットアップを行ってください。

MO ディスク、外付けハードディスクなどの記憶装置があると、まとめてバックアップをとることができるので便利です。

✓チェック!

再セットアップは途中で中断しないでください。もし、中断したときは、最初からやり直してください。

再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。それぞれ、再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

用語

バックアップ

ハードディスクなどに保存したファイルやフォルダが消えてしまってもいいように、フロッピーディスクや、MO ディスク、外付けハードディスクなどに複製したものを作っておくことを「バックアップをとる」といいます。

📖 参照

バックアップのとりかた → 『STEP3 活用の「PART3 ファイルの移動やコピー」』 「PART4 フロッピーディスクを使う」

📖 参照

『バックアップ機能』(p.20)

2. インターネットなどの設定を控える

インターネットを使っているときは、インターネットのIDやアドレスなど、インターネット接続に必要な情報をメモしてください。
インターネットなどの設定は、再セットアップを行うとすべて消去されます。

BIGLOBEに入会しているとき

会員証があるときは、会員証を用意してください。インターネットの接続に必要な情報のうち、アクセスポイント以外の情報は会員証に記載されています。

入会してまだ会員証が届いていないときなど、会員証がないときは、『インターネット入門』PART3の「BIGLOBEの入会手続きを行う」を参考にし、次の項目をメモしてください。

- ・ユーザーID
- ・仮パスワード、または、正式パスワード
- ・電子メールアドレス
- ・メールパスワード
- ・プライマリDNS
- ・セカンダリDNS
- ・インターネットメールサーバ
- ・ニュースサーバ
- ・設定したアクセスポイントの電話番号

✓チェック!!

再セットアップしても、サインアップで得たインターネットのIDなどは無効にはなりません。必ず書きとめて、あとで設定し直してください。

📖参照

『インターネット入門』PART3の「BIGLOBEの入会手続きを行う」

✓チェック!!

受信したメールや「お気に入り」に登録したURLは、再セットアップを行うと消えてしまいます。必要な場合は、メールやURLファイルのバックアップをとっておいてください。

3. 別売の周辺機器を取りはずす

別売の周辺機器は、すべて取りはずしてください。

『STEP1 接続と準備』にしたがって、このパソコンに付属していた機器のみを接続した状態にしてください。

4. 必要なものを準備する

再セットアップの作業にはいる前に、このパソコンに添付されている、次のCD-ROM、フロッピーディスク、マニュアルを準備してください。

「バックアップCD-ROM」

「システムインストールディスク」

『Microsoft Windows 98 ファーストステップガイド』

Wordモデルのときは、「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98」CD-ROMも必要です。

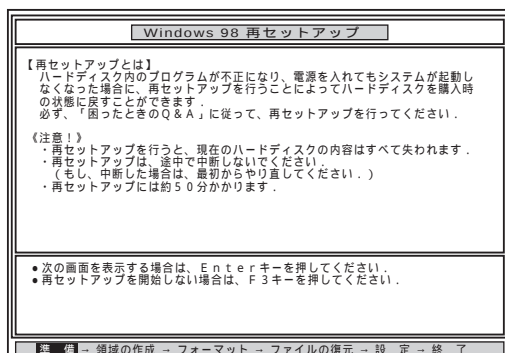
また、このパソコンの購入後に自分でインストールしたアプリケーションを使うときは、そのインストール用のディスクが必要です。準備しておいたほうがいいでしょう。

✓チェック!!

準備するものは、モデルによって異なるので、再セットアップ中に表示される「再セットアップの準備」の画面で確認してすべて準備してください。

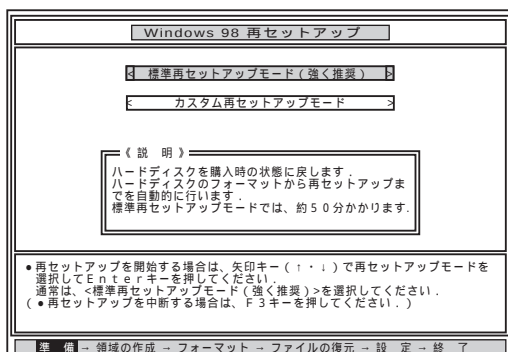
5. システムを再セットアップする

- 1 パソコン本体の電源を入れます。
- 2 電源ランプがついたら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットします。
次の画面が表示されます。



「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、この画面は表示されません。その場合は、ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

- 3 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットします。
- 4 【Enter】キーを押します。
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。
- 5 【Enter】キーを押します。



- 6 「標準再セットアップモード(強く推奨)」が黄色になっているので、そのまま【Enter】キーを押します。
「標準再セットアップモード(強く推奨)」が黄色になっていないときは、【↑】キーを押して、黄色にしてから【Enter】キーを押してください。
「ハードディスクの内容を購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。

✓チェック!!

ここに掲載されている画面は、モデルや設定によって、実際に表示される画面と異なることがあります。

再セットアップは、ハードディスクのCドライブの領域に対して行われます。

再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。

それぞれ、再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

「Invalid system disk・・・」と表示されたときは、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットし直して、【Enter】キーなどのキーを押してください。

📖参照

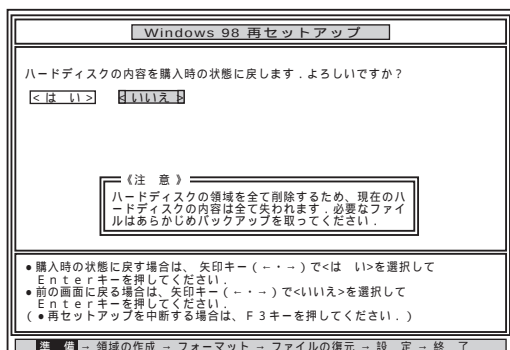
CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする方法 → 『STEP2 入門』PART10 の「CD-ROM の扱い方」

✓チェック!!

CD-ROM が認識されずにエラーメッセージが表示された場合は、NEC サービスセンター、サービスステーションにご連絡ください。

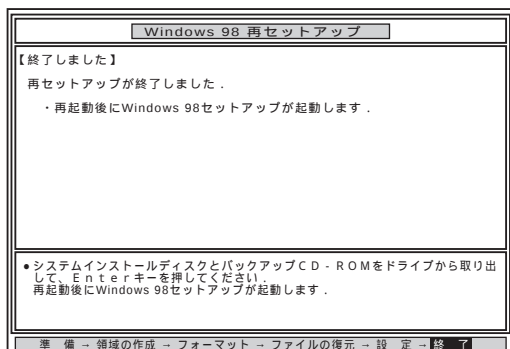
📖参照

NEC のお問い合わせ先 → 『NEC PC あんしんサポートガイド』



7 「いいえ」が黄色になっているので、【←】キーを押して、「はい」を黄色にしてから【Enter】キーを押します。

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが始まります。機種、モデルによって異なりますが、約50分～1時間10分かかります。途中でフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示にしたがって入れ替えてください。ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。



8 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク（起動用）」を取り出します。

9 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出します。

10【Enter】キーを押します。

システムが再起動し、しばらくすると「Windows 98セットアップウィザード」ウィンドウが表示されます。



✓チェック!

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり、電源スイッチを押したりしないでください。

再セットアップ中に数回ピープ音（ビーという音）が鳴りますが、問題ないので無視してください。

✓チェック!

左の画面が表示されなかったときは、再セットアップは正常に行われていません。初めからやり直してください。

6.Windows 98 の設定をする

- 1 「ユーザー情報」のウィンドウで、このパソコンを使う人の名前と会社名をキーボードを使って入力します。
名前を入力しないと、次の手順に進めません。会社名は入力しなくてもかまいません。
ただし、ここで入力した名前、会社名は、また再セットアップし直す以外に変更する方法はありません。
名前や会社名は、ローマ字でも、漢字やカタカナでもかまいません。
- 2 入力が終わったら[次へ>]をクリックします。
- 3 画面に表示される[使用許諾契約書]をご確認ください。



スクロールボタンをクリックするか、キーボードの【Page Down】キーを押すと、「使用許諾契約書」の下の方を読むことができます。

- 4 「同意する」の ☐ をクリックして ☒ (オン) にし、「次へ>」をクリックします。



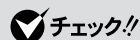
ここで行う操作は、はじめてこのパソコンを使ったときの操作(『STEP1 接続と準備』の「PART3 電源を入れてパソコンを使えるようにする」)と同じです。



間違って入力したときは【Back Space】キーを押すと、1文字ずつ消すことができます。



文字の入力→『STEP1 接続と準備』PART3 の「自分の名前をローマ字で打ち込む」



「同意しない」をクリックすると、セットアップが中止になるようなメッセージが表示されます。中止したときは、再セットアップをもういちど最初からやり直してください。

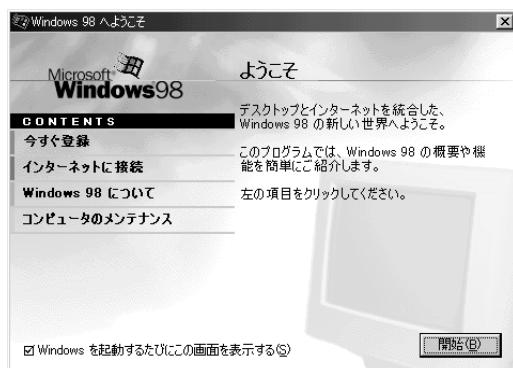
- 5** キーボードを使ってプロダクト キーを半角文字で入力します。
プロダクト キーは、『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』の表紙に記載されています。

『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』は紛失しないように気をつけてください。記載されている「プロダクト キー」がわからないと、再セットアップできません。

- 6** 「次へ>」をクリックします。

- 7** 「すべての情報が保存されました。」と表示されたら、「完了」をクリックします。

自動的にWindows 98が再起動し、Windows 98のデスクトップ画面が表示され、「Windows 98へようこそ」が表示されます。



- 8** 「Windowsを起動するたびにこの画面を表示する」の ☒ をクリックして ☐ (オフ) にします。

- 9** ☒ をクリックします。

「Windows 98へようこそ」が閉じます。

- 10** 「スタート」ボタン(画面左下)をクリックし、スタートメニューの「ValueStar NXを使う準備をします」をクリックします。

「ようこそValueStar NXへ」と表示され、しばらくすると、「ランチ-NX」のウィンドウが表示されます。

- 11** 「スタート」ボタンをクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。

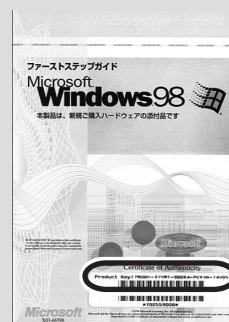
- 12** 「電源を切る状態にする」になっていることを確認して、「OK」をクリックします。

パソコンの電源が切れます。

一太郎モデルの再セットアップはこれで終わりです。「8.別売の周辺機器を取り付けて設定し直す」(p.206)に進んでください。

Wordモデルのときは、次の「7.Excel、Word、Draw、Outlookを再セットアップする」に進んでください。

『Microsoft Windows 98ファーストステップガイド』の表紙



Product Key
(プロダクトキー)

表紙のデザインは、実際のものと異なる場合があります。

✓チェック!!

プロダクト キーを入力しても「無効」と表示されたら、0とO、8とB、1とIなどの入力ミスがないか確認してください。

✓チェック!!

再セットアップはまだ終わっていません。アプリケーションを起動したりせずに、必ず以降の操作を行ってセットアップを続けてください。再セットアップを完了しないと誤動作の原因になります。

7.Excel、Word、Draw、Outlookを再セットアップする

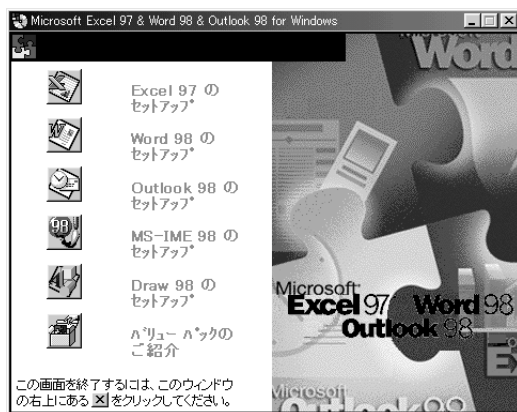
Wordモデルのときは、かならず、Excel 97、Word 98、Draw 98、Outlook 98の順に再セットアップしてください。

「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98」CD-ROMからMS-IME 98のセットアップはしないでください。

● Excel 97を再セットアップする

1 パソコン本体の電源を入れます。

2 「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
自動的に次の画面が表示されます。



3  (Excel 97のセットアップ)をクリックします。

「Microsoft Excel 97 セットアップ」ウィンドウが表示されます。

4 「継続」をクリックします。

「ユーザー情報の登録」ウィンドウが表示されます。

「名前」と「所属」を入力します。なお、所属は入力しなくてもかまいません。

5 「OK」をクリックします。

「ユーザー情報の確認」ウィンドウが表示されます。

6 「OK」をクリックします。

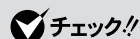
「プロダクトID」ウィンドウが表示されます。プロダクトIDは、「同意書 / オフィシャルユーザー登録依頼書」の指定された場所に記入してください。

7 「OK」をクリックします。

「Microsoft Excelを次のフォルダにセットアップします。」が表示されます。

8 「OK」をクリックします。

「標準セットアップ」か「カスタムセットアップ」かを選ぶウィンドウが表示されます。



「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98」CD-ROMに含まれている「MS-IME 98」はセットアップしないでください。

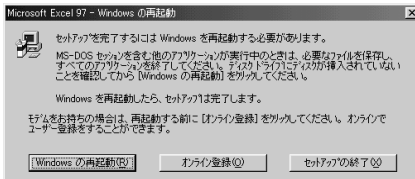
9 (標準セットアップ)をクリックします。

次のウィンドウが表示されます。



10 「継続」をクリックします。

Excel 97のセットアップが始まります。数分で、セットアップが終わり、次のウィンドウが表示されます。



11 「Windowsの再起動」をクリックします。

パソコンが自動的に再起動します。

再起動後、デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックし、表示された画面でCD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックしてください。「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98 for Windows」ウィンドウが表示されます。

● Word 98 を再セットアップする

1 (Word 98のセットアップ)をクリックします。

「Microsoft Word 98 セットアップ」ウィンドウが表示されます。

2 「継続」をクリックします。

「ユーザー情報の登録」ウィンドウが表示されます。

「名前」と「所属」には、これまでの操作で登録したユーザ情報が表示されます。変更するときは入力し直してください。

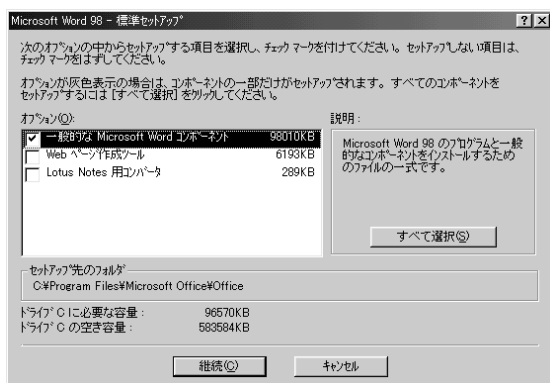
3 「OK」をクリックします。

「ユーザー情報の確認」ウィンドウが表示されます。

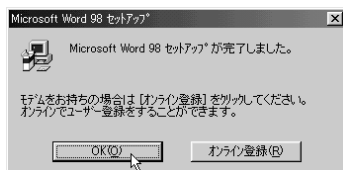
✓チェック!

手順 10 の画面が表示されずに、「Microsoft Excel 97セットアップが完了しました。」と表示された場合は、「OK」ボタンをクリックし、「Word 98 を再セットアップする」に進んでください。

- 4 「OK」をクリックします。
「プロダクトID」が表示されます。プロダクトIDは、「同意書 / オフィシャルユーザー登録依頼書」の指定された場所に記入してください。
- 5 「OK」をクリックします。
「Microsoft Wordを次のフォルダにセットアップします。」と「Microsoft Word98 セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- 6 「OK」をクリックします。
「標準セットアップ」が「カスタムセットアップ」を選ぶウィンドウが表示されます。
- 7  (標準セットアップ)をクリックします。
次のウィンドウが表示されます。



- 8 「継続」をクリックします。
Word 98のセットアップが始まります。数分で、セットアップが終わり、次のウィンドウが表示されます。



- 9 「OK」をクリックします。
最初に表示された、どのアプリケーションをセットアップするかを選ぶウィンドウが表示されます。

● Draw 98 を再セットアップする

- 1  (Draw 98のセットアップ)をクリックします。
「Microsoft Draw 98 セットアップ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「継続」をクリックします。
「セットアップを開始するには、左下のボタンをクリックしてください。」と表示されます。

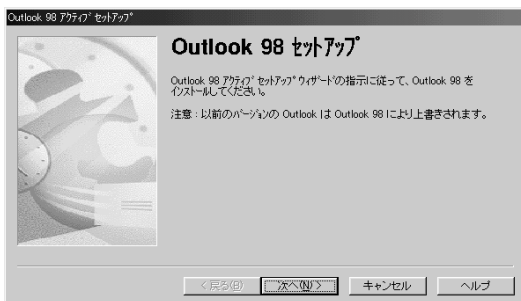
- 3  (継続)をクリックします。
Draw 98のセットアップが始まります。セットアップが終わると、次のウィンドウが表示されます。



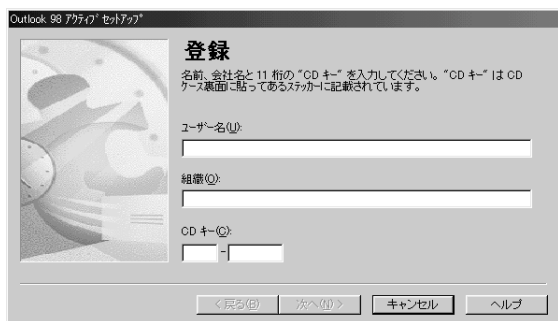
- 4 「OK」をクリックします。
最初に表示された、どのアプリケーションをセットアップするかを選ぶウィンドウが表示されます。

● Outlook 98 を再セットアップする

- 1  Outlook 98のセットアップをクリックします。
「Outlook 98 アクティブ セットアップ」ウィンドウが表示されます。



- 2 「次へ」をクリックします。
「使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。
- 3 「同意する」をクリックして「次へ」をクリックします。
「登録」ウィンドウが表示されます。



- 4** 「ユーザー名」と「組織」を入力します(変更の必要がなければ入力しなくてもかまいません)。

CDキーのところには、「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98」CD-ROMのCD-ROMケースに添付されていたCDキーを入力してください。

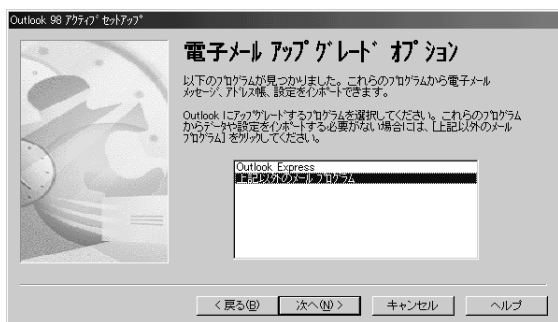
CDキーの入力が終わったら「次へ」をクリックしてください。

「インストール オプション」ウィンドウが表示されます。

- 5** 「標準インストール」が選択されていることを確認して、「次へ」をクリックします。

「電子メール アップグレード オプション」ウィンドウが表示されます。

- 6** 「上記以外のメールプログラム」をクリック(反転表示)して、「次へ」をクリックします。



「電子メール サービス オプション」のウィンドウが表示されます。

- 7** 「インターネットのみ」が選択されていることを確認して、「次へ」をクリックします。

「Outlook 98をインストールするフォルダのパスを入力してください。」と表示されます。

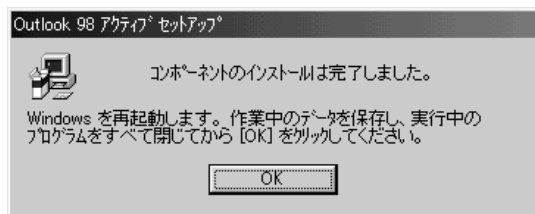
- 8** 「次へ」をクリックしてください。
セットアップが始まります。

メモ

CDキーは「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98」CD-ROMの袋の中央に表記されています。

「新しいコンポーネントをアップグレードしますか？」と表示された場合は、「更新された項目のみアップグレード」を選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

セットアップが終わり、次のウィンドウが表示されます。



- 9 「OK」をクリックします。
パソコンが自動的に再起動します。
再起動したら、Outlook 98のセキュリティパッチを適用します。
- 10 デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし、表示されたメニューの「エクスプローラ」をクリックします。
- 11 「エクスプローラ」の左下画面に表示されている(Q:)をダブルクリックして左下に表示される「Patch」フォルダをクリックします。
- 12 右下画面の「Outptch2」をダブルクリックします。
「このパッチを実行する前にOutlookをシャットダウンする必要があります。」と表示されます。
- 13 「はい」をクリックします。
「パッチのインストールは完了しました」と表示されます。
- 14 「OK」ボタンをクリックして、CD-ROMドライブから「Microsoft Excel 97 & Word 98 & Outlook 98」CD-ROMを取り出してください。
- 15 「スタート」をクリックし、「Windowsの終了」をクリックします。
- 16 「電源を切れる状態にする」になっていることを確認して「OK」をクリックします。
パソコンの電源が切れます。

8. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す

「3. 別売の周辺機器を取りはずす」で取りはずした別売の周辺機器を取り付けて、それぞれのセットアップ、設定を行ってください。



参照

周辺機器の設定→周辺機器のマニュアル、『拡張の手引き』

9. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す

パソコン購入後に行った設定は、再セットアップによってすべて購入時の状態になっているので、設定し直してください。

インターネットを使っているときは、『インターネット入門』の「PART7 すでにプロバイダに入会している方へ」をご覧ください。「2. インターネットなどの設定を控える (p.195)」で控えたメモの設定に戻してください。IDやアドレスはすでに取得しているものを使えます。サインアップをやり直す必要はありません。



参照

BIGLOBE の再設定→『インターネット入門』の「PART7 すでにプロバイダに入会している方へ」

10. 別売のアプリケーションをインストールし直す

パソコン購入後にインストールしたアプリケーションも消去されているので、インストールし直してください。

全領域を1パーティションにして再セットアップする (カスタム再セットアップ)

ハードディスクの領域を1つのドライブとして作成したいときは、この方法で行います。

●「全領域を1パーティションにして再セットアップ」の手順

つぎの手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。

再セットアップを始めたらず途中でやめしないで、必ず手順どおり最後まで行ってください。

1. バックアップをとる
2. インターネットなどの設定を控える
3. 別売の周辺機器を取り外す
4. 必要なものを準備する
5. システムを再セットアップする(約50分～1時間20分)
(一太郎モデルのときは、一太郎9バックも、ここで同時に再セットアップされます)
6. Windows 98 の設定をする(約10分)
7. Word モデルのときは、Excel、Word、Draw、Outlook を再セットアップする(約15分)
8. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す
9. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
10. 別売のアプリケーションをインストールし直す

1. バックアップをとる

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「1. バックアップをとる」(p.194)をご覧ください。データのバックアップをとってください。ハードディスクのデータはすべて、再セットアップによって消去されますので、必要なデータは必ずバックアップをとってください。

✓チェック!!

この方法では、システムやアプリケーション、データもすべて削除されます。再セットアップする前に、必要なデータなどは必ずバックアップをとってください。

✓チェック!!

再セットアップは途中で中断しないでください。もし中断したときは最初からやり直してください。

✓チェック!!

再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。それぞれ再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

📖 参照

バックアップの取り方→『STEP3 活用』の「PART3 ファイルの移動やコピー」「PART4 フロッピーディスクを使う」

2. インターネットなどの設定を控える

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「2. インターネットなどの設定を控える」(p.195)をご覧ください、必要な情報を控えてください。

3. 別売の周辺機器を取りはずす

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「3. 別売の周辺機器を取りはずす」(p.195)をご覧ください、別売の周辺機器を取りはずしてください。

4. 必要なものを準備する

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「4. 必要なものを準備する」(p.195)をご覧ください、再セットアップに必要なものを準備してください。

5. システムを再セットアップする

- 1 パソコン本体の電源を入れます。
- 2 電源ランプがついたらすぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットします。
「再セットアップとは」の画面が表示されます。
- 3 【Enter】キーを押します。
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。
- 4 【Enter】キーを押します。
再セットアップモードを選ぶ画面が表示されます。
- 5 【↓】キーを1回押して、「カスタム再セットアップモード」が黄色になったら【Enter】キーを押します。
(【↓】キーを押しすぎたときは【↑】キーを押して戻してください。) カスタム再セットアップの種類を選ぶ画面が表示されます。
- 6 「全領域を1パーティションにして再セットアップ」が黄色になっていることを確認して【Enter】キーを押します。
「ハードディスクの領域を下記の様に設定し、ファイルを購入時の状態に戻します。よろしいですか？」と表示されます。
- 7 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットしてください。
- 8 【←】キーを1回押して、「はい」が黄色になったら【Enter】キーを押します。

チェック!!

「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、「再セットアップとは」の画面は表示されません。その場合はディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

(【←】キーを押すすぎたときは【→】キーを押して戻してください。)

「ハードディスクの領域確保中です。」と表示されます。

ハードディスクの領域確保とシステムの再セットアップが始まります。種類、モデルによって異なりますが、約50分～1時間20分かかります。

途中でフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示に従って入れ替えてください。

システムの再セットアップまで終わると「終了しました」の画面が表示されます。

9 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク (起動用)」を取り出します。

10 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出します。

11 【Enter】キーを押します。

Windows 98が再起動し、しばらくすると「Windows 98セットアップウィザード」が表示されます。

12 これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の

「6.Windows 98の設定をする」に進んで、その後の操作を行ってください。

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「6.Windows 98の設定をする」(P.198)に進んでください。Wordモデルの場合は、その後で、「7.Excel、Word、Draw、Outlookを再セットアップする」に進んでください。

✓チェック!!

ハードディスクの領域の確保とシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり電源スイッチを押したりしないでください。

再セットアップ中に数回ピープ音(ピーという音)が鳴りますが、問題ないので無視してください。

✓チェック!!

再セットアップの作業は、まだ終わりではありません。必ず「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「6.Windows 98の設定をする」(P.198)以降の操作を行ってください。

Cドライブのみ 再セットアップする (カスタム再セットアップ)

Cドライブのみを再セットアップします。Dドライブ以降のデータはそのままなので、Cドライブだけを再セットアップしたい場合にこの方法で再セットアップしてください。ただし、この方法では、Cドライブの容量を変えることはできません。

●「Cドライブのみを再セットアップ」の手順

つぎの手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。

再セットアップを始めたらず途中でやめないで、必ず手順どおり最後まで行ってください。

1. バックアップをとる
2. インターネットなどの設定を控える
3. 別売の周辺機器を取り外す
4. 必要なものを準備する
5. システムを再セットアップする(約50分～1時間20分)
(一太郎モデルのときは、一太郎9バックも、ここで同時に再セットアップされます)
6. Windows 98 の設定をする(約10分)
7. Wordモデルのときは、Excel、Word、Draw、Outlook を再セットアップする(約15分)
8. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す
9. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
10. 別売のアプリケーションをインストールし直す

1. バックアップをとる

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「1. バックアップをとる(p.194)」をご覧ください。データのバックアップをとってください。

Cドライブのデータは、再セットアップによってすべて消去されますので、必要なデータは必ずバックアップをとってください。

✓チェック!

Cドライブ以外のハードディスクにアプリケーションをインストールしている場合、再セットアップ後、ハードディスクにアプリケーションが残っていても、そのアプリケーションは再インストールが必要な場合があります。アプリケーションがうまく動作しないときは、再セットアップ後に、アプリケーションもインストールし直してください。

✓チェック!

この方法では、Cドライブにあるシステムやアプリケーション、データもすべて削除されます。再セットアップする前に、必要なデータなどは必ずバックアップをとってください。

✓チェック!

再セットアップは途中で中断しないでください。もし中断したときは最初からやり直してください。

✓チェック!

再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。それぞれ再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

2. インターネットなどの設定を控える

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「2. インターネットなどの設定を控える (p.195) をご覧になり、必要な情報を控えてください。

3. 別売の周辺機器を取りはずす

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「3. 別売の周辺機器を取りはずす (p.195) をご覧になり、別売りの周辺機器を取りはずしてください。

4. 必要なものを準備する

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「4. 必要なものを準備する (p.195) をご覧になり、再セットアップに必要なものを準備してください。

5. システムを再セットアップする

- 1 パソコン本体の電源を入れます。
- 2 電源ランプがついたらすぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットします。
「再セットアップとは」の画面が表示されます。
- 3 【Enter】キーを押します。
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。
- 4 【Enter】キーを押します。
再セットアップのモードを選ぶ画面が表示されます。
- 5 【↓】キーを1回押して「カスタム再セットアップモード」が黄色になったら【Enter】キーを押します。
(【↓】キーを押すすぎたときは【↑】キーを押して戻してください。) カスタム再セットアップの種類を選ぶ画面が表示されます。
- 6 【↓】キーを1回押して「Cドライブのみ再セットアップ」が黄色になったら【Enter】キーを押します。
(【↓】キーを押すすぎたときは【↑】キーを押して戻してください。) 「Cドライブの内容を消去し、ファイルを購入時の状態に戻します。よろしいですか?」と表示されます。
- 7 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM」をセットします。

メモ

「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、「再セットアップとは」の画面は表示されません。
その場合は、ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

8 【←】キーを1回押して「はい」が黄色になったら【Enter】キーを押します。

(【←】キーを押しすぎたときは、【→】キーを押して戻してください。)

システムの再セットアップが始まります。種類、モデルによって異なりますが、約50分～1時間10分かかります。

途中でフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示にしたがって入れ替えてください。

システムの再セットアップが終わると「終了しました」の画面が表示されます。

9 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク(起動用)」を取り出します。

10 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出します。

11 【Enter】キーを押します。

Windows 98が再起動し、しばらくすると「Windows 98セットアップウィザード」ウィンドウが表示されます。

12 これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「6.Windows 98の設定をする」に進んで、その後の操作を行ってください。

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「6.Windows 98の設定をする」(p.198)に進んでください。Wordモデルの場合は、その後で「7.Excel、Word、Draw、Outlookを再セットアップする」に進んでください。

✓チェック!!

ハードディスクのフォーマットとシステムの復元中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMやフロッピーディスクを取り出したり電源スイッチを押したりしないでください。

再セットアップ中に数回ビーブ音(ピーという音)が鳴りますが、問題ないので無視してください。

✓チェック!!

再セットアップの作業は、まだ終わりではありません。必ず、「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「6.Windows 98の設定をする」(p.198)以降の操作を行ってください。

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする (カスタム再セットアップ)

Cドライブのハードディスク領域を自由に変えたいときは、この方法で行います。初心者の方や、ハードディスクの知識があまりない方は、この方法で再セットアップしないでください。

● カスタム再セットアップの手順

カスタム再セットアップはつぎの手順で行います。作業にかかる時間の目安を書いておきます。参考にしてください。

再セットアップを始めたら途中でやめないでください。必ず手順どおり最後まで行ってください。

1. バックアップをとる
2. インターネットなどの設定を控える
3. 別売の周辺機器を取りはずす
4. 必要なものを準備する
5. 領域を削除する(約5分)
6. 領域を作成する(約5分)
7. ドライブを初期化(フォーマット)する(約5分)
8. システムを再セットアップする(約50分～1時間20分)
(一太郎モデルのときは、一太郎9バックも、ここで同時に再セットアップされます)
9. Windows 98の設定をする(約10分)
10. Wordモデルのときは、Excel、Word、Draw、Outlookを再セットアップする(約15分)
11. フォーマットできなかったハードディスクドライブをフォーマットする
12. 別売の周辺機器を取り付けて設定し直す
13. 購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す
14. 別売のアプリケーションをインストールし直す

✓チェック!!

ここに掲載されている画面は、機種によって、実際に表示される画面と異なることがあります。

✓チェック!!

ハードディスクの領域を削除すると、その領域のシステムやアプリケーション、データもすべて削除されます。領域を削除する前に、必ずバックアップをとってください。

✓チェック!!

再セットアップは途中で中断しないでください。もし、中断したときは、最初からやり直してください。

✓チェック!!

ハードディスクのボリュームラベルが全角文字または半角カタカナで入力されているときは、領域の削除ができません。「マイコンピュータ」でハードディスクドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」で半角英数字を入力し直すか、ボリュームラベルを削除してください。

✓チェック!!

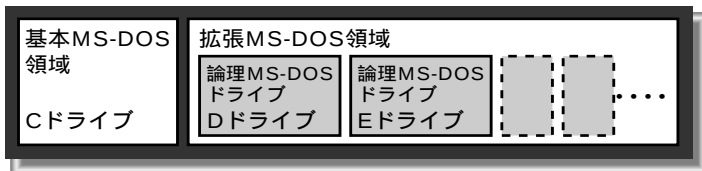
再セットアップにかかる時間はモデルによって異なります。それぞれ、再セットアップ中に表示される画面で確認してください。

●基本 MS-DOS 領域と拡張 MS-DOS 領域

カスタム再セットアップでは、カスタム再セットアップの画面からFDISKというコマンドを実行して、まずハードディスクの領域を削除し作り直します。

ハードディスクを基本 MS-DOS 領域と拡張 MS-DOS 領域に分け、さらに、拡張 MS-DOS 領域を論理 MS-DOS ドライブに分けます。このうち、基本 MS-DOS 領域が C ドライブ (Windows 98 を起動するドライブ) になり、論理 MS-DOS ドライブが D 以降のドライブになります。

ハードディスクの領域



領域の削除は、論理 MS-DOS ドライブ → 拡張 MS-DOS 領域 → 基本 MS-DOS 領域の順に削除してください。領域の作成は、逆に基本 MS-DOS 領域 → 拡張 MS-DOS 領域 → 論理 MS-DOS ドライブの順で作成してください。

領域を作ったあと、カスタム再セットアップの画面から FORMAT コマンドを実行してそれぞれのドライブをフォーマットします。

●FAT32 ファイルシステムと FAT16 ファイルシステム

このパソコンはご購入時の状態では、FAT32 ファイルシステムとよばれるファイルの管理方法を使って次のようにハードディスクが領域作成されています。

C ドライブ 3G バイト (FAT32 ファイルシステム)

D ドライブ 残りの容量 (FAT32 ファイルシステム)

* モデルによって D ドライブの領域は異なります。

ハードディスクの管理方法には FAT32 ファイルシステムと FAT16 ファイルシステムの 2 つがあります。Windows 98 ではどちらでも利用できます。「ユーザ設定」の方法を使うと、再セットアップ中に FAT32 ファイルシステムにするか FAT16 ファイルシステムにするかを選択することができます。どちらのファイルシステムを利用すればいいのか、次の注意を参考にしてください。

FAT16 ファイルシステムを利用するときのご注意

- ・ ハードディスクの領域は最大 2,047M バイトまでしか作成できません。
- ・ Windows 上で「ドライブコンバータ」を利用すると、FAT32 ファイルシステムに切り替えることができます。



基本 MS-DOS 領域

起動することができるドライブです。C ドライブが割り当てられ、ここに Windows 98 をインストールします。1 つのハードディスクに 1 つしか作れません。

拡張 MS-DOS 領域

基本 MS-DOS 領域以外の MS-DOS 領域です。ここから起動することはできません。1 つのハードディスクに 1 つしか作成できません。この中に論理 MS-DOS ドライブ (D ドライブ以降のドライブ) を割り当てます。

論理 MS-DOS ドライブ

拡張 MS-DOS 領域の中に作ります。D ドライブ以降の複数のドライブを作ることができます。



『リファレンス』の PART4「ハードディスク」

- ・ハードディスクの領域が512Mバイトより小さいと自動的にFAT16ファイルシステムが選択されます。
- ・「ドライブスペース」を利用することができます。

FAT32ファイルシステムを利用するときのご注意

- ・ハードディスクの領域は512Mバイトから2,047Gバイトまで作成できます。512Mバイトより小さいと自動的にFAT16ファイルシステムが選択されます。
- ・「ドライブスペース」を利用してドライブを圧縮することはできません。
- ・アプリケーションによってはFAT32ファイルシステムでは正常に動かないものがあります。
- ・FAT16ファイルシステムに戻すためには、再セットアップをする必要があります。

1. バックアップをとる

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「1. バックアップをとる」(p.194)をご覧ください。データのバックアップをとってください。すべてのハードディスクのデータは、再セットアップによって消去されますので、必要なデータは必ずバックアップをとってください。



参照
バックアップの取り方→『STEP3 活用』の「PART3 ファイルの移動やコピー」「PART4 フロッピーディスクを使う」

2. インターネットなどの設定を控える

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「2. インターネットなどの設定を控える」(p.195)をご覧ください。必要な情報を控えてください。

3. 別売の周辺機器を取りはずす

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「3. 別売の周辺機器を取りはずす」(p.195)をご覧ください。別売の周辺機器を取り外してください。

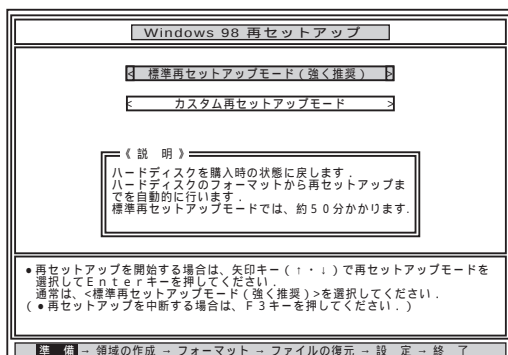
4. 必要なものを準備する

「購入したときと同じ状態にする(標準再セットアップ)」の「4. 必要なものを準備する」(p.195)をご覧ください。再セットアップに必要なものを準備してください。

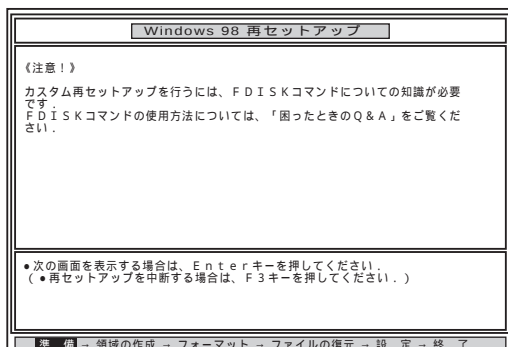
5. 領域を削除する

ハードディスクの領域を削除します。

- 1 パソコン本体の電源を入れます。
- 2 電源ランプがついたら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットします。
「再セットアップとは」の画面が表示されます。
- 3 【Enter】キーを押します。
「再セットアップの準備」の画面が表示されます。
- 4 【Enter】キーを押します。
再セットアップモードを選ぶ画面が表示されます。



- 5 【↓】キーを1回押して「カスタム再セットアップモード」が黄色になったら、【Enter】キーを押します(【↓】キーを押しすぎたときは、【↑】キーを押して戻してください)。
カスタム再セットアップの種類を選ぶ画面が表示されます。
- 6 【↓】キーを2回押して「ユーザ設定」が黄色になったら【Enter】キーを押します。
(【↓】キーを押しすぎたときは、【↑】キーを押して戻してください。)
「注意！」の画面が表示されます。



メモ

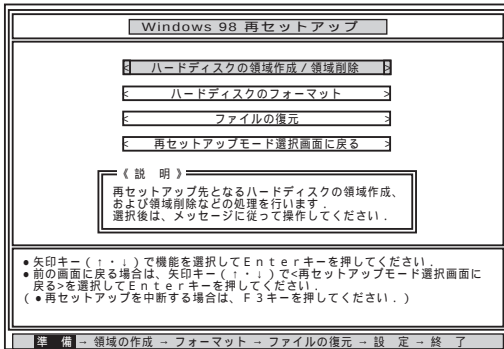
「システムインストールディスク(起動用)」のセットが遅いと、「再セットアップとは」の画面は表示されません。その場合は、ディスクをフロッピーディスクドライブから取り出し、電源を切って、手順1からやり直してください。

「Invalid system disk・・・」と表示されたときは、別のフロッピーディスクがセットされています。「システムインストールディスク(起動用)」をセットし直して、【Enter】キーなどのキーを押してください。

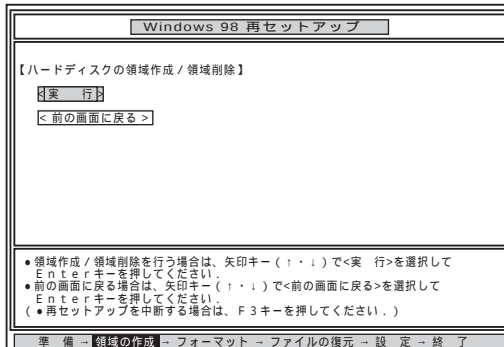
チェック!!

カスタム再セットアップを中止するときは【F3】キーを押してください。

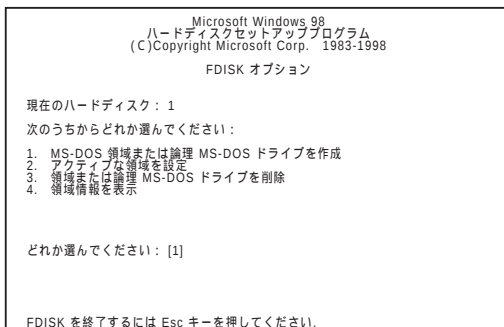
- 7 【Enter】キーを押します。
次の画面が表示されます。



- 8 「ハードディスクの領域作成 / 領域削除」が黄色になっているので、そのまま【Enter】キーを押します。
「ハードディスクの領域作成 / 領域削除」が黄色になっていないときは、【↑】キーを押して、黄色にしてから【Enter】キーを押してください。
「ハードディスクの領域作成 / 領域削除」の画面が表示されます。



- 9 「実行」が黄色になっているので、そのまま【Enter】キーを押します。
「実行」が黄色になっていないときは、【↑】キーを押して黄色にしてから【Enter】キーを押してください。
FDISKオプションの画面が表示されます。



ハードディスクに基本MS-DOS領域しかないとき(Cドライブのみの場合)は、「基本MS-DOS領域を削除する」(p.219)に進んでください。

ハードディスクに論理MS-DOSドライブ、および拡張MS-DOS領域があるときは、次の「論理MS-DOSドライブを削除する」に進んでください。

● 論理 MS-DOS ドライブを削除する

10【3】キー(領域または論理MS-DOSドライブを削除)を押して、【Enter】キーを押します。

11【3】キー(拡張MS-DOS領域内の論理MS-DOSドライブを削除)を押して、【Enter】キーを押します。
ドライブの一覧が表示され、「どのドライブを削除しますか」と表示されます。

12削除するドライブのキーを押して(Dドライブを削除するときは【D】キーを押す)【Enter】キーを押します。
「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。

13削除する領域にボリュームラベル(ドライブの名前)がつけられているときは、ボリュームラベルを入力して【Enter】キーを押します。
削除する領域にボリュームラベルがつけられていないときは、そのまま【Enter】キーを押します。
「よろしいですか(Y/N)」と表示されます。

14【Y】キーを押して【Enter】キーを押します。
削除されたドライブのところに「ドライブを削除しました。」と表示されます。

15残りのドライブがあるときは残りのドライブもすべて12～14の手順で削除します。
すべてのドライブが削除されると「拡張MS-DOS領域の論理ドライブはすべて削除されました。」と表示されます。

16【Esc】キーを押します。
「論理ドライブは定義されていません。ドライブ名は変更または削除されました。」と表示されます。

17【Esc】キーを押します。
「FDISK オプション」の画面が表示されます。

● 拡張 MS-DOS 領域を削除する

18【3】キー(領域または論理MS-DOSドライブを削除)を押して、【Enter】キーを押します。

19【2】キー(拡張MS-DOS領域を削除)を押して、【Enter】キーを押します。

「削除した拡張MS-DOS領域のデータはなくなります。続けますか (Y/N)」と表示されます。

20【Y】キーを押して【Enter】キーを押します。

「拡張 MS-DOS 領域を削除しました。」と表示されます。

21【Esc】キーを押します。

FDISKオプションの画面が表示されます。

●基本 MS-DOS 領域を削除する

22【3 X】領域または論理MS-DOSドライブを削除)キーを押して、【Enter】キーを押します。

23【1】基本MS-DOS領域を削除)キーを押して、【Enter】キーを押します。

現在のハードディスクの状態が表示され、「削除した基本 MS-DOS 領域のデータはなくなります。どの基本領域を削除しますか」と表示されます。

24【1】になっているのを確認して、【Enter】キーを押します。

「ボリュームラベルを入力してください」と表示されます。

25「WINDOWS98」と入力して【Enter】キーを押します。

別のボリュームラベルがつけられているときはその名前を入力します。ボリュームラベルが付けられていないときはなにも入力しないでそのまま【Enter】キーを押します。

「よろしいですか (Y/N)」と表示されます。

26【Y】キーを押して、【Enter】キーを押します。

「基本 MS-DOS 領域を削除しました。」と表示されます。

27【Esc】キーを押します。

「FDISK オプション」の画面が表示されます。

次の「6 .領域を作成する」に進んでください。

6. 領域を作成する

領域を削除したら、新しく領域を作成してください。削除した領域の容量を合計した範囲のなかで、新しい領域を確保します。

領域の分け方の例(1)

基本MS-DOS領域(FAT16)を最大(2,047Mバイト)にして、残りの拡張MS-DOS領域をすべて論理MS-DOSドライブにする。
6Gバイトのハードディスクのとき

6Gバイトのハードディスク	
基本MS-DOS領域 (FAT16)	拡張MS-DOS領域 論理MS-DOSドライブ(FAT32)
Cドライブ 2Gバイト(2,047Mバイト)	Dドライブ 4Gバイト

領域の分け方の例(2)

6Gバイトのハードディスクで、基本MS-DOS領域を3Gバイトにして、残りの拡張MS-DOS領域を2Gバイト、約1,000Mバイトの論理MS-DOSドライブにする。

6Gバイトのハードディスク		
基本MS-DOS領域 (FAT32)	拡張MS-DOS領域	
Cドライブ 3Gバイト	論理MS-DOS ドライブ(FAT32) Dドライブ 2Gバイト	論理MS-DOS ドライブ(FAT16) Eドライブ 約1,000Mバイト

●基本 MS-DOS 領域を作成する

1 「FDISK オプション」の画面で、「どれか選んでください:」の右に「1」(MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成)が表示されるので、【Enter】キーを押します。

2 「どれか選んでください:」の右に「1 (基本 MS-DOS 領域を作成)」が表示されているので、【Enter】キーを押します。

ドライブがチェックされたあと、「基本MS-DOS領域に使用できる最大サイズを割り当てますが(同時にその領域をアクティブにします Y/N)」と表示されます。

(a)最大サイズの領域を作成したいとき

ハードディスクの領域を分けずに一つの領域にする場合には、次の操作をしてください。

(1) 【Y】になっているのを確認して、【Enter】キーを押します。

ドライブがチェックされたあと、「ドライブのサイズが2048MB以上あります。このドライブは、FAT32です。」と表示されます。

(2) 【Esc】キーを押します。

「変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください。」と表示されます。

メモ

ハードディスクの領域を作成するときのファイルシステムには、FAT16とFAT32があります。

チェック!!

ハードディスクに必要な空き容量
カスタム再セットアップで領域を複数に分割するとき、起動ディスク(Cドライブ)は、FAT16の場合2,047Mバイトまでの好きな容量にすることができますが、最初に入れるWindows 98のシステムやアプリケーションのために、少なくとも、次の容量より大きくすることを目安にしてください。

Wordモデル

VC40D/5GD1 VC35D/5YD1 VC35D/5YD2 VC33H/5XD1 VC33H/5XD2 VC30H/5XD1 VC30H/5XD2 VE40D/57D VE35D/57D VE30H/57D VE30H/55D VM45D/5GD VM45D/5ZD VM40D/57D VF26D/5GD	FAT32のとき 1,300MB以上
	FAT16のとき 1,700MB以上

一太郎モデル

VC40D/5GC1 VC35D/5YC1 VC35D/5YC2 VC33H/5XC1 VC33H/5XC2 VC30H/5XC1 VC30H/5XC2 VE40D/57C VE35D/57C VE30H/57C VE30H/55C VM45D/5GC VM45D/5ZC VM40D/57C VF26D/5GC	FAT32のとき 1,500MB以上
	FAT16のとき 1,900MB以上

(3)【Esc】キーを押します。

「拡張MS-DOS領域が作成されていません。拡張MS-DOS領域を作成しますか?」と表示されたときは【→】キーを1回押して<いいえ>を選んで【Enter】キーを押してください。

「設定を有効にするためにシステムを再起動します」と表示されます。

(4)【Enter】キーを押します。

パソコンが自動的に再起動します。

「Windows 98再セットアップ」の画面が表示されます。

これで領域は作成されました。「7. ドライブを初期化(フォーマット)する」(p.224)に進んでください。

(b)サイズを指定して領域を作成したいとき

(1)【N】キーを押し、【Enter】キーを押します。

ドライブがチェックされたあと、「領域のサイズをMバイトが全体に対する割合(%)で入力してください。基本MS-DOS領域を作ります」と表示されます。

(2)必要な空き容量(p.220)以上の数値(領域のサイズ、Mバイト単位)を入力して【Enter】キーを押します。

たとえば、4Gバイトのモデルで2047Mバイトの領域を確保するときは、【2】【0】【4】【7】【Enter】の順にキーを押します(全体に対する割り合いで入力することもできます。たとえば、4Gバイトモデルで2Gバイトの領域を確保するときは、【5】【0】【%】【Enter】の順にキーを押します)。

「基本MS-DOS領域を作成しました。」と表示されます。

(3)【Esc】キーを押します。

「FDISKオプション」の画面に戻ります。

(4)【2】キー(アクティブな領域を設定)を押し、【Enter】キーを押します。

「アクティブにしたい領域の番号を入力してください」と表示されます。

(5)【1】キーを押して、【Enter】キーを押します。

「領域1がアクティブになりました。」と表示されます。

(6)【Esc】キーを押します。

「FDISKオプション」の画面が表示されます。

次に拡張MS-DOS領域と論理MS-DOSドライブを作成します。

メモ

FAT16に設定したときは、Windows 98の再セットアップが完了後に、ドライブコンバータでFAT32に変えることもできます。ただしFAT32からFAT16に戻すときは、再セットアップが必要です。

チェック!!

・「このドライブはFAT32が標準設定になっています。FAT16に変更しますか(Y/N)?」と表示された場合(指定した領域が512~2047Mバイトの場合)は、FAT32にするときはNを、FAT16にするときはYを選択して【Enter】キーを押してください。

・「ドライブのサイズが2048MB以上あります。このドライブはFAT32です。」と表示されたときは、【Esc】を押します。自動的にFAT32に設定されます。

● 拡張 MS-DOS 領域を作成する

3 「どれか選んでください:」の右に「1 (MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成)」が表示されているのを確認し、【Enter】キーを押します。

4 【2】キー(拡張MS-DOS領域を作成)を押し、【Enter】キーを押します。

ドライブがチェックされたあと、「領域のサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。拡張MS-DOS領域を作ります」と表示され、残っている領域のサイズが表示されます。

5 そのまま【Enter】キーを押します。

「拡張MS-DOS領域を作成しました。」と表示されます。

6 【Esc】キーを押します。

ドライブがチェックされたあと、「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください。」と表示されます。

● 論理 MS-DOS ドライブを割り当てる

7 論理MS-DOSドライブに最大サイズを割り当てたいときは、そのまま【Enter】キーを押します。

サイズを指定するときは、数字を入力して【Enter】キーを押します。

- ・ 指定したサイズが 2,048M バイト以上の場合

「ドライブのサイズが2,048Mバイト以上あります。このドライブはFAT32 です。」と表示され、自動的にFAT32 に設定されます。

【Esc】キーを押します。

- ・ 指定したサイズが 512M バイト以上で 2,047M バイト以下の場合

「このドライブはFAT32が標準設定になっています。FAT16に変更しますか(Y/N)?」と表示されます。

FAT16 にする場合は【Y】キーを押し【Enter】キーを押します。

FAT32 にする場合は【N】キーを押し【Enter】キーを押します。

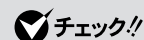
- ・ 指定したサイズが 512M バイトより少ない場合

「このドライブはFAT16が標準設定になっています。FAT32に変更しますか(Y/N)?」と表示されます。

【N】キーを押し【Enter】キーを押します。自動的にFAT16 に設定されます。

割り当てられていない拡張MS-DOS領域がまだ残っているときは、「論理ドライブのサイズをMバイトか全体に対する割合(%)で入力してください」と表示されます。

手順7をくりかえして、すべての拡張MS-DOS領域を論理MS-DOSドライブに割り当ててください。



「このドライブはFAT16です。FAT32には小さすぎます。」と表示されたときは、【Esc】キーを押してください。自動的にFAT16に設定されます。

8 すべての領域が割り当てられると「拡張MS-DOS領域の使用可能な領域はすべて論理ドライブに割り当てられます」と表示されるので【Esc】キーを押します。

「変更を有効にするにはコンピュータを再起動してください」と表示されます。

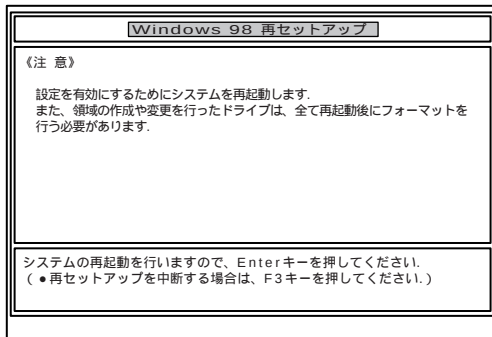
FDISKオプションの画面に戻ります。

9 【Esc】キーを押します。

「変更を有効にするには、コンピュータを再起動してください。」と表示されます。

10 【Esc】キーを押します。

「設定を有効にするためにシステムを再起動します。」と表示されます。



11 【Enter】キーを押します。

パソコンが自動的に再起動します。

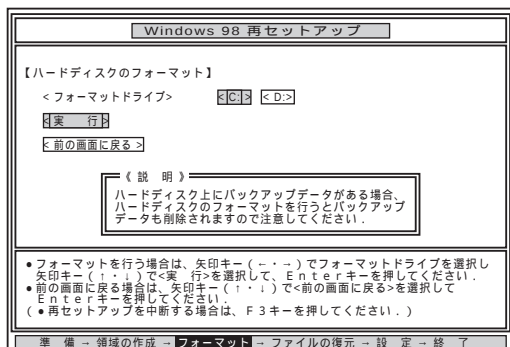
「Windows 98 再セットアップ」の画面が表示されます。

これで領域は作成されました。次の「7. ドライブを初期化(フォーマット)する」に進んでください。

7. ドライブを初期化(フォーマット)する

新しく作成した領域は、フォーマットする必要があります。

- 1 【↓】キーを1回押して「ハードディスクのフォーマット」が黄色になったら、【Enter】キーを押します。
(【↓】キーを押すときは、【↑】キーを押して戻してください)



- 2 「C:」が黄色になっているので、【Enter】キーを押します(【→】キーを押すときは、【←】キーを押して戻してください)
「注意: ドライブC:のハードディスクのデータはすべてなくなります。フォーマットしますか(Y/N)?」と表示されます。
- 3 【Y】キーを押して、【Enter】キーを押します。
フォーマットが始まります。ドライブのサイズにもよりますが、5分ほどかかります。
フォーマットが終わると、「ボリュームラベルを入力してください。」と表示されます。
- 4 ボリュームラベル(ドライブの名前)が必要なときは、ボリュームラベルを入力して【Enter】キーを押します。必要がなければ、【Enter】キーだけを押します。
ボリュームラベルは、半角英数字で11文字まで入力できます。
「Windows 98 再セットアップ」の画面に戻ります。

新しく領域を作成したドライブはすべて、手順1～4をくりかえして、フォーマットしてください(手順2のドライブ名は、【→】キーを押して選んでください)。

ハードディスクドライブを5つ以上に分割(Gドライブ以上作成)すると、これ以降のドライブ(G, H, I...)は手順1の画面に表示されず、ここでフォーマットすることはできません。

G以降のドライブについては、「11. フォーマットできなかったハードディスクドライブをフォーマットする」(p.226)でフォーマットします。

次の「8. システムを再セットアップする」に進んでください。

メモ

ボリュームラベルは、ドライブの名前です。「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」で表示されます。あとで「マイコンピュータ」でドライブのアイコンを右クリックして「プロパティ」を選ぶと全般シートで入力、変更することができます。

チェック!!

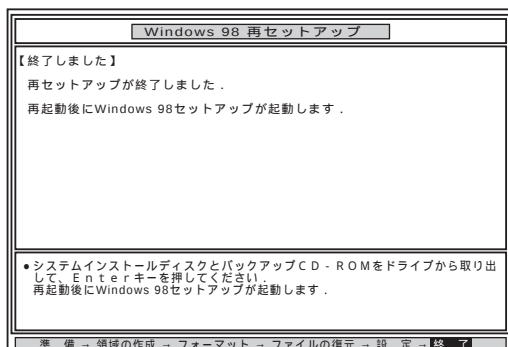
「システムインストールディスク(起動用)」はフロッピーディスクドライブから取り出さないでください。

8. システムを再セットアップする

- 1 「バックアップCD-ROM」をCD-ROMドライブにセットします。
- 2 「Windows 98 再セットアップ」の画面で【↓】キーを2回押して「ファイルの復元」が黄色になったら、【Enter】キーを押します(【↓】キーを押しすぎたときは、【↑】キーを押して戻してください)。
- 3 「ファイルの復元」の画面が表示されたら、「実行」が選ばれていることを確認して、【Enter】キーを押します。

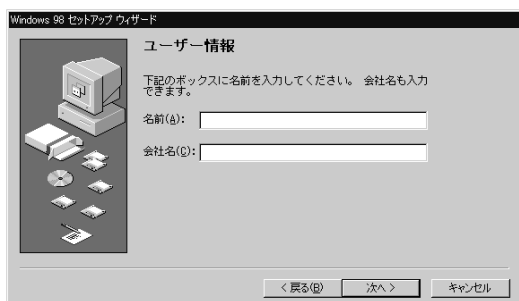
システムの再セットアップが始まります。機種、モデルによって異なりますが、約50分～1時間10分かかります。途中でフロッピーディスクやCD-ROMを入れ替えるメッセージが表示されたら、指示にしたがって入れ替えてください。

システムの再セットアップが終わると次の画面が表示されます。



- 4 フロッピーディスクドライブから「システムインストールディスク(起動用)」を取り出します。
- 5 CD-ROMドライブから「バックアップCD-ROM」を取り出します。
- 6 【Enter】キーを押します。

Windows 98が再起動し、しばらくすると「Windows 98セットアップウィザード」ウィンドウが表示されます。



✓チェック!!

「バックアップCD-ROMを復元します」と表示されたときは、バックアップCD-ROMがセットされていません。正しくセットして【Enter】キーを押してください。

📖参照

CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする方法、CD-ROMドライブから取り出す方法→『STEP2 入門』PART10の「CD-ROMの扱い方」

✓チェック!!

ハードディスクのフォーマットとシステムの再セットアップ中は、画面からの指示がない限り、CD-ROMや、フロッピーディスクを取り出したり、電源スイッチを押したりしないでください。

✓チェック!!

再セットアップ中に数回ビーというピープ音が鳴りますが、問題ないので無視してください。

9 .Windows 98 の設定をする

「購入したときと同じ状態にする」の「6.Windows 98 の設定をする」(p.198)をご覧ください、Windows 98 の設定をしてください。

10 .Excel、Word、Draw、Outlook を再セットアップする

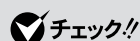
Word モデルの場合は「購入したときと同じ状態にする」の「7.Excel、Word、Draw、Outlook を再セットアップする」(p.200)をご覧ください、Excel、Word、Draw、Outlook を再セットアップしてください。

11 .フォーマットできなかったハードディスクドライブをフォーマットする

ハードディスクドライブを5つ以上に分割した場合(Gドライブ以上作成)は、Gドライブ以降のドライブ(「7.ドライブを初期化(フォーマット)する」でフォーマットできなかったドライブ)を次の手順によりフォーマットしてください。

C～Fドライブまでしか作成していない場合は、以下の手順は必要ありません。「12.別売の周辺機器を取り付けて設定し直す」に進んでください。

- 1 パソコン本体の電源を入れます。
Windows 98が起動します。
- 2 「マイコンピュータ」をダブルクリックします。
「マイコンピュータ」ウィンドウが表示されます。
- 3 フォーマットするハードディスクドライブ(G、H、I、…)のアイコンを右クリックし、表示されたメニューで「フォーマット」をクリックします。
「フォーマット」ウィンドウが表示されます。
- 4 「通常のフォーマット」をクリックします。
- 5 「開始」ボタンをクリックします。
フォーマットの確認画面が表示されます。
- 6 「OK」ボタンをクリックします。
しばらくするとフォーマットが終了し、フォーマットの結果が表示されます。
- 7 「閉じる」ボタンをクリックします。
スキャンディスクの実行を促す画面が表示されます。
- 8 「OK」ボタンをクリックします。
スキャンディスクのヘルプ(「クラスタ、ファイルおよびフォルダのエラーを検査するには」)が表示されます。



チェック!

C～Fのドライブはフォーマットしないでください。



スキャンディスクは、ハードディスクに壊れている部分がないか、問題なく使えるかをチェックするものです。破損している部分が見つかった場合には、自動的にその部分を使わないように設定します。



スキャンディスクの操作→「スキャンディスク」(p.13)『リファレンス』PART4の「スキャンディスク」

9 「フォーマット」ウィンドウの「閉じる」ボタンをクリックします。

10 ヘルプの内容にしたがってスキャンディスクを実行します。
フォーマットできなかったハードディスクドライブが他にもある場合は、手順3～10をくりかえしてフォーマットしてください。

12 .別売の周辺機器を取り付けて設定し直す

「3.別売の周辺機器を取りはずす」で取りはずした別売の周辺機器を取り付けて、それぞれのセットアップ、設定を行ってください。



周辺機器の設定→周辺機器のマニュアル、『拡張の手引き』

13 .購入後に行ったインターネットなどの設定をやり直す

パソコン購入後に行った設定は、再セットアップによってすべてなくなっているの、設定し直してください。

インターネットを使っているときは、『インターネット入門』の「PART7すでにプロバイダへ入会している方へ」をご覧ください。2.インターネットなどの設定を控える」で控えたメモの設定に戻してください。

BIGLOBEに加入している場合は、IDやアドレスはすでに取得しているものを使えます。サインアップをやり直す必要はありません。

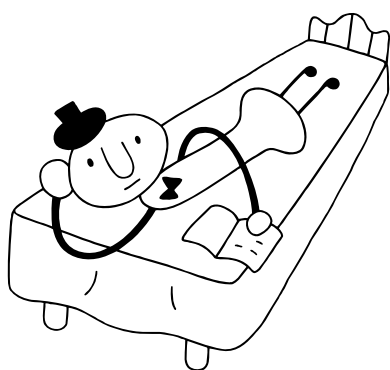


BIGLOBEの再設定→『インターネット入門』の「PART7すでにプロバイダに入会している方へ」

14 .別売のアプリケーションをインストールし直す

パソコン購入後にインストールしたアプリケーションも消去されているので、インストールし直してください。

索引



記号・数字

_(アンダースコア、アンダーバー)	87
(チルダ、ニョロ)	87
0発信	99
2000年問題	176
4線式	122
98Information	145, 153, 176
98配列キーボード	145

英字

ACPIモード	168
APMモード	168
ATOK12	89
BIOSセットアップメニュー	174
CD-R	141
CD-ROM	137, 141, 187
CyberTrio-NX	9, 38, 154
DVD-ROM	137
DISKCOPYコマンド	131
FAT16	214, 222
FAT32	214, 222
FAX	121
- モデム	98, 109, 118, 121
- の自動受信	121
FAX-NX	121
FDISK オプション	218, 219
HTML形式	112
Internet Explorer	98, 104
Invalid system disk	30
ISDNターミナルアダプタ	106, 107
Microsoft Windows 98 Startup Menu ..	30
MIME形式	115
MS-DOSプロンプト	54, 131
MS-DOSモード	141
MS-IME 98	86
NEC PC マニュアルセンター	177
Non-system disk or disk error	32
Operating System not found	31
Outlook Express	104, 108, 112, 115, 116
Quick Time for Windows	160
Readmeファイル	3
Safe mode	30
Safe モード	30, 179

Timer-NX	168
USB	84, 145
UUENCODE形式	115
VirusScan	173
Windows 3.1対応ソフト	161
Windows 98	29, 174
Windows 98起動ディスク	179
Windows 98ファーストステップガイド ..	177
Windows 98ファーストステップガイド：オン ライン版	176
Windows Update	148, 175
Windows NT 4.0	178
Windowsキー	48

あ行

アイコン	40
圧縮ツール	115
アドバンストモード	9, 38
アニメーション表示	47
アプリケーション	152
アンダースコア	87
アンダーバー	87
印刷	126
インストール	150, 157, 159, 161
インターネット	97
ウイルス	173
ウィンドウ	54
お手入れ	184
音飛び	139
音量	74
音量インジケータ	74

か行

改造	189
拡大鏡	66
拡張MS-DOS領域	214
拡張子	71, 95
カスタム再セットアップ	207, 210, 213
壁紙	63, 64
画面	44
- が表示されない	45
- を印刷する	176

キーボードのクリーニング	185
キーボードのショートカットキー	176
記号	88
基本MS-DOS領域	214
キャッチホンサービス	98, 109, 118
クリーニングディスク	184
グラデーション表示	47
高解像度	60
ごみ箱	132
コントロールパネル	8

さ行

再インストール	192
再セットアップ	161, 192
再変換機能	86
雑音	178
時刻	171
システム情報	146
システムツール	11
システムファイルチェッカー	18
自動起動	139, 155
自動受信機能	121
自動発着機能	120
周辺機器	144
使用許諾契約書	198
省電力機能	165
ショートカット	40
ショートカットアイコン	40
ショートカットキー	176
譲渡	188
消耗品	187
消耗部品	187
シリアルコネクタ	144, 151
スーパーバイザパスワード	33
スキャンディスク	13
スタートボタン	48
スタンバイ状態	165, 168
スピーカ	74
スリープボタン	45
スリープランプ	45
セットアップ	25
接続	24

た行

タイマー機能	168
ダイヤラ	104
タスク	19
タスクウィザード	19, 156
ダブルクリック	81
チャンネル1	144
チャンネル2	151
チルダ	87
データの送受信	111
ディスクコピー	131
ディスククリーンアップ	16, 132
ディスプレイ	44, 187
- に何も表示されない	27
- のクリーニング	185
- の種類	59
- の省電力機能	58
- の電源ランプ	27
デガウス	44
手書き文字入力	88
デバイスマネージャ	9
デフラグ	15
電子メール	108
電源	27, 32
- の切りかた	35
電源ケーブル	
- のクリーニング	185
添付品	24
添付ファイル	114
電話	103, 122
トーン	99, 110, 118
ドライバ	148, 150
ドライブ番号	140, 141
トラブルチェックシート	269

な行

日本語入力システム	88
ニョロ	87

は行

バーチャファイター2	160
ハードウェアの検出	25
ハードディスク	132

- の領域	214, 220
廃棄	178, 189
パスワード	33
パソコン	
- のクリーニング	185
パソコン探検箱	4, 176, 180
パソコン通信	117
パソコン本体	
- の電源ランプ	27
パソコン用語集	7, 181, 233
バックアップ	194
バックアップ機能	20
パラレルコネクタ	144
パルス	99, 110, 118
日付	171
標準再セットアップ	194
ファイル保存	94
ファイル名	
長い -	70, 96
フォーマット	130, 131, 223, 226
フォルダ	67
フリーズ	25, 152
プリンタケーブル	126, 127
プリンタインターフェイス変換アダプタ	127
プリンタドライバ	127
フロッピーディスク	94, 128, 187
- の修復	130
フロッピーディスクドライブ	
- のクリーニング	185
ベーシックモード	9, 38
補修用性能部品	187

ま行

マウス	79
- のクリーニング	185
マウスポインタ	49, 55
右クリック	82
メンテナンスウィザード	19
文字	
- がおかしい	111, 120
- コード表	87
- の入力	84
- の入力速度	90

- 化け	111, 126
モジュラーケーブル	97, 108, 117

や行

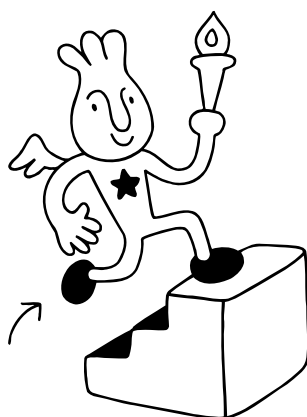
ユーザー情報	26
ユーザーパスワード	33
ユーザー補助	66
ユーザー補助ウィザード	66
郵便番号7桁辞書	90, 153

ら行

ライトプロテクト	94
ランチ-NX	50, 51, 157
領域作成	134, 220
論理MS-DOSドライブ	214

ビギナーのためのパソコン用語集

初心者がつまずきやすいパソコン用語を集めました。新しいことをおぼえるためには、やっぱり少しは新しい言葉が必要です。「専門用語が多くてわからない」とあきらめてしまう前に、ここを見てください。もちろん、ここにのっている言葉を全部おぼえる必要はありません。わからない言葉があったときに見てください。



凡例

1. ここではパソコン用語をアルファベット、五十音順に並べています。
2. 和文は清音、濁音、半濁音の順に並べています。
3. 本文の基本構成は「パソコン用語」「読み(ふりがな)」「英語表記」「解説」「関連する用語」「参照」でまとめられています。
4. ←→ は反対語を意味しています。
5. → は他のパソコン用語を参照してください。

A-Z

エーシーピーアイ
ACPI Advanced Configuration and Power Interface

ハードディスクやディスプレイなどの周辺機器の電源をWindows 98で管理する機能。

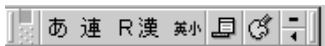
エージーピー
AGPスロット Accelerated Graphics Port slot

スロットとは拡張ボードをいれるための場所。AGPとはCPUとビデオチップを接続するために作られた新しいインターフェイス規格。ビデオなどのデータ処理性能を高速化できる。

エートック
ATOK

ジャストシステム社の日本語入力ソフト。一太郎に付属している。

ATOK12のツールバー



参照 → 『STEP2 入門』の「PART7 キーボードに慣れよう(一太郎編)」

関連する用語≫ 日本語入力システム、一太郎

ビーピーエス
bps bits per second

モデムなどのデータ転送速度を表す単位で、1秒間に転送できるビット数のこと。

参照 → 『インターネット入門』PART3の「アクセスポイントを選ぶ」

シーディーアール
CD-R CD-Recordable

一度だけ書き込めるCD-ROM。容量は最大650Mバイト。

シーディーロム
CD-ROM Compact Disc-Read Only Memory

パソコンで見るための情報が入っているディスク。見た目は音楽用のCDと同じ。

参照 → 『STEP2 入門』PART9の「ハードの話」、PART10の「CD-ROMの扱い方」、『困ったときのQ&A』PART1の「CD-ROM、DVD-ROM(DVD VIDEOディスク)を使っていたら...」

参照 → 『リファレンス』PART4の「CD-ROMなどの取り扱い」

関連する用語≫ CD-R、CD-RW、DVD-RAM、DVD-ROM

シーディーアールダブルユ
CD-RW CD-ReWritable

何回でも書き込めるCD-ROMのこと。

関連する用語≫ CD-R

コム
COMポート communication port

モデムやターミナルアダプタなどの周辺機器を取り付けるケーブルの差し込み口。COM1、COM2などに表示される。RS-232Cポート、シリアルポートともいう。

シーピーユー
CPU Central Processing Unit

パソコン本体の中に入っている部品のひとつで、パソコンの頭脳ともいえる重要な部分。パソコンの処理の速さはCPUに左右される。

関連する用語≫ Pentium

ディーバイディーラム
DVD-RAM Digital Versatile Disc-Random Access Memory

片面(一層記憶)で2.6Gバイトのデジタルデータを書き換え可能なディスク。近い将来、普及が期待されている。

ディーバイディーロム
DVD-ROM Digital Versatile Disc-Read Only Memory

CD-ROMと似た形だが、記憶容量は片面(一層記憶)に4.7GバイトとCD-ROMよりはるかに大きいので、画像、音声データなどを入れて販売、配布されることが多い。「ROM」は、読み出し専用で書き込みはできないという意味。

ディーブイディービデオ
DVD VIDEO ディスク Digital Versatile Disc Video Disc

DVD-ROMに画像、音声データなどを収録したもの。片面4.7Gバイトの場合、133分の高品位な映像や音声を再生できる。

イー
Eメール Electronic mail → 電子メール

ファット
FAT File Allocation Table

ハードディスクのシステムファイルをクラスタと呼ばれる単位で管理、格納するしくみ。FAT16は32KBごとに管理されるが、FAT32は4KBごとに管理されるため、ハードディスクを効率的に使うことができる。

関連する用語≫ ドライブコンバータ(FAT32)

エフディスク
FDISK

ハードディスクの領域(パーティション)を設定するためのMS-DOSのコマンド。

エフティービー
FTP File Transfer Protocol

インターネット上で、容量の大きいファイルを転送するときのきまりごと。インターネットに公開されている「FTPサーバー」というところから、プログラムをダウンロードまたはアップロードすることができる。

ギガ
Gバイト Giga Byte

データの量を表す単位。Mバイトの千倍。ハードディスクの容量を示すときなどに使われる。GBと書くこともある。

 参考 → 『STEP3 活用』PART4の「ファイルの大きさを見る」

関連する用語≫ バイト、Kバイト、Mバイト

ジーユーアイ
GUI Graphical User Interface

Windows 98のデスクトップのようにアイコンやメニューなどを選択して、作業を視覚的に、簡単にできるようにした環境のこと。

エイチティーエムエル
HTML Hyper Text Markup Language

ホームページを作るための言語ファイル。きまりごと。拡張子は、.htmまたは.html。

アイトリプルイー
IEEE1394 Institute of Electrical and Electronics Engineers

パソコンと周辺機器を結ぶインターフェイス規格。パソコンの電源を入れたままで接続できるホット・プラグ・インをサポートするなど、新時代のインターフェイスとして期待されている。

アイオー
I/O Input/Output

データの入力と出力のこと。データのやりとり。入出力。

関連する用語≫ 入力、出力

アイアールディーエー
IrDA Infrared Data Association

パソコンと周辺機器やパソコン同士を赤外線(無線)でデータのやり取りをする通信の規格のこと。現在、この規格の赤外線通信ポートはノートパソコンを中心に広く普及している。最大データ転送速度がケーブルによる接続(RS-232C)より高速、見える範囲にしか赤外線が届かないためセキュリティの面で安心などのメリットがある。

関連する用語≫ 赤外線通信、ポート

アイエスディーエヌ
ISDN Integrated Services Digital Network

電話やファクシミリ、データ通信などの情報通信を統合し、1つの通信網で接続できるようにしたもの。従来の回線からISDNにするときは、NTTに回線の工事をしてもらう必要がある。

 参考 → 『拡張の手引き』PART4の「ターミナルアダプタについて」

キロ
Kバイト Kilo Byte

データの量を表す単位。バイトの千倍。KBと書くこともある。

 参考 → 『STEP3 活用』PART4の「ファイルの大きさを見る」

関連する用語≫ バイト、Mバイト、Gバイト

ラン
LAN Local Area Network

同じ建物にある複数のコンピュータや周辺機器などを接続する、比較的狭いネットワークのこと。

メガ
Mバイト Mega Byte

データの量を表す単位。Kバイトの千倍。「バイト」の100万倍。MBと書くこともある。1.44MBはフロッピーディスク1枚分。

📖 参照 → 『STEP3 活用』PART4の「ファイルの大きさを見る」

関連する用語 >>> バイト、Kバイト、Gバイト

ミディ
MIDI Musical Instruments Digital Interface

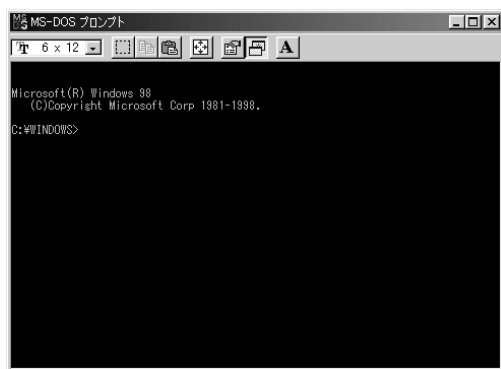
パソコンや電子楽器で音楽の情報をやりとりするための規格。通信カラオケなどで使われている。

エムオー
MO Magneto-Optical

光磁気ディスク。レーザー光と磁気を使って読み込み、書き込みができるディスク。容量は128Mバイト、230Mバイト、640Mバイトのものがある。

エムエスDOS
MS-DOSプロンプト Microsoft Disk Operating System prompt

MS-DOSのコマンドを受け付けられる状態を表す「C:>」という記号。「スタート」ボタンをクリックし、「プログラム」の「MS-DOSプロンプト」をクリックすると表示される。画面の左端にあり、カーソルが点滅している。



MS-DOSプロンプトのウィンドウ

📖 参照 → 『リファレンス』付録の「Windows 98でMS-DOSモードを利用する」

エムエス アイエムイー
MS-IME Microsoft Input Method Editor

マイクロソフト社の日本語入力ソフト。Windows 98についているMS-IME 98は98年版。

MS-IME98のツールバー



📖 参照 → 『STEP2 入門』の「PART5 キーボードに慣れよう(Word編)」

関連する用語 >>> 日本語入力システム、Word

オンナウ
OnNow

OSが中心となっていく電源の管理機能。スタンバイ状態からのスピーディな起動を実現し、消費電力を節約できる。

オーエス
OS Operating System

パソコンを動かすためになくてはならない土台となるソフト。基本ソフトともいう。

📖 参照 → 『STEP2 入門』PART9の「ソフトの話」

関連する用語 >>> Windows

ピーシーアイ
PCIスロット Peripheral Component Interconnect slot

スロットとは拡張ボードを入れるための場所。PCIスロットはPCIバスという規格の拡張ボードを入れる場所。

📖 参照 → 『リファレンス』付録の「本体の各部の名称」

ピーシー
PCカード Personal Computer Card

おもに、ノート型パソコンに機能を追加するためのカード状の周辺機器。

ペンティアム
Pentium

米Intel社が開発したCPU。MMX PentiumやPentium IIなどがある。

関連する用語 >>> CPU

ピーエヌピー
PnP Plug & Play

→ プラグ & プレイ

ラム
RAM Random Access Memory

→ メモリ

リードミー
Readmeファイル Readme File

「私を読んで」という名前が示すとおり、あなたに読んでほしい、ソフトウェアの注意書きなどが書かれたファイル。

関連する用語 >>> ファイル

セーフ
Safeモード safe mode

パソコンの調子が悪いときに、最低限の機能だけで立ち上げるモード。

 参照 → 『困ったときのQ&A』PART1の「その他」

スカジー
SCSI Small Computer System Interface

ハードディスクやCD-ROMドライブ、MOドライブ、スキャナなどを数珠つなぎに接続する規格。

ティンシービーアイピー
TCP/IP Transmission Control Protocol/Internet Protocol

データをやりとりするための約束事。インターネットやネットワークではこの約束にしたがってデータがやりとりされる。

関連する用語 >>> インターネット

トウェイ
TWAIN Technology Without Any Interested Name

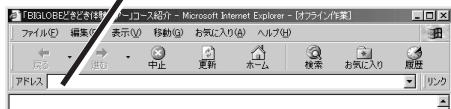
スキャナやデジカメで画像をパソコンに取り込むための規格。TWAIN対応機器から画像を取り込めるグラフィックソフトも多い。

 参照 → 『拡張の手引き』の「PART2 USB対応機器を使う」

ユーアールエル
URL Uniform Resource Locator

インターネットのホームページのありかを示す。「http://www.」ではじまることが多い。「.jp」で終わるのは日本のサーバにあるホームページ。

Internet Explorerでは、ここにURLを指定する



 参照 → 『インターネット入門』PART2の「もう少しインターネットしてみよう」

関連する用語 >>> ホームページ、インターネット

ユーエスビー
USB Universal Serial Bus

パソコンと周辺機器をつなぐインターフェースのひとつ。USB対応のキーボード、プリンタ、ジョイスティックなどを接続できる。

 参照 → 『拡張の手引き』の「PART2 USB対応機器を使う」

ウィンドウズ
Windows

マイクロソフト社が開発したOS。このパソコンに入っているWindows 98は、Windowsの98年版。

関連する用語 >>> OS

ウィンドウズ アップデート
Windows Update

インターネットを利用して簡単にWindows 98を更新する機能。Windows 98で追加された新機能。

ワード
Word

代表的なワープロソフトのひとつ。マイクロソフト社の製品。

 参照 → 『STEP2 入門』の「PART5 キーボードに慣れよう(Word編)」

関連する用語 >>> MS-IME、ワープロソフト

ワールドワイドウェブ
WWW World Wide Web

クモの巣のように張りめぐらされてできた、インターネットの別名。Webともいう。

ジップ
ZIP

アメリカを中心に普及している、ファイル圧縮形式のこと。最後に付く拡張子は、.zip。

リムーバブルディスクの一種。専用の容量100MBのZIPディスクを使う。

あ - お

アイコン icon

ファイルやソフトのことを表す小さい絵、マーク。パソコンの画面に表示される。



マイコンピュータ
のアイコン



ごみ箱のアイコン

☞ 参照 → 『STEP3 活用』PART1の「デスクトップってなに？」

アウトプット output

→ 出力

↔ インプット

アクセサリ accessory

パソコンを買ったときにおまけについてくるソフト。お絵描きができるペイントや、電卓、ゲームなど。

アクセス access

データを記憶している記憶媒体からデータを読み書きすること。インターネットに接続する場合も「アクセスする」という。

アクティブ active

作業中、選択中のこと。この状況のときは、アイコンやタイトルバーの色が変わる。

アップデート update

OSやアプリケーションを最新のデータに更新すること。

圧縮エージェント compression agent

ドライブスペース3で圧縮されたファイルを再圧縮するシステムツール。

☞ 関連する用語 ☞ システムツール、ドライブスペース3

アップロード upload

インターネットやパソコン通信などの通信手段を使って、相手にデータを送ること。

↔ ダウンロード

アプリケーション application

ワープロや表計算などのように決まった目的のために使われるソフト。アプリケーションソフト。

☞ 参照 → 『STEP2 入門』PART9の「ソフトの話」、『困ったときのQ&A』PART1の「アプリケーションを使っていたら...」

アンインストール uninstall

いったんパソコンに入れたソフトウェアやプログラムを削除すること。インストールと逆の作業。

↔ インストール

イジェクトボタン eject button

フロッピーディスクなどをドライブから取り出すためのボタン。

☞ 参照 → 『リファレンス』付録の「本体の各部の名称」

一太郎

代表的なワープロソフトのひとつ。ジャストシステム社の製品。

☞ 参照 → 『STEP2 入門』の「PART7 キーボードに慣れよう(一太郎編)」

☞ 関連する用語 ☞ ATOK、ワープロソフト

イメージスキャナ image scanner

→ スキャナ

印刷 print

パソコンからプリンタを使って紙に出力すること。プリント。

☞ 参照 → 『STEP2 入門』PART6、PART8の「文書を印刷する」、『拡張の手引き』の「PART1 プリンタを使う」

☞ 関連する用語 ☞ プリンタ

インストール install

パソコン用のプログラムを本体に入れて、使えるようにする作業のこと。「セットアップ」もほぼ同じ意味の言葉。

関連する用語>>> セットアップ
← アンインストール

インターフェイス interface

ソフトウェアやハードウェアの接続方式や、パソコンとユーザーとの画面上の対話形式。

インターネット Internet

世界的な通信網。自分のパソコンを、モデムと電話回線を使ってインターネットにつなぐと、ホームページをみたり、電子メールを送ったりできる。

参照 → 『インターネット入門』の「PART1 今日からあなたもインターネット」

関連する用語>>> WWW

インプット input → 入力

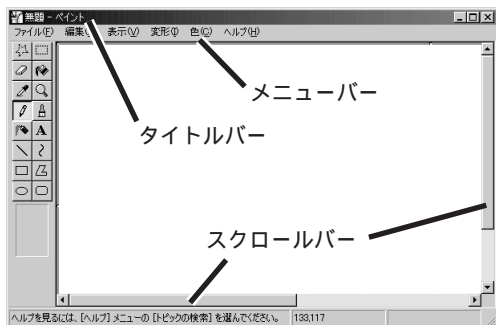
← アウトプット

ウィザード wizard

画面の指示に従って順番にインストールなどの作業を進めていくしくみ。順番にやっていると確実に作業を完了できるので安心。

ウィンドウ window

ディスプレイ上に表示される複数の窓。窓にたとえてウィンドウと呼ばれる。ディスプレイにいくつも広げることによって同時に作業ができる。



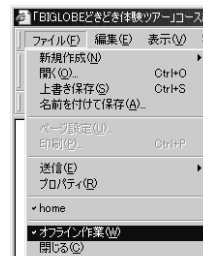
ペイントのウィンドウ

参照 → 『STEP2 入門』PART4の「ペイントを始める」

オプション option → 周辺機器

オフラインモード offline mode

インターネットエクスプローラなどの、「ファイル」メニューの「オフライン状態」にチェックがついた状態。まちがって、インターネットに接続しないと得られない情報を選んで、接続するかどうかを確認するダイアログボックスが表示されるので安心。



「ファイル」メニューの「オフライン状態」にチェックがついた状態をオフラインモードという

関連する用語>>> インターネット

オンラインサインアップ online sign-up

プロバイダやパソコン通信サービスに入会する方法のひとつ。仮のIDを使って電話回線からアクセスし入会手続きをする。

参照 → 『インターネット入門』PART3の「BIGLOBEの入会手続きを行う」

関連する用語>>> プロバイダ

か - こ

カーソル cursor

文字や図形を入力、表示する位置を示すもの。点滅する「I」印など。文字や図形を入力すると、ここから文字や図形が入っていく。

関連する用語>>> マウスポインタ

解像度 resolution

ディスプレイでは画面の縦と横にどれだけの光の点を表示できるかを示す。一般に解像度を上げると、画面上のものが細かく小さく表示される。

プリンタでは、1インチの幅にいくつの点を印刷できるかを示す。

📖 参照 → 『STEP3 活用』PART5の「画面の設定を変える」

拡張子 extension

そのファイルがどのアプリケーションで作られたかなど、ファイルの種類を表すもので、ファイル名の「.」以降の3文字のこと。「txt」 「jtd」 「doc」 「exe」など。購入時の状態では、画面に表示されない。

📖 参照 → 『困ったときのQ&A』PART1の「ファイル、フォルダがおかしい...」

関連する用語>>> ファイル

カスタマイズ customize

自分の好みに合わせて設定を変えること。

かな入力

キーボード上のかなを使って文字を入力すること。「は」「な」「ひ」「ふ」とキーを押すと「はなび」と入力される。ローマ字を使って入力する方法は「ローマ字入力」という。

📖 参照 → 『STEP2 入門』PART5、PART7の「文字の入れ方を決める」

関連する用語>>> ローマ字入力

壁紙 wallpaper

画面やフォルダの背景に表示される画像のことで、自由に変更することができる。

キーボード keyboard

キーが並んだ周辺機器。キーを押すと文字や数字が入力される。

📖 参照 → 『STEP2 入門』の「PART5 キーボードに慣れよう(Word編)」 「PART7 キーボードに慣れよう(一太郎編)」

基本ソフト

→ OS

起動する start up

パソコンやソフトウェアを使える状態にすること。パソコン本体を起動するには、電源スイッチを押す。ソフトウェアを起動するにはスタートメニューのプログラムなどを使う。「立ち上げる」ともいう。

📖 参照 → 『STEP2 入門』の「PART1、2 電源の入れ方と切り方を覚えよう」

切り取り(カット) cut

ファイルや文字、画像を切り取って、一時的に移動しておくこと。切り取ってなくなったデータは、後で貼り付けることができる。

関連する用語>>> 貼り付け(ペースト) \ コピー

クリック click



マウスのボタンを一度押してすぐに離すこと。普通は左のボタンを押す。

📖 参照 → 『STEP2 入門』の「PART3 マウスに慣れよう」

関連する用語>>> マウス、ダブルクリック、右クリック

ケーブル cable

パソコンなどのコンピュータとその他の周辺機器をつなげるためのコード。用途によっていろいろある。

📖 参照 → 『STEP1 接続と準備』の「PART2 パソコンを接続する」

検索 retrieve, search

特定のデータを探すこと。短い単語をキーワードとして入力したり、そのデータの日時を入力したりして検索する。

📖 参照 → 『STEP3 活用』PART3の「ファイルを探す」

コネクタ connector

ケーブルの差し込み口。形はいろいろある。

☞ 参照 → 『STEP1 接続と準備』の「PART2 パソコンを接続する」

関連する用語≫≫ ケーブル

コピー copy

もう一つ同じものを作ること。元を消して、別のところと同じものを作る場合は「移動」という。

☞ 参照 → 『STEP3 活用』PART3の「ファイルをコピーする」

関連する用語≫≫ 貼り付け(ペースト)、切り取り(カット)

コマンド command

コンピュータに司令を出すためのキーワードのこと。

ごみ箱 trash box

不要なファイルやアプリケーションを捨てる場所。デスクトップの左側にある。ここに捨てても、「ごみ箱を空にする」を選ぶか、ごみ箱の容量を超えないかぎりいつでも元に戻せる。



ごみ箱

ごみ箱のアイコン

☞ 参照 → 『STEP3 活用』PART1の「デスクトップってなに？」、PART3の「いらないファイルはごみ箱へ」

コントロールパネル control panel

パソコンのシステム設定を行うためのプログラムを集めた場所。



コンピュータウイルス computer virus

プログラムに感染してパソコンに悪い症状をもたらすもの。種類によってその症状は様々だが、ハードディスクを破壊するような悪質なものもある。定期的な検査をすればほとんど防げる。

☞ 参照 → 『リファレンス』PART1の「ウイルスの検査と駆除 VirusScan」

さ-そ

サーバ server

ネットワークの中で多くのパソコンをとりまとめる核となるコンピュータのこと。プロバイダのコンピュータなどがこれにあたる。このサーバを連携させたネットワークがインターネット。

関連する用語≫≫ ネットワーク、インターネット

サイト site

サーバが設置された場所。おもにインターネット上のサーバに対して使う。Webサイトともいう。

サインアップ sign-up → オンラインサインアップ

サスペンド suspend

→ スタンバイ

システム system

組織的なひとまとまりの機構。パソコン本体や周辺機器、ソフトウェアなど、接続されているすべてをいうこともあるし、日本語入力システムなどのように、特定の目的のための機構をいうこともある。

システム管理ツール → システムツール

システム情報 Microsoft system information

システムのソフトウェア、ハードウェアの詳細な状況を簡単に確認できるシステムツール。Windows 98で追加された新機能。

関連する用語》》システムツール

システムツール system tools

ハードディスクやOSをトラブルから予防、修復するプログラム。

 参照 → 『困ったときのQ & A』PART1の「ハードディスクのトラブル予防」、『リファレンス』PART4の「ハードディスク」

システムファイル system file

システムを制御する重要なファイル。システムファイルが壊れるとパソコンの動作がおかしくなることがある。

システムファイルチェッカー

System File Checker Utility

OSのシステムファイルが不安定になったときに検査、修復をするシステムツール。Windows 98で追加された新機能。

関連する用語》》システムツール

 参照 → 『リファレンス』PART4の「ハードディスク」

実行 execute

アプリケーションなどのプログラム(ソフト)を起動したり、そのプログラムが持っている機能(コマンド)を働かせたりすること。実行するファイルは.exeの拡張子がつく。

シャットダウン shutdown

システムを終了させること。

周辺機器 peripheral

パソコン本体に接続して使う、パソコン本体以外の機械のこと。ディスプレイ、プリンタ、スキャナ、ジョイスティックなどがある。デバイスともいう。

 参照 → 『拡張の手引き』巻頭の「このパソコンで使える周辺機器」

出力 output

パソコンなどの機械がデータを外に出すこと。アウトプット。パソコンはデータをプリンタに出力し、プリンタは紙に印刷して出力する。

 参照 → 『STEP2 入門』PART6、PART8の「文書を印刷する」

関連する用語》》印刷

← 入力

書体 font → フォント

ショートカットアイコン short-cut icon

よく使うアプリケーションなどをすぐを開けるように、デスクトップに置いておくアイコン。

 参照 → 『STEP3 活用』PART3の「ショートカットを作ろう」

関連する用語》》アイコン

ジョイスティック joy stick → ブレイスティック

常駐プログラム(ソフト)

terminate and stay resident

常にパソコンの動きを監視しているプログラムソフト。ウイルスソフトはその代表格。

シリアルポート serial port

ターミナルアダプタやモデムなどの周辺機器を接続するための接続口(コネクタ)。

関連する用語》》パラレルポート

スキャナ scanner

紙に書いた字や絵、写真などをパソコンに読みとる装置。イメージスキャナ。

スキャンディスク scan disk

ハードディスクにトラブルがあったときに損傷や情報の検査、修復を行うシステムツール。

 参照 → 『リファレンス』PART4の「ハードディスク」

関連する用語 >>> システムツール

スクリーンセーバー screen saver

パソコンをつけたまま放っておいても、表示したままの画像がディスプレイに焼き付かないように、時間がたつと自動的に画面に動く模様を映す機能。

スクロール scroll

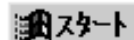
一度に全体を表示できないような大きな文書や絵をウィンドウに表示しているとき、その文書や絵を上下左右に動かして、見えるようにすること。マウスのスクロールボタンを使うと便利。

 参照 → 『STEP2 入門』の「PART3 マウスに慣れよう」

関連する用語 >>> ウィンドウ

「スタート」ボタン start button

画面の左下にあるボタンで、ここをクリックすると基本的な操作のメニューが表示される。

 スタートボタン

スタンバイ stand-by

パソコンを使わないときに、作業中の状態のまま、ディスプレイを消すなどして消費電力を節約すること。

赤外線通信 infrared rays communication

パソコンと周辺装置やパソコン同士をコードを使わないで、赤外線(無線)でデータのやりとりをすること。

関連する用語 >>> IrDA

セットアップ setup

ソフトウェアを使うために最初に1回だけ必要な手続き。名前や製造番号を入れたりする。

セル cell

表計算で縦と横に設定された最小単位のマス目のこと。ここに、文字や数値を入力する。

全角文字

縦横比が同じ文字。半角文字に対していう。1文字分のデータ量は2バイト。

Welcome to the NEC GI

関連する用語 >>> 半角文字

増設RAM Expanded RAM

拡張するために増設するメモリ。増設用のスロットに装着することで、より多くのメモリを使って処理できるようになる。

ソフトウェア software

パソコンなどの有形な装置をハードウェアというが、それに対して無形の情報のことをいう。アプリケーションやOS、ユーティリティ、プログラムなど。略して「ソフト」ともいう。

た - と

ターミネータ terminator

SCSI機器を数珠つなぎにつなげたときにいちばん端に取り付けなければいけない装置。SCSI機器がターミネータを内蔵しているときは必要ない。

関連する用語 >>> SCSI

ダイアログボックス dialog box

特定の情報を表示したり、入力を促したりするウィンドウ。パソコンからあなたへの、回答欄つきの問いかけである。

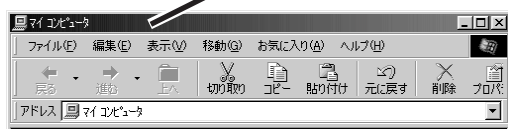


「検索」のダイアログボックス

タイトルバー title bar

ウィンドウ上部のアプリケーション名やファイル名を表示する部分。

タイトルバー



関連する用語>>> ウィンドウ

ダイヤルアップ接続 dial up connection

電話回線を使ってインターネットに接続すること。ダイヤルアップIP接続ともいう。

参照 → 『インターネット入門』の「PART2 インターネットを今すぐ体験」

関連する用語>>> インターネット

ダウンロード download

インターネットやパソコン通信などから、ファイルや画像などをパソコンに保存すること。

← アップロード

タスク task

プログラムやアプリケーションの実行スケジュールを管理、変更するシステムツール。タスクウィザードで設定できる。Windows 98で追加された新機能。

関連する用語>>> システムツール、メンテナンスウィザード

タスクバー task bar

デスクトップ最下部の帯。スタートボタンなどがある。



参照 → 『STEP3 活用』PART1の「デスクトップってなに？」

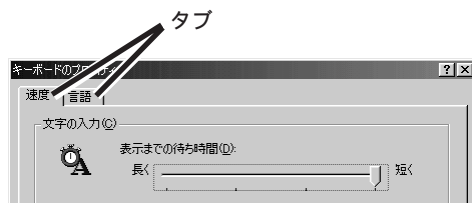
関連する用語>>> デスクトップ

立ち上げる start up

→ 起動する

タブ tab

カーソルを一度に一定の位置まで移動させる機能。文書の行の頭を揃えたりするときに使う。ウィンドウの中に何枚かのシートが重なっているときに、その上部にとびだしているタイトル部分。



ダブルクリック double click



マウスの左ボタンを素早く2回続けて押すこと。アプリケーションやファイルを開くときに使う。

参照 → 『STEP2 入門』の「PART3 マウスに慣れよう」

関連する用語>>> クリック、右クリック

タワー型パソコン

縦長に置くパソコンのこと。デスクトップ型パソコンと区別してこういう。

関連する用語>>> デスクトップ型パソコン、ミニタワー型パソコン

ディスククリーンアップ disk cleanup

ハードディスクの不要なファイルを自動的にまとめて削除するシステムツール。Windows 98で追加された新機能。

関連する用語 システムツール

参照 → 『リファレンス』PART4の「ハードディスク」

ディスプレイ display

画面を表示する機械。テレビと似ているが、テレビとは異なる。ブラウン管を使ったCRTディスプレイや液晶を使った液晶ディスプレイなどがある。モニターともいう。

ディレクトリ directory → フォルダ

データ data

特定の意味を持つさまざまな情報のこと。

参照 → 『STEP2 入門』PART9の「ソフトの話」

テキスト形式 text format

ファイルの保存形式のひとつ。この形式で保存すれば、その文書を作ったワープロソフト以外のワープロソフトや表計算ソフトで編集することができる。ただし、文字だけからなる情報なので、文字飾りや絵、写真などは保存されない。テキスト形式のファイルをテキストファイルという。

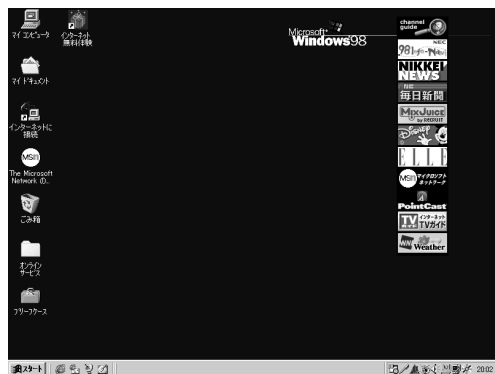
関連する用語 バイナリファイル

デジタルビデオカメラ digital video camera

デジタル方式で動画、音声を記録するビデオカメラ。

デスクトップ desktop

パソコンの画面。机に見立ててこう呼ばれる。この机の上にいるんな文書をひろげて仕事をする。



デスクトップ

参照 → 『STEP3 活用』PART1の「デスクトップってなに？」付録の「アクティブ デスクトップの設定を変える」

デスクトップ型パソコン

机の上に据え置きにして使う横長の形のパソコンのこと。タワー型、ノート型と区別してこういう。

関連する用語 ミニタワー型パソコン

デスクトップ テーマ Desktop Theme

壁紙やアイコン、マウスポインタ、色などのデザインの組み合わせのこと。または、この組み合わせを自由に変更できる機能。

デバイス device → 周辺機器

デフォルト default

パソコンやソフトなどを購入した時点での、そのままの設定のこと。または、インストール直後に何も設定変更していない状態の設定値。初期設定ともいう。
← カスタマイズ

デフラグ disk defragmenter

ハードディスクのデータの配置を整理するシステムツール。これにより処理速度が高速になる。

関連する用語 システムツール

参照 → 『リファレンス』PART4の「ハードディスク」

電子メール electronic mail

インターネットやパソコン通信を使った手紙。Eメールまたは、単にメールともいう。

📖 参照 → 『インターネット入門』の「PART5 電子メールしてみませんか」

関連する用語>>> Eメール

ドライバ driver

周辺機器を使うために必要なソフトウェア。プリンタを使うためのドライバはプリンタドライバ。

📖 参照 → 『拡張の手引き』PART5の「ドライバについて」(コンパクトタイプ、モニタータイプの場合)、PART8の「ドライバについて」(ボックスレスタイプの場合)

関連する用語>>> 周辺機器

ドライブ drive

フロッピーディスクやCD-ROMを入れて読み書きする装置。ハードディスクドライブにはハードディスクが入っている。

📖 参照 → 『STEP3 活用』PART1の「パソコンの中はどうなっているの?」

関連する用語>>> ハードディスク、フロッピーディスク、CD-ROM、CD-R、DVD-ROM

ドライブコンバータ(FAT32)

FAT32 Converter

ハードディスクをFAT16からFAT32に変換するシステムツール。これによりハードディスクを効率的に使うことができる。

関連する用語>>> システムツール、FAT

📖 参照 → 『リファレンス』PART4の「ハードディスク」

ドライブスペース3 DriveSpace 3

ハードディスク上のファイルを圧縮して空き容量を増やすシステムツール。

関連する用語>>> システムツール、圧縮エージェント

ドラッグ、ドラッグ&ドロップ drag & drop

マウスの左ボタンを押したまま、マウスを動かし、どこかで離すこと。ファイルやアイコンを移動するときなどに使う。

📖 参照 → 『STEP2 入門』の「PART3 マウスに慣れよう」

関連する用語>>> マウス

な - の

日本語入力システム

キーボードで入力したローマ字やかなを漢字に変換する機能。

📖 参照 → 『STEP2 入門』の「PART5 キーボードに慣れよう」(Word編)、PART7 キーボードに慣れよう」(一太郎編)」

関連する用語>>> MS-IME、ATOK

入力 input

情報をパソコンなど機械に入れること。キーボードからは文字を入力できる。スキャナからは、画像の情報を入力できる。

関連する用語>>> キーボード、スキャナ

← 出力

ネットワーク network

いくつかのパソコンなどを通信ケーブルや電話回線などで結び、データのやりとりを行えるようにした通信網のこと。建物の中など、限られたエリアのネットワークはLANという。

関連する用語>>> インターネット、サーバ

ノート型パソコン notebook computer

小さくて折りたためるタイプのパソコン。軽いので持ち運びに便利。

関連する用語>>> デスクトップ型パソコン

は - ほ

バージョン version

ソフトウェアの改訂を表す数字。Ver.5なら「改訂第5版」のこと。同じアプリケーションで作ったデータでも、バージョンが違っていると読み込めなかったりするので要注意。

パーティション partition

ハードディスクの領域のこと。例えば「ハードディスクを2つのパーティションに分割する」などという。

ハードウェア hardware

パソコン本体やその他の周辺機器などのこと。無形のソフトウェアに対して、有形のものをこう呼ぶ。略して、「ハード」ともいう。

☞ 参照 → 『STEP2 入門』PART9の「ハードとソフト?」、「ハードの話」

関連する用語>>> ソフトウェア

ハードディスク hard disk

文書や画像などを保管しておくための記憶装置。このパソコンにも内蔵されている。記憶できる容量はいろいろ。増設することもできる。

☞ 参照 → 『リファレンス』PART4の「ハードディスク」

バイト byte

パソコンがデータを処理するための容量の単位。1KB(キロバイト)は1024バイト。

関連する用語>>> Kバイト、Mバイト、Gバイト

バイナリファイル binary file

テキストファイル以外のファイルの形式全般を指す。アプリケーション独自の形式のファイルやOSなどのプログラム、画像ファイルなどがある。

関連する用語>>> テキスト形式

パスワード password

パソコン上のデータや利用環境を他人が使えないようにするための暗証番号。インターネットを利用するときなどに入力する。他人に教えてはいけない。

パソコン通信 personal computer communication

電話回線を通じて別のコンピュータに接続し、文字を中心とした情報やデータのやりとりをすること。

☞ 参照 → 『リファレンス』PART2の「さまざまな通信サービス」

バックアップ backup

ファイルの損失に備えてハードディスクやフロッピーディスクの中のファイルを複製して、データの予備を作っておくこと。

バックアップ機能 Microsoft Backup

Windows 98にあるバックアップツール。バックアップの設定やバックアップしたファイルの復元を行う。

パラレルポート parallel port

入出力ポートのひとつ。シリアルポートよりも速くデータを転送できるが、長距離には向いていない。

関連する用語>>> ポート

貼り付け(ペースト) paste

コピーしたり切り取ったファイルやデータを貼り付けること。

関連する用語>>> 切り取り(カット)、コピー

半角文字

横幅が縦の半分しかない文字。英字や数字、記号、カタカナに半角文字がある。一般に1文字分のデータの容量は1バイト。

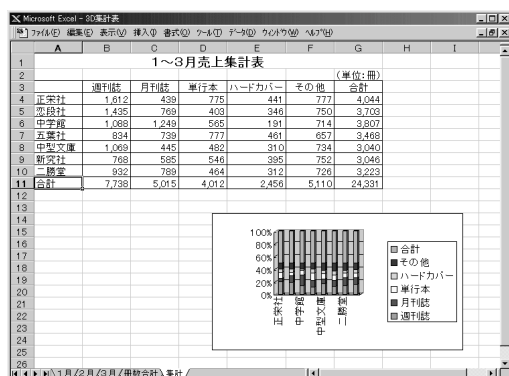
Welcome to the NEC Global Web

関連する用語>>> 全角文字

ハングアップ hung up → フリーズ

表計算ソフト spreadsheet software

表やグラフを作ったり、計算したりするアプリケーション。見積書・請求書の作成、報告書や企画書など幅広く使える。Excel、三四郎などがある。



Excelの画面

ファイル file

ディスクに記録されたひとまとまりのデータやプログラム。文書や画像など、すべてはファイルとして保存される。

関連する用語≫ フォルダ

ファミリーログオン family logon

1台のパソコンを複数の人が使うための設定方法。

ファンクション キー function key

キーボードの上に並び、F1からF12までの12個のキー。文字を変換するときに使うファンクションキーはおぼえておくと便利。

フォーマット format

ハードディスクやフロッピーディスクなどを記録できるような状態にすること。「初期化」ともいう。

参考 → 『STEP3 活用』の「PART4 フロッピーディスクを使う」、『拡張の手引き』PART7の「ハードディスクをフォーマットする」(コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合)、PART6の「ハードディスクをフォーマットする」(ボックスレスタイプの場合)

フォルダ folder

ファイルを入れておくもの。ファイルを整理するために使う。



いろいろなフォルダのアイコン

参考 → 『STEP3 活用』の「PART2 ファイルを整理する」

関連する用語≫ ファイル

フォント font

パソコンで使う書体。文字のデザイン。明朝体やゴシック体などがある。

ブラウザ browser

インターネットのホームページを見るために使うソフト。「Internet Explorer」や「Netscape Navigator」がある。



Internet Explorer

Internet Explorerのアイコン

関連する用語≫ ホームページ

プラグ&プレイ plug & play, PnP

パソコン本体に周辺機器をつなぐと、自動的にその周辺機器を認識して必要な設定をはじめる機構。接続(プラグ)したら、すぐに使用(プレイ)できることから、こう呼ばれている。逆に、手動で設定することや、プラグ&プレイに対応していないことを「非プラグ&プレイ」という。

参考 → 『拡張の手引き』の「PART2 USB対応機器を使う」、『拡張の手引き』PART5の「ドライバについて」(コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合)、PART8の「ドライバについて」(ボックスレスタイプの場合)

フリーズ freeze

パソコンが突然操作できなくなること。マウスやキーボードを操作しても反応しない状態。ハングアップともいう。

参考 → 『困ったときのQ&A』PART1の「トラブルを解決するには」 「アプリケーションを使っていたら…」

フリーソフト free software

開発者が無償で配布するソフトウェア。フリーウェアともいう。インターネットやパソコン通信を通じて公開されることが多い。同じくインターネット、パソコン通信で流通する有償ソフトウェアはシェアウェアという。

ブリーフケース brief case

2台以上のパソコンの間でデータをやり取りするときに、いつもデータを最新状態に保っておいてくれる特別なフォルダ。



ブリーフケース

ブリーフケースのアイコン

関連する用語 >>> フォルダ

プリンタ printer

印刷するための機械。印刷のしかたによってインクジェットプリンタ、レーザープリンタなどがある。

参考 → 『拡張の手引き』の「PART1 プリンタを使う」

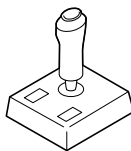
プリンタドライバ printer driver

プリンタで印刷するとき、プリンタを制御するソフトウェア。

参考 → 『拡張の手引き』の「PART1 プリンタを使う」 『困ったときのQ&A』PART1の「印刷しようとしたら…」

関連する用語 >>> ドライバ、プリンタ

プレイスティック play stick



ゲームなどで遊ぶときに使う周辺機器。ジョイスティック。

プログラム program

コンピュータを動かすための命令の集まり。パソコンの中にファイルとして保存されていて、メモリに読み込まれて機能する。ソフトウェアとほぼ同じ意味。

関連する用語 >>> ソフトウェア

フロッピーディスク floppy disk, FD

記憶媒体でファイルをバックアップしたり持ち運んだりするときに使う。容量は約1.4 Mバイト。CD-ROMと異なり書き込みができる。FDともいう。



3.5 インチ FD (A)

フロッピーディスクドライブのアイコン

参考 → 『STEP3 活用』の「PART4 フロッピーディスクを使う」 『リファレンス』PART4の「フロッピーディスク」

プロバイダ provider

個人のパソコンをインターネットに接続するサービスをしている会社。インターネットを利用するためにはこのプロバイダと契約しなければならない。BIGLOBEなどがある。

関連する用語 >>> インターネット、サーバ

プロパティ property

設定のこと。デスクトップでは、設定を調べたり変えたいものを右クリックして、プロパティを選べば、プロパティの画面が表示される。

参考 → 『STEP3 活用』PART5の「画面の設定を変える」

ヘルプ help function

ソフトウェアについて、操作方法や機能について説明してくれる機能。

📖 参照 → 『STEP3 活用』PART5の「ヘルプについて」

ポート port

パソコンと周辺機器を結ぶための接続口。

🔗 関連する用語 🔗 シリアルポート、パラレルポート

ホームページ Home Page

インターネット上で見ることができる情報の画面。ホームページを見るにはブラウザが必要。^{ウェブ}Webページともいう。

🔗 関連する用語 🔗 ブラウザ、WWW、インターネット

ポイント point

マウスポインタ(矢印)をアイコンやファイルなどに合わせること。

🔗 関連する用語 🔗 マウスポインタ

文字の大きさを表す単位。

🔗 関連する用語 🔗 フォント

ま - も

マイコンピュータ my computer

このパソコン、つまりあなたのパソコンのことを示すアイコン。デスクトップの左上のこのアイコンを開くと、このパソコンに内蔵されていたり、接続されているドライブのアイコンが並んでいる。



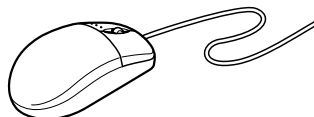
マイコンピュータ
のアイコン

📖 参照 → 『STEP3 活用』の「PART1 デスクトップを使ってみよう」

🔗 関連する用語 🔗 デスクトップ

マウス mouse

机の上で動かして、パソコンを操作する機械。形がネズミに似ていることからこう名付けられた。

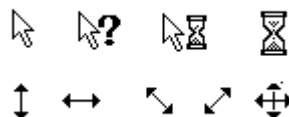


📖 参照 → 『STEP2 入門』の「PART3 マウスに慣れよう」

🔗 関連する用語 🔗 マウスポインタ、スクロール

マウスポインタ mouse pointer

画面上でマウスの動きに合わせて動く印。この印をアイコンやファイルに合わせてクリックしたりドラッグしたりして、パソコンに指示を出す。



マウスポインタのいろいろ

📖 参照 → 『STEP2 入門』の「PART3 マウスに慣れよう」

🔗 関連する用語 🔗 マウス、カーソル

マルチディスプレイ機能 multi-display function

1台のパソコンに最大8台のディスプレイを接続して、大画面表示ができる機能。ただし、ディスプレイ台数分のグラフィックボードが必要。

右クリック Right-click

マウスの右のボタンを押してすぐ離すこと。プロパティを見るときなどに使う。



📖 参照 → 『STEP2 入門』の「PART3 マウスに慣れよう」

🔗 関連する用語 🔗 クリック、プロパティ、ダブルクリック

ミニタワー型パソコン

縦長に置くパソコンがタワー型。その小型のものがミニタワー型。

関連する用語>>> タワー型パソコン

メニュー menu

アプリケーションソフトの機能を簡単に選べるように一覧表示したもの。

アプリケーションのウィンドウのタイトルバーの下にはメニューが並んだメニューバーがある。

関連する用語>>> ウィンドウ

メモ帳 memo

ちょっとしたメモをパソコン上に残しておくためのソフトウェア。メモ帳でつくられたファイルはテキストファイルとよばれる。拡張子は.TXT。

メモリ memory

CPUが、作業用に使う記憶装置。たくさんのアプリケーションを同時に使ったり、複雑な作業を行うときは、多くのメモリが必要となる。RAM。

参考 → 『拡張の手引き』の「PART6 メモリを増設する」コンパクトタイプ、ミニタワータイプの場合、「PART7 メモリを増設する」(ボックスレスタイプの場合)

メンテナンスウィザード Maintenance Wizard

システムを管理するツールやアプリケーションを指定した日時に実行できるように設定するウィザード。Windows 98で追加された新機能。

関連する用語>>> システムツール、ウィザード

参考 → 『リファレンス』PART4の「ハードディスク」

モデム modem

インターネットやパソコン通信をするときに必要な、パソコンと電話回線をつなぐための周辺機器。

や - よ

ユーザー user

パソコンなどの利用者、つまり、あなたのこと。

ユーティリティソフト utility software

パソコンを使いやすくするためのソフトウェア。ツール。

ら - ろ

ライトプロテクト write protect

MOやフロッピーディスクなどのツメを操作して、データの上書きができないように書き込み禁止状態にすること。

リソース resource

パソコンのメモリやハードディスクの容量など、パソコンを使うときに必要な資源。

参考 → 『拡張の手引き』PART11の「リソースに関する問題」コンパクトタイプの場合、「PART13の「リソースに関する問題」ミニタワータイプの場合」、「PART9の「リソースに関する問題」ボックスレスタイプの場合」、「リファレンス」PART4の「デバイスマネージャ」

リムーバブルディスク、リムーバブルメディア

removable disc, removable media

取り外して交換ができる、外部記憶装置または媒体のこと。MO、ZIP、CD-R、CD-RW、PD、DVD-ROMなどさまざまなものがある。

リンク link

ホームページからホームページへのつながり。リンクしてある文字または絵をクリックすると他のホームページに移動することができる。

関連する用語>>> ホームページ

ローマ字入力

キーボード上の英字を使って文字を入力すること。「HANABI」とキーを押すと「はなび」と入力される。かなを使って入力する方法は「かな入力」という。

参考 → 『STEP2 入門』PART5、PART7の「文字の入れ方を決める」

関連する用語>>> かな入力

ワープロソフト word processor software

文書を作成するためのソフトウェア。ジャストシステム社製の一太郎やマイクロソフト社製のWordなどがある。

📖 参照 → 『STEP2 入門』の「PART5 キーボードに慣れよう(Word編)」, 「PART7 キーボードに慣れよう(一太郎編)」

関連する用語 >>> 一太郎、Word

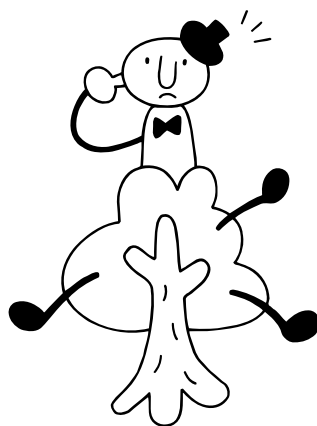
ワトソン博士 Dr. Watson Utility

アプリケーションのトラブルが発生したときに自動的にトラブルの診断をするシステムツール。

関連する用語 >>> システムツール

やりたいこと別総索引

あなたのやりたいことが、どのマニュアルに載っているかわからないとき、パソコン探検箱のどこを見ればよいか迷ったときはここで探してください。



凡例

1. ここではキーワードを数字、アルファベット、五十音順に並べています。
2. 和文は清音、濁音、半濁音の順に並べています。
3. 本文の基本構成は「キーワード」「目的別項目」「各マニュアルのページ」でまとめられています。
4. マニュアル名の直後にMT、CT、BTと表記されている場合は、お使いのパソコンのタイプによって参照ページが異なります。本書巻頭の iii ページをご覧ください。なお、お使いのパソコンのタイプを確認してください。なお、何も表記されていない場合は、全タイプ共通です。
- ・ミニタワータイプをお使いの場合は、MTと表記されたマニュアルのページをご覧ください。
- ・コンパクトタイプをお使いの場合は、CTと表記されたマニュアルのページをご覧ください。
- ・ボックスレスタイプをお使いの場合は、BTと表記されたマニュアルのページをご覧ください。
5. 「パソコン探検箱」はデスクトップの  アイコンをダブルクリックすると起動します。
6. ➡があるときは他の索引用語を参照してください。

数字

5 インチベイ

- 5 インチベイ用の周辺機器を取り付ける
『拡張の手引き』MT 87

A-Z

AGP ボード

- AGP ボードを取り付ける、取り外す
『拡張の手引き』MT 109

Angel Line

- 電話番号を検索する
「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「FAXを送る、電話番号を調べる」

BIGLOBE

- BIGLOBE 接続ツールを使う

「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「インターネットを楽しむ」

『インターネット入門』..... 42

- BIGLOBE に入会したい
『インターネット入門』..... 35, 38
- BIGLOBE の正式パスワードを入力する
『インターネット入門』..... 95

BIOS セットアップメニュー

- BIOS セットアップメニューを設定する
『リファレンス』MT/CT 152
『リファレンス』BT 152

CD-ROM

- CD-ROM ドライブを使う
『リファレンス』MT/CT 148
『リファレンス』BT 149
- CD-ROM を自動起動させない
『困ったときのQ&A』..... 139
- CD-ROM を使う
『STEP2 入門』..... 216
『困ったときのQ&A』..... 137
- 非常時にCD-ROMを取り出す
『リファレンス』MT/CT 149
『リファレンス』BT 149

CD ランチ

- CD を自動起動する
「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「パソコンの設定をする」

CyberCoach-NX

- CyberCoach-NX を起動する
『STEP2 入門』..... 18
- CyberCoach-NX を終了する
『STEP2 入門』..... 26
- パソコンの基本操作のレッスンをしたい
「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「パソコンの使い方を学ぶ」
『STEP3 活用』..... 4

CyberTrio-NX

- Windows 98 の利用環境を変える
「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「パソコンを守る」
『リファレンス』MT/CT 4
『リファレンス』BT 4

CyberWarner-NX

● Windows 98の動作を監視、保守したい

「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「パソコンを守る」

『リファレンス』MT/CT	9
『リファレンス』BT	9

DVD-ROM

● DVD-ROMを使う

『STEP2 入門』	211
『困ったときのQ&A』	137

● DVD VIDEOディスクを再生する(DVDプレーヤ)

「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「音楽CDやDVDを楽しむ」

● DVDタイトルを使いたい

「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「音楽CDやDVDを楽しむ」

Excel

⇒表計算

Eメール

⇒電子メール

FAX

● FAXモデムボード

『リファレンス』MT/CT	139
---------------------	-----

● FAXモデム

『リファレンス』BT	138
------------------	-----

FAX-NX

● FAXを送る / 受ける

「パソコン探検箱」-「VALUESTARを楽しもう」-
「FAXを受ける(FAX-NX受信編)」

「パソコン探検箱」-「VALUESTARを楽しもう」-
「FAXを送る(FAX-NX送信編)」

「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「FAXを送る、電話番号を調べる」

『困ったときのQ&A』	121
-------------------	-----

FD

⇒フロッピー・ディスク

Intellisync

● Intellisyncを使う

『リファレンス』BT	142
------------------	-----

Internet Explorer

⇒インターネット

ISDN

● ISDN回線を使う

『拡張の手引き』MT	38
『拡張の手引き』CT	38
『拡張の手引き』BT	36
『インターネット入門』	204

MapPlayer-NX

● カーナビCDを再生する

「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「音楽CDやDVDを楽しむ」

NIFTY SERVE

⇒パソコン通信

● ニフティサーバでインターネット

「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「インターネットを楽しむ」

Outlook Express

● Outlook Expressを使う

「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「インターネットを活用する」

『インターネット入門』	113
『困ったときのQ&A』	108

● アドレス帳を使う

『インターネット入門』	132
-------------------	-----

PCIボード

● PCIボードを使う

『拡張の手引き』MT	93
『拡張の手引き』CT	79

PCカード

● PCカードを使う

『拡張の手引き』BT	45
------------------	----

SCSI

● SCSIインターフェイス対応機器を使う

『拡張の手引き』MT	101
『拡張の手引き』CT	85
『拡張の手引き』BT	59

Timer-NX

●タイマーで電源を切る/タイマーでアプリケーションを起動する(Timer-NX)

「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「パソコンの設定をする」

『困ったときのQ&A』 168

USB

●USB対応機器を使う

『拡張の手引き』MT 20

『拡張の手引き』CT 20

『拡張の手引き』BT 20

Virus Scan

⇒ウイルス

Windows 98

●Windows 98でMS-DOSモードを利用する

『リファレンス』MT/CT 170

『リファレンス』BT 170

●Windows 98を再セットアップする

『困ったときのQ&A』 191

Windows NT 4.0

●Windows NT 4.0を利用する

『リファレンス』MT/CT 172

『リファレンス』BT 172

Windows Update

●Windowsをアップデートする

『困ったときのQ&A』 151

●ドライバの更新

『困ったときのQ&A』 143, 148, 149

Word

●Wordで文章を書く、文書を作る

『STEP2 入門』 51, 83

●Wordを終了する

『STEP2 入門』 79, 108

●Wordを使いこなす

『STEP2 入門』 109

●Wordを使う

「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「案内状や手紙などを作る」

あ - お

アース

- **アースを接続する**
『STEP1 接続と準備』MT 39
『STEP1 接続と準備』CT 41

アクセスポイント

- **アクセスポイントを変更する**
『インターネット入門』 201

アクティブ デスクトップ

- **アクティブ デスクトップの設定を変える**
『STEP3 活用』 92

アドレス

- **電子メールアドレス**
『インターネット入門』 59, 104
- **ホームページのアドレス(URL)を入力する**
『インターネット入門』 28

アドレス帳

⇒ Outlook Express

アプリケーション

- **アクセサリを削除する**
『困ったときのQ&A』 155
- **アクセサリを使う**
「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「ちょっとした小道具」
- **アプリケーションの追加と削除**
「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「パソコンの設定をする」
『リファレンス』MT/CT 59
『リファレンス』BT 59
- **アプリケーションを起動したい**
『困ったときのQ&A』 152
- **アプリケーションを削除する**
『リファレンス』MT/CT 67
『リファレンス』BT 68
- **アプリケーションを終了する**
『STEP2 入門』 49, 79, 143
『困ったときのQ&A』 35
- **アプリケーションを使う**
『STEP2 入門』 188

● 絵を描くアプリケーション(ペイント)

- 『STEP2 入門』 37
- 『STEP3 活用』 23

● ゲームで遊びたい

- 「パソコン探検箱」-「VALUESTARを楽しもう」-
「ゲームを楽しむ(各種ゲーム紹介)」
- 「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「ゲームで遊ぶ、カラオケで遊ぶ」

● 削除したアプリケーションを再追加する

- 『リファレンス』MT/CT 87
- 『リファレンス』BT 87

● ショートカットアイコンからアプリケーションを起動する

- 『STEP3 活用』 43
- 『困ったときのQ&A』 40, 157

● 「スタート」ボタンからアプリケーションを起動する

- 『STEP3 活用』 4

● セットアップされていないアプリケーションを追加する

- 『リファレンス』MT/CT 60
- 『リファレンス』BT 60

● ランチ-NXからアプリケーションを起動する

- 『STEP2 入門』 18, 33, 52, 114
- 『困ったときのQ&A』 42, 157

アルバム工房 Light

● 電子アルバムを作成する

- 「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「写真や絵を加工する」

一太郎

● 一太郎で文章を書きたい、文書を作る

- 『STEP2 入門』 113, 147

● 一太郎を終了する

- 『STEP2 入門』 143, 172

● 一太郎を使いこなす

- 『STEP2 入門』 173

● 一太郎を使う

- 「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「案内状や手紙などを作る」

移動

● ファイルを移動したい

- 『STEP3 活用』 30

印刷

⇒ プリンタ

インターネット

- ⇒ ホームページ
- ⇒ 電子メール
- ⇒ アドレス
- ⇒ Outlook Express
- Active Channelを使う
『インターネット入門』..... 92
- インターネットエクスプローラを使う
「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「インターネットを楽しむ」
『インターネット入門』..... 19, 74
- インターネットチュータで練習する
「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「インターネットを楽しむ」
『インターネット入門』..... 9
- インターネットができない
『困ったときのQ&A』..... 97
- インターネットに接続する
『インターネット入門』..... 6, 74
- インターネットの接続を終わる
『インターネット入門』..... 79
- インターネットの設定をする(入会する)
『インターネット入門』..... 35, 142
- インターネット無料体験したい
「パソコン探検箱」-「VALUESTARを楽しもう」-
「インターネットを体験(インターネット無料体験)」
「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「インターネットを楽しむ」
『インターネット入門』..... 13
- オートパイロットと料金管理
(インターネットアクセスマネージャ)
「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「インターネットを活用する」
『リファレンス』MT/CT 23
『リファレンス』BT 23
- 「お気に入り」を使う
『インターネット入門』..... 26
- スタートページを変える
『インターネット入門』..... 89
- ダイアルアップネットワークを確認、作成する
『リファレンス』MT/CT 53
『リファレンス』BT 53
- チャンネルを使う
『インターネット入門』..... 92

- パソコンを電話回線に接続する
『STEP1 接続と準備』MT 34
『STEP1 接続と準備』CT 38
『STEP1 接続と準備』BT 17
- 見たいホームページを指定する
『インターネット入門』..... 28

ウイルス

- ウィルスを検査する
「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「パソコンを守る」
『リファレンス』MT/CT 12
『リファレンス』BT 12
- ウィルスを発見したら
『困ったときのQ&A』..... 173

ウィンドウ

- ウィンドウを移動する
『STEP2 入門』..... 47
『STEP3 活用』..... 35
- ウィンドウを大きくする
『STEP2 入門』..... 48
『STEP3 活用』..... 35
- ウィンドウを切り替える
『STEP2 入門』..... 45
『STEP3 活用』..... 35
- ウィンドウを最小化する
『STEP2 入門』..... 36
- ウィンドウを最大化する
『STEP2 入門』..... 34
- ウィンドウをスクロールする
『STEP2 入門』..... 38
『STEP3 活用』..... 10
- ウィンドウを閉じる
『STEP2 入門』..... 49

駅すばあと

- 交通費や経路を確認したい
「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「ちょっとした小道具」
「パソコン探検箱」-「VALUESTARを楽しもう」-
「線路や交通費を調べる(駅すばあと)」

エクスプローラ

- エクスプローラでディスクの内容を見る
『STEP3 活用』..... 12

オーディオ機器

●オーディオ機器を使う

- 『拡張の手引き』MT 31
- 『拡張の手引き』CT 31
- 『拡張の手引き』BT 29

お手入れ

●パソコンのお手入れをする

- 『困ったときのQ&A』 184

音

●音を大きくする、小さくする

- 『STEP2 入門』 23
- 『リファレンス』MT/CT 135
- 『リファレンス』BT 134
- 『困ったときのQ&A』 74

●音を最適にする

- 『困ったときのQ&A』 77

●スピーカを使う

- 『リファレンス』MT/CT 134

か - こ

解像度

●解像度を変える

- 「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「パソコンの設定をする」
- 『STEP3 活用』 75
- 『困ったときのQ&A』 63

●表示できる解像度の確認

- 『リファレンス』MT/CT 121
- 『リファレンス』BT 121

家計簿

●家計簿をつける

- 「パソコン探検箱」-「VALUESTARを楽しもう」-
「家計簿をつける(てきば家計簿ママ)」
- 「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「表とグラフを作る、家計簿をつける」

画像

●画像を一覧表示する(ThumbsStudio)

- 「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「写真や絵を加工する」

●画像を加工する(花子9)

- 「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-

「写真や絵を加工する」

●画像を加工する(ペイント)

- 「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「ちょっとした小道具」

●画像を縮小表示する

- 『困ったときのQ&A』 64

●画像を取り込む(PictureStudio Light)

- 「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「写真や絵を加工する」
- 「パソコン探検箱」-「VALUESTARを楽しもう」
「デジカメの写真を加工(PictureStudio Light)」

壁紙

●デスクトップの壁紙を変える

- 『STEP3 活用』 72
- 『困ったときのQ&A』 64

●フォルダの壁紙を変える

- 『困ったときのQ&A』 63

画面

➡ディスプレイ

➡解像度

カラオケ

●カラオケを楽しむ(カラオケキング)

- 「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「ゲームで遊ぶ、カラオケで遊ぶ」

キーボード

●キーの名称と役割

- 『リファレンス』MT/CT 107
- 『リファレンス』BT 107

●キーボードの使い方を覚えたい(Wordで覚える)

- 『STEP2 入門』 51

●キーボードの使い方を覚えたい(一太郎で覚える)

- 『STEP2 入門』 113

●キーボードの練習をする(MAGIC FLIGHT)

- 「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「パソコンの使い方を学ぶ」

●キーボードを接続する

- 『STEP1 接続と準備』MT 18
- 『STEP1 接続と準備』CT 22
- 『STEP1 接続と準備』BT 14

●キーボードを設定する

- 『リファレンス』MT/CT 109
- 『リファレンス』BT 109

- キーボードを使って文字を書く

⇒ 文字を入力する

起動

- SafeモードでWindows 98を起動する
『困ったときのQ&A』 143, 179
- Windows 98起動ディスクからパソコンを起動する
『困ったときのQ&A』 179
- アイコンをダブルクリックして起動
『STEP2 入門』 9, 28
- アプリケーションを起動できない
『困ったときのQ&A』 152
- [スタート]ボタンから起動
『STEP3 活用』 4
- ランチNXから起動
『STEP2 入門』 18, 33, 52, 114
『困ったときのQ&A』 42, 157

クリーニング

⇒ お手入れ

ゲーム

- ゲームで遊びたい
「パソコン探検箱」-「VALUESTARを楽しもう」-
「ゲームを楽しむ(各種ゲーム紹介)」
「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「ゲームで遊ぶ、カラオケで遊ぶ」

検索

- ファイルを探す
『STEP3 活用』 45
『困ったときのQ&A』 68
- ホームページを探す
『インターネット入門』 30

コピー

- ファイルをコピーする
『STEP3 活用』 36
- 文字をコピーする(Word)
『STEP2 入門』 97
- 文字をコピーする(一太郎)
『STEP2 入門』 161

ごみ箱

- いらないファイルをごみ箱にする
『STEP3 活用』 40

- ごみ箱の中のファイルやフォルダを元に戻す

『STEP3 活用』 41

- ごみ箱を空にする

『STEP3 活用』 42

コントロールパネル

- コントロールパネルを開く

『STEP3 活用』 79

『困ったときのQ&A』 8

さ - そ

再セットアップ

- Cドライブのみを再セットアップする
『困ったときのQ&A』 210
- ハードディスクを1パーティションにして再セットアップする
『困ったときのQ&A』 207
- 標準再セットアップをする
『困ったときのQ&A』 194
- ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする
『困ったときのQ&A』 213

三四郎8

⇒ 表計算

システムツール

- ハードディスクを点検しトラブルから予防、修復する
『困ったときのQ&A』 11
『リファレンス』MT/CT 112
『リファレンス』BT 112

システムファイルチェッカー

⇒ システムツール

周辺機器

- 周辺機器を取り付ける
『拡張の手引き』MT xii, xv
『拡張の手引き』CT xi, xiv
『拡張の手引き』BT x, xiii
『困ったときのQ&A』 143
- ドライバの更新
『リファレンス』MT/CT 144
『リファレンス』BT 145
『困ったときのQ&A』 143, 148

終了

- Windowsを終了する
 - 『STEP1 接続と準備』MT 65
 - 『STEP1 接続と準備』CT 67
 - 『STEP1 接続と準備』BT 39
 - 『困ったときのQ&A』 35
- Wordを終了する
 - 『STEP2 入門』 79, 108
- 一太郎を終了する
 - 『STEP2 入門』 143, 172
- ペイントを終了する
 - 『STEP2 入門』 49

ショートカット

- キーボードのショートカットキーを知りたい
 - 『困ったときのQ&A』 176
- ショートカットアイコンを作る
 - 『STEP3 入門』 43
 - 『困ったときのQ&A』 42, 157

省電力機能(スタンバイ)

- 省電力機能(スタンバイ)について
 - 『リファレンス』MT/CT 124, 128
 - 『リファレンス』BT 124, 128
 - 『困ったときのQ&A』 165

シリアルコネクタ

- シリアルコネクタを使いたい
 - 『リファレンス』MT/CT 142

スキャンディスク

⇒システムツール

スクリーンセーバー

- スクリーンセーバーを使う
 - 『STEP3 活用』 74

[スタート]ボタン

- [スタート]ボタンからアプリケーションを起動する
 - 『STEP3 活用』 4

スピーカ

- スピーカを接続する
 - 『STEP1 接続と準備』MT 31
 - 『STEP1 接続と準備』CT 35
- スピーカを使う
 - 『リファレンス』MT/CT 134

清掃・掃除

⇒お手入れ

赤外線通信機能

- 赤外線通信機能を使う
 - 『リファレンス』BT 141

接続(増設)

- 周辺機器を接続(増設)する
 - 『拡張の手引き』MT xii, xv
 - 『拡張の手引き』CT xi, xiv
 - 『拡張の手引き』BT x, xiii
- プリンタを接続(増設)する
 - 『STEP2 入門』 84, 148
 - 『拡張の手引き』MT 2
 - 『拡張の手引き』CT 2
 - 『拡張の手引き』BT 2
 - 『困ったときのQ&A』 126, 143

増設

⇒接続

増設RAMサブボード

⇒メモリ

ソフト

⇒アプリケーション

- 市販ソフトを利用する
 - 『STEP2 入門』 220

た - と

ターミナルアダプタ

- ターミナルアダプタを使う
 - 『拡張の手引き』MT 37
 - 『拡張の手引き』CT 37
 - 『拡張の手引き』BT 35
 - 『インターネット入門』 204

タイマー

⇒Timer-NX

ディスククリーンアップ

⇒システムツール

ディスプレイ

●アイコンや文字を大きくする(解像度を小さくする)

「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「パソコンの設定をする」

『STEP3 活用』..... 75

『困ったときのQ&A』..... 60, 63

●一時的に作業を中断する(スタンバイ)

『STEP2 入門』..... 5

●色数を変える

「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「パソコンの設定をする」

『STEP3 活用』..... 77

●解像度を変える

「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「パソコンの設定をする」

『STEP3 活用』..... 75

『困ったときのQ&A』..... 60, 63

●画面をもっと広くする(解像度を大きくする)

「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「パソコンの設定をする」

『STEP3 活用』..... 75

『困ったときのQ&A』..... 60, 63

●ディスプレイの省電力機能を使う

⇒省電力機能(スタンバイ)

●ディスプレイを接続する

『STEP1 接続と準備』MT 26

『STEP1 接続と準備』CT 30

●別売のディスプレイを使う

『リファレンス』MT/CT 122

『リファレンス』BT 122

データ

⇒ファイル、保存、コピー

テキストリーダ

●テキストリーダを使用する

「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「ちょっとした小道具」

デジタルブックビューワ

●デジタルブックを再生する

「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「ちょっとした小道具」

デスクトップ

●スクリーンセーバーを使う

『STEP3 活用』..... 74

●デスクトップにあるものの名前

『STEP3 活用』..... 2

●デスクトップの一部を拡大表示する

『困ったときのQ&A』..... 66

●デスクトップのデザインを変える(デスクトップテーマ)

『困ったときのQ&A』..... 65

●背景(壁紙)を変える

『STEP3 活用』..... 72

『困ったときのQ&A』..... 64

デバイスマネージャ

●デバイスマネージャを表示する

『困ったときのQ&A』..... 9

●デバイスマネージャを変更、設定する

『リファレンス』MT/CT 144

『リファレンス』BT 145

デフラグ

⇒システムツール

電源

●強制的に電源を切る

『困ったときのQ&A』..... 35

●すぐに電源が入るようにする

⇒省電力機能(スタンバイ)

●タイマーで電源を切る(Timer-NX)

「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「パソコンの設定をする」

●使わないときは、自動的に画面を消す

『STEP3 活用』..... 74

●ディスプレイの省電力機能を設定する

『リファレンス』MT/CT 124

『リファレンス』BT 124

『困ったときのQ&A』..... 58

●電源ケーブルを接続する

『STEP1 接続と準備』MT 41

『STEP1 接続と準備』CT 43

『STEP1 接続と準備』BT 19

●電源を供給する

『STEP1 接続と準備』MT 7

『STEP1 接続と準備』CT 7

『STEP1 接続と準備』BT 7

●パソコンの電源を入れる

『STEP1 接続と準備』MT 50

『STEP1 接続と準備』CT 52

『STEP1 接続と準備』BT 24

『STEP2 入門』..... 2

『困ったときのQ&A』..... 27

● パソコンの電源を切る	
『STEP1 接続と準備』MT	65
『STEP1 接続と準備』CT	67
『STEP1 接続と準備』BT	39
『STEP2 入門』	3
『困ったときのQ&A』	35

電源管理モード

● モードを切り替える	
『リファレンス』MT/CT	166
『リファレンス』BT	164

電子メール

● Outlook Expressを使う	
「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」- 「インターネットを活用する」	
『インターネット入門』	99
● 受け取った電子メールに返事を出す	
『インターネット入門』	128
● 受け取った電子メールを読む	
『インターネット入門』	118
● うまく電子メールができない	
『困ったときのQ&A』	108
● 同じメールを複数の人に送る	
『インターネット入門』	137
● 電子メールの設定をする	
『困ったときのQ&A』	108
『インターネット入門』	105
● 電子メールを受け取る	
『インターネット入門』	115
● 電子メールを送る	
『インターネット入門』	122

電卓

● 計算する	
「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」- 「ちょっとした小道具」	

盗難防止

● 盗難防止用ロック	
『リファレンス』MT/CT	181, 185
● ロックプレートを取り付ける	
『リファレンス』MT/CT	186

ドライバ

● ドライバについて	
『拡張の手引き』MT	48

『拡張の手引き』CT	48
『拡張の手引き』BT	88

● ドライバの更新

『リファレンス』MT/CT	144
『リファレンス』BT	145
『困ったときのQ&A』	143, 148

ドライブ

➡ハードディスク

な - の

入力

➡文字を入力する

は - ほ

ハードディスク

● 2GB以上のパーティションをつくる	
『困ったときのQ&A』	134
● 2つのパーティションを1つにする	
『困ったときのQ&A』	135, 207
● エクスプローラからディスクの中身を見る	
『STEP3 活用』	12
● 外付け用のハードディスクを増設する	
『拡張の手引き』MT	75
『拡張の手引き』CT	67
『拡張の手引き』BT	58
● ドライブを開く、ドライブの内容、容量を見る	
『STEP3 活用』	9
『困ったときのQ&A』	11
● 内蔵ハードディスクを増設する	
『拡張の手引き』MT	69
● ハードディスクを増設する	
『拡張の手引き』MT	68
『拡張の手引き』CT	66
『拡張の手引き』BT	58
● ハードディスクを点検したい、修復したい	
『困ったときのQ&A』	11
『リファレンス』MT/CT	112
『リファレンス』BT	112
● ハードディスクをトラブルから防ぐ	
『困ったときのQ&A』	11
● ハードディスクをフォーマットする	
『拡張の手引き』MT	77

『拡張の手引き』CT	69
『拡張の手引き』BT	64

●マイコンピュータからディスクの中身を見る	
『STEP3 活用』.....	7

パソコン

●パソコンのお手入れをする	
『困ったときのQ&A』.....	184
●パソコンの各部の名称	
『リファレンス』MT/CT	178, 182
『リファレンス』BT	177
●パソコンの使い方を学ぶ (パソコン大学1年生、CyberCoach-NX)	
『パソコン探検箱』-「使いこなそうVALUESTAR」- 『パソコンの使い方を学ぶ』	
●パソコンの動作を監視したい(CyberWarner-NX)	
『パソコン探検箱』-「使いこなそうVALUESTAR」- 『パソコンを守る』	
『リファレンス』MT/CT	9
『リファレンス』BT	9
●パソコンの中身について	
『STEP3 活用』.....	7
●パソコン本体の開け方と閉め方	
『拡張の手引き』MT	50
『拡張の手引き』CT	50
●パソコンを購入時の状態にもどしたい	
『困ったときのQ&A』.....	194
●パソコンを再セットアップしたい	
『困ったときのQ&A』.....	192
●パソコンを接続する	
『STEP1 接続と準備』MT	15
『STEP1 接続と準備』CT	15
『STEP1 接続と準備』BT	11
●パソコンを設置する環境を整える	
『STEP1 接続と準備』MT	2
『STEP1 接続と準備』CT	2
『STEP1 接続と準備』BT	2
●パソコンを設定する	
『STEP1 接続と準備』MT	49
『STEP1 接続と準備』CT	51
『STEP1 接続と準備』BT	23
●パソコンをトラブルから防ぐ	
『困ったときのQ&A』.....	11
●まちがってデータを壊さないようにしたい	
『リファレンス』MT/CT	4
『リファレンス』BT	4

パソコン探検箱

●パソコン探検箱を見る	
『STEP2 入門』.....	228
『困ったときのQ&A』.....	4

パソコン通信

●AOL、NIFTY SERVE	
『リファレンス』MT/CT	51
『リファレンス』BT	51
●うまくパソコン通信ができない	
『困ったときのQ&A』.....	117

バックアップ

⇒保存

バックアップ機能

⇒システムツール

表計算

●表やグラフを作る	
『パソコン探検箱』-「使いこなそうVALUESTAR」- 『表やグラフを作る、家計簿をつける』	

ファイル

●上書き保存する・ファイルの内容を変更して保存する (Wordの場合)	
『STEP2 入門』.....	99
●上書き保存する・ファイルの内容を変更して保存する (一太郎の場合)	
『STEP2 入門』.....	163
●新規保存する・別のファイルとして保存する (Wordの場合)	
『STEP2 入門』.....	77, 105
●新規保存する・別のファイルとして保存する (一太郎の場合)	
『STEP2 入門』.....	141, 169
●ファイルの大きさを見る	
『STEP3 活用』.....	68
『困ったときのQ&A』.....	69
●ファイルの名前を変える	
『STEP3 活用』.....	22
●ファイルを移動する	
『STEP3 活用』.....	30, 37
●ファイルをかんたんに開きたい(ショートカット)	
『STEP3 活用』.....	43
『困ったときのQ&A』.....	40, 42, 157

● ファイルをコピーする	
『STEP3 活用』	36
● ファイルを探す	
『STEP3 活用』	45
『困ったときのQ&A』	68
● ファイルを削除する	
⇒ごみ箱	
● ファイルを整理する	
『STEP3 活用』	17
● ファイルを開く	
『STEP2 入門』	86, 150
『困ったときのQ&A』	67

フォルダ

● 新しいフォルダを作る	
『STEP3 活用』	19
● フォルダに壁紙をつける	
『困ったときのQ&A』	63
● フォルダの中にファイルを保存する	
『STEP3 活用』	25
● フォルダの中身を見たい(フォルダを開く)	
『STEP3 活用』	30, 32
● フォルダの名前を変える	
『STEP3 活用』	22
● フォルダを移動する	
『STEP3 活用』	30, 37
● フォルダをかんたんに開きたい(ショートカット)	
『STEP3 活用』	43
● フォルダをコピーする	
『STEP3 活用』	36
● フォルダを探す	
『STEP3 活用』	45
● フォルダを削除する	
⇒ごみ箱	

フォント

● 英語モードフォントを使う	
「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-	
「パソコンの設定をする」	

筆ぐるめ

● 年賀状やはがきをつくる	
「パソコン探検箱」-「VALUESTARを楽しもう」-	
「年賀状を作る(1)(筆ぐるめ宛名編)」	

「パソコン探検箱」-「VALUESTARを楽しもう」-

「年賀状を作る(2)(筆ぐるめデザイン編)」

プリンタ

● うまく印刷できない	
『困ったときのQ&A』	126
● プリンタを接続する	
『STEP2 入門』	84, 148
『拡張の手引き』MT	2
『拡張の手引き』CT	2
『拡張の手引き』BT	2

プレーヤ-NX

● 音楽CD/ビデオCD/フォトCDを再生する	
「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-	
「音楽CDやDVDを楽しむ」	

フロッピーディスク

● Windows起動ディスクを作成する	
『リファレンス』MT/CT	118
『リファレンス』BT	118
● フロッピーディスクに保存する	
『STEP3 活用』	59
『困ったときのQ&A』	94, 128
● フロッピーディスクのファイルを開く	
『STEP3 活用』	65
● フロッピーディスクを書き込めないようにする(ライトプロテクト)	
『STEP3 活用』	64
● フロッピーディスクを使う	
『STEP3 活用』	53
『困ったときのQ&A』	94, 128
● フロッピーディスクをバックアップする	
『リファレンス』MT/CT	117
『リファレンス』BT	117
● フロッピーディスクをフォーマットする・初期化する	
『STEP3 活用』	56

プロバイダ

● 利用中のプロバイダの情報を設定する	
『インターネット入門』	141

文書

● 文書を印刷する	
『STEP2 入門』	107, 171

● 文書を作る(Wordの場合)	
『STEP2 入門』	51, 83

● 文書を作る(一太郎の場合)	
『STEP2 入門』	113, 147

ペイント

● 絵を描く	
『STEP2 入門』	37
『STEP3 活用』	23

● ペイントについて知る	
「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」- 「ちょっとした小道具」	

● ペイントを起動する	
『STEP2 入門』	33
『STEP3 活用』	23

● ペイントを終了する	
『STEP2 入門』	49
『STEP3 活用』	27

ヘッドホン

● ヘッドホンを使う	
『拡張の手引き』MT	32
『拡張の手引き』CT	32
『拡張の手引き』BT	30
『困ったときのQ&A』	77

ヘルプ

● ヘルプを見る	
『STEP3 活用』	82
『困ったときのQ&A』	6

ホームページ

● URLを簡単に入力する(Hatch inside)	
「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」- 「インターネットを活用する」	
『リファレンス』MT/CT	35
『リファレンス』BT	35
● 「VALUESTAR NX PLAZA」のホームページを見る	
『インターネット入門』	198
● ホームページの画像や文書を保存する	
『インターネット入門』	86
● ホームページを「お気に入り」に登録する	
『インターネット入門』	80
● ホームページを探す(サーチエンジン、検索サービス)	
『インターネット入門』	30
● ホームページを探す(ジェットサーファー)	

「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「インターネットを活用する」

『リファレンス』MT/CT	16
『リファレンス』BT	16

● ホームページを作成する(FrontPage Express)

「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「インターネットを活用する」

『リファレンス』MT/CT	43
『リファレンス』BT	43

● ホームページを整理する (ホームページスクラップブック)

「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「インターネットを活用する」

『リファレンス』MT/CT	39
『リファレンス』BT	39

● ホームページを翻訳する (翻訳アダプタ2 CROSSROAD)

「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「インターネットを活用する」

『インターネット入門』	180
-------------	-----

● ホームページを見る

『インターネット入門』	19
-------------	----

保存

⇒フロッピーディスク

⇒ハードディスク

● 上書き保存する・ファイルの内容を変更して保存する (Wordの場合)

『STEP2 入門』	99
------------	----

● 上書き保存する・ファイルの内容を変更して保存する (一太郎の場合)

『STEP2 入門』	163
------------	-----

● 新規保存する・別のファイルとして保存する (Wordの場合)

『STEP2 入門』	77, 105
------------	---------

● 新規保存する・別のファイルとして保存する (一太郎の場合)

『STEP2 入門』	141, 169
------------	----------

● 作ったデータを保存する

『STEP2 入門』	77, 141
『困ったときのQ&A』	94, 128

● フォルダの中にファイルを保存する

『STEP3 活用』	25
------------	----

● 保存されているファイルを読み込む、ファイルを開く (Wordの場合)

『STEP2 入門』	86
------------	----

- 保存されているファイルを読み込む、ファイルを開く
(一太郎の場合)
『STEP2 入門』..... 150

ま - も

マイコンピュータ

- マイコンピュータからディスクの内容を見る
『STEP3 活用』..... 7

マイクホン

- マイクホンを使う
『拡張の手引き』MT 35
『拡張の手引き』CT 35
『拡張の手引き』BT 34

マウス

- マウスのスクロールボタンを使う
『リファレンス』MT/CT 104
『リファレンス』BT 104
- マウスの練習をする
『STEP2 入門』..... 22
- マウスを接続する
『STEP1 接続と準備』MT 25
『STEP1 接続と準備』CT 29
『STEP1 接続と準備』BT 16
- マウスを設定する
『リファレンス』MT/CT 105
『リファレンス』BT 105

メール

⇒電子メール

メモ帳

- ちょっとした文章を入力する
「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「ちょっとした小道具」

メモリ

- メモリを増やす
『拡張の手引き』MT 58
『拡張の手引き』CT 56
『拡張の手引き』BT 76

メンテナンスウィザード

⇒システムツール

文字を入力する

- Wordで文章を書く、文書を作る
『STEP2 入門』..... 51, 83
- 一太郎で文章を書く、文書を作る
『STEP2 入門』..... 113, 147
- 英語モードフォントを使う
「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「パソコンの設定をする」
- 英字を打つ
『STEP2 入門』..... 74, 138
- カタカナを入力する
『STEP2 入門』..... 69, 133
- かな入力をする
『STEP2 入門』..... 60, 124
- キーボードの使い方を覚えたい(Wordで覚える)
『STEP2 入門』..... 51
- キーボードの使い方を覚えたい(一太郎で覚える)
『STEP2 入門』..... 113
- 記号を入力する
『困ったときのQ&A』..... 87, 89
- 自分の名前と住所を打ってみる
『STEP2 入門』..... 76, 140
- 数字で日付を打つ
『STEP2 入門』..... 72, 136
- 同音語を見る
『STEP2 入門』..... 67, 131
- 名前をローマ字で入力する
『STEP1 接続と準備』MT 56
『STEP1 接続と準備』CT 58
『STEP1 接続と準備』BT 30
- ひらがなを漢字に変換する
『STEP1 接続と準備』MT 76
『STEP1 接続と準備』CT 78
『STEP1 接続と準備』BT 48
『STEP2 入門』..... 63, 127
- 文書の体裁を整える
『STEP2 入門』..... 100, 164
- 文書を印刷する
『STEP2 入門』..... 107, 171
- 文書を追加する
『STEP2 入門』..... 86, 151
- 文書を編集する
『STEP2 入門』..... 92, 156

- ローマ字入力とかな入力を切り替える
『STEP2 入門』..... 55, 118
- ローマ字入力をする
『STEP2 入門』..... 57, 121
- ローマ字のつづりを知りたい(ローマ字つづり一覧)
『STEP1 接続と準備』MT 79
『STEP1 接続と準備』CT 81
『STEP1 接続と準備』BT 51
『STEP2 入門』..... 238

や - よ

ユーザー登録

- 正規ユーザー登録を行う
『STEP1 接続と準備』MT 71
『STEP1 接続と準備』CT 73
『STEP1 接続と準備』BT 44

郵便番号7桁

- 郵便番号7桁辞書を使う
『困ったときのQ&A』..... 90

ら - ろ

ランチ-NX

- ランチ-NXの画面について
『STEP2 入門』..... 30
- ランチ-NXの設定を変える
「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「パソコンの設定をする」

リソース

- リソースの割り当てを変更する
『拡張の手引き』MT 126
『拡張の手引き』CT 104
『拡張の手引き』BT 100
『リファレンス』MT/CT 162
『リファレンス』BT 160

利用環境

⇒CyberTrio-NX

- 利用環境を変える
『リファレンス』MT/CT 4
『リファレンス』BT 4

ローマ字

- Wordでローマ字入力する
『STEP2 入門』..... 57
- 一太郎でローマ字入力する
『STEP2 入門』..... 121
- ローマ字のつづりを知りたい(ローマ字つづり一覧)
『STEP1 接続と準備』MT 79
『STEP1 接続と準備』CT 81
『STEP1 接続と準備』BT 51
『STEP2 入門』..... 238

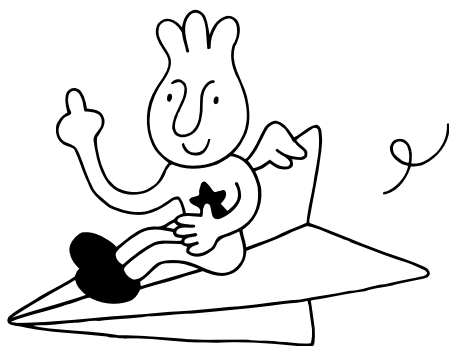
わ

ワードパッド

- ワードパッドについて知る
「パソコン探検箱」-「使いこなそうVALUESTAR」-
「ちょっとした小道具」

トラブルチェックシート

トラブルの内容について、このシートにまとめておくと、お問い合わせのときに便利です。



お問い合わせの前に(トラブルチェックシート)

お問い合わせにお答えするには、あなたのパソコンの構成やトラブルの具体的な症状をお知らせいただく必要があります。

トラブルチェックシートに記入してからお問い合わせいただくと、よりの確で迅速なお答えができます。ぜひ、記入してからお問い合わせください。

なお、「スタート」ボタン - 「プログラム」 - 「アクセサリ」 - 「システムツール」 - 「システム情報」の順にクリックしていくと、パソコンの詳細な情報が表示されますので参考にしてください。

記入例

トラブルチェックシート 1

あなたのパソコンの構成	
■ ハードウェア	
● 本体	
型名 (型名は本体背面または側面に表示されています)	PC-VC40D5GD1
製造番号 (保証書番号)	1234567AB
メモリの容量	63.0 MB(メガバイト)
メモリの容量を調べるには→マイコンピュータのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックしてください。「○○MBのRAM」という表示の「○○」がメモリの容量です。	
ハードディスクの容量 (Cドライブ)	1.99 GB(ギガバイト) (MBかGBのどちらかに○をつけてください。)
ハードディスクの空き領域 (Cドライブ)	808 MB(メガバイト) (MBかGBのどちらかに○をつけてください。)
ハードディスクの容量、空き領域を調べるには→マイコンピュータを開き、ハードディスクのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックしてください。容量や空き領域が表示されます。	
● 周辺機器	
	品名・型名 (メーカー名)
ディスプレイ	F15S1B (NEC)
プリンタ	PR-J4000 (NEC)
SCSIボード	
増設ハードディスク	
ネットワークボード	
その他の周辺機器	
■ ソフトウェア	
● OSのバージョンと発売メーカー	
☒ Windows 98	☐ Windows NT (バージョン)
● トラブルが起きたときに起動していたアプリケーションソフト	
ワードパッド、エクスプローラ	

具体的なトラブルの内容			
● どんなトラブルが起きましたか？ トラブルの内容を書いてください。 ワードパッドで文書を書いたり、印刷すると突然止まってしまうことがある。			
● 画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか？ メッセージや番号を書いてください。 「このプログラムは不正な処理を行ったので強制終了されます。 終了しない場合は、プログラムの製造元に連絡してください。」 という表示が現れる。			
● そのトラブルはどんなときに起きましたか？ <table border="1"> <tr> <td> ☐ パソコンを起動するたびに起きる ☐ そのアプリケーションを起動するたびに起きる ☒ 特定の操作を行うと起きる ☐ はじめて起きた </td> <td> 他のソフトと同時に使っていると止まってしまうことが多い。 印刷しようとする、いつまでたっても終わらないことが多い。 </td> </tr> </table>		☐ パソコンを起動するたびに起きる ☐ そのアプリケーションを起動するたびに起きる ☒ 特定の操作を行うと起きる ☐ はじめて起きた	他のソフトと同時に使っていると止まってしまうことが多い。 印刷しようとする、いつまでたっても終わらないことが多い。
☐ パソコンを起動するたびに起きる ☐ そのアプリケーションを起動するたびに起きる ☒ 特定の操作を行うと起きる ☐ はじめて起きた	他のソフトと同時に使っていると止まってしまうことが多い。 印刷しようとする、いつまでたっても終わらないことが多い。		
● その他に気づいたことがあれば書いてください。 エラーメッセージが出ている状態で電源スイッチを押して、パソコンの電源を切ってしまった。			

トラブルチェックシート 1

あなたのパソコンの構成	
■ ハードウェア	
● 本体	
型名 (型名は本体背面または側面に表示されています)	
製造番号 (保証書番号)	
メモリの容量	_____ MB(メガバイト)
メモリの容量を調べるには→マイコンピュータのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックしてください。「○○MBのRAM」という表示の「○○」がメモリの容量です。	
ハードディスクの容量 (Cドライブ)	_____ MB(メガバイト) (MBかGBのどちらかに GB(ギガバイト) (○をつけてください。)
ハードディスクの空き領域 (Cドライブ)	_____ MB(メガバイト) (MBかGBのどちらかに GB(ギガバイト) (○をつけてください。)
ハードディスクの容量、空き領域を調べるには→マイコンピュータを開き、ハードディスクのアイコンを右クリックし、表示されたメニューの「プロパティ」をクリックしてください。容量や空き領域が表示されます。	
● 周辺機器	品名・型名 (メーカー名)
ディスプレイ	
プリンタ	
SCSIボード	
増設ハードディスク	
ネットワークボード	
その他の周辺機器	
■ ソフトウェア	
● OSのバージョンと発売メーカー	
☐ Windows 98	☐ Windows NT (バージョン _____)
● トラブルが起きたときに起動していたアプリケーションソフト	

トラブルチェックシート 2

具体的なトラブルの内容

- どんなトラブルが起きましたか？ トラブルの内容を書いてください。

- 画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか？
メッセージや番号を書いてください。

- そのトラブルはどんなときに起きましたか？

- ☐ パソコンを起動するたびに起きる
- ☐ そのアプリケーションを起動するたびに起きる
- ☐ 特定の操作を行うと起きる
- ☐ はじめて起きた

- その他に気づいたことがあれば書いてください。

国たのびのQ&A

**VALUESTAR NX**

P

このマニュアルはエコマーク認定の再生紙を使用しています。

